

令和6年度

定時総会

令和6年6月15日（土）

富山県民共生センターサンフォルテ



「看護の日」キャラクター
富山県かんごちゃん



公益社団法人 富山県看護協会

目 次

看護職の倫理綱領	3
富山県看護協会の基本理念	4
令和6年度定時総会開催にあたって	5
令和6年度定時総会プログラム	6
令和6年度職能集会プログラム	7

議決事項

第1号議案 令和6年度富山県看護協会改選役員の選任	11
第2号議案 令和7年度日本看護協会代議員及び予備代議員の選任	12
第3号議案 令和6年度選挙管理委員及び推薦委員の承認	13
第4号議案 令和5年度収支決算報告及び監査報告	14

報告事項

報告事項1 令和5年度事業報告	35
報告事項2 令和6年度重点事業及び事業計画	45
報告事項3 令和6年度収支予算	53

各種報告

1 令和5年度理事会報告	65
2 令和5年度職能委員会報告	70
3 令和5年度委員会報告	75
4 令和5年度支部報告	83
5 令和6年度公益社団法人日本看護協会通常総会代議員報告	89

資 料

令和6年度優良看護職員表彰者名簿	93
[報告事項1 令和5年度事業報告資料]	
令和5年度 研修会等実施状況報告	94
令和5年度 認定看護管理者教育課程 教育運営委員会	106
令和5年度 令和6年能登半島地震における災害支援ナース派遣報告	107
令和5年度 感染管理認定看護師派遣事業報告	108
令和5年度 富山県ナースセンター事業報告	109
令和5年度 富山県訪問看護総合支援センター事業報告	124
令和5年度 訪問看護ステーションひよどり事業報告	133
令和5年度 訪問看護ステーションひよどり富山事業報告	136
令和5年度 ひよどり富山居宅介護支援事業所事業報告	141
令和5年度 神明・五福地域包括支援センター事業報告	144
令和5年度 その他の受託事業報告	147
令和6年度 富山県行政への要望事項	149
令和5年度 行政機関および関連団体等の委員等就任状況	152
令和5年度 他団体等への推薦	154
令和5年度 後援等の報告	155
[各種報告2 令和5年度職能委員会報告資料]	
保健師・助産師交流会報告	保健師職能委員会… 157
保健師交流会報告	保健師職能委員会… 159
「いのちの教室」実践報告	助産師職能委員会… 160
「いのちの教室」運営状況把握	助産師職能委員会… 161
地域包括ケアシステムの推進に向けた看看連携の取り組み2報告	看護師職能Ⅰ委員会… 162
在宅ケア事例検討会報告	看護師職能Ⅱ委員会… 164
[各種報告3 令和5年度委員会報告資料]	
看護職が働き続けられる職場環境に関するアンケート調査結果	社会経済福祉委員会… 167
[各種報告4 令和5年度支部報告資料]	
令和5年度 支部(5事業)報告	地区支部… 170
令和5年度 支部長会報告	地区支部… 179
[各種名簿等]	
令和5年度 富山県看護協会施設別・職種別会員数	180
令和5年度 受章(彰)者名簿	182
令和5年度 富山県看護協会役員及び委員名簿	183
令和5年度 富山県看護協会支部役員名簿	186
令和6年度 日本看護協会代議員及び予備代議員名簿	187
[参考資料]	
会員数と入会率	188
都道府県看護協会一覧表	190
都道府県ナースセンター一覧表	191
公益社団法人富山県看護協会定款	192
公益社団法人富山県看護協会組織図	204
公益社団法人富山県看護協会職員名簿	205

看護職の倫理綱領

2021年 日本看護協会

前文

人々は、人間としての尊厳を保持し、健康で幸福であることを願っている。看護は、このような人間の普遍的なニーズに応え、人々の生涯にわたり健康な生活の実現に貢献することを使命としている。

看護は、あらゆる年代の個人、家族、集団、地域社会を対象としている。さらに、健康の保持増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和を行い、生涯を通して最期まで、その人らしく人生を全うできるようその人のもつ力に働きかけながら支援することを目的としている。

看護職は、免許によって看護を実践する権限を与えられた者である。看護の実践にあたっては、人々の生きる権利、尊厳を保持される権利、敬意のこもった看護を受ける権利、平等な看護を受ける権利などの人権を尊重することが求められる。同時に、専門職としての誇りと自覚をもって看護を実践する。

日本看護協会の『看護職の倫理綱領』は、あらゆる場で実践を行う看護職を対象とした行動指針であり、自己の実践を振り返る際の基盤を提供するものである。また、看護の実践について専門職として引き受ける責任の範囲を、社会に対して明示するものである。

本文（抜粋）

1. 看護職は、人間の生命、人間としての尊厳及び権利を尊重する。
2. 看護職は、対象となる人々に平等に看護を提供する。
3. 看護職は、対象となる人々との間に信頼関係を築き、その信頼関係に基づいて看護を提供する。
4. 看護職は、人々の権利を尊重し、人々が自らの意向や価値観にそった選択ができるよう支援する。
5. 看護職は、対象となる人々の秘密を保持し、取得した個人情報とは適正に取り扱う。
6. 看護職は、対象となる人々に不利益や危害が生じているときは、人々を保護し安全を確保する。
7. 看護職は、自己の責任と能力を的確に把握し、実施した看護について個人としての責任をもつ。
8. 看護職は、常に、個人の責任として継続学習による能力の開発・維持・向上に努める。
9. 看護職は、多職種で協働し、よりよい保健・医療・福祉を実現する。
10. 看護職は、より質の高い看護を行うために、自らの職務に関する行動基準を設定し、それに基づき行動する。
11. 看護職は、研究や実践を通して、専門的知識・技術の創造と開発に努め、看護学の発展に寄与する。
12. 看護職は、より質の高い看護を行うため、看護職自身のウェルビーイングの向上に努める。
13. 看護職は、常に品位を保持し、看護職に対する社会の人々の信頼を高めるよう努める。
14. 看護職は、人々の生命と健康をまもるため、さまざまな問題について、社会正義の考え方をもって社会と責任を共有する。
15. 看護職は、専門職組織に所属し、看護の質を高めるための活動に参画し、よりよい社会づくりに貢献する。
16. 看護職は、様々な災害支援の担い手と協働し、災害によって影響を受けたすべての人々の生命、健康、生活をまもることに最善を尽くす。

富山県看護協会の基本理念

I 使命

人々の人間としての尊厳を維持し、健康で幸福でありたいという普遍的なニーズに応え、人々の健康な生活の実現に貢献する。

そのため、

- 一 教育と研鑽に根ざした専門性に基づき看護の質の向上を図る
- 一 看護職が生涯を通して安心して働き続けられる環境づくりを推進する
- 一 人々のニーズに応える看護領域の開発・展開を図る

II 活動理念

- 一 看護職の力を変革に向けて結集する
- 一 自律的に行動し協働する
- 一 専門性を探求し新たな価値を創造する

III 基本戦略

看護の質の向上、看護職が働き続けられる環境づくり、看護領域の開発・展開の三つの使命に基づく事業領域において、政策形成、自主規制、支援事業、開発・経営、広報、社会貢献の六つの実現手法を用いて、人々の健康で豊かな生活の実現を図るものである。

(平成22年3月富山県看護協会3月通常総会にて決定)

令和6年度 定時総会開催にあたって

公益社団法人富山県看護協会
会長 稲村 睦子

初夏の訪れとともに新緑がまぶしい季節になりました。雨に濡れたあじさいの花が、ひときわ鮮やかに咲き競っております。

そして、1月1日に発生した令和6年能登半島地震において、被災された方々にお見舞いを申し上げ、被災地域で支援活動に尽力されておられます看護職の皆さまに心から敬意を表します。被災県となり、断水の中で病院、施設、訪問看護を継続された当県の看護職の方々にも敬意を表します。そして、2次避難者の方々をどの県よりも多く受けている中で、各医療機関には、災害支援ナース派遣に1月12日から3月末までご協力頂きました。日本看護協会依頼は38名、医師会JMAT17名派遣しました。皆様のご協力に多大な感謝をいたします。

そして、看護協会の事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の5類移行後も感染防止対策を実施しながらの会議や委員会など定例の諸事業、学会や一般研修、長期研修などに対し、皆様のご協力のもとほぼ予定通り行うことができました。

今般、1992年12月に制定された「看護師等の人材確保の促進に関する法律」に基づき、制定から約30年を経て、「看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針」の改訂が告示されました。改定後の本指針には、生涯にわたる学習支援体制の構築、専門看護師、認定看護師の資格取得や特定行為研修等の受講推進、ナースセンターの機能強化、看護管理者の資質の向上とリーダーシップの発揮の重要性が示されております。また、2024年度の診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報酬改定では、ポスト2025を見据え、限りある人材で増大する医療・介護ニーズを支えていくため、医療・介護提供体制の最適化・効率化を図ることが重視されています。2040年を迎えた時、人々は看護に何を期待するのか、そのために今から取り組むべき方向性は何かを整理し、人々に寄り添った活躍を進めていくことが必要です。

令和6年度に向けては、昨年度からの取り組みをほぼ継続とし、生涯学習支援のための基本方針、ナースセンターのデジタル化推進、災害時の初動対応が具体的明示された災害マニュアルの改訂にも取り組んでいきます。

そして、「県民の健康で豊かな生活の実現に寄与する」ため、本会の使命である「看護の質の向上」「働き続けられる環境づくり」「看護領域の開発・展開」を前提とし、定款第5条の6事業に基づいて今年度の活動を行います。

令和6年度の重点事業は、以下の4点です。

- 1 全世代型地域包括ケアにおける看護提供体制の推進
- 2 看護職の働き方改革の推進
- 3 専門職としてのキャリア継続への支援と役割拡大
- 4 新興感染症の対応及び災害発生時看護支援活動の推進

本日の総会におきましては、令和5年度事業報告、収支決算報告及び監査報告、令和6年度富山県看護協会役員を選任、令和7年度日本看護協会代議員等の選出、令和6年度の当協会選挙管理委員・推薦委員候補者の承認について議案提出しておりますので、審議をお願いいたします。

会員の皆様の忌憚のないご意見をいただき実り多き総会になることを期待しております。

令和6年度 定時総会プログラム

日 時 令和6年6月15日(土) 13:00～15:30
場 所 富山県民共生センターサンフォルテ 2階ホール

- 12:40 開場
- 12:55 オリエンテーション
- 13:00 開会
物故会員への黙とう
会長あいさつ
来賓祝辞
来賓紹介
祝電披露
富山県部門功労表彰（看護職員）
富山県看護協会会長表彰
受彰者代表謝辞
- 13:40 議長団の選出及び議事録署名人の選任
- 13:45 **【議決事項】**
第1号議案 令和6年度富山県看護協会改選役員の選任
第2号議案 令和7年度日本看護協会代議員及び予備代議員の選任
第3号議案 令和6年度選挙管理委員及び推薦委員の承認
第4号議案 令和5年度収支決算報告及び監査報告
- 【報告事項】**
報告事項1 令和5年度事業報告
報告事項2 令和6年度重点事業及び事業計画
報告事項3 令和6年度収支予算
- 【各種報告】**
1 令和5年度理事会報告
2 令和5年度職能委員会報告
3 令和5年度委員会報告
4 令和5年度支部報告
5 令和6年度公益社団法人日本看護協会通常総会代議員報告
- 15:15 議長団解任
新役員紹介
退任役員紹介・代表あいさつ
会歌合唱
副会長あいさつ
- 15:30 閉会

令和6年度 職能集会プログラム

日 時	令和6年6月15日(土) 9:30～11:30		
場 所	保健師職能集会：富山県民共生センター サンフォルテ	3階	研修室 303
	助産師職能集会：富山県民共生センター サンフォルテ	3階	研修室 307
	看護師職能集会：富山県民共生センター サンフォルテ	2階	ホール

保健師職能集会

9:00	開場
9:25	オリエンテーション
9:30	開会挨拶
9:35～9:50	日本看護協会全国職能別交流集会報告
9:50～11:20	講義及び演習 「行動パターンとコミュニケーション」 ～よりよい人間関係を構築し、支援するために～ 富山国際大学子ども育成学部 教授 大平 泰子 氏
11:20～11:30	質疑応答・意見交換
11:30	閉会

助産師職能集会

9:00	開場
9:25	オリエンテーション
9:30	開会挨拶
9:40～10:00	1 令和5年度助産師職能委員会活動報告 2 日本看護協会全国職能別交流集会報告
10:00～11:30	講義及び演習 「プレコンセプションケア」 1 ウィメンズヘルスケア能力と助産師・看護師の役割 2 プレコンセプションケアヘルスケアの定義・重要性 3 医療機関におけるプレコンセプションケアの実際 黒部市民病院 産婦人科部長 伊藤 実香 氏
11:30	閉会

看護師職能集会

9：00	開場
9：25	オリエンテーション
9：30	開会挨拶
9：40～10：00	日本看護協会全国職能別交流集会報告 1 看護師職能Ⅰ（病院領域） 2 看護師職能Ⅱ（介護・福祉関係施設・在宅等領域）
10：00～10：30	基調講演 テーマ「看護職の生涯学習支援」（オンライン） 公益社団法人日本看護協会 常任理事 吉川 久美子 氏
10：30～11：20	報告 1 組織における生涯学習支援の現状と今後の取り組み 1) 富山県立中央病院 看護研修科長 五本 友子 氏 2) 医療法人社団いずみ会 いま泉病院 看護部長 宮崎 真由美 氏 2 主体的な学習活動の実例と組織からの支援の実際 1) 育児短時間制度の活用期間における仕事へのモチベーションの維持 富山赤十字病院 化学療法センター看護師 小川 恵梨 氏 2) 地域でがんサバイバーを支える活動を展開 国立大学法人富山大学附属病院 がん看護専門看護師 樋口 麻衣子 氏
11：20	質疑応答
11：30	閉会

議 決 事 項

第1号議案	令和6年度富山県看護協会改選役員の選任	11
第2号議案	令和7年度日本看護協会代議員及び予備代議員の選任	12
第3号議案	令和6年度選挙管理委員及び推薦委員の承認	13
第4号議案	令和5年度収支決算報告及び監査報告	14

令和6年度富山県看護協会改選役員の選任（案）

令和6年度改選役員候補者

（五十音順）

会長（改選1名）

氏名	所属	職種	備考
岡本 里美	公益社団法人富山県看護協会	助産師	新

副会長（改選2名）

氏名	所属	職種	備考
渋谷 美保子	富山県済生会高岡病院	看護師	新
中島 眞由美	学校法人富山国際学園富山短期大学	保健師	再

理事（改選12名）

氏名	所属	職種	備考
海原 真澄	富山県厚生農業協同組合連合会滑川病院	看護師	新
小倉 里美	市立砺波総合病院	看護師	再
小原 留美	社会福祉法人光風会／光風会訪問看護ステーション	看護師	新
重松 理恵	富山市立富山市民病院	看護師	再
白井 志津世	富山赤十字病院	看護師	新
瀬山 尚子	富山県済生会富山病院	看護師	再
谷川 智子	富山市まちなか総合ケアセンター	保健師	新
藤井 淳子	公益社団法人富山県看護協会	助産師	新
吉岡 智子	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター	看護師	新
吉澤 環	南砺市民病院	看護師	再
若杉 央	富山県高岡厚生センター	保健師	新
渡邊 和美	黒部市民病院	看護師	新

監事（改選1名）

氏名	所属	職種	備考
河村 拓栄	河村公認会計士事務所	会員外	再

令和7年度 日本看護協会
代議員及び予備代議員の選任（案）

代議員及び予備代議員候補者

（五十音順）

役職等	氏名	所属	職種
代議員候補者	小倉里美	市立砺波総合病院	看護師
	小原留美	社会福祉法人光風会 光風会訪問看護ステーション	看護師
	炭田恵	富山労災病院	助産師
	中島眞由美	学校法人富山国際学園富山短期大学	保健師
	中田千亜紀	不二越病院	准看護師
	南峰子	特定医療法人財団五省会西能みなみ病院	看護師
	諸江由紀子	独立行政法人地域医療機能推進機構高岡ふしき病院	看護師
	吉田智子	公益社団法人富山県看護協会	保健師
	若杉央	富山県高岡厚生センター	保健師
予備代議員候補者	沖山正子	かみいち総合病院	看護師
	河原歩	富山市中央保健福祉センター	保健師
	佐々木嘉子	独立行政法人地域医療機能推進機構高岡ふしき病院	准看護師
	渋谷美保子	富山県済生会高岡病院	看護師
	高島和代	不二越病院	看護師
	林輝美	富山県厚生農業協同組合連合会高岡病院	助産師
	藤井淳子	公益社団法人富山県看護協会	助産師
	藤澤都絵	富山市立富山市民病院	看護師
	森田知佳子	南砺市訪問看護ステーション	看護師

令和6年度選挙管理委員及び推薦委員候補者の承認（案）

選挙管理委員及び推薦委員候補者

(五十音順)

委員名	氏名	職種	施設名
選挙管理委員 候補者	浦本 かおり	看護師	黒部市民病院
	中谷 栄里子	看護師	市立砺波総合病院
推薦委員 候補者	岩崎 まみ	看護師	黒部市民病院
	岡部 陽子	保健師	富山県新川厚生センター
	工藤 智子	保健師	砺波市健康センター
	鈴木 隆子	看護師	医療法人社団藤聖会富山西総合病院
	大門 香織	看護師	独立行政法人国立病院機構北陸病院
	土井 伸子	助産師	富山県厚生農業協同組合連合会高岡病院
	橋本 唯菜	保健師	魚津市役所
	針原 昌美	看護師	医療法人真生会 真生会富山病院
	樋口 朋子	助産師	富山市民病院
	森田 礼子	看護師	富山赤十字病院

令和5年度 収支決算報告(案)

貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現 金 預 金	53,647,749	54,427,823	△ 780,074
未 収 金	40,852,528	54,379,597	△ 13,527,069
前 払 金	0	159,360	△ 159,360
流動資産合計	94,500,277	108,966,780	△ 14,466,503
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
役 員 退 職 慰 労 引 当 資 産	1,190,000	1,470,000	△ 280,000
退 職 給 付 引 当 資 産	29,910,092	32,417,526	△ 2,507,434
減 価 償 却 引 当 資 産	182,097,944	180,209,836	1,888,108
会 館 建 設 引 当 資 産	339,355,050	322,826,050	16,529,000
建 構 物	313,067,800	323,746,824	△ 10,679,024
構 築 物 品	5,528,595	6,960,218	△ 1,431,623
什 器 備 品	1	1	0
土 地	74,574,139	74,574,139	0
特定資産合計	945,723,621	942,204,594	3,519,027
(2) その他固定資産			
構 築 物 品	10,626,734	12,109,534	△ 1,482,800
什 器 備 品	6,777,197	9,855,972	△ 3,078,775
ソ フ ト ウ ェ ア	4,466,871	6,675,737	△ 2,208,866
電 話 加 入 権	91,575	91,575	0
敷 金	1,500,000	1,500,000	0
その他固定資産合計	23,462,377	30,232,818	△ 6,770,441
固定資産合計	969,185,998	972,437,412	△ 3,251,414
資産合計	1,063,686,275	1,081,404,192	△ 17,717,917
II 負債の部			
1. 流動負債			
未 払 金	19,950,129	17,875,401	2,074,728
前 受 会 費	37,783,000	36,259,000	1,524,000
預 り 金	2,815,925	1,537,759	1,278,166
役 員 賞 与 引 当 金	1,232,000	1,232,000	0
賞 与 引 当 金	7,536,320	7,541,179	△ 4,859
未 払 消 費 税	2,046,700	65,200	1,981,500
流動負債合計	71,364,074	64,510,539	6,853,535
2. 固定負債			
役 員 退 職 慰 労 引 当 金	1,190,000	1,470,000	△ 280,000
退 職 給 付 引 当 金	29,910,092	32,391,276	△ 2,481,184
固定負債合計	31,100,092	33,861,276	△ 2,761,184
負債合計	102,464,166	98,371,815	4,092,351

科 目	当年度	前年度	増 減
Ⅲ 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
地方公共団体補助金	222,941,976	229,278,688	△ 6,336,712
指定正味財産合計	222,941,976	229,278,688	△ 6,336,712
(うち特定資産への充当額)	(222,941,976)	(229,278,688)	(△ 6,336,712)
2. 一般正味財産	738,280,133	753,753,689	△ 15,473,556
(うち特定資産への充当額)	(691,681,553)	(679,064,630)	(12,616,923)
正味財産合計	961,222,109	983,032,377	△ 21,810,268
負債及び正味財産合計	1,063,686,275	1,081,404,192	△ 17,717,917

正味財産増減計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受 取 会 費	53,766,000	53,892,000	△ 126,000
受 取 会 費	53,766,000	53,892,000	△ 126,000
受 取 会 館 運 営 基 金	16,800,000	15,560,000	1,240,000
受 取 会 館 運 営 基 金	16,800,000	15,560,000	1,240,000
事 業 収 益	113,069,021	118,599,681	△ 5,530,660
受 講 料 収 益	26,755,933	21,038,568	5,717,365
学 会 事 業 収 益	1,908,000	1,718,000	190,000
訪 問 看 護 事 業 収 益	49,951,949	59,579,857	△ 9,627,908
居 宅 介 護 支 援 費 収 益	6,518,428	9,418,920	△ 2,900,492
地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー 受 託 収 益	19,453,460	19,061,328	392,132
介 護 予 防 支 援 費 収 益	7,231,731	6,358,404	873,327
認 定 調 査 収 益	316,800	204,600	112,200
そ の 他 の 事 業 収 益	932,720	1,220,004	△ 287,284
受 取 補 助 金 等	73,299,941	130,480,032	△ 57,180,091
受 取 県 補 助 金 等	61,377,481	92,324,527	△ 30,947,046
受 取 看 護 職 員 研 修 補 助 金	2,268,000	2,268,000	0
受 取 看 護 職 員 定 着 支 援 事 業 補 助 金	420,000	420,000	0
受 取 新 人 看 護 職 員 指 導 者 研 修 事 業 受 託 収 益	2,035,000	2,262,000	△ 227,000
受 取 保 健 師 助 産 師 看 護 師 等 実 習 指 導 者 講 習 会	2,050,000	2,050,000	0
受 取 看 護 職 員 資 質 向 上 実 務 受 託 収 益	820,000	820,000	0
受 取 看 護 師 等 就 労 促 進 事 業 受 託 収 益	22,924,000	22,024,000	900,000
受 取 訪 問 看 護 推 進 事 業 受 託 収 益	510,000	510,000	0
受 取 看 護 師 等 免 許 保 持 者 届 出 事 業 受 託 収 益	1,610,000	1,610,000	0
受 取 看 護 職 員 就 業 支 援 事 業 受 託 収 益	3,207,000	3,207,000	0
受 取 訪 問 看 護 総 合 支 援 セ ン タ ー 事 業 受 託 収 益	21,300,000	24,300,000	△ 3,000,000
受 取 看 護 普 及 推 進 事 業 受 託 収 益	785,000	785,000	0
受 取 看 護 職 員 就 労 環 境 改 善 事 業 受 託 収 益	1,200,000	1,200,000	0
受 取 専 門 職 に よ る 保 健 指 導 等 支 援 事 業	318,058	545,077	△ 227,019
受 取 精 神 科 訪 問 看 護 師 育 成 支 援 事 業 受 託 収 益	300,000	300,000	0
受 取 看 護 職 員 認 知 症 対 応 力 向 上 研 修 事 業 受 託	917,000	917,000	0
受 取 新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス 感 染 症 の 軽 症 者 等 に 係 る 宿	0	28,442,700	△ 28,442,700
受 取 医 療 的 ケ ア 児 等 訪 問 看 護 体 制 整 備 事 業 受 託	713,423	663,750	49,673
受 取 日 看 協 受 託 収 益	11,422,460	25,935,809	△ 14,513,349
受 取 会 員 登 録 事 務 受 託 費 収 益	2,067,660	2,077,670	△ 10,010
受 取 法 人 会 員 助 成 金	8,228,740	8,234,130	△ 5,390
受 取 日 本 看 護 協 会 主 催 事 業 収 益	726,060	0	726,060
受 取 日 看 協 受 託 収 益	400,000	15,624,009	△ 15,224,009
受 取 富 山 市 受 託 収 益	0	11,619,696	△ 11,619,696
受 取 富 山 市 新 型 コ ロ ナ ウ ク チ ン 集 団 予 防 接 種 業 務 受	0	11,619,696	△ 11,619,696
受 取 後 期 高 齢 者 医 療 広 域 連 合 受 託 収 益	500,000	600,000	△ 100,000
受 取 高 齢 者 保 健 事 業 推 進 基 盤 整 備 事 業	500,000	600,000	△ 100,000
受 取 負 担 金	0	170,709	△ 170,709

科 目	当年度	前年度	增 減
受 取 負 担 金	0	170,709	△ 170,709
受 取 助 成 金	1,788,000	800,387	987,613
受 取 寄 付 金	800,000	500,000	300,000
受 取 寄 付 金	800,000	500,000	300,000
受 取 補 助 金 振 替 額	6,336,712	6,336,712	0
雜 収 益	3,449,303	3,170,286	279,017
受 取 利 息	460	460	0
受 取 利 息	460	460	0
雜 収 益	3,448,843	3,169,826	279,017
經 常 収 益 計	269,308,977	329,509,807	△ 60,200,830
(2) 經常費用			
事 業 費	258,997,734	298,205,203	△ 39,207,469
役 員 報 酬	7,832,880	7,758,732	74,148
給 料 手 当	90,475,818	89,855,223	620,595
臨 時 雇 賃 金	23,911,340	57,180,171	△ 33,268,831
役 員 退 職 慰 勞 引 当 金 繰 入 額	504,000	504,000	0
退 職 給 付 引 当 金 繰 入 額	5,392,546	5,623,637	△ 231,091
福 利 厚 生 費	21,593,030	22,088,092	△ 495,062
役 員 賞 与 引 当 金 繰 入 額	1,108,800	1,108,800	0
賞 与 引 当 金 繰 入 額	7,265,427	7,222,649	42,778
旅 費 交 通 費	3,614,428	3,695,610	△ 81,182
通 信 運 搬 費	6,250,245	6,730,519	△ 480,274
減 価 償 却 費	15,843,203	15,930,281	△ 87,078
建 物 減 価 償 却 費	8,543,219	8,543,223	△ 4
構 築 物 減 価 償 却 費	2,628,098	2,492,986	135,112
工 具 器 具 備 品 減 価 償 却 費	2,463,020	2,424,926	38,094
ソ フ ト ウ ェ ア 減 価 償 却 費	2,208,866	2,469,146	△ 260,280
消 耗 什 器 備 品 費	579,260	173,800	405,460
消 耗 品 費	2,870,531	3,752,097	△ 881,566
修 繕 費	806,881	917,800	△ 110,919
印 刷 製 本 費	6,487,633	6,705,060	△ 217,427
新 聞 図 書 費	768,025	825,061	△ 57,036
燃 料 費	748,583	792,269	△ 43,686
光 熱 水 料 費	5,345,921	4,883,967	461,954
賃 借 料 費	12,081,701	12,162,063	△ 80,362
保 險 料 費	1,599,947	2,012,452	△ 412,505
諸 謝 報 費	12,890,841	13,117,684	△ 226,843
廣 告 費	4,153,457	3,601,631	551,826
租 稅 公 課	8,535,500	11,355,120	△ 2,819,620
支 払 負 担 金	2,341,734	1,955,442	386,292
支 払 助 成 金	7,393,028	8,827,190	△ 1,434,162
支 払 寄 付 金	150,000	200,000	△ 50,000
委 託 費	7,186,659	7,941,997	△ 755,338
雜 費	1,266,316	1,283,856	△ 17,540
管 理 費	25,784,799	26,673,987	△ 889,188
役 員 報 酬	5,701,920	5,652,488	49,432
給 料 手 当	4,761,885	4,729,222	32,663
役 員 退 職 慰 勞 引 当 金 繰 入 額	336,000	336,000	0
退 職 給 付 引 当 金 繰 入 額	176,570	138,895	37,675

科 目	当年度	前年度	増 減
福 利 厚 生 費	57,010	23,880	33,130
役 員 賞 与 引 当 金 繰 入 額	123,200	123,200	0
賞 与 引 当 金 繰 入 額	270,893	318,530	△ 47,637
旅 費 交 通 費	425,020	456,530	△ 31,510
会 議 費	212,220	231,790	△ 19,570
通 信 運 搬 費	174,405	166,792	7,613
減 価 償 却 費	3,037,885	2,994,583	43,302
建 物 減 価 償 却 費	2,135,805	2,135,805	0
構 築 物 減 価 償 却 費	286,325	252,546	33,779
工 具 器 具 備 品 減 価 償 却 費	615,755	606,232	9,523
消 耗 品 費	126,171	141,183	△ 15,012
修 繕 費	234,720	229,450	5,270
印 刷 製 本 費	1,898,059	1,793,648	104,411
新 聞 図 書 費	108,120	109,520	△ 1,400
燃 料 費	27,227	30,731	△ 3,504
光 熱 水 料 費	1,336,480	1,220,991	115,489
賃 借 料 費	3,495,460	3,428,276	67,184
保 険 料 費	60,540	72,130	△ 11,590
諸 謝 金	74,000	38,000	36,000
租 税 公 課	1,623,300	2,839,880	△ 1,216,580
支 払 負 担 金	349,222	327,957	21,265
支 払 寄 付 金	8,000	10,000	△ 2,000
委 託 費	472,720	532,187	△ 59,467
雜 費	693,772	728,124	△ 34,352
經常費用計	284,782,533	324,879,190	△ 40,096,657
評価損益等調整前当期經常増減額	△ 15,473,556	4,630,617	△ 20,104,173
評価損益等計	0	0	0
当期經常増減額	△ 15,473,556	4,630,617	△ 20,104,173
2. 經常外増減の部			
(1) 經常外収益			
經常外収益計	0	0	0
(2) 經常外費用			
經常外費用計	0	0	0
当期經常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 15,473,556	4,630,617	△ 20,104,173
一般正味財産期首残高	753,753,689	749,123,072	4,630,617
一般正味財産期末残高	738,280,133	753,753,689	△ 15,473,556
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	△ 6,336,712	△ 6,336,712	0
一般正味財産への振替額	△ 6,336,712	△ 6,336,712	0
地方公共団体補助金	△ 6,336,712	△ 6,336,712	0
当期指定正味財産増減額	△ 6,336,712	△ 6,336,712	0
指定正味財産期首残高	229,278,688	235,615,400	△ 6,336,712
指定正味財産期末残高	222,941,976	229,278,688	△ 6,336,712
Ⅲ 正味財産期末残高	961,222,109	983,032,377	△ 21,810,268

予算対比正味財産増減計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受 取 会 費	55,000,000	53,766,000	1,234,000
受 取 会 費	55,000,000	53,766,000	1,234,000
受 取 会 館 運 営 基 金	18,000,000	16,800,000	1,200,000
受 取 会 館 運 営 基 金	18,000,000	16,800,000	1,200,000
事 業 収 益	129,667,000	113,069,021	16,597,979
受 講 料 収 益	26,769,000	26,755,933	13,067
学 会 事 業 収 益	1,745,000	1,908,000	△ 163,000
訪 問 看 護 事 業 収 益	69,096,000	49,951,949	19,144,051
居 宅 介 護 支 援 費 収 益	6,466,000	6,518,428	△ 52,428
地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー 受 託 収 益	18,740,000	19,453,460	△ 713,460
介 護 予 防 支 援 費 収 益	5,676,000	7,231,731	△ 1,555,731
認 定 調 査 収 益	165,000	316,800	△ 151,800
そ の 他 の 事 業 収 益	1,010,000	932,720	77,280
受 取 補 助 金 等	75,258,000	73,299,941	1,958,059
受 取 県 補 助 金 等	63,954,000	61,377,481	2,576,519
受 取 看 護 職 員 研 修 補 助 金	2,268,000	2,268,000	0
受 取 看 護 職 員 定 着 支 援 事 業 補 助 金	420,000	420,000	0
受 取 新 人 看 護 職 員 指 導 者 研 修 事 業 受 託 収 益	2,035,000	2,035,000	0
受 取 保 健 師 助 産 師 看 護 師 等 実 習 指 導 者 講 習 会	2,050,000	2,050,000	0
受 取 看 護 職 員 資 質 向 上 実 務 受 託 収 益	820,000	820,000	0
受 取 看 護 師 等 就 労 促 進 事 業 受 託 収 益	22,924,000	22,924,000	0
受 取 訪 問 看 護 推 進 事 業 受 託 収 益	510,000	510,000	0
受 取 看 護 師 等 免 許 保 持 者 届 出 事 業 受 託 収 益	0	1,610,000	△ 1,610,000
受 取 看 護 職 員 就 業 支 援 事 業 受 託 収 益	3,207,000	3,207,000	0
受 取 訪 問 看 護 総 合 支 援 セ ン タ ー 事 業 受 託 収 益	21,300,000	21,300,000	0
受 取 看 護 師 等 免 許 保 持 者 届 出 事 業 受 託 収 益	1,610,000	0	1,610,000
受 取 看 護 普 及 推 進 事 業 受 託 収 益	785,000	785,000	0
受 取 看 護 職 員 就 労 環 境 改 善 事 業 受 託 収 益	1,200,000	1,200,000	0
受 取 専 門 職 に よ る 保 健 指 導 等 支 援 事 業	1,408,000	318,058	1,089,942
受 取 精 神 科 訪 問 看 護 師 有 成 支 援 事 業 受 託 収 益	300,000	300,000	0
受 取 看 護 職 員 認 知 症 対 応 力 向 上 研 修 事 業 受 託	917,000	917,000	0
受 取 医 療 的 ケ ア 児 等 訪 問 看 護 体 制 整 備 事 業 受 託	2,200,000	713,423	1,486,577
受 取 日 看 協 受 託 収 益	11,304,000	11,422,460	△ 118,460
受 取 会 員 登 録 事 務 受 託 費 収 益	2,076,000	2,067,660	8,340
受 取 法 人 会 員 助 成 金	8,228,000	8,228,740	△ 740
受 取 日 本 看 護 協 会 主 催 事 業 収 益	0	726,060	△ 726,060
受 取 日 看 協 受 託 収 益	1,000,000	400,000	600,000
受 取 後 期 高 齢 者 医 療 広 域 連 合 受 託 収 益	0	500,000	△ 500,000
受 取 高 齢 者 保 健 事 業 推 進 基 盤 整 備 事 業	0	500,000	△ 500,000
受 取 助 成 金	0	1,788,000	△ 1,788,000
受 取 寄 付 金	0	800,000	△ 800,000
受 取 寄 付 金	0	800,000	△ 800,000
受 取 補 助 金 振 替 額	6,627,000	6,336,712	290,288
雑 収 益	2,551,000	3,449,303	△ 898,303

科 目	予算額	決算額	差 異
受 取 利 息	0	460	△ 460
受 取 利 息 益	0	460	△ 460
雜 収	2,551,000	3,448,843	△ 897,843
經常収益計	287,103,000	269,308,977	17,794,023
(2) 經常費用			
事 業 費	255,049,000	258,997,734	△ 3,948,734
役 員 報 酬	7,920,000	7,832,880	87,120
給 料 手 当	93,111,000	90,475,818	2,635,182
臨 時 雇 賃 金	21,506,000	23,911,340	△ 2,405,340
役 員 退 職 慰 勞 引 当 金 繰 入 額	504,000	504,000	0
退 職 給 付 引 当 金 繰 入 額	3,158,000	5,392,546	△ 2,234,546
福 利 厚 生 費	15,644,000	21,593,030	△ 5,949,030
役 員 賞 与 引 当 金 繰 入 額	739,000	1,108,800	△ 369,800
賞 与 引 当 金 繰 入 額	7,701,000	7,265,427	435,573
旅 費 交 通 費	4,315,000	3,614,428	700,572
通 信 運 搬 費	7,526,000	6,250,245	1,275,755
減 価 償 却 費	14,966,000	15,843,203	△ 877,203
建 物 減 価 償 却 費	8,543,000	8,543,219	△ 219
構 築 物 減 価 償 却 費	2,332,000	2,628,098	△ 296,098
工 具 器 具 備 品 減 価 償 却 費	2,324,000	2,463,020	△ 139,020
ソ フ ト ウ ェ ア 減 価 償 却 費	1,767,000	2,208,866	△ 441,866
消 耗 什 器 備 品 費	0	579,260	△ 579,260
消 耗 品 費	4,100,000	2,870,531	1,229,469
修 繕 費	940,000	806,881	133,119
印 刷 製 本 費	4,853,000	6,487,633	△ 1,634,633
新 聞 函 書 費	834,000	768,025	65,975
燃 料 水 料 費	1,198,000	748,583	449,417
光 熱 水 料 費	3,910,000	5,345,921	△ 1,435,921
賃 借 料 費	12,403,000	12,081,701	321,299
保 險 料 費	2,115,000	1,599,947	515,053
諸 謝 金 費	13,829,000	12,890,841	938,159
広 報 費	4,033,000	4,153,457	△ 120,457
租 税 公 課	9,000,000	8,535,500	464,500
支 払 負 担 金	1,160,000	2,341,734	△ 1,181,734
支 払 助 成 金	10,185,000	7,393,028	2,791,972
支 払 寄 付 金	0	150,000	△ 150,000
委 託 費	7,617,000	7,186,659	430,341
雜 費	1,782,000	1,266,316	515,684
管 理 費	31,721,000	25,784,799	5,936,201
役 員 報 酬	5,760,000	5,701,920	58,080
給 料 手 当	5,334,000	4,761,885	572,115
臨 時 雇 賃 金	19,000	0	19,000
役 員 退 職 慰 勞 引 当 金 繰 入 額	336,000	336,000	0
退 職 給 付 引 当 金 繰 入 額	79,000	176,570	△ 97,570
福 利 厚 生 費	1,395,000	57,010	1,337,990
役 員 賞 与 引 当 金 繰 入 額	493,000	123,200	369,800
賞 与 引 当 金 繰 入 額	405,000	270,893	134,107
旅 費 交 通 費	1,160,000	425,020	734,980
会 議 費	239,000	212,220	26,780
通 信 運 搬 費	161,000	174,405	△ 13,405

科 目	予算額	決算額	差 異
減 価 償 却 費	3,742,000	3,037,885	704,115
建 物 減 価 償 却 費	2,136,000	2,135,805	195
構 築 物 減 価 償 却 費	583,000	286,325	296,675
工 具 器 具 備 品 減 価 償 却 費	581,000	615,755	△ 34,755
ソ フ ト ウ ェ ア 減 価 償 却 費	442,000	0	442,000
消 耗 品 費	214,000	126,171	87,829
修 繕 費	125,000	234,720	△ 109,720
印 刷 製 本 費	1,848,000	1,898,059	△ 50,059
新 聞 図 書 費	81,000	108,120	△ 27,120
燃 料 費	27,000	27,227	△ 227
光 熱 水 料 費	1,473,000	1,336,480	136,520
賃 借 料 費	3,528,000	3,495,460	32,540
保 険 料 費	54,000	60,540	△ 6,540
諸 謝 金	53,000	74,000	△ 21,000
租 税 公 課 金	2,796,000	1,623,300	1,172,700
支 払 負 担 金	340,000	349,222	△ 9,222
支 払 寄 付 金	10,000	8,000	2,000
委 託 費	1,434,000	472,720	961,280
雑 費	615,000	693,772	△ 78,772
經常費用計	286,770,000	284,782,533	1,987,467
評価損益等調整前当期經常増減額	333,000	△ 15,473,556	15,806,556
評価損益等計	0	0	0
当期經常増減額	333,000	△ 15,473,556	15,806,556
2. 經常外増減の部			
(1) 經常外収益			
經常外収益計	0	0	0
(2) 經常外費用			
經常外費用計	0	0	0
当期經常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	333,000	△ 15,473,556	15,806,556
一般正味財産期首残高	740,898,000	753,753,689	△ 12,855,689
一般正味財産期末残高	741,231,000	738,280,133	2,950,867
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	△ 6,627,000	△ 6,336,712	△ 290,288
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	△ 6,627,000	△ 6,336,712	△ 290,288
地 方 公 共 団 体 補 助 金	△ 6,627,000	△ 6,336,712	△ 290,288
当期指定正味財産増減額	△ 6,627,000	△ 6,336,712	△ 290,288
指定正味財産期首残高	234,454,000	229,278,688	5,175,312
指定正味財産期末残高	227,827,000	222,941,976	4,885,024
Ⅲ 正味財産期末残高	969,058,000	961,222,109	7,835,891

正味財産増減計算書内訳表

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公衆衛生の向上を目的とする事業会計	法人会計	内部取引等 消去	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受 取 会 費	26,883,000	26,883,000		53,766,000
受 取 会 費	26,883,000	26,883,000		53,766,000
受 取 会 館 運 営 基 金	8,400,000	8,400,000		16,800,000
受 取 会 館 運 営 基 金	8,400,000	8,400,000		16,800,000
事 業 収 益	113,069,021	0		113,069,021
受 講 料 収 益	26,755,933	0		26,755,933
学 会 事 業 収 益	1,908,000	0		1,908,000
訪 問 看 護 事 業 収 益	49,951,949	0		49,951,949
居 宅 介 護 支 援 費 収 益	6,518,428	0		6,518,428
地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー 受 託 収 益	19,453,460	0		19,453,460
介 護 予 防 支 援 費 収 益	7,231,731	0		7,231,731
認 定 調 査 収 益	316,800	0		316,800
そ の 他 の 事 業 収 益	932,720	0		932,720
受 取 補 助 金 等	72,266,111	1,033,830		73,299,941
受 取 県 補 助 金 等	61,377,481	0		61,377,481
受 取 日 看 協 受 託 収 益	10,388,630	1,033,830		11,422,460
受 取 後 期 高 齢 者 医 療 広 域 連 合 受 託 収 益	500,000	0		500,000
受 取 助 成 金	1,788,000	0		1,788,000
受 取 寄 付 金	800,000	0		800,000
受 取 寄 付 金	800,000	0		800,000
受 取 補 助 金 振 替	6,336,712	0		6,336,712
雑 収 益	2,259,213	1,190,090		3,449,303
受 取 利 息	0	460		460
受 取 利 息	0	460		460
雑 収 益	2,259,213	1,189,630		3,448,843
経常収益計	231,802,057	37,506,920		269,308,977
(2) 経常費用				
事 業 費 用	258,997,734	0		258,997,734
役 員 報 酬	7,832,880	0		7,832,880
給 料 手 当	90,475,818	0		90,475,818
臨 時 雇 賃 金	23,911,340	0		23,911,340
役 員 退 職 慰 労 引 当 金 繰 入 額	504,000	0		504,000
退 職 給 付 引 当 金 繰 入 額	5,392,546	0		5,392,546
福 利 厚 生 費	21,593,030	0		21,593,030
役 員 賞 与 引 当 金 繰 入 額	1,108,800	0		1,108,800
賞 与 引 当 金 繰 入 額	7,265,427	0		7,265,427
旅 費 交 通 費	3,614,428	0		3,614,428
通 信 運 搬 費	6,250,245	0		6,250,245
減 価 償 却 費	15,843,203	0		15,843,203
消 耗 什 器 備 品 費	579,260	0		579,260
消 耗 什 器 備 品 費	2,870,531	0		2,870,531
修 繕 費	806,881	0		806,881
印 刷 繕 製 本 書 費	6,487,633	0		6,487,633
新 聞 図 書 費	768,025	0		768,025
燃 料 水 料 費	748,583	0		748,583
光 熱 水 料 費	5,345,921	0		5,345,921
賃 借 料	12,081,701	0		12,081,701
保 険 料	1,599,947	0		1,599,947

科 目	公衆衛生の向上を目的とする事業会計	法人会計	内部取引等 消去	合計
諸謝金	12,890,841	0		12,890,841
広報費	4,153,457	0		4,153,457
租税公課	8,535,500	0		8,535,500
支払負担金	2,341,734	0		2,341,734
支払助成金	7,393,028	0		7,393,028
支払寄付金	150,000	0		150,000
委雑費	7,186,659	0		7,186,659
管 理 費	1,266,316	0		1,266,316
役員報酬	0	25,784,799		25,784,799
給料手当	0	5,701,920		5,701,920
役員退職慰勞引当金繰入額	0	4,761,885		4,761,885
退職給付引当金繰入額	0	336,000		336,000
福利厚生費	0	176,570		176,570
役員賞与引当金繰入額	0	57,010		57,010
賞与引当金繰入額	0	123,200		123,200
旅費交通費	0	270,893		270,893
会議費	0	425,020		425,020
通信運搬費	0	212,220		212,220
減価償却費	0	174,405		174,405
消耗品費	0	3,037,885		3,037,885
印刷製本費	0	126,171		126,171
新聞図書費	0	234,720		234,720
燃熱水料	0	1,898,059		1,898,059
光熱水料	0	108,120		108,120
賃借料	0	27,227		27,227
保険謝金	0	1,336,480		1,336,480
諸租税公課	0	3,495,460		3,495,460
支払負担金	0	60,540		60,540
支払寄付金	0	74,000		74,000
委雑費	0	1,623,300		1,623,300
	0	349,222		349,222
	0	8,000		8,000
	0	472,720		472,720
	0	693,772		693,772
経常費用計	258,997,734	25,784,799		284,782,533
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 27,195,677	11,722,121		△ 15,473,556
評価損益等計	0	0		0
当期経常増減額	△ 27,195,677	11,722,121		△ 15,473,556
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0		0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0		0
当期経常外増減額	0	0		0
当期一般正味財産増減額	△ 27,195,677	11,722,121		△ 15,473,556
一般正味財産期首残高	436,578,667	317,175,022		753,753,689
一般正味財産期末残高	409,382,990	328,897,143		738,280,133
II 指定正味財産増減の部				
一般正味財産への振替額	△ 6,336,712	0		△ 6,336,712
一般正味財産への振替額	△ 6,336,712	0		△ 6,336,712
地方公共団体補助金	△ 6,336,712	0		△ 6,336,712
当期指定正味財産増減額	△ 6,336,712	0		△ 6,336,712
指定正味財産期首残高	229,278,688	0		229,278,688
指定正味財産期末残高	222,941,976	0		222,941,976
III 正味財産期末残高	632,324,966	328,897,143		961,222,109

正味財産増減計算書内訳表

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公衆衛生の向上を目的とする事業会計							公益目的共 通事業	合計
	教育等看護 の質の向上 に関する事 業	看護研究学 会の開催等 学術研究の 振興に関する 事業	看護業務の 開発、看護 制度の改善 等に関する 事業	看護職の労 働環境等の 改善及び福 祉の向上に 関する事業	訪問看護の 実施等地域 の保険医療 福祉に関する 事業	その他本会 の目的を達 成するため に必要な事 業			
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
受取会費	0	0	0	0	0	0	26,883,000	26,883,000	
受取会費	0	0	0	0	0	0	26,883,000	26,883,000	
受取会館運営基金	0	0	0	0	0	0	8,400,000	8,400,000	
受取会館運営基金	0	0	0	0	0	0	8,400,000	8,400,000	
事業収益	25,261,224	1,908,000	1,508,209	649,000	83,709,588	0	33,000	113,069,021	
受講料収益	25,261,224	0	1,494,709	0	0	0	0	26,755,933	
学会事業収益	0	1,908,000	0	0	0	0	0	1,908,000	
訪問看護事業収益	0	0	0	0	49,951,949	0	0	49,951,949	
居宅介護支援費収益	0	0	0	0	6,518,428	0	0	6,518,428	
地域包括支援センター受託収益	0	0	0	0	19,453,460	0	0	19,453,460	
介護予防支援費収益	0	0	0	0	7,231,731	0	0	7,231,731	
認定調査収益	0	0	0	0	316,800	0	0	316,800	
その他の事業収益	0	0	13,500	649,000	237,220	0	33,000	932,720	
受取補助金等	9,116,060	0	0	30,286,000	22,523,423	818,058	9,522,570	72,266,111	
受取県補助金等	8,390,000	0	0	30,146,000	22,523,423	318,058	0	61,377,481	
受取日看協受託収益	726,060	0	0	140,000	0	0	9,522,570	10,388,630	
受取後期高齢者医療広域連合受託収益	0	0	0	0	0	500,000	0	500,000	
受取助成金	0	0	0	0	1,788,000	0	0	1,788,000	
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	800,000	800,000	
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	800,000	800,000	
受取補助金振替	0	0	0	0	0	0	6,336,712	6,336,712	
雑収益	316,000	0	0	0	658,433	0	1,284,780	2,259,213	
雑収益	316,000	0	0	0	658,433	0	1,284,780	2,259,213	
経常収益計	34,693,284	1,908,000	1,508,209	30,935,000	108,679,444	818,058	53,260,062	231,802,057	
(2) 経常費用									
事業費	30,877,518	1,357,374	607,436	24,978,734	123,722,192	6,122,198	71,332,282	258,997,734	
役員報酬	0	0	0	0	0	0	7,832,880	7,832,880	
給料手当	0	0	0	7,821,714	63,611,060	0	19,043,044	90,475,818	
臨時雇賃金	0	0	0	6,439,138	13,246,787	44,279	4,181,136	23,911,340	
役員退職慰労引当金繰入額	0	0	0	0	0	0	504,000	504,000	
退職給付引当金繰入額	0	0	0	0	3,803,420	0	1,589,126	5,392,546	
福利厚生費	0	0	0	1,850,222	12,899,143	0	6,843,665	21,593,030	
役員賞与引当金繰入額	0	0	0	0	0	0	1,108,800	1,108,800	
賞与引当金繰入額	0	0	0	0	4,827,387	0	2,438,040	7,265,427	
旅費交通費	1,858,974	5,585	56,035	77,399	188,959	1,379,260	48,216	3,614,428	
通信運搬費	956,263	24,325	1,612	690,131	3,357,865	969,399	250,650	6,250,245	
減価償却費	0	0	0	0	0	0	15,843,203	15,843,203	
消耗什器備品費	0	0	0	0	185,900	0	393,360	579,260	
消耗品費	1,480,325	12,980	0	132,700	552,307	370,479	321,740	2,870,531	
修繕費	501,974	0	0	60,918	215,911	2,409	25,669	806,881	
印刷製本費	2,150,492	801,064	0	1,823,921	794,081	276,428	641,647	6,487,633	
新聞図書費	525,915	0	18,320	137,276	36,784	49,730	0	768,025	
燃料費	0	0	0	0	748,583	0	0	748,583	
光熱水料費	3,180,722	0	0	232,653	461,796	0	1,470,750	5,345,921	
賃貸借料	7,555,032	0	0	968,480	5,867,314	96,000	△ 2,405,125	12,081,701	
諸謝料	11,410	0	0	1,317,177	0	0	271,360	1,599,947	
諸謝金	8,551,281	80,000	426,500	276,500	1,935,900	1,569,660	51,000	12,890,841	
広報費	0	0	0	2,905,864	81,962	1,165,631	0	4,153,457	
租税公課	3,400	0	0	24,000	200	0	8,507,900	8,535,500	
支払負担金	409,969	0	73,359	484,000	1,185,784	0	188,622	2,341,734	
支払助成金	0	0	0	0	7,393,028	0	0	7,393,028	
支払寄付金	0	0	0	0	0	0	150,000	150,000	
委託費	3,128,359	385,000	0	1,018,336	698,923	0	1,956,041	7,186,659	
雑費	563,402	48,420	31,610	35,482	311,921	198,923	76,558	1,266,316	
経常費用計	30,877,518	1,357,374	607,436	24,978,734	123,722,192	6,122,198	71,332,282	258,997,734	
評価損益等調整前当期経常増減額	3,815,766	550,626	900,773	5,956,266	△ 15,042,748	△ 5,304,140	△ 18,072,220	△ 27,195,677	
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常増減額	3,815,766	550,626	900,773	5,956,266	△ 15,042,748	△ 5,304,140	△ 18,072,220	△ 27,195,677	

科 目	公衆衛生の向上を目的とする事業会計							合計
	教育等看護の質の向上に関する事業	看護研究会の開催等学術研究の振興に関する事業	看護業務の開発、看護制度の改善等に関する事業	看護職の労働環境等の改善及び福祉の向上に関する事業	訪問看護の実施等地域の保険医療福祉に関する事業	その他本会の目的を達成するために必要な事業	公益目的共通事業	
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	3,815,766	550,626	900,773	5,956,266	△ 15,042,748	△ 5,304,140	△ 18,072,220	△ 27,195,677
一般正味財産期首残高	57,911,659	6,529,805	6,313,433	124,354,855	189,585,233	△ 29,884,097	81,767,779	436,578,667
一般正味財産期末残高	61,727,425	7,080,431	7,214,206	130,311,121	174,542,485	△ 35,188,237	63,695,559	409,382,990
II 指定正味財産増減の部								
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	△ 6,336,712	△ 6,336,712
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	△ 6,336,712	△ 6,336,712
地方公共団体補助金	0	0	0	0	0	0	△ 6,336,712	△ 6,336,712
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	△ 6,336,712	△ 6,336,712
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	129,215	0	229,149,473	229,278,688
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	129,215	0	222,812,761	222,941,976
III 正味財産期末残高	61,727,425	7,080,431	7,214,206	130,311,121	174,671,700	△ 35,188,237	286,508,320	632,324,966

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

「公益法人会計基準」(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会)を採用している。

(1) 重要な会計方針の変更について

変更なし。

(2) 有価証券の評価基準及び評価方法

該当なし。

(3) 固定資産の減価償却の方法

①建物……………定額法によっている。

②構築物・什器備品……………定額法によっている。

(4) 引当金の計上基準

①賞与引当金……………職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

②役員賞与引当金……………役員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

③退職給付引当金……………職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当年度末において発生していると認められる額を計上している。

④役員退職慰労引当金……………役員退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理について

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2 基本財産、特定資産及びその残高

基本財産、特定資産及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	0	0	0	0
小 計	0	0	0	0
特定資産				
役員退職慰労引当資産	1,470,000	0	280,000	1,190,000
退職給付引当資産	32,417,526	0	2,507,434	29,910,092
減価償却引当資産	180,209,836	1,888,108	0	182,097,944
会館建設引当資産	322,826,050	16,529,000	0	339,355,050
建 物	323,746,824	0	10,679,024	313,067,800
構 築 物	6,960,218	0	1,431,623	5,528,595
什 器 備 品	1	0	0	1
土 地	74,574,139	0	0	74,574,139
小 計	942,204,594	18,417,108	14,898,081	945,723,621
合 計	942,204,594	18,417,108	14,898,081	945,723,621

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産	0	0	0	0
小 計	0	0	0	0
特 定 資 産				
役員退職慰労引当資産	1,190,000			1,190,000
退職給付引当資産	29,910,092			29,910,092
減価償却引当資産	182,097,944		182,097,944	
会館建設引当資産	339,355,050		339,355,050	
建 築 物	313,067,800	148,367,836	164,699,964	
構 築 物 品	5,528,595		5,528,595	
什 器 備 品	1	1		
土 地	74,574,139	74,574,139		
小 計	945,723,621	222,941,976	691,681,553	31,100,092
合 計	945,723,621	222,941,976	691,681,553	31,100,092

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
特定資産			
建 築 物	563,685,911	250,618,111	313,067,800
構 築 物 品	47,073,459	41,544,864	5,528,595
什 器 備 品	209,160	209,159	1
その他固定資産			
構 築 物	14,828,000	4,201,266	10,626,734
什 器 備 品	27,369,585	20,592,388	6,777,197
ソ フ ト ウ ェ ア	14,404,180	9,937,309	4,466,871
電 話 加 入 権	91,575	0	91,575
合 計	667,661,870	327,103,097	340,558,773

5 保証債務等の偶発債務

該当事項なし。

6 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当事項なし。

7 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
地方公共団体補助金	富山県他	229,278,688	0	6,336,712	222,941,976	指定正味財産
看護職員研修補助金	富山県	0	2,268,000	2,268,000	0	
看護職員定着支援事業補助金	富山県	0	420,000	420,000	0	
助成金						
教育事業（研修）助成金	日本看護協会	0	8,128,740	8,128,740	0	
看護の普及啓発事業助成金	日本看護協会	0	100,000	100,000	0	
合 計		229,278,688	10,916,740	17,253,452	222,941,976	

8 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	6,336,712

9 関連当事者との取引内容

該当事項なし。

10 重要な後発事象

該当事項なし。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記「2. 基本財産、特定資産の増減額及びその残高」に記載

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
役員退職慰労引当金	1,470,000	840,000	1,120,000	0	1,190,000
退職給付引当金	32,391,276	5,569,116	8,050,300	0	29,910,092
役員賞与引当金	1,232,000	1,232,000	1,232,000	0	1,232,000
賞与引当金	7,541,179	7,536,320	7,541,179	0	7,536,320

財産目録

令和6年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金	手元保管	運転資金として	326,918
	預金	普通預金	運転資金として	53,320,831
		北陸五福会費収入		51,864,140
		北陸五福支払		273,010
		北陸五福受講料収入		0
		北陸五福補助金収入		0
		北陸五福ひよどり		515,418
		北陸五福ひよどり富山		561,649
		北陸五福包括センター		106,614
	未収金		県委託費、訪問看護収入、居宅収入、包括支援センター収入他	40,852,528
	前払金			0
流動資産合計				94,500,277
(固定資産)				
特定資産				
	役員退職慰労引当資産	役員退職慰労引当預金	役員に対する退職慰労金の支払いに備えたもの	1,190,000
	北陸五福普通			(1,190,000)
	退職給付引当資産	退職給与引当預金	職員に対する退職金の支払いに備えたもの	29,910,092
	北陸五福普通			(29,910,092)
	減価償却引当資産	減価償却引当預金	資産取得資金であり、建物及び附属設備等の更新に備えたもの	182,097,944
	北陸五福普通			(159,075,916)
	北陸五福定期			(23,022,028)
	会館建設引当資産	会館建設引当預金	資産取得資金であり、建物の建替えに備えたもの	339,355,050
	北陸五福普通			(339,355,050)
	建物	富山市鶴島字川原1907-1		313,067,800
	建物		公益目的事業及び管理運営事業の用に供している。	(313,067,800)
	構築物	融雪設備、キュービクル等		
	構築物		公益目的事業及び管理運営事業の用に供している。	5,528,595
	什器備品	附属設備一式		
	什器備品		公益目的財産であり、公益目的事業の用に供している。	1
	土地	富山市鶴島字川原1907-1		
	土地		公益目的事業及び管理運営事業の用に供している。	74,574,139
その他固定資産				
	構築物	有料駐車場ゲート等	公益目的事業及び管理運営の用に供している。	10,626,734
	什器備品等	附属設備一式	公益目的事業及び管理運営の用に供している。	6,777,197
	ソフトウェア		公益目的財産であり、公益目的事業の用に供している。	4,466,871
	電話加入権		公益目的財産であり、公益目的事業の用に供している。	91,575
	敷金	有料駐車場	公益目的財産であり、公益目的事業の用に供している。	1,500,000
固定資産合計				969,185,998
資産合計				1,063,686,275
(流動負債)				
	未払金		令和6年3月分社会保険料、令和5年度HTC事業ST向け助成金等	19,950,129
	前受会費	令和6年度協会会費	公益目的事業及び管理費運営の支出に供する会費の前受け	37,783,000
	預り金	令和6年3月源泉所得税他	令和6年3月健康保険料他	2,815,925
	役員賞与引当金		役員に対する賞与の支払いに備えたもの	1,232,000
	賞与引当金		職員に対する賞与の支払いに備えたもの	7,536,320
	未払消費税	令和5年度消費税	令和5年度に支払う消費税	2,046,700
流動負債合計				71,364,074
(固定負債)				
	役員退職慰労引当金		役員に対する退職慰労金の支払いに備えたもの	1,190,000
	退職給付引当金		職員に対する退職金の支払いに備えたもの	29,910,092
固定負債合計				31,100,092
負債合計				102,464,166
正味財産				961,222,109

監査報告書

令和6年5月13日

公益社団法人富山県看護協会
会長 稲村 睦子 殿

監事 秋山 朝子 

監事 丸池 小百合 

監事 河村 拓栄 

公益社団法人富山県看護協会定款第29条に基づき、令和5年度（令和5年4月1日～令和6年3月31日）公益社団法人富山県看護協会収支決算書について、財産の管理状況と業務執行状況の監査を令和6年5月13日に行った結果、財産管理並びに業務の執行については、正確且つ適正に処理されていることを認める。

報 告 事 項

報告事項 1	令和 5 年度事業報告	35
報告事項 2	令和 6 年度重点事業及び事業計画	45
報告事項 3	令和 6 年度収支予算	53

令和 5 年度 事業報告

○定款第 5 条に定める次の 6 事業を実施した。

- 1 教育等看護の質の向上に関する事業
- 2 富山県看護研究学会の開催等学術研究の振興に関する事業
- 3 看護業務の開発、看護制度の改善等に関する事業
- 4 看護職の労働環境等の改善及び福祉の向上による県民の健康及び福祉の増進に関する事業
- 5 訪問看護の実施等地域の保健医療福祉の向上に関する事業
- 6 その他本会の目的を達成するために必要な事業

1 教育等看護の質の向上に関する事業（公益目的事業）

・下線は新規等事業

項目	実施状況	実績
1-1 継続教育に関する事業 1 継続教育の企画・実施・評価	(1) 令和 5 年度教育計画に基づいた研修を実施 ア 84 研修を実施 イ WEBアンケートを導入し、研修後に実施し評価 ウ 広報：「研修計画冊子」、「看護とやま」、「ホームページ」等 (2) 委員会担当研修会等 ア 保健師交流会 令和 5 年 11 月 25 日(土) 「多様な場で働く保健師活動～効果的な保健指導について～」 イ 保健師・助産師職能委員会合同研修 令和 5 年 8 月 28 日(月) 「地域における子育て支援」を考える ウ 准看護師ステップアップ研修 令和 5 年 9 月 2 日(土) エ 地域包括ケアシステムの推進に向けた看看連携の取り組み 2 令和 5 年 12 月 15 日(金) オ 介護・福祉・在宅領域の施設等の研修 令和 5 年 11 月 15 日(水) ～訪問看護における特定行為の実践を学ぶ～ カ 看護管理者看護倫理研修 I・II・III (3 回) 令和 5 年 9 月 9 日(金)、10 月 21 日(金)、令和 6 年 2 月 14 日(水) キ 医療安全管理者のためのセーフティマネジメント交流 令和 5 年 8 月 29 日(火) ク 認定看護師交流会 令和 5 年 12 月 9 日(土) (3) 日本看護協会と連携した研修 (オンデマンド、DVD、集合演習) ア 認知症高齢者の看護実践に必要な知識 (2 日間) イ 小児在宅移行支援指導者研修会 (2 日間) ウ 医療安全管理者養成研修 エ 災害支援ナース (災害・新興感染症対応) 養成研修 オ 外来における在宅療養支援能力向上のための研修 (4) 糖尿病重症化予防 (フットケア) 研修 (3 日間) (5) 看護職員認知症対応力向上研修会 (3 日間) (6) 摂食・嚥下障害看護認定看護師フォローアップ研修 2 認定看護管理者の育成 (1) 認定看護管理者教育 (ファーストレベル課程) 111 時間	総受講者 3,905 人 (資料参照) 保健師職能委員会 参加者 24 人 保健師・助産師職能委員会 参加者 35 人 看護師職能委員会 I 参加者 7 人 看護師職能委員会 I 参加者 37 人 看護師職能委員会 II 参加者 24 人 看護倫理委員会 参加者 115 人 医療安全委員会 参加者 24 人 認定看護師 参加者 81 人 修了者 85 人 修了者 5 人 修了者 21 人 修了者 49 人 修了者 6 人 修了者 22 人 修了者 71 人 参加者 42 人 修了者 53 人

項目	実施状況	実績
(2) 保健師職能委員会	(2) 保健師職能委員会 (開催回数6回(交流会2回含まず)) ア 保健師・助産師交流会 令和5年8月28日(月) テーマ 母子支援の課題と今後の対応 イ 保健師交流会 令和5年11月25日(土) テーマ 多様な場で働く保健師活動 ～効果的な保健指導～ ウ 統括保健師に関する調査 エ 日本看護協会保健師職能委員会への出席(別記)	参加者 35名 参加者 25名 3回
(3) 助産師職能委員会	(3) 助産師職能委員会(開催回数7回(研修会3回含まず)) ア 研修会の開催 (ア) プレコンセプションケア(女性の健康支援) 令和5年7月24日(月) (イ) ペリネイタル・ロス(周産期の死別) 令和5年11月4日(土) (ウ) 周産期に合併しやすい内分泌疾患の基礎知識・ 糖代謝異常妊婦の看護 令和5年11月10日(金) イ 保健師・助産師交流会(再掲) テーマ 地域における子育て支援を考える ウ 出前講座「いのちの教室」フロー図作成 エ 「いのちの教室」への出講 オ 日本看護協会助産師職能委員会への出席(別記)	参加者 21名 参加者 26名 参加者 15名 4施設 3回
(4) 看護師職能委員会Ⅰ	(4) 看護師職能Ⅰ委員会(開催回数8回(研修会・ 交流会は含まず)) ア 看護師職能Ⅰ交流会 令和5年12月15日(金) テーマ 地域包括ケアシステムの推進に向けた 看看連携の取り組み2 イ 看護補助者キャンペーンウィーク事業の参画 富山大学附属病院において開催 第1回目8月17日(木) 第2回目10月6日(金) ウ 看護現場における多様で柔軟な働き方の現状把握 エ 准看護師ステップアップ研修 令和5年9月2日(土) テーマ 准看護師の質の向上と進学支援 オ 看護職員資質向上実務研修の企画・運営 カ 日本看護協会看護師職能委員会への出席(別記)	参加者 44名 参加者 4名 参加者 8名 回答15施設 参加者 7名 3回 3回
(5) 看護師職能委員会Ⅱ	(5) 看護師職能Ⅱ委員会(開催回数8回(合同委員会含む)) ア 研修会・交流会開催 看護職員資質向上実務研修の企画・運営 イ 看護師職能Ⅱ(介護・福祉・在宅領域)の研修 令和5年11月15日(水) テーマ 訪問看護における特定行為の実践を学ぶ ウ 在宅ケア事例検討会 エ 各職種の情報連携強化のための共通患者情報用紙 試案の作成 入院から施設・在宅における患者情報共有シート を作成 オ 日本看護協会看護師職能委員長会への出席(別記)	1回 参加者 14名 Zoom参加3施設 6回 3回
2 行政・関係団体等からの委員委嘱	各委員への就任	資料参照

4 看護職の労働環境等の改善及び福祉の向上に関する事業（公益目的事業）

項目	実施内容	実績
4-1 看護職員のキャリアアップに伴う環境整備		
1 医療職(三)俸給表の見直しの推進	(1) 看護職員の俸給表改正に関する調査の実施 調査対象：公的病院（24施設） (2) 日本看護協会「取り組み事例報告会」視聴 令和5年9月12日(火)	回収率100% 各施設において視聴
4-2 働きやすい労働環境づくり支援事業 富山県ナースセンター事業		
1 看護師等就労促進事業	(1) 就労相談事業 ア 無料職業紹介所の運営 イ eナースセンターの登録・管理 ウ 就業相談 エ 移動就業相談 介護職場の就職説明会 (5/24、7/26、9/26、11/21、2/28) オ 病院等訪問 カ 就職ガイダンス (ア) 県内病院就職ガイダンス 令和5年12月26日(火) オーバード・ホール 中ホール (イ) 県内病院紹介動画（ホームページに掲載中） (2) 看護職員就業支援事業 ア ハローワーク（7ヶ所）への就業支援専門員の派遣（各月1回） イ ナースセンターサテライト（新川・射水・砺波）の運営（各月1回） ウ ハローワーク（富山・高岡・魚津）との連携 エ 会議等 (ア) 連絡調整会議 令和5年12月18日(月) (イ) 医療機関へのあっせん強化（就職ガイダンス） オ 広報 就業相談ちらし作成と配布 (3) 看護師等免許保持者届出事業 ア 届出情報の登録・管理 イ 求職登録の促進 ウ 情報提供、周知活動 (4) 潜在看護職員把握調査 登録看護職員就業希望条件等の調査 令和5年8月21日(月) (5) 看護職員再就業支援研修 ア 定期研修（4回 6/6、7/4、8/1、9/9） イ 病院実習	求人登録数 6,028人 求職登録数 2,454人 有効求人倍率 2.5倍 就職者数 199人 相談件数（全体） 8,462人 相談件数（就職アドバイザー） 3,391人 相談件数 5件 訪問先 11施設 参加者 78人 参加施設 43施設 掲載施設 50施設 (公的23病院、民間27病院) 相談件数 180件 相談件数 16件 新規登録 求人数 649人 新規登録 事業所数 265事業所 新規登録 求職者数 277人 連携事業対象 求人数 700人(22人) 連携事業対象 求職者数 58人(13人) 連携事業対象 就職者数 27人(0人) ※()はナースセンター実績 年1回、参加者14人 就業支援専門員・就職アドバイザー、労働局・ハローワーク担当者等含む 連携先 わかものハローワーク 発行枚数 1,500枚 届出人数 288人 うち、eナースセンター登録希望人数 105人 うち、eナースセンター登録人数 54人 対象：eナースセンター登録者207人 受講者（延人数） 40人 受講者 0人

項目	実施内容	実績
2 富山県医療勤務環境改善支援センター病院サポート事業	ウ 技術チェック研修 エ eラーニングを活用した復職支援研修	受講者 15人 受講者 44人
	(6) 看護職員・看護大学生Uターン促進事業 富山の看護職員募集案内冊子の作成、配布、ホームページ掲載	掲載施設 52施設 発行部数 400部
	(7) 看護師等養成機関共同PR事業 看護師等養成機関紹介ガイドブックの作成、配布、ホームページ掲載	掲載看護師等学校・養成所 9校 発行部数 1,200部
	(8) 看護学生就労啓発事業 看護師等学校・養成所で出向講義	富山福祉短期大学 (8/7) 80人 富山福祉短期大学 (10/18) 66人 富山県立大学看護学部 (12/25) 120人 富山市医師会看護専門学校 (2/21) 41人 富山市立看護専門学校 (2/26) 39人
3 看護職員定着支援事業	(9) 広報活動 ア TOYAMAナースセンターニュース(看護とやま) 発行 イ 新聞(タブロイド紙) 広告	年4回(4月、7月、10月、1月) 年5回(7/7、7/10、11/20、12/10、2/26)
	(10) ナースセンター事業運営委員会 ア ナースセンター事業運営委員会 令和6年2月9日(金)	年1回、委員15人
	イ 事業実績報告の作成・配布	発行部数 250部
	(1) 個別病院支援	1年目: 富山県済生会富山病院 栗山病院 2年目: 富山市立富山まちなか病院 黒部市民病院
4 地域に必要な看護職確保事業	(2) 看護職のワーク・ライフ・バランス推進事業報告会 令和5年12月13日(水)	参加者 50人 共催 社会経済福祉委員会
	(3) 看護職のワーク・ライフ・バランス推進委員会 令和5年5月31日(水)	年1回、委員10人
	(4) 会議「医療労務管理支援事業打合せ会」への出席	出席 4回
	(1) 看護職員等からの体験談 募集・表彰 募集期間 令和4年12月13日～令和5年1月27日 表彰式 令和5年5月7日(日)	応募数 107編 表彰 最優秀賞1人、優秀賞2人、特別賞3人
4 地域に必要な看護職確保事業	(2) 看護職員定着支援事業研修会 令和5年8月10日(木)	参加者 32人 共催 社会経済福祉委員会
	(1) 新川(黒部)地区の看護師確保ワーキング 令和5年6月6日(火)、令和6年3月19日(火)	年2回、委員14人
4 地域に必要な看護職確保事業	(2) 「とやまおしごと図鑑」への掲載(看護師のお仕事紹介)	(配布先 県内すべての小学5年生)

5 訪問看護の実施等地域の保健医療福祉の向上に関する事業(公益目的事業)

項目	実施状況	実績
5-1 訪問看護支援事業 富山県訪問看護総合支援センター事業		
1 訪問看護支援強化事業	(1) 訪問看護相談窓口(コールセンター) (2) 訪問看護の普及啓発等(県内6公的病院ほか) (3) 訪問看護の機能強化 ア 訪問看護運営支援アドバイザー派遣 令和5年10月26日(木) オンライン指導、フォローアップ(3か月後)指導 イ 小児医療対応力向上技術研修会 (講義・演習・実習計3日間) 令和5年10月13日、19日、20日又は26日 (会場: 富山大学附属病院)	相談数 延634件 啓発(11回・参加者62人)、 出前講座(3回)、イベント(1回) 参加施設 4施設 参加者 延39人 (1日目16人、2日目15人、3日目8人)

項目	実施状況	実績
2 訪問看護師人材確保事業	ウ 専門性の高い看護師による地域支援 エ 事業報告会 令和5年3月16日(土)(オンライン開催) オ 富山県訪問看護ステーション連絡協議会の支援 総会(書面)、役員会(5回)、研修会(2回) カ ホームヘルパー研修会への講師派遣	実態把握、先行事例の共有など 参加者63人 事務局
	(1) 富山県新卒訪問看護師育成試行事業 ア 富山県新卒訪問看護師育成検討会の開催(2回) イ 富山県新卒訪問看護師育成ガイドラインの作成	派遣(5会場) 富山県済生会高岡病院、済生会高岡 訪問看護ステーション(新卒者2人) 委員11人 令和5年7月4日(火)、 令和6年2月8日(木) 素案の作成
3 訪問看護師人材育成事業	(2) 訪問看護インターンシップ 令和5年8月16日(水)～令和5年8月25日(金) 訪問看護ステーション6ヶ所で実施 (学生1人あたり1日) (3) 訪問看護キャリア支援セミナー 令和5年8月5日(土)、令和5年11月18日(土)	参加者 看護学生22人 (看護学校6校から参加) 2回 受講者 第1回17人 第2回18人
4 訪問看護ステーションサポート事業	(1) 「訪問看護eラーニング」を活用した訪問看護師養成講習会 (2) 訪問看護従事者等研修会 令和5年11月1日(水) (3) 訪問看護ステーション管理者育成研修会 令和5年7月8日(土)、令和6年1月27日(土)	受講者 18人(修了者15人) 受講者 19人 受講者 第1回52人 第2回27人
5 訪問看護災害時等支援体制推進事業	(1) 医療圏毎に5ステーションを指定し、研修会 や相談等に対応 朝日町、光風会、富山赤十字、南砺市、厚生連高岡 (2) 連絡会議(2回開催) 令和5年6月28日(水)、令和6年2月28日(水)	研修会11回、相談14件、 同行訪問 1件 ST訪問1件、情報交換会11回 出席者 22人
6 訪問看護・医療機関相互研修事業	(1) 災害時等の相互支援体制の構築・見直し (2) BCP策定のための支援 (1) 病院看護師出向研修事業 ア 出向元(富山労災病院) 出向先(済生会富山訪問看護ステーション) 出向期間(令和5年9月1日～11月30日:3カ月間) (2) 病院看護師の研修受入事業 ア 派遣元(富山市立富山市民病院) 研修先(訪問看護ステーションジョジョ) 研修期間(令和5年8月21日～9月1日:10日間) イ 派遣元(富山県立中央病院) 研修先(訪問看護ステーションひよどり富山) 研修期間(令和5年12月8日～12月28日:15日間)	医療圏ごとの応援体制の構築
7 訪問看護職員確保・定着のための働き方改革推進事業	(3) 訪問看護師スキルアップ研修事業 6病院で実施(黒部市民、県立中央、済生会富山、 富山赤十字、厚生連高岡、市立砺波総合)	参加者 29人
8 訪問看護推進事業	(1) 訪問看護トライアル雇用事業	助成事業所 4か所
9 医療的ケア児等訪問看護体制整備事業	(1) 在宅ケアアドバイザー派遣事業(在宅ケア事例検討会) 各圏域に分かれて6回開催 (2) 医療機関看護師の訪問看護ステーション研修	参加者 214人、アドバイザー 12人 受入れステーション5か所、 参加者 8人 参加事業所:4事業所、対象児:3人、 39回(1回30分)実施 相談件数 27件
5-2 富山県看護協会訪問看護ステーションの活動の推進	(1) 2か所の訪問看護ステーションによる訪問看護の実施 (2) 訪問看護事業所、医療機関、市町村等からの相談対応 1 訪問看護ステーションひよどりの活動 (1) 実動日数 (2) 訪問延回数 (3) 職員体制 (4) 訪問看護実習及び研修受け入れ	243日/年 月平均20.3日 2,850回/年 月平均237.5回 常勤換算5.3人

項目	実施状況	実績
5-3 地域包括ケアシステム における活動の推進	ア 学生指導	4校 10名
	イ 看護師研修	4名
	2 訪問看護ステーションひよどり富山の活動	
	(1) 実動日数	246日/年 月平均20.5日
	(2) 訪問延回数	2,342回/年 月平均195.2回
	(3) 職員体制	常勤換算4.8人
	(4) 訪問看護実習及び研修受け入れ	
	ア 学生指導	5校 21名
	イ 看護師研修	11名
	1 ひよどり富山居宅介護支援事業所の活動	
(1) ケアマネジメント	518件/年	
(2) 認定調査	25件/年	
(3) 満足度調査	対象人数40名 回答者数30名	
2 神明・五福地域包括支援センターの活動		
(1) 一般介護予防事業		
ア 実態把握	281件	
イ 介護予防地域説明会など	36回	
(2) 介護予防・生活支援サービス事業		
ア 介護予防教室	13回	
(3) 包括的支援事業		
ア 総合相談	4,140件	
イ 地域ケア会議など関係機関との連携	32回	
(4) 認知症高齢者見守り支援事業		
ア 認知症地域説明会など	12回	
(5) 指定介護予防支援事業		
ア 介護予防ケアマネジメント	1,613件	

6 その他本会の目的を達成するために必要な事業（公益目的事業）

項目	実施状況	実績
6-1 新興感染症等に関する 事業	1 新型コロナウイルス感染拡大防止のための感染 管理認定看護師派遣事業	派遣施設・人数 2カ所 2人
	2 平時における感染対策の推進	
	3 コロナ禍での看護を語る会	派遣施設・人数 10施設 10名 参加者 75名
	令和5年5月18日(木) 富山県看護研修センター	
6-2 県民の健康の増進・ 啓発に関する事業	4 訪問看護ステーション相互の災害時等の支援体制の構築	医療圏域ごとに作成
	(1) 看護の日記念事業	
	ア 第33回「看護の日」看護フェスティバル	参加者 中学生21人、保護者16人
	令和5年5月7日(日) 富山県看護研修センター	
	イ 日本看護協会PRバス運行	協力学校 黒部市立中央小学校 富山医療福祉専門学校
	令和5年5月12日(金)	
	ウ ふれあい看護体験	参加者 約1,800人 協力病院 25病院
	(2) 高校生の一日看護見学	参加者 44校 581人 協力病院 23病院
	令和5年7月3日(月)～7月14日(金)	
	(3) 看護普及推進事業（看護体験学習）	参加者 740人 実施看護師等学校・養成所 5校
2 自治体保健師の 啓発事業	(1) 自治体保健師の活動内容や魅力発信の ためのイベント開催 令和5年12月2日(土)	参加者 42人（看護学生等）

項目	実施状況	実績
6-3 支部活動の推進	(1) 各支部における看護職等連携構築の推進 ア 地域のニーズに応じた看護活動 イ 支部研修会 ウ 「まちの保健室」事業 エ 「看護の日」及び看護週間における事業 オ フレイル予防活動 (2) 支部長会	健康づくり・介護予防の啓発、在宅医療体験実習等 参加者325人 32会場 参加者約1,500人 小学校・高等学校等での出前講座 受講者582人 出前講座・フレイルチェック等 参加者802人 2回（9月5日、12月11日）
6-4 地域における看護職のネットワーク強化事業	1 看護政策のための組織強化事業（総務委員会） (1) 施設訪問 (2) 出前講座（感染対策等） 2 専門職による保健指導等支援事業（県委託事業） (1) 事例検討など（黒部市、魚津市、高岡市） (2) 特定保健指導受診勧奨（魚津市、上市町、立山町）	施設訪問 12施設 出前講座 実績なし 糖尿病認定看護師各1名派遣 看護師各1名派遣
6-5 災害時の看護支援活動に関する事業	1 災害支援支援ナース養成研修 (1) 新 災害支援支援ナース養成研修・登録 [感染]令和5年11月14日(火) [災害]令和6年3月12日(火) 2 令和6年能登半島地震災害支援ナース派遣事業 (2) 災害支援ナースの派遣・調整 日本看護協会、JMAT 3 防災訓練等に関すること (3) 県が行う各訓練へ参加 ア 富山県総合防災訓練 高岡テクノドーム 令和5年8月27日(日) イ 原子力災害訓練 氷見ふれあいスポーツセンター 令和5年11月23日(木・祝)	修了者・登録者 49人 日本看護協会関係 石川県へ 11班38名 JMAT関係 石川県へ 10班17名 災害委員 3名 災害委員 2名
4 業務継続計画(BCP)の作成	(4) 看護協会及び4事業所の業務継続計画(BCP)作成	
6-6 広報活動	1 看護職及び県民等への広報 (1) 機関誌「看護とやま」の発行・配布 年4回発行(4月、7月、10月、1月 第147号～150号) (2) ホームページの内容充実、最新情報の掲載 (3) 第33回看護の日「看護フェスティバル」 令和5年5月7日(日) 富山県看護研修センター (4) 県医師会報、自治体広報等での情報提供 (5) マスコミ(新聞広告、テレビ等)を通じた広報活動 5月12日 「看護の日」広報ほか	37,200部発行/年 参加者 中学生21人 保護者16人
6-7 法人管理に関する事業	1 組織の運営に関する事業 公益社団法人としての円滑な組織運営 (1) 定時総会 1回 令和5年6月17日(土) 富山県民共生センターサンフォルテ (2) 理事会 8回 4月、5月、6月、8月、10月、12月、1月、3月 (3) 職能集会 1回 保健師職能集会 助産師職能集会 看護師職能集会 (4) 職能委員会：保健師、助産師、看護師Ⅰ、看護師Ⅱ (5) 委員会：総務、教育、広報、社会経済福祉、看護倫理、医療安全、災害看護、学会、選挙管理、推薦委員会 (6) 合同委員会 令和5年6月21日(水) (7) 支部役員会 令和5年6月21日(水) (8) 職員の人事管理・労務管理の充実	総会参加者 153名 委任数 7,205名 参加者 32名 参加者 10名 参加者 97名 委員会回数 計29回 委員会回数 計82回

項目	実施状況	実績												
<p>2 組織の管理及び強化 拡大に向けた活動</p> <p>6-8 渉外活動</p> <p>1 富山県・関係団体・審議会等への委員派遣</p> <p>2 自治体への要望提出</p> <p>3 関係団体との連携</p> <p>6-9 日本看護協会との連携</p> <p>1 組織運営への協力</p>	<p>(9) 会員支援の充実 ア 表彰 イ 各受賞候補者の推薦</p> <p>ウ 会員への福利厚生（優待など） エ 慶弔 （ア）慶事 （イ）各種見舞（災害等）の支給 （ウ）弔慰</p> <p>(10) 職員の人事管理・労務管理の充実 (1) 会員募集及び入会の促進 （非会員施設への広報活動等） (2) 会員登録 ア 新規・更新会員の受付及び日本看護協会会員管理システム（ナースシップシステム）の運用管理 イ 会員証の送付 令和5年度末会員数8,961人（令和6年3月末） ウ 会員情報管理 エ キャリナーズの登録・活用</p> <p>(1) 構成団体の一員としての活動・提言 (2) 関係機関・団体の会議への参画・情報交換 (3) 後援・推薦等依頼への協力</p> <p>(1) 富山県への要望書提出（令和6年度事業要望） (1) 医師会、歯科医師会、薬剤師会等 (2) 県訪問看護ステーション連絡協議会、看護師養成機関、大学等 (3) コメディカル・介護保険団体等</p> <p>(1) 日本看護協会理事会・法人会員会への出席 ア 理事会 年7回 イ 法人会員会 年7回、 ウ 地区別法人会員会（三重県松阪フレックスホテル） 令和5年10月12日（木）～13日（金） (2) 日本看護協会通常総会代議員出席 令和5年6月7日（水） 幕張メッセ (3) 日本看護協会代議員の選出と代議員活動の支援 ア 県看護協会定時総会での日本看護協会代議員の選出 イ 日本看護協会代議員研修 令和5年5月22日（月） (4) 全国職能交流集会 令和5年6月8日（木） 幕張メッセほか (5) 日本看護協会全国職能委員長会：2回、 地区別職能委員長会1回</p> <p>(6) その他の会議等 ア 都道府県看護協会看護労働担当者会議 令和5年5月24日（木） Web会議 イ ナースセンター事業担当者会議 令和5年6月2日（金） Web会議 ウ 都道府県看護協会会員情報管理情報交換会 令和5年7月5日（水） Web会議 エ 都道府県看護協会教育担当者会議 令和5年8月2日（水） Web会議</p>	<p>富山県看護協会会長表彰 11名 叙勲 富山県部門功労表彰 日本看護協会会長表彰 他 スポーツ観戦の優待など</p> <p>叙勲者への祝電（春1人、秋1人） 災害見舞金 5人 物故会員への弔慰 2人</p> <table border="1" data-bbox="1109 723 1412 891"> <tr> <td colspan="2">総数</td> <td>8,961人(R6.3月末)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">内 訳</td> <td>保健師</td> <td>514人</td> </tr> <tr> <td>助産師</td> <td>402人</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>7,958人</td> </tr> <tr> <td>准看護師</td> <td>87人</td> </tr> </table> <p>資料参照 資料参照</p> <p>令和5年8月29日（火）</p> <p>出席者 稲村睦子（会長） 出席者 稲村睦子（会長） 出席者 稲村睦子（会長）、 吉田智子（専務理事） 9名</p> <p>全国：令和5年7月28日（金）、 令和6年3月1日（金） 地区別（三重県）：令和5年10月13日（金） 出席者 利田智恵（保） 森太貴子（助） 渋谷美保子（看Ⅰ） 原田洋美（看Ⅱ）</p> <p>出席者 境 信子 （ナースセンター長） 出席者 境 信子 （ナースセンター長） 出席者 吉田智子（専務理事） 村井一仁・田村慎哉（職員） 出席者 竹澤和美</p>	総数		8,961人(R6.3月末)	内 訳	保健師	514人	助産師	402人	看護師	7,958人	准看護師	87人
総数		8,961人(R6.3月末)												
内 訳	保健師	514人												
	助産師	402人												
	看護師	7,958人												
	准看護師	87人												

項目	実施状況	実績
6-10 看護研修センター の管理・運営	オ 都道府県看護協会政策責任者会議 令和5年9月21日(木) 浜松町コンベンションホール	出席者 稲村睦子(会長)、 吉田智子(専務理事)
	カ 公益法人に関する勉強会 令和5年11月6日(月) 静岡県看護協会	出席者 大川昌宏(事務局長)、 小杉理恵(職員)
	キ 都道府県看護協会広報担当役員会議 令和5年11月6日(月) Web会議	出席者 吉田智子(専務理事) 境 信子(ナースセンター長)、 村井一仁(職員)
	ク 訪問看護サミット 令和5年11月11日(土) Web会議	出席者 清水阿佐美(HTC長) 森管理者(ひよどり)、 廣田管理者(ひよどり富山)他
	ケ 都道府県看護協会都道府県訪問看護連絡協議会合同会議 令和5年11月17日(金) Web会議	出席者 稲村睦子(会長)、 吉田智子(専務理事) 清水阿佐美(HTC長)他
	コ 都道府県看護協会健康危機管理担当者会議 令和5年12月14日(木) 日本看護協会	出席者 満間信江 (常任理事)
	サ 全国基礎教育担当役員会 令和5年12月20日(水) 日本看護協会	出席者 満間信江 (常任理事)
	シ 政策力育成のための都道府県看護協会職員研修 令和6年3月18日(月) Web研修	受講者 役員11名、職員3名
	1 建物設備・駐車場管理、警備、清掃、防災	
	2 保守修繕	
3 地域活動(町内会等への協力、連携) 子ども110番の家等		

令和 6 年度 重点事業及び事業計画

少子高齢社会の人口・疾病構造を見据えた社会保障制度改革、特に医療制度改革においては、医療提供体制の再構築に向けた取り組みが順次進められている。また、次なる感染症の危機に万全を期すため、地域ごとに即応可能な体制整備も急がれている。

折しも、昨年（2023年）、看護師等の人材確保の促進に関する法律に基づく「看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針（1992年制定）」が改定された。この序章に、「現役世代が急減する中で、増大し、多様化する看護ニーズや24時間体制の勤務に対応していくためには、新規養成、復職支援及び定着促進を柱に、看護師等の確保を推進していくとともに、生涯にわたって看護師等の業務を継続できるよう、看護師等個人の資質向上を図っていくことが重要となる。」と記されている。

看護職は、あらゆる世代、あらゆる健康状態にある個人、家族、集団、地域社会、また、平時はもちろん、感染症蔓延時や大規模災害発生時等のあらゆる場において、人々に最も身近な医療専門職として、その力を発揮していくことが今後一層求められる。

本会では、これらの求めに応えることができるよう、日本看護協会と連携して、「県民の健康で豊かな生活の実現に寄与する」ため、本会の3つの使命「看護の質の向上」、「看護職が安心して働き続けられる環境づくりの推進」、「人々のニーズに応える看護領域の開発・展開」に則り、时时刻刻のニーズに即応した事業を展開していく。

現下の課題として、看護職が活躍するあらゆる領域における看護機能の強化と看護職員の確保、また、看護職のライフステージ等に対応した働き方改革の推進、さらに、看護のキャリア形成と継続的な学びを支援する環境の整備、そして、令和6年能登半島地震を教訓とした災害への対応など、課題は多岐にわたる。

このため令和6年度は、次の4つの施策を柱とした17の重点事業に取り組む。

【重点事業】

1 全世代型地域包括ケアにおける看護提供体制の推進

- (1) 看護提供体制（入院医療から在宅医療・介護まで）の強化
- (2) 外来における療養支援等、外来看護機能の強化
- (3) ウイメンズ・ヘルスケアの推進
- (4) 新卒訪問看護師の育成等訪問看護師の確保・育成と機能の強化

2 看護職の働き方改革の推進

- (1) 勤務環境（多様な働き方、離職の防止、看護DX、タスク・シフト／シェア等）の改善
- (2) ナースセンターのデジタル化推進
- (3) 看護職のキャリアと連動した処遇改善
- (4) 看護補助者の確保・定着の推進

3 専門職としてのキャリア継続への支援と役割拡大

- (1) 看護職の生涯学習支援
- (2) デジタル改革関連法による「看護職の人材活用システム」の周知
- (3) 統括保健師の役割発揮（部署横断的な連携・協働と総合マネジメント力の強化）
- (4) 特定行為研修修了者の知識・技能の積極的活用の推進
- (5) 専門性の高い看護師等による地域支援の強化

4 新興感染症の対応及び災害発生時看護支援活動の推進

- (1) 災害支援ナース（災害・新興感染症対応）の養成、応援派遣体制の整備
- (2) 新興感染症や災害に備えた体制の強化
- (3) 平時における感染対策の継続
- (4) BCP（業務継続計画）の検証

令和 6 年度 事業計画

本会は、公衆衛生の向上を目的とした公益目的事業並びに、その公益目的事業の推進に資するための収益事業を日本看護協会と連携し、次のとおり行う。

○事業計画は、定款第 5 条の 6 事業に沿って掲載

- 1 教育等看護の質の向上に関する事業
- 2 富山県看護研究学会の開催等学術研究の振興に関する事業
- 3 看護業務の開発、看護制度の改善等に関する事業
- 4 看護職の労働環境等の改善及び福祉の向上による県民の健康及び福祉の増進に関する事業
- 5 訪問看護の実施等地域の保健医療福祉の向上に関する事業
- 6 その他本会の目的を達成するために必要な事業

1 教育等看護の質の向上に関する事業（公益目的事業）

・ 下線は新規・重点事業

実 施 内 容	
<p>1 - 1 生涯学習支援に関する事業</p> <p>1 富山県看護協会「生涯学習支援のための基本方針」の作成</p> <p>2 研修計画の企画・実施・評価</p> <p style="padding-left: 20px;">(1) 令和 6 年度研修計画の広報・実施・評価</p> <p style="padding-left: 40px;">ア 77 研修</p> <p style="padding-left: 40px;">イ 研修実施の評価を研修後アンケートにて実施</p> <p style="padding-left: 40px;">ウ 広報：「研修計画冊子」、「看護とやま」、「ホームページ」等</p> <p>※以下は各研修の詳細</p> <p style="padding-left: 20px;">(2) 一般研修</p> <p style="padding-left: 40px;">ア 67 研修</p> <p style="padding-left: 20px;">(3) 日本看護協会と連携した研修</p> <p style="padding-left: 40px;">ア 認知症高齢者の看護実践に必要な知識（2 日間）</p> <p style="padding-left: 40px;">イ 医療安全管理者養成研修</p> <p style="padding-left: 40px;">ウ <u>災害支援ナース（災害・新興感染症対応）養成研修</u></p> <p style="padding-left: 40px;">エ <u>外来における在宅療養支援能力向上のための研修</u></p> <p style="padding-left: 20px;">(4) 糖尿病重症化予防（フットケア）研修（3 日間）</p> <p style="padding-left: 20px;">(5) 看護職員認知症対応力向上研修（3 日間）</p> <p style="padding-left: 20px;">(6) 摂食・嚥下障害看護認定看護師フォローアップ研修</p> <p>3 認定看護管理者の育成</p> <p style="padding-left: 20px;">(1) 認定看護管理者教育課程（ファーストレベル） 111時間 定員50人</p> <p style="padding-left: 20px;">(2) 認定看護管理者教育課程（セカンドレベル） 180時間 定員25人</p> <p>4 実習指導者育成</p> <p style="padding-left: 20px;">(1) 保健師助産師看護師等実習指導者講習会（一般） 180時間 定員40人</p> <p style="padding-left: 20px;">(2) 保健師助産師看護師等実習指導者講習会（特定分野） 39時間 定員 8人</p> <p>5 看護師基礎教育4年制化を考える取り組み</p> <p>6 専門・認定看護師、特定行為研修修了者の活用を推進するための取り組み</p> <p style="padding-left: 20px;">ア <u>特定行為研修修了者の知識・技能の活用推進</u></p> <p style="padding-left: 20px;">イ <u>専門性の高い看護師等による地域支援の強化</u></p> <p>7 <u>統括保健師の総合マネジメント力強化に関する取り組み</u></p> <p>8 <u>ウイメンズ・ヘルスケアの推進</u></p>	<p>・ 4 職能委員会及び教育委員会との協働</p> <p>・ 令和 6 年度研修計画に掲載</p> <p>・ 保健師職能、助産師職能、看護師職能 I・II、教育、社会経済福祉、看護倫理、医療安全、災害看護、学会</p> <p>・ 認定看護管理者教育運営委員会（年 4 回開催）</p> <p>・ 指定研修機関連絡会（県医務課）</p> <p>・ 実態調査、研修会の開催など</p>

2 富山県看護研究学会の開催等学術研究の振興に関する事業（公益目的事業）

実施内容	
2-1 富山県看護研究学会の開催	・令和6年12月21日(土) オーバード・ホール中ホール
2-2 図書室運営に関する事業	

3 看護業務の開発、看護制度の改善等に関する事業（公益目的事業）

実施内容	
3-1 医療・安全に関する事業 1 医療安全対策研修 2 医療事故調査等制度に関すること (1) 支援団体として登録 (2) 院内事故調査に関わる専門家の推薦及び派遣	・令和6年9月7日(土)
3-2 准看護師から看護師への支援事業 1 准看護師の進学支援研修 2 准看護学生への進学支援	
3-3 看護業務及び制度に関する政策提言 1 職能委員会活動(保健師、助産師、看護師Ⅰ、看護師Ⅱ) 2 委員会活動(10委員会) 3 行政・関係団体等からの委員委嘱	

4 看護職の労働環境等の改善及び福祉の向上による県民の健康及び福祉の増進に関する事業（公益目的事業）

実施内容	
4-1 働きやすい労働環境づくり支援事業 1 看護師等就労促進事業 (1) 就労相談事業 ア 無料職業紹介所の運営 イ eナースセンターの登録・管理 ウ 就業相談 エ 移動就業相談(介護職場の就職説明会) オ 病院等訪問 カ 就職ガイダンス (2) 看護職員就業支援事業 ア ハローワークへの就業支援専門員の派遣 イ ナースセンターサテライトの運営(新川地区) ウ ハローワークとの連携(富山・高岡・魚津) エ 会議等 オ 広報 (3) 看護師等免許保持者届出事業 ア 届出情報の登録・管理 イ 求職登録の促進 ウ 情報提供・周知活動 (4) 潜在看護職員把握調査 (5) 看護職員再就業支援研修 ア 定期研修 イ 病院実習 ウ 技術チェック研修 エ eラーニングを活用した復職支援研修 (6) 看護職員・看護大学生Uターン促進事業	・オンライン相談 ・年4回 ・令和6年12月24日(火) オーバード・ホール 中ホール ・令和6年8月 ・令和6年6月4日、7月2日、8月6日、9月3日 ・随時 ・随時 ・随時 ・募集案内の作成

実施内容	
(7) 看護師等養成機関共同PR事業 (8) 看護学生就労啓発事業 (9) 広報活動 ア TOYAMAナースセンターニュース（看護とやま）発行 イ 新聞（タブロイド紙）広告 (10) ナースセンター事業運営委員会 ア ナースセンター事業運営委員会 イ 事業実績報告 作成・配布 (11) <u>ナースセンターのデジタル化推進</u> (12) <u>デジタル改革関連法による「看護職の人材活用システム」の周知</u> 2 富山県医療勤務環境改善支援センター病院サポート事業 (1) 個別病院支援 (2) 看護職のワーク・ライフ・バランス推進事業報告会 (3) 看護職のワーク・ライフ・バランス推進委員会 (4) 医療労務管理支援事業打合せ会への出席 3 看護職員定着支援事業 (1) 看護職員等からの体験談表彰 (2) 看護職員定着支援事業シンポジウム 4 <u>看護補助者の確保、定着支援</u> 4-2 看護職員のキャリアアップに伴う環境整備改善 1 医療職（三）俸給表の見直しの推進 看護職のキャリアと連動した処遇改善の推進	・ガイドブックの作成 ・年4回発行（4月、7月、10月、1月） ・年3回 ・令和7年2月 ・Webサイトの全面改修、オンライン就業相談の導入等 ・ <u>NCCSと看護職キャリアデータベースとの情報連携に関する周知</u> ・令和6年12月11日（水） ・ <u>看護職の勤務環境改善（多様な働き方、離職防止、看護DX等）</u> ・令和6年5月11日（土） ・令和6年8月9日（金） ・ <u>無料職業紹介実施に向けた準備、周知など</u>

5 訪問看護の実施等地域の保健医療福祉の向上に関する事業（公益目的事業）

実施内容	
5-1 訪問看護支援事業（富山県訪問看護総合支援センター事業） 1 訪問看護支援強化事業 (1) 訪問看護相談窓口（コールセンター） (2) 訪問看護の普及啓発 (3) 訪問看護の機能強化 ア 訪問看護運営支援アドバイザー派遣 イ 小児医療対応力向上技術研修会 ウ <u>専門性の高い看護師による地域支援</u> エ 事業報告会 オ 富山県訪問看護ステーション連絡協議会等との連携・支援 2 訪問看護師人材確保事業 (1) 富山県新卒訪問看護師育成試行事業 ア 富山県新卒訪問看護師育成検討会 イ <u>富山県新卒訪問看護師育成ガイドラインの作成・周知</u> (2) 訪問看護インターンシップ (3) 訪問看護キャリア支援セミナー 3 訪問看護師人材育成事業 (1) 「訪問看護eラーニング」を活用した訪問看護師養成講習会 (2) 訪問看護従事者等研修会 (3) 訪問看護ステーション管理者育成研修会 4 訪問看護ステーションサポート事業 5 訪問看護災害時等支援体制推進事業 6 訪問看護・医療機関相互研修事業 (1) 病院看護師出向研修事業 (2) 病院看護師の研修受入事業 (3) 訪問看護師スキルアップ研修事業	・令和7年3月15日（土） ・令和6年7月30日（火）、11月12日（火） ・令和6年6月28日（金）～12月6日（金） ・令和6年11月1日（金） ・令和6年7月6日（土） ・サポートステーション（県内5か所）

実施内容

<p>(4)「看護の日」及び看護週間における事業 (5)フレイル予防活動</p> <p>6-4 地域における看護職のネットワーク強化事業 1 地域における看護職ネットワーク強化事業 (1)施設訪問 (2)出前講座</p> <p>6-5 災害時の看護支援活動に関する事業 1 災害に備えた体制の強化 2 災害支援ナース(災害・新興感染症対応)の養成・ 応援派遣体制整備 (1)災害支援ナース派遣体制の見直し、災害支援・受 援マニュアルの更新 (2)災害支援ナース養成研修(オンデマンド研修及び 集合研修) 3 分娩施設における災害対策研修 4 防災訓練等に関すること (1)災害支援ナース派遣調整合同訓練(日本看護協会等) (2)富山県総合防災訓練 (3)富山県原子力防災訓練 5 災害発生時対応体制の検証 BCP(業務継続計画)の検証ほか</p> <p>6-6 広報活動 1 看護職及び県民等への広報 (1)「看護とやま」の発行・配布 (2)ホームページの内容充実 (3)県医師会報、自治体広報等への情報提供 (4)新聞広告、テレビ等への情報提供</p> <p>6-7 法人管理に関する事業 1 内部管理体制の強化 (1)定時総会 (2)理事会 (3)職能集会 (4)職能委員会(4委員会) (5)委員会(10委員会) 合同委員会 (6)支部長会 (7)職員の人事管理・労務管理の充実 2 会員登録制度の充実 (1)会員募集 (2)会員登録 ア 新規・更新会員の受付及び新会員情報管理体制 「ナースシップ」の運用管理 イ キャリナースの機能強化 (3)新会員情報管理 3 会員支援の充実 (1)表彰 (2)各候補者の推薦 (3)会員の福利厚生 ア 各種見舞(災害等)の支給 イ 物故会員への弔慰</p>	<p>・災害支援ナース(災害・新興感染症対応) 養成研修</p> <p>・集合研修(災害10月30日(水)、感染11月14日(木))</p> <p>・未定</p> <p>・令和6年8月予定</p> <p>・未定</p> <p>・年4回(4月、7月、10月、1月)</p> <p>・令和6年6月15日(土) ・年8回:4, 5, 6, 8, 10, 12, 1, 3月 ・令和6年6月15日(土) ・各委員会 年8回程度 ・各委員会 年5回~12回 ・年1回:令和6年6月19日(水) ・年2回:9月、12月予定</p>
--	---

実 施 内 容

<p>6－8 渉外活動</p> <p>1 自治体への要望活動</p> <p>2 自治体及び関係団体等との連携</p> <p>(1) 構成団体の一員としての活動</p> <p>(2) 関係団体等の会議への参加、情報交換、委員等派遣</p> <p>3 後援・推薦等依頼への協力</p> <p>4 保守修繕</p> <p>5 地域活動（町内会等への協力、連携）</p> <p>子ども110番の家等</p> <p>6 駐車場の確保・運営</p> <p>6－9 日本看護協会との連携</p> <p>1 会議等</p> <p>(1) 日本看護協会通常総会</p> <p>(2) 全国職能別交流集会</p> <p>(3) 理事会</p> <p>(4) 法人会員会（中央）</p> <p>(5) 地区別法人会員会・職能委員長会（開催県：岐阜県）</p> <p>(6) 全国職能委員長会</p> <p>(7) 日本看護学会</p> <p>(8) その他の会議</p> <p>ア 都道府県看護協会看護労働担当者会議</p> <p>イ ナースセンター事業担当者会議</p> <p>ウ 都道府県看護協会会員情報交換会</p> <p>エ 都道府県看護協会図書室担当者研修会</p> <p>オ 都道府県看護協会政策責任者会議</p> <p>カ 医療事故調査制度に関する情報交換会</p> <p>キ 都道府県看護協会広報担当者役員会議</p> <p>ク 都道府県看護協会、都道府県訪問看護連絡協議会合同会議</p> <p>ケ 都道府県看護協会健康危機管理担当者会議</p> <p>コ 全国看護基礎教育担当役員会議</p> <p>サ 都道府県看護協会事務担当者会議</p>	<p>・令和6年6月6日(木) 東京国際フォーラム</p> <p>・令和6年6月7日(金) 東京国際フォーラム</p> <p>・年6回：東京JNAホール</p> <p>・年5回：東京JNAホール</p> <p>・令和6年10月7日(月)、8日(火)</p> <p>・年2回 令和6年8月2日(金)、7年3月7日(金)</p> <p>・9月27日(金)～29日(日) 熊本城ホール</p> <p>・令和6年7月18日(木)</p> <p>・令和6年5月21日(火)</p> <p>・令和6年7月4日(木)</p> <p>・令和6年9月12日(木)</p> <p>・令和6年9月19日(木)</p> <p>・令和6年9月中旬</p> <p>・令和6年11月7日(木)</p> <p>・令和6年11月22日(金)</p> <p>・令和6年12月19日(木)</p> <p>・令和7年1月中旬～2月中旬</p> <p>・未定</p>
---	---

令和 6 年度 収支予算

令和 6 年度収支予算書

令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで

(千円)

科 目	当 年 度 予 算 額	前 年 度 予 算 額	増 減	備 考
一般正味財産増減の部				
経常増減の部				
1) 経常収益				
受 取 会 費	54,000	55,000	△ 1,000	
受 取 会 費	54,000	55,000	△ 1,000	
受 取 会 館 運 営 基 金	16,600	18,000	△ 1,400	
受 取 会 館 運 営 基 金	16,600	18,000	△ 1,400	
事 業 収 益	130,152	129,667	485	
受 講 料 収 益	25,601	26,769	△ 1,168	
学 会 事 業 収 益	1,790	1,745	45	
訪 問 看 護 事 業 収 益	62,248	69,096	△ 6,848	
居 宅 介 護 支 援 費 収 益	13,054	6,466	6,588	
地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー 受 託 収 益	26,332	24,581	1,751	
そ の 他 の 事 業 収 益	1,127	1,010	117	
受 取 補 助 金 等 収 益	72,667	75,258	△ 2,591	
受 取 県 補 助 金 等 収 益	61,663	63,954	△ 2,291	
受 取 看 護 職 員 研 修 補 助 金	2,268	2,268	0	
受 取 看 護 職 員 定 着 支 援 事 業 補 助 金	420	420	0	
受 取 新 人 看 護 職 員 指 導 者 研 修 事 業 受 託 収 益	2,035	2,035	0	
受 取 保 健 師 助 産 師 看 護 師 等 実 習 指 導 者 講 習 会 事 業 受 託 収 益	2,050	2,050	0	
受 取 看 護 職 員 資 質 向 上 実 務 受 託 収 益	820	820	0	
受 取 看 護 師 等 就 労 促 進 事 業 受 託 収 益	26,241	22,924	3,317	
受 取 訪 問 看 護 推 進 事 業 受 託 収 益	510	510	0	
受 取 看 護 職 員 就 業 支 援 事 業 受 託 収 益	3,207	3,207	0	
受 取 訪 問 看 護 綜 合 支 援 セ ン タ ー 運 営 事 業 受 託 収 益	17,100	21,300	△ 4,200	
受 取 看 護 師 等 免 許 保 持 者 届 出 事 業 受 託 収 益	1,610	1,610	0	
受 取 看 護 普 及 推 進 事 業 受 託 収 益	785	785	0	
受 取 医 療 勤 務 環 境 改 善 支 援 セ ン タ ー 事 業 受 託 収 益	1,200	1,200	0	
受 取 訪 問 看 護 職 員 確 保 ・ 定 着 の た め に 働 き 方 改 革 推 進 事 業	0	0	0	
受 取 訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン 業 務 改 善 推 進 事 業	0	0	0	
受 取 訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン 連 携 加 速 化 事 業 受 託 収 益	0	0	0	
受 取 看 護 職 員 認 知 症 対 応 力 向 上 研 修 事 業 収 益	917	917	0	
受 取 訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン サ ポ ー ト 事 業 受 託 収 益	0	0	0	
受 取 精 神 科 訪 問 看 護 師 育 成 支 援 事 業 受 託 収 益	300	300	0	
受 取 専 門 職 に よ る 保 健 指 導 支 援 事 業	0	1,408	△ 1,408	
受 取 新 型 コ ロ ナ 軽 症 者 宿 泊 療 養 施 設 健 康 管 理 整 備 事 業	0	0	0	
受 取 医 療 的 ケ ア 児 等 訪 問 看 護 体 制 整 備 事 業	2,200	2,200	0	
受 取 富 山 市 受 託 収 益	0	0	0	
受 取 日 看 協 受 託 収 益	11,004	11,304	△ 300	
受 取 会 員 登 録 事 務 受 託 費 収 益	2,076	2,076	0	
受 取 法 人 会 員 助 成 金 収 益	8,228	8,228	0	
受 取 地 域 に 必 要 な 看 護 職 確 保 推 進 事 業 受 託 収 益	0	1,000	△ 1,000	
受 取 日 本 看 護 協 会 主 催 事 業 収 益	700	0	700	
受 取 補 助 金 振 替 額	6,577	6,627	△ 50	
受 取 補 助 金 振 替 額	6,577	6,627	△ 50	

科 目	当 年 度 額	前 年 度 額	増 減	備 考
雑 収	2,900	2,551	349	
受 取 利 息	0	0	0	
減 価 償 却 引 当 資 産 受 取 利 息	0	0	0	
そ の 他 の 雑 収	2,900	2,551	349	
経 常 収 益 計	282,896	287,103	△ 4,207	
2) 経常費用			0	
事 業 費	250,655	255,049	△ 4,394	
役 給 員 報 酬	7,920	7,920	0	
臨 時 雇 賃 当 金	86,423	93,111	△ 6,688	
役 員 退 職 慰 勞 引 当 金 繰 入 額	23,197	21,506	1,691	
退 職 給 付 引 当 金 繰 入 額	504	504	0	
福 利 厚 生 費	3,313	3,158	155	
役 員 賞 与 引 当 金 繰 入 額	15,767	15,644	123	
賞 与 引 当 金 繰 入 額	739	739	0	
旅 費	6,934	7,701	△ 767	
通 信 費	4,440	4,315	125	
減 価 償 却 費	7,846	7,526	320	
消 耗 什 耗 器 備 品 費	15,406	14,966	440	
消 耗 什 耗 器 備 品 費	0	0	0	
修 繕 費	4,545	4,100	445	
印 刷 費	1,078	940	138	
新 燃 料 費	5,454	4,853	601	
光 熱 費	753	834	△ 81	
賃 借 料 費	810	1,198	△ 388	
保 險 料 費	3,989	3,910	79	
諸 委 託 費	11,760	12,403	△ 643	
支 払 金 費	1,963	2,115	△ 152	
支 払 金 費	12,946	13,829	△ 883	
支 払 金 費	11,454	7,617	3,837	
支 払 金 費	5,164	4,033	1,131	
支 払 金 費	9,025	9,000	25	
支 払 金 費	885	1,160	△ 275	
支 払 金 費	5,882	10,185	△ 4,303	
支 払 金 費	2,458	1,782	676	
管 理 費	30,413	31,721	△ 1,308	
役 給 員 報 酬	5,280	5,760	△ 480	
臨 時 雇 賃 当 金	4,548	5,334	△ 786	
役 員 退 職 慰 勞 引 当 金 繰 入 額	200	19	181	
退 職 給 付 引 当 金 繰 入 額	336	336	0	
福 利 厚 生 費	79	79	0	
役 員 賞 与 引 当 金 繰 入 額	1,330	1,395	△ 65	
賞 与 引 当 金 繰 入 額	493	493	0	
旅 費	405	405	0	
通 信 費	154	239	△ 85	
減 価 償 却 費	876	1,160	△ 284	
消 耗 什 耗 器 備 品 費	204	161	43	
消 耗 什 耗 器 備 品 費	3,852	3,742	110	
消 耗 什 耗 器 備 品 費	0	0	0	
修 繕 費	246	214	32	
印 刷 費	125	125	0	
新 燃 料 費	1,981	1,848	133	
光 熱 費	81	81	0	
水 料 費	362	27	335	
水 料 費	1,466	1,473	△ 7	

科 目	当 年 度 算 額	前 年 度 算 額	増 減	備 考
賃借料	3,414	3,528	△ 114	
保険料	54	54	0	
諸謝託	72	53	19	
租税公費	1,275	1,434	△ 159	
支払負担	2,500	2,796	△ 296	
支払寄付	329	340	△ 11	
支金費	8	10	△ 2	
雑費	743	615	128	
経常費用計	281,068	286,770	△ 5,702	
当期経常増減額	1,828	333	1,495	
経常外増減の部			0	
1. 経常外収益			0	
経常外収益計	0	0	0	
2. 経常外費用計			0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
税引前当期一般正味財産増減額	1,828	333	1,495	
法人税、住民税及び事業税			0	
当期一般正味財産増減額	1,828	333	1,495	
一般正味財産期首残高	741,231	740,898	333	
一般正味財産期末残高	743,059	741,231	1,828	
指定正味財産増減の部			0	
一般正味財産への振替額	△ 6,627	△ 6,627	0	
受取地方公共団体補助金	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	△ 6,627	△ 6,627	0	
指定正味財産期首残高	227,827	234,454	△ 6,627	
指定正味財産期末残高	221,200	227,827	△ 6,627	
正味財産期末残高	964,259	969,058	△ 4,799	

令和6年度収支予算書内訳表

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(千円)

科 目	公益目的 事業会計	法人会計	内部取引控除	合計
一般正味財産増減の部				
経常増減の部				
1) 経常収益				
受 取 会 費	27,000	27,000		54,000
受 取 会 費	27,000	27,000		54,000
受 取 会 館 運 営 基 金	8,300	8,300		16,600
受 取 会 館 運 営 基 金	8,300	8,300		16,600
事 業 収 益	130,152			130,152
受 講 料 収 益	25,601			25,601
学 会 事 業 収 益	1,790			1,790
訪 問 看 護 事 業 収 益	62,248			62,248
居 宅 介 護 支 援 費 収 益	13,054			13,054
地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー 受 託 収 益	26,332			26,332
そ の 他 の 事 業 収 益	1,127			1,127
受 取 補 助 金 等 収 益	71,629	1,038		72,667
受 取 県 補 助 金 等 収 益	61,663			61,663
受 取 看 護 職 員 研 修 補 助 金	2,268			2,268
受 取 看 護 職 員 定 着 支 援 事 業 補 助 金	420			420
受 取 新 人 看 護 職 員 指 導 者 研 修 事 業 受 託 収 益	2,035			2,035
受 取 保 健 師 助 産 師 看 護 師 等 実 習 指 導 者 講 習 会 事 業 受 託 収 益	2,050			2,050
受 取 看 護 職 員 資 質 向 上 実 務 受 託 収 益	820			820
受 取 看 護 師 等 就 労 促 進 事 業 受 託 収 益	26,241			26,241
受 取 訪 問 看 護 推 進 事 業 受 託 収 益	510			510
受 取 看 護 職 員 就 業 支 援 事 業 受 託 収 益	3,207			3,207
受 取 訪 問 看 護 総 合 支 援 セ ン タ ー 運 営 事 業 受 託 収 益	17,100			17,100
受 取 看 護 師 等 免 許 保 持 者 届 出 事 業 受 託 収 益	1,610			1,610
受 取 看 護 普 及 推 進 事 業 受 託 収 益	785			785
受 取 医 療 勤 務 環 境 改 善 支 援 セ ン タ ー 事 業 受 託 収 益	1,200			1,200
受 取 看 護 職 員 認 知 症 対 応 力 向 上 研 修 事 業 収 益	917			917
受 取 精 神 科 訪 問 看 護 師 育 成 支 援 事 業 受 託 収 益	300			300
受 取 専 門 職 に よ る 保 健 指 導 支 援 事 業	0			0
受 取 医 療 的 ケ ア 児 等 訪 問 看 護 体 制 整 備 事 業	2,200			2,200
受 取 日 看 協 受 託 収 益	9,966	1,038		11,004
受 取 会 員 登 録 事 務 受 託 費 収 益	1,038	1,038		2,076
受 取 法 人 会 員 助 成 金 収 益	8,228			8,228
受 取 地 域 に 必 要 な 看 護 職 確 保 推 進 事 業 受 託 収 益	0			0
受 取 日 本 看 護 協 会 主 催 事 業 収 益	700			700
受 取 補 助 金 振 替 額	5,741	836		6,577
受 取 補 助 金 振 替 額	5,741	836		6,577
雑 収 益	1,970	930		2,900
そ の 他 の 雑 収 益	1,851	700		2,551
経 常 収 益 計	244,792	38,104	0	282,896
2) 経常費用				
事 業 費	250,655			250,655
役 員 報 酬	7,920			7,920
給 料 手 当	86,423			86,423
臨 時 雇 賃 金	23,197			23,197
役 員 退 職 慰 労 引 当 金 繰 入 額	504			504

科 目		公益目的 事業会計	法人会計	内部取引控除	合計
退職給付引当金繰入額		3,313			3,313
退職給付引当金繰入額		15,767			15,767
退職給付引当金繰入額		739			739
退職給付引当金繰入額		6,934			6,934
退職給付引当金繰入額		4,440			4,440
退職給付引当金繰入額		7,846			7,846
退職給付引当金繰入額		15,406			15,406
退職給付引当金繰入額		0			0
退職給付引当金繰入額		4,545			4,545
退職給付引当金繰入額		1,078			1,078
退職給付引当金繰入額		5,454			5,454
退職給付引当金繰入額		753			753
退職給付引当金繰入額		810			810
退職給付引当金繰入額		3,989			3,989
退職給付引当金繰入額		11,760			11,760
退職給付引当金繰入額		1,963			1,963
退職給付引当金繰入額		12,946			12,946
退職給付引当金繰入額		11,454			11,454
退職給付引当金繰入額		5,164			5,164
退職給付引当金繰入額		9,025			9,025
退職給付引当金繰入額		885			885
退職給付引当金繰入額		5,882			5,882
退職給付引当金繰入額		2,458			2,458
管 理			30,413		30,413
役員報酬			5,280		5,280
役員報酬			4,548		4,548
役員報酬			200		200
役員報酬			336		336
役員報酬			79		79
役員報酬			1,330		1,330
役員報酬			493		493
役員報酬			405		405
役員報酬			154		154
役員報酬			876		876
役員報酬			204		204
役員報酬			3,852		3,852
役員報酬			0		0
役員報酬			246		246
役員報酬			125		125
役員報酬			1,981		1,981
役員報酬			81		81
役員報酬			362		362
役員報酬			1,466		1,466
役員報酬			3,414		3,414
役員報酬			54		54
役員報酬			72		72
役員報酬			1,275		1,275
役員報酬			2,500		2,500
役員報酬			329		329
役員報酬			8		8
役員報酬			743		743
經常費用計		250,655	30,413		281,068
当期經常増減額		△ 5,863	7,691		1,828

科 目	公益目的 事業会計	法人会計	内部取引控除	合計
経常外増減の部				
1. 経常外収益				
経常外収益計				0
2. 経常外費用計				
経常外費用計				0
当期経常外増減額				0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 5,863	7,691		1,828
法人税、住民税及び事業税				
当期一般正味財産増減額	△ 5,863	7,691		1,828
一般正味財産期首残高	459,047	282,184		741,231
一般正味財産期末残高	453,184	289,875		743,059
指定正味財産増減の部				
一般正味財産への振替額	△ 5,741	△ 886		△ 6,627
受取地方公共団体補助金				0
当期指定正味財産増減額	△ 5,741	△ 886		△ 6,627
指定正味財産期首残高	177,786	50,041		227,827
指定正味財産期末残高	172,045	49,155		221,200
正味財産期末残高	625,229	339,030		964,259

令和6年度収支予算書内訳表（公益目的事業会計）

令和6年4月1日より令和7年3月31日まで

(千円)

科 目	公衆衛生の向上を目的とする事業							合計
	1. 教育等 看護の質の 向上に関する 事業	2. 富山県 看護研究学 会の開催等 学術研究の 振興に関する 事業	3. 看護業 務の開発、 看護制度の 改善等に関 する事業	4. 看護職 の労働環境 等の改善及 び福祉の向 上による県 民の健康及 び福祉の増 進に関する 事業	5. 訪問看 護の実施等 地域の保健 医療福祉に 関する事業	6. その他 本会の目的 を達成する ために必要 な事業	7. 公益目 的の共通事業	
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
1) 経常収益								
受 取 会 費							27,000	27,000
受 取 会 費							27,000	27,000
受 取 会 館 運 営 基 金 収 益							8,300	8,300
受 取 会 館 運 営 基 金 収 益							8,300	8,300
事 業 収 益	24,236	1,790	1,365	627	101,634	500	0	130,152
受 講 料 収 益	24,236		1,365					25,601
学 会 事 業 収 益		1,790						1,790
訪 問 看 護 事 業 収 益					62,248			62,248
居 宅 介 護 支 援 費 収 益					13,054			13,054
地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー 受 託 収 益					26,332			26,332
そ の 他 の 事 業 収 益				627		500		1,127
受 取 補 助 金 等	8,670	0	420	28,978	21,110	3,285	9,166	71,629
受 取 県 補 助 金 等	7,970	0	420	28,978	21,110	3,185	0	61,663
受 取 看 護 職 員 研 修 補 助 金	1,848		420					2,268
受 取 看 護 職 員 定 着 支 援 事 業 補 助 金				420				420
受 取 新 人 看 護 職 員 指 導 者 研 修 会 事 業 受 託 収 益	2,035							2,035
受 取 保 健 師 助 産 師 看 護 師 等 実 習 指 導 者 講 習 会 事 業 受 託 収 益	2,050							2,050
受 取 看 護 職 員 資 質 向 上 実 務 研 修 受 託 収 益	820							820
受 取 看 護 師 等 就 労 促 進 事 業 受 託 収 益				22,541	1,300	2,400		26,241
受 取 訪 問 看 護 推 進 事 業 受 託 収 益					510			510
受 取 看 護 職 員 就 業 支 援 事 業 受 託 収 益				3,207				3,207
受 取 訪 問 看 護 綜 合 支 援 セ ン タ ー 運 営 事 業 受 託 収 益					17,100			17,100
受 取 看 護 師 等 免 許 保 持 者 届 出 事 業 受 託 収 益				1,610				1,610
受 取 看 護 普 及 事 業 受 託 収 益				0		785		785
受 取 医 療 勤 務 環 境 改 善 支 援 セ ン タ ー 事 業 受 託 収 益				1,200				1,200
受 取 看 護 職 員 認 知 症 対 応 力 向 上 研 修 事 業 受 託 収 益	917							917
受 取 精 神 科 訪 問 看 護 師 有 成 支 援 事 業 受 託 収 益	300							300
受 取 専 門 職 に よ る 保 健 指 導 支 援 事 業						0		0
受 取 医 療 的 ケ ア 児 等 訪 問 看 護 体 制 整 備 事 業					2,200			2,200
受 取 日 看 協 受 託 収 益	700					100	9,166	9,966
受 取 会 員 登 録 事 務 受 託 費 収 益							1,038	1,038
受 取 法 人 会 員 助 成 金						100	8,128	8,228
受 取 地 域 に 必 要 な 看 護 職 確 保 推 進 事 業 受 託 収 益							0	0
受 取 日 本 看 護 協 会 主 催 事 業 収 益	700							700
受 取 補 助 金 振 替 額							5,741	5,741
受 取 補 助 金 振 替 額							5,741	5,741
雑 収 益	345				770		855	1,970
そ の 他 の 雑 収 益	345				770		855	1,970
経 常 収 益 計	33,251	1,790	1,785	29,605	123,514	3,785	51,062	244,792
2) 経常費用								
事 業 費	37,158	1,430	2,371	29,855	117,409	8,601	53,831	250,655
役 員 報 酬	3,000	0	0	0	0	0	4,920	7,920
給 料 手 当	6,686	0	993	7,941	69,815	629	359	86,423
臨 時 雇 賃 金	1,268	0	0	6,544	13,109	0	2,276	23,197
役 員 退 職 慰 労 引 当 金 繰 入 額	0	0	0	0	0	0	504	504
退 職 給 付 引 当 金 繰 入 額	0	0	0	0	0	0	3,313	3,313
福 利 厚 生 費	0	0	0	2,200	10,722	0	2,845	15,767
役 員 賞 与 引 当 金 繰 入 額	0	0	0	0	0	0	739	739
賞 与 引 当 金 繰 入 額	0	0	0	0	0	0	6,934	6,934
旅 費 交 通 費	2,071	116	221	67	383	1,582	0	4,440
通 信 運 搬 費	1,783	24	51	935	3,678	1,075	300	7,846
減 価 償 却 費	0	0	0	0	0	0	15,406	15,406
消 耗 什 器 備 品 費	0	0	0	0	0	0	0	0
消 耗 品 費	1,732	100	194	355	1,105	659	400	4,545
修 繕 費	630	0	0	0	70	3	375	1,078

科 目	公衆衛生の向上を目的とする事業							合計
	1. 教育等 看護の質の 向上に関する 事業	2. 富山県 看護研究学 会の開催等 学術研究の 振興に関する 事業	3. 看護業 務の開発、 看護制度の 改善等に関 する事業	4. 看護職 の労働環境 等の改善及 び福祉の向 上による県 民の健康及 び福祉の増 進に関する 事業	5. 訪問看 護の実施等 地域の保健 医療福祉に 関する事業	6. その他 本会の目的 を達成する ために必要 な事業	7. 公益目 的の共通事業	
印刷製本費	1,797	780	0	1,810	470	567	30	5,454
新聞図書費	535	0	0	0	40	178	0	753
燃料費	0	0	0	0	810	0	0	810
光熱水料	1,426	0	0	250	160	0	2,153	3,989
賃借料	3,893	200	413	1,010	5,765	239	240	11,760
保険料	12	0	0	0	1,734	0	217	1,963
諸謝金	8,143	80	477	285	2,108	1,853	0	12,946
委託費	3,394	50	0	4,357	400	0	3,253	11,454
広報費	0	0	0	3,540	160	1,464	0	5,164
租税公課	0	0	0	25	0	0	9,000	9,025
支払負担金	357	0	0	0	141	0	387	885
支払助成金	0	0	0	0	5,882	0	0	17,550
雑費	431	80	22	536	857	352	180	2,458
経常費用計	37,158	1,430	2,371	29,855	117,409	8,601	53,831	250,655
当期経常増減額	△ 3,907	360	△ 586	△ 250	6,105	△ 4,816	△ 2,769	△ 5,863
II 経常外増減の部								0
1. 経常外収益								0
経常外収益計								0
2. 経常外費用計								0
経常外費用計								0
当期経常外増減額								0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 3,907	360	△ 586	△ 250	6,105	△ 4,816	△ 2,769	△ 5,863
法人税、住民税及び事業税								0
当期一般正味財産増減額	△ 3,907	360	△ 586	△ 250	6,105	△ 4,816	△ 2,769	△ 5,863
一般正味財産期首残高								459,047
一般正味財産期末残高								453,184
指定正味財産増減の部								
一般会計への振替額							△ 5,741	△ 5,741
受取地方公共団体補助金								
当期指定正味財産増減額							△ 5,741	△ 5,741
指定正味財産期首残高								177,786
指定正味財産期末残高								172,045
正味財産期末残高								625,229

資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

借入れの予定		<input type="checkbox"/> あり	<input checked="" type="checkbox"/> なし
事業番号	借入先	金額	
		円	

(2) 設備投資の見込みについて

設備投資の予定		<input checked="" type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし
事業番号	設備投資の内容	支出予定額	資金調達方法
公益/法人目的会計	ノートパソコン更新費用	11,000,000 円	自己資金
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
合 計		11,000,000 円	

各 種 報 告

令和5年度理事会報告	65
令和5年度職能委員会報告	70
令和5年度委員会報告.....	75
令和5年度支部報告.....	83
令和6年度日本看護協会通常総会代議員報告.....	89

令和5年度 理事会報告

1 理事会開催状況

回	日 時	場 所
1	令和5年4月17日(月) 15:00～16:55	富山県看護研修センター
2	令和5年5月22日(月) 15:00～16:15	富山県看護研修センター
3	令和5年6月17日(土) 15:20～16:20	富山県民共生センターサンフォルテ
4	令和5年8月7日(月) 15:00～16:20	オンライン開催
5	令和5年10月16日(月) 15:00～16:20	富山県看護研修センター
6	令和5年12月11日(月) 15:00～16:36	富山県看護研修センター
7	令和6年1月15日(月) 15:02～15:52	オンライン開催
8	令和6年3月18日(月) 15:00～17:04	富山県看護研修センター

2 協議事項等

回	協 議 事 項 等	
1	1 協議事項	
	1) 令和5年度新規会員の承認について	[承認]
	2) 令和5年度各委員の推薦等について	
	(1) 選挙管理委員・推薦委員の推薦について	[承認]
	(2) 職能委員の選任について	[承認]
	(3) 委員の選任について	[承認]
	(4) 支部規定について	[承認]
	(5) 支部役員について	[承認]
	3) 令和5年度定時総会について	
	(1) 令和5年度富山県看護協会定時総会提出議題(案)について <議決事項>	
	第1号議案 名誉会員(案)の承認について	[承認]
	第2号議案 令和4年度事業報告(案)	[承認]
	第3号議案 令和4年度収支決算報告(案)及び監査報告(案)	[承認]
	第4号議案 令和5年度富山県看護協会役員の改選(案)について	[承認]
	第5号議案 令和6年度日本看護協会代議員等の選出(案)について	[承認]
	第6号議案 令和5年度選挙管理委員・推薦委員候補者(案)の承認について	[承認]
	4) 令和5年度富山県看護協会長表彰候補者について	[承認]
5) 令和5年度事業について		
(1) 合同委員会(案)について	[承認]	
2 報告事項		
1) 令和4年度事業報告		
(1) 各委員会報告		
(2) 支部活動報告		
(3) 研修会実施報告		
(4) ナースセンター事業実績報告		

回	協 議 事 項 等
1	2) 令和5年度事業について (1) 「コロナ禍での看護を語る会」について (2) 第33回「看護の日」看護フェスティバルについて (3) 日本看護協会PRバスの運行について (4) 「看護の日」新聞企画
2	1 協議事項 1) 令和5年度新規会員の承認について [承認] 2) 令和5年度富山県看護協会定時総会の運営(案)について [承認] 3) 令和5年度職能集会の運営(案)について [承認] 4) 令和4年度決算報告(案)及び監査報告について [承認] 5) 令和5年度支部役員(案)の選任について(再) [承認] 2 報告事項 1) 令和5年度日本看護協会会議報告 (1) 理事会報告 2) 令和5年度富山県看護協会事業報告 (1) 会員数報告 (2) 認定看護管理者教育課程について (3) 令和5年度「高校生の1日看護見学」について (4) ナースセンター事業実績報告 (5) 2023年「看護の日・看護週間」事業PRバス企画報告 (6) 後援・協力等依頼報告 3) 令和4年度富山県看護協会事業報告 (1) 就職ガイダンス実施報告
3	1 協議事項 1) 役員を選定について(案) [承認] 2) 委員会及び支部担当理事(案)について [承認] 3) 令和5年度新規会員の承認について(案) [承認] 2 報告事項 1) 令和5年度日本看護協会事業報告 (1) 第2回理事会報告 (2) 都道府県看護協会看護労働担当国会議(Web)報告 (3) ナースセンター事業担当者会議(Web)報告 2) 令和4年度富山県看護協会事業報告 (1) 会員数報告 (2) コロナ禍での看護を語る会開催報告 (3) 災害支援ナース養成研修について (4) 2023看護フェスティバル実施報告 (5) ナースセンター事業実績報告
4	1 協議事項 1) 令和5年度新規会員の承認について [承認] 2) 令和6年度県要望事項(案)について [承認] 3) 令和5年度事業について [承認] (1) 出前講座「いのちの教室」について 2 報告事項 1) 日本看護協会会議等報告 (1) 第3回理事会報告

回	協 議 事 項 等
4	<ul style="list-style-type: none"> (2) 第1回法人会員会報告 (3) 全国職能委員長会報告 (4) 「看護職の生涯学習ガイドライン」説明会報告 2) 富山県看護協会事業報告 <ul style="list-style-type: none"> (1) 会員数報告 (2) 2023年度 認定看護管理者教育課程 第2回教育運営委員会報告 (3) 災害支援ナース養成研修（集合研修）について (4) 看護補助者キャンペーンウイーク事業について (5) 教育研修実施状況報告 (6) ナースセンター事業実績報告 (7) 看護学生と看護職のための就職ガイダンスの開催について (8) 小児医療対応力向上技術研修会の開催について (9) 訪問看護キャリア支援セミナーの開催について (10) 訪問看護インターンシップ事業について (11) 各委員会活動状況報告 (12) 支部活動状況報告 (13) 後援・協力等依頼報告 (14) その他の会議等報告
5	<ul style="list-style-type: none"> 1 協議事項 <ul style="list-style-type: none"> 1) 令和5年度新規会員の承認について [承認] 2) 令和5年度事業について <ul style="list-style-type: none"> (1) 看護倫理活動に関する実態調査（案）について [承認] (2) 統括保健師に関する実態調査（案）について [承認] (3) 自治体保健師の活動内容や魅力発信のためのイベント（案）について [承認] 3) 令和6年度事業等について <ul style="list-style-type: none"> (1) 令和6年度定時総会の開催について（案） [承認] (2) 第34回「看護の日」看護フェスティバルの開催について（案） [承認] 2 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> 1) 令和5年度日本看護協会会議等報告 <ul style="list-style-type: none"> (1) 第4回理事会報告 (2) 2023年度都道府県看護協会政策責任者会議報告 2) 令和5年度富山県看護協会事業報告 <ul style="list-style-type: none"> (1) 会員数報告 (2) 2024年度ナースシップ継続の手続きについて (3) 第33回富山県看護研究学会について (4) 認定看護管理者教育課程第3回教育運営委員会報告 (5) 看護補助者キャンペーンウイーク事業報告 (6) 外来における在宅療養支援能力向上のための研修について (7) 教育研修実施状況報告 (8) 診療報酬「在宅患者訪問看護・指導料3」に関する調査報告 (9) 富山マラソン2023救護派遣について (10) ナースセンター事業実績報告 (11) 高校生1日看護見学について (12) 訪問看護総合支援センター事業報告 (13) 訪問看護STひよどり事業報告 (14) 訪問看護STひよどり富山事業報告

回	協 議 事 項 等
5	(15) 居宅介護支援事業所ひよどり富山事業報告 (16) 神明・五福地域包括支援センター事業報告 (17) 各委員会活動状況報告 (18) 各支部活動状況報告 (19) 後援・協力等依頼報告
6	1 協議事項 1) 令和5年度新規会員の承認について [承認] 2) 令和5年度事業について 看護職が働き続けられる職場環境に関する実態調査(案)について [承認] 3) 令和6年度事業について 看護職員等からの体験談募集要項(案)について [承認] 4) 令和6年度日本看護協会名誉会員・協会長表彰候補者(案)の推薦について [承認] 5) 委員会の任務と諮問事項及び支部の任務(案)について [承認] 6) 令和6年度執行部会・理事会日程(案)について [承認] 2 報告事項 1) 令和5年度日本看護協会等会議報告 (1) 第5回理事会報告 (2) 地区別法人会員会(東海・北陸地区)報告 (3) 地区別職能委員長会報告 (4) 都道府県看護協会広報担当役員会議(zoom会議)報告 (5) 都道府県看護協会・都道府県訪問看護連絡協議会合同会議(zoom会議)報告 2) 令和5年度富山県看護協会事業報告 (1) 会員数報告 (2) 令和5年度上半期決算報告 (3) 認定看護管理者教育課程教育運営委員会報告 (4) 教育研修実施状況報告 (5) 富山マラソン2023 救護活動の課題・要望等 (6) ナースセンター事業実績報告 (7) 訪問看護総合支援センター事業実績報告 (8) 各委員会活動状況報告 (9) 各支部活動状況報告 (10) 後援・協力等依頼報告
7	1 協議事項 1) 令和5年度新規会員の承認について [承認] 2) 令和6年度事業(案)について (1) 教育研修計画(案)について [承認] (2) 職能集会の内容(案)について [承認] 2 報告事項 1) 令和5年度日本看護協会等会議報告 (1) 都道府県看護協会健康危機管理担当者会議報告 (2) 全国看護基礎教育担当役員会議報告 2) 令和5年度富山県看護協会事業報告 (1) 会員数報告 (2) 第33回(2023年)富山県看護研究学会報告

回	協 議 事 項 等
7	<ul style="list-style-type: none"> (3) 研修会実施状況報告 (4) ナースセンター事業実績報告 (5) 就職ガイダンス実施報告 (6) 訪問看護総合支援センター事業実績報告 (7) 訪問看護総合支援センター事業報告会の開催について (8) 各委員会活動状況報告 (9) 各支部活動状況報告 (10) 後援・協力等依頼報告
8	<ul style="list-style-type: none"> 1 協議事項 <ul style="list-style-type: none"> 1) 令和5年度新規会員の承認について [承認] 2) 令和5年度事業について <ul style="list-style-type: none"> (1) 統括保健師に関する実態調査の調査期間の変更について [承認] 3) 令和6年度事業について <ul style="list-style-type: none"> (1) 令和6年度重点事業・事業計画について [承認] (2) 令和6年度収支予算について [承認] 4) 令和6年度富山県看護協会定時総会及び職能集会プログラムについて [承認] 5) 令和7年度日本看護協会代議員及び予備代議員の選出について [承認] 6) 石川県看護協会の災害支援活動への支援金について [承認] 2 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> 1) 令和5年度日本看護協会会議等報告 <ul style="list-style-type: none"> (1) 第6回理事会報告 (2) 全国職能委員長会報告報告 2) 令和5年度富山県看護協会事業報告 <ul style="list-style-type: none"> (1) 会員数報告 (2) 令和6年能登半島地震における災害支援ナース派遣報告 (3) 「外来における在宅療養支援能力向上のための研修」に関する調査結果報告 (4) 看護師養成における教育現場と臨床現場の連携・協働の促進に向けての人材交流実践報告会報告 (5) 研修会実施状況報告 (6) 専門性の高い看護師等の地域支援に関する報告 (7) 自治体保健師の活動内容や魅力発信イベント報告 (8) ナースセンター事業実績報告 (9) 訪問看護総合支援センター事業実績報告 (10) 各委員会・支部活動状況報告 (12) 後援・協力等依頼報告

令和 5 年度 職能委員会報告

◎保健師職能委員会活動報告

委員長 利田 智恵

- 1 開催回数 6回（交流会2回含まず）
- 2 活動目標
 - 1) 保健師の専門性の向上を図る。
 - 2) 地域包括ケアの推進に向けて、産後ケア等の課題や取組みを共有するとともに、保健師・助産師等の連携を深める。
 - 3) 様々な場で働く保健師のネットワークを推進する。
- 3 活動内容
 - 1) 交流会の開催
 - (1) 保健師・助産師交流会
日 時 令和5年8月28日(月) 14:00～16:30
場 所 富山県看護研修センター
内 容 報告 「母子のための地域包括ケア推進に関するアンケート調査結果」
助産師職能委員 當波 かおり 氏
情報提供 「妊娠期から出産後における母子支援体制について」
富山県厚生部こども家庭室子育て支援課 板鼻 広美 氏
報告 「富山市まちなか総合ケアセンター産後ケア応援室の取組み」
富山県厚生部こども家庭室子育て支援課 板鼻 広美 氏
報告 「富山市まちなか総合ケアセンター産後ケア応援室の取組み」
富山県厚生部こども家庭室子育て支援課 板鼻 広美 氏
富山市まちなか総合ケアセンター産後ケア応援室 大田 優子 氏
意見交換 「母子支援の課題と今後の対応について」
参加者 35名
 - (2) 保健師交流会
日 時 令和5年11月25日(土) 13:30～16:00
場 所 富山県看護研修センター
内 容 シンポジウム及び意見交換
「多様な場で働く保健師活動 ～効果的な保健指導について～」
座長 元富山福祉短期大学 特任教授 炭谷 靖子 氏
シンポジスト 富山県心の健康センター 石崎 桃菜 氏
魚津市地域包括支援センター 窪田 麻由子 氏
富山県警察本部 運転免許センター 橋爪 円華 氏
富山市立西部中学校 野崎 香菜子 氏
厚生連高岡病院 健康管理センター 坪野 由美 氏
全国健康保険協会 富山支部 手塚 昌子 氏
参加者 25名
 - 2) 統括保健師に関する調査
内 容 統括保健師に関する現状と課題を明らかにし、統括保健師育成の方策を検討することを目的にWEB調査を実施
対象者 対象A 富山県及び県内15市町村の統括保健師もしくは、同様の役割を担う保健師 計20名
対象B 上記以外の富山県及び15市町村の全保健師 計435名
調査期間 令和6年5月7日～5月24日
 - 3) 日本看護協会保健師職能委員会活動

- (1) 全国保健師職能委員長会 2回
(ベルサール御成門タワー・TKP市ヶ谷カンファレンスセンター)
 - (2) 東海北陸地区保健師職能委員長会 1回 (松坂フレックスホテル)
- 4 目標達成度、次年度に向けての課題
- 交流会を通じ、様々な機関で働く看護職の役割を理解し、連携の必要性を実感した。また、保健師のコアな技術である保健指導について、自身を振り返り、効果的な保健指導について、気づきを得る機会となった。統括保健師に関する調査では、現状と課題を話し合い、調査票を作成し調査を実施した。以上より、活動目標はほぼ達成とする。
- 次年度は、引き続き助産師等との連携を深めるとともに、統括保健師に関する調査結果をもとに、課題や今後の方策について関係者と共有することが課題である。

◎助産師職能委員会活動報告

委員長 森 太貴子

- 1 開催回数 7回 (研修会3回含まず)
- 2 活動目標
 - 1) 「母子のための地域包括ケア病棟」の推進に向けて実態を把握する
 - 2) 女性とその家族への支援に必要な体制を整備する
 - 3) 県内の小中学校と連携し「いのちの教室」の体制整備を構築する
- 3 活動内容
 - 1) 研修会開催

場 所 富山県看護研修センター

 - (1) プレコンセプションケア～女性の健康支援～

日 時 令和5年7月24日(月) 13:00～16:00

講 師 女性クリニックWe富山 医師 鮫島 梓氏

内 容 講義およびワークショップ

参加者 21名 (保健師1名、助産師14名、看護師6名)
 - (2) ペリネイタル・ロス (周産期の死別)

日 時 令和5年11月4日(土) 13:00～16:00

講 師 聖路加国際大学 ペリネイタル・ロス研究会
静岡県立大学 看護学部 教授 太田 尚子氏

内 容 ペリネイタル・ロス (流産、死産、新生児死亡など周産期の子どもの喪失)を経験した女性と家族の支援について講義およびロールプレイ

参加者 26名 (助産師25名、看護師1名)
 - (3) 周産期に合併しやすい内分泌疾患の基礎知識・糖代謝異常妊婦の看護～長期的な母子の健康維持を目指して～

日 時 令和5年11月10日(金) 13:00～16:00

講 師 厚生連高岡病院 糖尿病・内分泌代謝内科診療部長 島 孝佑氏
高岡市民病院 糖尿病看護認定看護師 寺澤 多英氏

内 容 周産期に合併しやすい内分泌疾患、糖代謝異常の基礎知識

参加者 15名 (助産師8名、看護師7名)
 - 2) 保健師・助産師交流会

テーマ 「地域における子育て支援」を考える

※保健師職能・助産師職能共同開催のため、保健師職能報告に準ずる
 - 3) 出前講座「いのちの教室」の依頼から実施報告までの流れのフロー図を作成し、明文化を図る (資料P161参照)。
 - 4) 「いのちの教室」実践報告 (資料P160参照)
「いのちの教室」は4施設、14名に依頼した。

- 5) 日本看護協会助産師職能委員会活動
 - (1) 全国助産師職能委員長会（東京開催）2回
 - (2) 地区別職能委員長会（三重開催）1回
- 4 目標の達成度、次年度に向けての課題

保健師・助産師の交流研修では、令和4年度調査「母子のための地域包括ケア」のアンケート結果を発表し、保健師・助産師職能間で共有した。また、分娩取扱い施設で勤務する助産師や、地域で活動する保健師・助産師が、率直に聞いてみたいと思っていたこと、知りたいことなどの意見交換ができた。母子のための地域包括ケアを推進にむけて、施設と地域の情報共有の必要性の理解に繋がった。「プレコンセプションケア」「ペリネイタル・ロス」「内分泌疾患の知識」の研修は女性とその家族への支援の知識の一助となった。いのちの教室の現状を可視化することができたので、目標はほぼ達成とする。

次年度は、学習で得られた知識を活用し、助産師として活動可能な目標設定まで落とし込むことを目指したい。

◎看護師職能 I 委員会活動報告

委員長 渋谷 美保子

- 1 開催回数 8回（研修会・交流会は含まず）
- 2 活動目標

- 1) 外来における在宅療養支援能力向上のための取組みを行う
- 2) 「看護補助者キャンペーンウィーク」に参画する
- 3) 看護現場における多様で柔軟な働き方について県内公的病院の現状を把握する
- 4) 准看護師の進学支援を行う

3 活動内容

1) 看護師職能 I 交流会

テーマ 地域包括ケアシステムの推進に向けた看看連携の取り組み2

日時 令和5年12月15日(金) 13:30～16:00

場所 富山県看護研修センター及び各施設（Web研修）

内容

- (1) 自施設外来看護の課題に対する取り組み報告
県内公的病院8施設の外来看護師からの報告

(2) 講演

「地域における療養支援のために外来看護師が果たす役割について」

講師 赤十字訪問看護ステーション 管理者 加藤 真理子 氏

(3) グループディスカッション及び発表

テーマ：「地域における療養支援のために外来看護師が果たす役割について」

参加者：県内15施設3訪問看護事業所の計44名

2) 看護補助者キャンペーンウィーク事業の参画

富山大学附属病院において開催 第1回目8月17日(木) 4名

第2回目10月6日(金) 8名 参加

3) 看護現場における多様で柔軟な働き方について現状把握

日本看護協会地区別看護師職能委員長会 I への出席にあたり情報提供を求め、県内15施設から回答を得た

4) 准看護師ステップアップ研修

テーマ 准看護師の質の向上と進学支援

日時 令和5年9月2日(土) 13:00～16:00

場所 富山県看護研修センター

参加者 7名

内 容

(1) 講義「認知症を理解した看護について」

講師 かみいち総合病院 認知症看護認定看護師 中山 和昭 氏

(2) 講義「看護師への道 看護師2年課程通信制とは」

講師 神戸常磐大学短期大学部 看護学科通信制課程

特任教授 高宮 洋子 氏

(3) 「2年課程通教育卒業生の立場から」

かみいち総合病院 手術室認定看護師 柿森 祐司 氏

(4) 放送大学からのお知らせ

放送大学富山学習センター 広報・学生募集担当 亀井 隆之 氏

5) 看護職員資質向上実務研修の企画・運営

①肺炎予防について

令和5年6月22日(木)

講師：高岡市民病院 慢性呼吸器疾患看護認定看護師

奥田 公也 氏

富山赤十字訪問看護ステーション

摂食・嚥下障害看護認定看護師

中山 香菜 氏

②感染対策について

令和5年7月13日(木)

講師：富山大学附属病院 感染管理認定看護師

松浦 美里 氏

③糖尿病看護について

令和5年8月4日(金)

講師：黒部市民病院 糖尿病看護認定看護師

開 弘美 氏

④フィジカルアセスメントの基礎知識

令和5年8月24日(木)

講師：黒部市民病院

集中ケア認定看護師

八倉巻 考司 氏

富山大学附属病院

クリティカルケア認定看護師

宮崎 優 氏

富山県立中央病院

集中ケア認定看護師

前坪 瑠美子 氏

富山赤十字病院

集中ケア認定看護師

浅生 かおり 氏

6) 日本看護協会看護師職能委員会活動

(1) 全国看護師職能委員長会 I 病院領域出席 2回

(2) 地区別看護師職能委員長会 I 病院領域出席 1回

4 目標の達成度、次年度に向けての課題

昨年度から継続して行った「地域包括ケアシステムの推進に向けた看看連携の取り組み」では、各施設の外来看護師が、地域から求められるニーズに見合う課題を見出し、課題達成に取り組んだ報告がなされた。地域包括ケア推進の要となる外来看護の質向上の重要性を多くの施設が認識したという点で、今年度活動の目標達成率は90%とする。

次年度の課題は、外来看護における在宅療養支援能力を向上させることである。「地域包括ケアシステムの推進に向けた看看連携の取り組み」を継続するとともに、日本看護協会が発信した「外来における在宅療養支援能力向上のための研修」を実施し、県全体の外来看護の質向上を目指していきたい。

◎看護師職能Ⅱ委員会活動

委員長 原田 洋美

1 開催回数 8回(合同委員会含む)

2 活動目標

1) 病院・施設・在宅における看護職の連携強化ができる

2) 地域包括ケアシステムの推進に向けての患者情報の連携強化ができる

各職種の情報連携強化のための共通患者情報用紙の検討

3 活動内容

1) 研修会・交流会開催

看護職員資質向上実務研修の企画・運営

ロコモティブシンドロームの概念および現状・演習、転倒予防のリハビリテーション

日時 令和5年7月27日(木) 13:30～16:30

場所 富山県看護研修センター

講師 市立砺波総合病院 脳卒中リハビリテーション認定看護師 池守 実智子氏

2) 看護師職能Ⅱ（介護・福祉・在宅領域）の研修

テーマ 訪問看護における特定行為実践の流れ

日時 令和5年11月15日(水) 13:00～16:00（オンライン開催）

場所 富山県看護研修センター

内容

(1) 講義

ねらい：質の高い在宅医療、訪問看護における特定行為看護師の役割を知る

「訪問看護における特定行為の実践を学ぶ」

講師 おれんじ訪問看護ステーション 乳がん看護認定看護師 加藤 直美氏

参加者14名（看護師14名） WEB参加：3施設

3) 在宅ケア事例検討会

4地区6ヶ所で開催、県内の訪問看護ステーションから事例提供し、医師・認定看護師・専門看護師がアドバイザーとして、的確な助言のもと、在宅医療を支える上で必要な知識・情報を交換し、多職種連携強化に繋げた。

4) 各職種の情報連携強化のための共通患者情報用紙試案の作成

「地域包括ケア推進に向けての患者情報の連携強化する」ことをねらいに、入院から施設・在宅における患者情報共有シート作成

5) 日本看護協会看護師職能委員会活動

(1) 全国職能委員長会 2回

(2) 地区別看護師職能委員会 1回

4 目標の達成度、次年度に向けての課題

地域包括ケアシステムの推進に向けて職能Ⅱ領域の看護職の「質の高い在宅医療、訪問看護における特定行為看護師の役割を知る」ことをねらいとし、介護・福祉・在宅・領域の施設などの看護職を対象に研修を開催した。情報交換やアンケートの結果、訪問看護を行う上で、特定行為をどのように生かしているか明確になり、視野が広まったとの意見が多かった。また今後の更なる情報がほしいとの意見もあり、次年度へ繋ぐことができたので達成度80%とする。

次年度の課題として入院から施設・在宅における看護職の連携強化のための患者情報共有シートをホームページに掲載するための調整と活用評価を行う。

令和5年度 委員会報告

◎総務委員会

委員長 大門 香織

1 活動目標

- 1) 看護協会の組織強化及びネットワークの推進を図る。
- 2) 新人会員の加入促進に向けた活動を行う。
- 3) 看護の啓発普及（看護の日新聞掲載記事）を促進する。

2 活動内容 開催回数7回

1) 看護協会の組織強化及びネットワークの推進

(1) 施設訪問

協会会員が減少している短期大学、病院を中心に選出した。看護協会事務職員と協働し、計12施設を訪問した。

研修の要望や看護協会への意見等を収集し、看護協会事業についての理解と促進を図るとともに意見交換を行った。

(2) 出前講座

今年度は、施設からの依頼がなく0件であった。引き続き施設からの要望や依頼に対して調整していく。

2) 新規会員の加入促進

施設訪問前に委員会で看護協会会員数の推移から新規会員の加入促進に向けたアプローチ方法を検討した。

看護協会会員向けの特典やメリットを設けるため、リフレッシュ事業について検討、提案した。

3) 「看護の日」新聞企画についての検討と取り組み

「看護の日」の新聞掲載テーマと内容、掲載写真について検討し、選定理由や事例とともに提案した。

3 目標の達成度、次年度に向けての課題

看護協会の組織強化やネットワークの推進に向けて施設訪問や出前講座を継続することで看護協会への要望を把握するとともに、看護協会事業への理解を促すことができた。次年度も施設訪問や出前講座の活動を通して、看護協会の組織強化やネットワークの推進に向けて積極的に活動していきたい。

次年度から看護協会会員に向けたリフレッシュ事業を立ち上げ、優待事業の企画や事業所の募集等、新たな活動を積極的に取り組んでいきたい。

◎教育委員会

委員長 豊本 香里

1 活動目標

年間教育活動計画・実施・評価に関する審議・検討を行い、会員の資質の向上をめざす

2 活動内容

1) 令和5年度研修会実施33研修48日間

(1) 「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育
虐待とネグレクトを予防する

2) ラダーと連動した継続教育

(1) ニーズをとらえる力：AYA世代がん患者の理解と支援 心と命を守るゲートキーパー

- (2) ケアする力：感染対策Ⅰ基礎編A・B 感染対策Ⅱ実践編 糖尿病の看護
脳卒中患者の看護 がん看護（基礎編）摂食嚥下障害の理解とケア
褥瘡ケアA・B 高齢者に多い呼吸器循環器疾患のケアA・B
認知症ケア せん妄の理解とケア 精神科訪問看護師育成
- (3) 協働する力：新人看護職員研修Ⅰ・Ⅱ 中堅看護師に役立つコミュニケーション
地域における多職種連携
- (4) 意思決定：がん看護（応用編）入退院支援
- 3) 看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育
サーバントリーダーシップ コーチング 看護補助者活用推進のための管理者研修
- 4) 専門能力開発を支援する教育体制の充実に向けた継続教育
新人看護職員研修責任者・教育担当者研修 新人看護職員実地指導者研修
ジェンダー（LGBT）への理解
- 5) 資格認定教育
糖尿病重症化予防（フットケア）研修 看護職員認知症対応力向上研修会
認知症高齢者の看護実践に必要な知識 小児在宅移行支援指導者育成研修
- 3 目標の達成度、次年度に向けての課題
 - 1) 目標達成度
WEB研修 R5年度実施 ハイブリッド研修：1、WEB研修：2
R6年度実施予定 ハイブリッド研修：1、WEB研修：2、オンデマンド研修：1
受講しやすい環境の整備を推進している。
 - 2) 次年度研修企画 各研修開催の次回委員会にて企画書の検討を徹底できた
研修内容がわかり、参加したくなるような研修テーマの検討
同じ分野で内容が似ている研修を統合
研修運営を担当した委員が次年度企画書を作成するため研修の評価を次年度計画に反映
しやすい。
 - 3) 次年度に向けての課題
WEB参加者の受講状況の確認 ・WEB研修の拡大と評価 ・再編した研修の評価
看護研究学会を研究委員と連携しサポートする

◎広報委員会

委員長 松田 香織

1 活動目標

富山県看護協会の使命を受け、県民及び会員の皆様、看護を目指す皆様に、看護協会の活動等、看護に関する情報を提供する。

2 活動内容 開催回数 12回

1) 行事の取材（定時総会、看護研究学会、地域で働く保健師の魅力イベント等）

2) 富山県看護協会機関誌「看護とやま」の発行

(1) 「看護とやま」掲載記事の編集を行い4回発行

No.147（4月号）、No.148（7月号）、No.149（10月号）、No.150（1月号）

(2) 今年度も“未来へつなぐ看護”から「つなぐ」をテーマとした。

(3) 表紙「行事や風景・花」

会員から写真を募集し、県内の行事や風景・花等を紹介した。また、今年度は季節ごとに着せ替えかんごちゃんの写真を掲載した。

(4) 主な掲載内容

No.147・支部紹介リレー第3回「上市支部」「富山西・富山南支部」

- No.148・令和5年度富山県看護協会定時総会報告、新役員紹介
 - ・「コロナ禍での看護を語る会」報告
- No.149・令和6年度富山県に対する要望事項
 - ・「プレコンセプションケア」研修会報告
 - ・「看護AI活用～見守り支援システム～」の導入経緯から実践
 - ・看護小規模多機能型居宅介護スタッフの実践報告
- No.150・「地域で働く保健師の魅力」イベント及び学生インタビュー
 - ・「第33回富山県看護研究学会」報告
 - ・令和6年能登半島地震に対する富山県看護協会の対応

3) ホームページについて

ホームページのアクセス数・内容を調査しトップページの視覚的なレイアウト構成を検討した。

3 目標の達成度、次年度に向けての課題

「看護とやま」は、皆様の原稿協力を得て、発刊することができた。次年度も引き続き、取材を通して看護の情報発信をする。ホームページについては、アクセス数・内容を継続的に調査し情報更新する。

◎社会経済福祉委員会

委員長 山本 麻美

1 活動目標

- 1) 看護職が働き続けられるために、心理的な安全領域について理解しそれぞれの立場で安全な環境を作ることができる。
- 2) 多様化する就業制度を学び、活用することができる。
- 3) 若年層看護職に働き続けられる職場環境について実態調査し、職場定着支援を考える。

2 活動内容

1) 委員会開催数 10回

2) 活動内容

看護職が働き続けられる職場づくりの推進及び、看護師等の就業と定着、WLB推進を目的に研修会を企画した。

(1) 看護職員定着支援事業研修会

日時 令和5年8月10日(木) 13:30～16:00 参加者32名

場所 富山県看護研修センター

講演 心理的安全領域とワークエンゲージメントについて学ぶ

講師 国立保健医療科学院 国際協力研究部 上席主任研究官 種田 憲一郎 氏

(2) 看護職のワーク・ライフ・バランス推進事業報告会

日時 令和5年12月13日(水) 13:00～16:00 参加者50名

場所 富山県看護研修センター

講演 妊娠から育児期の両立支援を学ぶ

講師 岡本なおみ社会保険労務士オフィス 社会保険労務士 岡本 尚美 氏

報告 富山市立富山まちなか病院、黒部市民病院

(3) 広報誌「看護とやま」(No.149、150)に研修内容を掲載

(4) 看護職が働き続けられる職場環境に関する調査の実施

経験年数15年未満の看護職員86.6%が退職を考えた事がある。退職を考えた理由は、『労働環境』であり、就業継続の理由は『人間関係に問題がない』であった。

3 目標の達成度、次年度に向けての課題

講義や演習を通して心理的安全領域や多様な就業制度を学ぶことができた。若年層看護職の働き続けられる職場環境の調査結果を考察し、次年度の職場定着支援に繋げる。

◎看護倫理委員会

委員長 石崎 薫恵

1 活動目標

県内各施設の看護倫理活動の現状を知り、研修企画を再検討する

2 活動内容 開催回数11回

1) 看護倫理Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ研修の企画・運営・支援

(1) 看護倫理Ⅰ 令和5年9月8日(金) 参加者56名

ねらい：看護実践の場において、患者の人権や倫理的問題に関心を持つことができる。

日常の看護実践で遭遇する倫理的問題に気づき、その問題を顕在化できる。

倫理的問題が立ちはだかった時には「倫理原則」で検討する事、倫理的課題を考える時は患者が中心であり、今一度、患者の立場になって考える事を学んだ。

(2) 看護倫理Ⅱ 令和5年10月20日(金) WEB研修 参加者27名

ねらい：看護職が専門職として身につけるべき倫理の基礎知識を基に、ケアの受け手や周囲の人々の意思決定を支えるプロセスを学び自施設の活動に活かす。

臨床倫理4分割シートで分析することで情報が整理されケアの方向性を検討しやすくなること。効果的なファシリテーションの方法を事例を通して学んだ。

(3) 看護倫理Ⅲ 令和6年2月14日(水) 参加者22名

ねらい：現場の倫理問題を抽出し、質の高いケアを提供する方法を学ぶ

倫理的問題に対してリーダーシップをとり、倫理的行動の実践モデルとして行動することができる。

事例を通して、倫理問題解決にはガイドラインの活用や多職種との連携が重要であることを学んだ。また、リーダーの役割として多職種と連携するために調整役として行動することを学んだ。

2) 令和6年度看護倫理研修会の企画(看護倫理Ⅰ、看護倫理Ⅱ、看護倫理Ⅲ)

3) 看護倫理活動に関する実態調査の実施 令和5年10月19日(木)～12月1日(金)

対象施設64施設 回収率89%

調査目的：県内各施設の看護倫理活動の実態と課題を明らかにし、今後の看護協会看護倫理研修の企画運営に活かす

富山県看護協会会員施設の45.6%が看護倫理を検討する委員会等が設置されていないことが判明。設置されていない施設に関しては、倫理的問題が発生した時に関係職種で話し合い対応していることが明らかになった。各施設が求めている研修内容については、現在企画・運営している内容で相違なかった。

3 目標の達成度、次年度に向けての課題

1) 倫理研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲについて

全ての研修において、参加者の97%～100%が研修目的を「達成できた・一部達成できた」との評価から効果的な研修が出来た。倫理研修Ⅱについては、初めてのWEB研修(グループワークを含む)であったが、参加者の意見は高評価であった。

2) 看護倫理活動に関する実態調査について

各施設が求める研修内容については、現行企画・運営している内容で相違はないが、施設規模によって抱える倫理的問題に違いがあることが明らかとなった。今後は参加する施設の特徴を配慮しグループ分けを行うことや、検討事例の選定などを考慮し研修を企画・運営していく必要がある。

◎医療安全委員会

委員長 広田 順子

1 活動目標

- 1) 医療安全対策に関する専門能力の育成及び支援を行う。
- 2) 医療安全管理者の養成及び施設内の医療安全体制を整備・構築するための情報交換や資質向上を図る。
- 3) 医療事故調査制度について学び、組織で取り組む医療事故再発防止の支援に活かす。

2 活動内容

1) 開催回数 5回（研修会6回を含まず）医療安全研修会の企画及び運営 6回10日間

- (1) 医療安全対策Ⅰ 基本的安全対策（定員50名×2回）
7月14日(金) 49名参加 8月18日(金) 36名参加
- (2) 医療安全対策Ⅱ コミュニケーション技法（定員40名×2回）
9月20日(水) 27名参加 10月4日(水) 20名参加
- (3) 医療安全対策Ⅲ 医療安全管理者・推進者に求められる役割と活動（定員50名）
11月13日(月) 28名参加
- (4) 医療安全の観点からのリスクマネジメント（定員50名×3回）
6月13日(火) 45名参加
7月20日(木) 43名参加
8月10日(木) 43名参加
- (5) 医療安全管理者・推進者のためのセーフティマネジメント交流会（定員30名）
8月29日(火) 24名参加
- (6) 医療安全管理者養成研修（定員40名）
10月19日(木) 21名参加

3 目標の達成度、次年度に向けての課題

1) 専門能力の育成及び支援について

今年度もラダーに応じた研修を実施し、受講者の95%以上が研修目的を達成でき、90%以上が満足との結果だった。今年度は、研修終了後に講師との研修運営の振り返りを実施していなかったため、次年度は行い講師の評価を次回研修に活かす。また、参加者が定員より少ない研修が多く、次年度はラダーに応じた研修をスリム化した。ラダーⅡからⅣ対象にKYT・チームステップス研修、管理者対象研修、新規に新人看護職員研修を教育委員会と協働して実施する。小規模施設の管理者対象研修は例年通り開催予定。

2) 医療安全管理者の養成及び資質向上について

医療安全管理者研修では演習の事前課題を見直し、自施設での医療安全に関する問題とその初期対応や再発防止のアプローチについて検討した。システム思考で考えることができ研修目標を達成できた。

3) 医療安全事故再発防止の支援について

研修内容に医療事故調査制度や分析方法を組み込み、再発防止についての知識を得ることができた。次年度も継続して研修企画する。

◎災害看護委員会

委員長 能登 亜希

1 活動目標

富山県看護協会としての新たな仕組みによる災害支援ナースの応援派遣体制を再構築する

- 1) 災害支援看ナース養成研修（集合研修）を実施する
- 2) 災害・感染症医療業務従事者としての登録リストを作成する
- 3) 災害支援ナース派遣調整を行うための準備としてマニュアルを見直す

2 活動内容 開催数8回

1) 災害訓練参加

(1) 富山県総合防災訓練

令和5年8月27日(日) 高岡テクノドーム 参加者3名

避難住民に対しJMATや薬剤師会と協力し救護所での医療救護活動を行った。

(2) 原子力防災訓練

令和5年11月23日(木・祝) 氷見市ふれあいスポーツセンター 参加者2名

避難退域時検査に訪れた住民の新興感染症疑いや体調不良者の対応を行った。

2) 災害支援ナース育成研修の運営

令和5年8月1日(火)～11月12日(日) までオンデマンド研修にて基礎を学習 50名

令和5年11月14日(火) 感染看護 参加者49名

令和6年3月12日(火) 災害看護 参加者49名

新カリキュラムによる災害支援ナース49名が誕生した。

3) 令和6年能登半島地震に対し災害支援ナース派遣

令和6年1月12日(金)～2月29日(木)の間、災害支援ナース38名、JMAT20名の看護師を派遣した。今回は県協会の方々や日本看護協会や県との調整、各病院看護管理者の協力を得て派遣・調整を行った。委員は派遣看護師として現地活動を行った。支援場所のニーズを把握し、他職種と情報共有を図りながら支援を行うことが求められた。

3 目標の達成度、次年度に向けての課題

- 1) 災害支援ナース登録制度の変更に伴い、新カリキュラムによる研修を実施し49名の災害支援ナースが誕生した。引き続き、現状に応じた災害支援ナース養成研修を実施する。
- 2) 能登半島地震では58名の看護師を派遣した。活動内容や報告書をまとめ、災害支援マニュアルの改訂を行う。

◎学会委員会

委員長 比企 雅衣子

1 活動目標

- 1) 富山県看護研究学会の企画・運営ができる。
- 2) 看護研究研修の企画・運営ができる。

2 活動内容

開催回数 委員会9回、研修会8回

1) 第33回富山県看護研究学会の企画・運営について

演題登録数は19演題であった。1題は発表者の都合で辞退となったが、残り18演題を採択した。開催は完全オンデマンド方式とし事前収録を行い配信期間を1か月と設定した。

特別講演は富山大学の八塚美樹教授に依頼した。

- 2) 看護研究研修の企画・運営について
レベルごとにⅠ～Ⅳを企画し、受講者のニーズに答えられるよう開催時期・回数・研修内容・参加者数を検討した。Ⅰは1日コースを3回、Ⅱは2日間コースを3回、Ⅲ・Ⅳは1日コースを1回ずつ開催し、研修後に受講生のアンケートに基づき評価を行った。
- 3 目標の達成度、次年度に向けての課題
富山県看護研究学会においては、査読・集録の作成ともに予定通りに進めることができた。事前収録も滞りなく行われた。参加申し込みは723名あり、群ごとにそれぞれ200回前後の視聴があった。事前に質問を受け付け、4件の質問があった。好きな時間に何度も視聴できる、などアンケート結果は概ね良好であった。
次年度は、オーバードホール・中ホールでの開催を計画している。初めて使用する会場であり今後詳細な検討・準備が必要である。「研究集録原稿チェックリスト」においては、査読観点との整合性を図り、次年度より運用していくこととした。
- 2) 看護研究研修については、講師の都合（体調不良）で1回は配信での研修となったが、その他は対面で開催した。アンケートでは参加者の満足度は90%近く得ていた。看護研究Ⅲにおいては、質的研究・量的研究それぞれをテーマにした研修の開催希望が多く、次年度は両方のテーマについての研修会を企画した。研修は演習が多いため、次年度も引き続き、受講生のニーズを把握しながら委員が講師と受講生の橋渡し役となることが求められる。

◎選挙管理委員会

委員長 柏嶋 由香里

- 1 活動目標
公益社団法人富山県看護協会の役員及び日本看護協会代議員並びに同予備代議員の選挙を公正に行う
- 2 活動内容
 - 1) 当選者の公表
選挙結果について「看護とやま」7月15日148号に掲載した。
 - 2) 選挙公示
公募について、令和7年度日本看護協会代議員、予備代議員と令和6年度公益社団法人富山県看護協会役員を「看護とやま」1月15日150号に掲載した。
 - 3) 立候補者及び推薦候補者公示「看護とやま」4月30日151号に掲載した。
 - 4) 選挙手順の確認
 - ・選挙時、看護協会総会での選挙管理委員会の役割を確認。
(準備から選挙当日までの行程を確認)
 - ・総会参加者による投票を支障なく実施するため、選挙当日の手順書内容を確認した。
 - 5) 選挙録の作成
選挙の経過を記録した選挙録を作成、前委員長の署名捺印。
6月21日(水) 年間活動計画を作成
9月8日(金) 総会予定日、選挙手順の確認
11月10日(金) 選挙公示に向けて準備
選挙関連書類の修正(年号等)
様式1立候補届出書、様式2立候補推薦届出書、様式4立候補辞退届出書
3月8日(金) 「看護とやま」4月号掲載内容の検討
4月5日(金) 候補者の最終確認

3 目標の達成度、次年度に向けての課題

目標は、当初の計画通り達成した。

次年度に向けた課題は、選挙が行われた際には、滞りなく選挙が実施できるように準備する。

◎推薦委員会

委員長 山本 泰子

1 活動目標

- 1) 改選役員、職能委員、推薦委員候補者を推薦する
- 2) 代議員及び予備代議員を推薦する

2 活動内容 開催回数：6回

- 1) 公益社団法人日本看護協会定款及び定款細則について読み合わせ
日本看護協会：定款第4章（代議員・予備代議員）第5章（総会）
定款細則第5章（代議員・予備代議員の選出）第6章（総会）
- 2) 公益社団法人富山県看護協会役員などの推薦及び推薦委員に関する規定について読み合わせ（目的から附則まで）
- 3) 公益社団法人富山県看護協会職能委員会規程の読み合わせ（目的から附則まで）
富山県看護協会：定款5章（役員）第7章（職能委員）
- 4) 令和6年度推薦委員及び職能委員の選出施設の検討
- 5) 令和6年度推薦委員及び職能委員の候補者を選出
- 6) 公益社団法人富山県看護協会役員等について
令和6年度役員の推薦候補を選出し、規程に基づいて選挙管理委員会に選挙推薦候補者名簿を提出
- 7) 日本看護協会通常総会代議員・予備代議員について
令和7年度代議員・予備代議員を選出し、規程に基づいて選挙管理委員会に選挙推薦候補者名簿を提出
- 8) 推薦委員会運営マニュアルの改訂

3 目標の達成度、次年度に向けての課題

適正な候補者を推薦することができた。

今年度改訂した委員会運営マニュアルを活用し、今後も適正な委員の選出を行う。

職能委員など任期を終える方についての確認については、11月の時点で職能理事に伝え、12月の委員会までに知らせてもらえると、もう少しスムーズに選出が行えるのではないかと考える。

また予備代議員選出についても、11月に各職能理事に案内し、2月委員会の時に返答してもらうなどの説明があるとよいのではないかと考える。

令和 5 年度 支部報告

◎黒部・魚津支部

支部長 山本 陽子

1 活動目標

多職種と連携し、地域高齢者の健康ニーズに沿った支部活動を実施する。

2 活動内容

1) 地域のニーズに応じた看護活動

魚津サンプラザにて、魚津市健康センターの企画である「フレイル予防セミナー」に支部後援の形で参加し、第1回「フレイル予防の概要と運動」、第2回「栄養と口腔の話」、第3回「ふり返り講義と楽しく運動」の講義とセミナー前後の血圧・筋量測定を行った。参加者各回18名。

2) 支部研修会

稲村睦子富山県看護協会長による「最近の看護の動向」の講義のあと、「高齢者虐待の早期発見・早期解決に向けて～支援者として知っておきたいこと～」と題し、富山国際大学 相山肇教授から講義を受け、高齢者虐待に関するグループワークを行った。虐待を早期にキャッチし、発信することの重要性を学んだ。会場：富山労災病院、参加者52名。

3) 「まちの保健室」事業

魚津サンプラザを利用中の一般住民を対象に、健康相談・介護相談・認知症相談・体脂肪測定などを実施した。その際、フレイル自己チェック表付ポケットティッシュ、協会のクリアケース、健康に関するパンフレットを配布しながらフレイル予防事業のPRを行った。参加者は、相談24名、体脂肪測定63名。

4) 「看護の日」及び看護週間における事業

看護職の魅力ややりがいを伝えることを目的に地区教育委員会での広報活動を行い、応募のあった小学校1校にて看護の出前講座を行った。歩行介助や輸液滴数調節など体験学習を中心に企画し、生徒から多くの感想を得た。

5) フレイル対策に関すること

「地域のニーズに応じた看護活動」事業に含む。

3 目標の達成度、次年度に向けての課題

予定した活動は支部委員の協力にて実施できた。看護の出前講座については、地区内の教育委員会へ働きかけてはいるが、令和4年度・5年度とも応募が1校のみであった。広報方法などを見直し、看護の魅力を伝える機会を増やす工夫をしたい。

◎富山東支部、富山北支部

支部長 高島 和代

1 活動目標

多職種・看護職同士のネットワーク強化に努め、地域のニーズに対応した看護活動を行う。

2 活動内容

1) 地域のニーズに応じた看護活動

今年度はコロナ禍で中止していた在宅医療体験を再開した。訪問に同行し、在宅療養の実際を知り、医師、看護師の役割を理解する事で施設における自らの役割を理解し、入退院支援に役立てる事を目的に行い、高評価を得た。また、報告会を実施し参加者同士の意見交換を行い、学びを共有した。

2) 支部研修会

協会長の「最近の看護の動向」について講演後、「地域包括ケアにおける在宅医療と訪問看護師の役割と実際」というテーマでシンポジウムを行った。今回もWebで開催したが研修後のアンケートでは、富山県の看護の動向について改めて知る機会となって良かった、病院勤務の看護職がスムーズな入退院支援を行うために何をすべきかを考える事に繋がり、今後の看護活動に活かせる事ができるなどの意見があり今後の看護活動に活かせる研修会となった。

3) 「まちの保健室」事業

不二越病院とまちなか病院で、健康チェック、血圧測定、フットケア相談等を行った。フレイルに関するパンフレットやフレイル自己チェック表付ポケットティッシュの配布を行った。また、まちなか病院でも、健康チェック、血圧測定、体組成測定、健康相談のほか、フレイルについての説明や糖尿病デーのイベントやいい見取りの日に人生会議の説明を行った。

4) 「看護の日」及び看護週間における事業

今年度は、小学校2校の他、不二越工業高校への出前講座を行った。小学生には、看護職の紹介と聴診器、パルスオキシメーターや手洗いチェッカーを使用し消毒剤の適切な使用方法を説明した。高校生には、看護職以外にDMATや臨床工学技士、理学療法士の講義も行った。実技では、AED、エアーストレッチャー、松葉杖、車椅子の使用方法を説明し、実演してもらった。工業系で医療とは無縁だと思っていたが実際に話を聞いて自分たちにもできることがわかり、進路の一つにしたいという感想が聞かれた。

5) フレイル対策に関すること

「まちの保健室」事業に準ずる。

3 目標の達成度、次年度に向けての課題

在宅医療体験を通して、施設に勤務する看護職がスムーズに入退院支援を行うために役割を見出すことができた。また、シンポジウムでは、最近の看護の動向と在宅療養と訪問看護師の役割を理解し、スムーズな入退院支援を行うための看護活動を考える機会となった。出前講座では小学生だけでなく進路決定の時期にある高校生にも行い、看護職、医療職について理解して頂く事ができた。次年度も、在宅医療体験、出前講座の継続と研修会については、地域包括システムの深化・推進を目的に多職種の講演を行い、看護と介護の連携について学ぶ場としたい。また、各種イベントにも積極的に参加し、健康相談や健康チェック等を行い、地域のニーズに対応した看護活動を行っていききたい。

◎富山西支部、富山南支部

支部長 永田 智雅

1 活動目標

地域での看護職のネットワークの構築を図るとともに、関係機関と連携し、地域のニーズに対応した看護活動を行う。

2 活動内容

1) 地域のニーズに応じた看護活動

10月8日(日)には五省会のロコケン5th、10月14日(土)はやつおふれあいフェスティバルに参加し各会場で健康相談コーナーを設置した。血圧測定やサチュレーション測定をしながら住民からの質問(血圧、睡眠、運動方法、減塩食事など)に答えた。

2) 支部研修会

10月8日(日)「障害児者のACPについて」をオレンジホームケアクリニック 理事長 紅谷浩之先生に講演頂いた(zoomによるオンライン開催)。63名が参加。アンケート結果からはテーマ・時間帯・曜日・内容についてはほぼ満足であった。自由記載として「患者とともに話し合える環境づくりをしていきたい・医療的ケア児は医療と福祉・教育が一丸となって誰もが安心して受け入れることができる地域づくりが必要であると思った」などがあつた。

3) 「まちの保健室」事業

2月24日(土)・25日(日)に、富山市婦中ふれあい館生涯学習フェスティバルに参加。富山西保健福祉センターの保健師と協働で、健康チェック(血圧測定、血管年齢測定、SpO₂測定)実施や健康相談にのつた。約177名が訪れた。骨密度測定結果を説明する時にフレイル予防について説明しリーフレットを配布した。また、会場を訪れる小学生や中学生に「看護のシゴト」のパンフレットを配布し仕事内容について説明した。いろんな年代が訪れるのでそれぞれに応じた説明や関りが必要であつた。血圧や糖尿に関する質問が多かつた。

4) 「看護の日」及び看護週間における事業

富山市内の小学校を3校訪問した。(月岡小学校)小学生5~6年生を対象に「看護のシゴト」について説明した。また、「看護職の資格取得までのコース」や看護師をこころざした動機、やりがい感、苦労話についても説明した。聴診器やSpO₂モニターに触れ体験することで自分の体について興味を持ってもらうことができた。出前講座実施理由を説明することで、将来の看護職の人材確保につながると確信することができた。

5) フレイル対策に関すること

地域のニーズに応じた看護活動やまちの保健室事業でフレイル予防についてパンフレットやフレイル自己チェック表付ポケットティッシュを配布した。ポスターの掲示もおこなつた。

3 目標の達成度、次年度に向けての課題

目標は達成できたと考える。多くの住民と触れ合うことで悩みを聞き相談にのることができた。人が集まるイベントを利用して、「まちの保健室」を開催するが、内容を何にすれば集まってきてくれるかが課題である。

◎上市支部

支部長 海原 真澄

1 活動目標

地域ニーズに応じた看護活動を実施する。

2 活動内容

1) 地域のニーズに応じた看護活動

上市町生き生き健康フェスティバルに参加し、産後ケア事業の紹介や子育て支援の

紹介など地域住民100名に対して地域事業と連携して行った。管内の病院、健康福祉課で9月～11月にかけて、認知症に関する情報提供と啓発活動、乳がん検診率向上のためのピンクリボン活動、糖尿病の情報提供に向けたブルーライト活動を行った。

2) 支部研修会

厚生連滑川病院で「看護職の専門性を発揮する地域におけるタスクシフト・タスクシェアへの取り組み」としてシンポジウムを開催した。参加者は45名。富山県看護協会 会長 稲村睦子氏による「最近の看護の動向」の講演に続き、厚生連滑川病院 小又真由美 副看護師長より「看護師と看護補助者との協働に向けたタスクシフト・タスクシェアへの取り組み」、かみいち総合病院 平井志乃扶 看護師長より「多職種で行う産後ケア」、中新川訪問看護ステーション 山田裕美子 訪問看護係長より「特定医療行為研修を受講して」の発表があった。参加者のアンケート結果より「良い」評価が87.5%であった。積極的な質問も多く関心の高さが伺え、地域の関係医療機関との交流の場になった。

3) 「まちの保健室」事業

- (1) 滑川市ショッピングセンターエールにおいて「まちの保健室」を開催した。買い物客や地元住民を対象に183名が参加された。健康チェック、健康相談等11ブースを設け住民の方が気軽に参加できるよう体制を整えた。フレイルに関しても企画を通して広く情報提供が行えた。マスコット「かんごちゃん」が店内をまわる事で子供たちの「看護師」への関心が高まった。
- (2) 出前講座として認定看護師が地域の公民館等20か所に出向き、健康寿命延伸に向けた活動を行った。出前講座の回数は合計39回で、対象者は626人であった。アンケート結果では理解度が深まった割合が89.6%、満足が80.5%であった。

4) 「看護の日」及び看護週間における事業

《ふれあい看護体験出前講座》は3か所の小学校へ出向いた。学校へ出向くことで生徒は伸び伸びと体験することができ、看護の仕事に関心を持ってもらえた。《ふれあい看護体験》では厚生連滑川病院では病院職員の子供25人を対象に看護体験を実施した。アンケート結果では楽しかったが100%であり、看護師に関心を持つ子が90%いた。かみいち総合病院では、高校生19人を対象に看護/介護/リハビリ体験を実施し看護の魅力ややりがいを伝えた。アンケートでは100%の満足が得られた。「社会に学ぶ14歳の挑戦」で看護の仕事に関する講義を行った。

5) フレイル対策に関すること

認定看護師による出前講座を行った。地元の公民館6か所をまわり、「知っておきたい、フレイル・サルコペニアとその予防」などをテーマに活動し118名の参加者であった。フレイル・サルコペニアの認知度は約半数であったが、改めて身近な場所で情報提供ができ住民の理解が深まったと考える。かみいち総合病院 病院祭ではフレイル予防啓発活動を行った。

3 目標の達成度、次年度に向けての課題

支部活動の計画はほぼ実施することができた。出前講座やまちの保健室開催などで地元住民と触れ合い、直接対話が出来たことで地域のニーズを知る事に繋がった。次年度も地域や行政機関と連携を図りながら看護活動を行なっていきたい。そして看護の魅力も活動を通し伝えていきたい。

◎高岡・射水・氷見支部

支部長 諸江 由紀子

1 活動目標

地域包括ケアを推進するにあたり、ネットワークを構築する地域の看護・介護職のニーズに応じた活動を行い、地域との連携を深める。

2 活動内容

1) 地域のニーズに応じた看護活動

支援の希望があったサ高住3施設、グループホーム2施設へ、それぞれのニーズに合った認定看護師を派遣し、不安や悩みの相談に応じた。基礎疾患を複数持つ高齢者や看取り対象者に対し、介護者が病状の把握や受診の判断をしなくてはならないことが多く、個別の質問への対応には満足度が高かった。

2) 支部研修会

昨年に引き続き東京都立病院機構広尾病院減災対策支援センターの中島康センター長にWEB講演を依頼した。自宅・自施設への配信に加え、金沢医科大学氷見市民病院でもLive会場を設けた。コロナ禍を経て減災対策・BCPのさらなるブラッシュアップの必要性を感じている参加者43名が視聴した。アンケートでは継続開催の希望が多く、令和8年度までの計5回を支部としての継続事業とすることとした。1月の能登半島地震を受けさらにニーズが高まったところである。

3) 「まちの保健室」事業

フレイル予防活動として、集客性の高い、病院での糖尿病教室や骨粗鬆症予防教室、シルバー祭りなどの前後にパンフレット配布、健康相談などを行った。また、コロナ禍で中止となっていた精神障害者家族会主催の「あしつき秋祭り」にも健康相談ブースを出展し、来客者の血圧の相談などに応じた。

4) 「看護の日」及び看護週間における事業

依頼があった高校2校へ出張し、看護の仕事の紹介、看護の魅力、やりがい、看護師になるための方法などについてPPTを使って説明し、質問に応じた。

5) フレイル対策に関すること

「まちの保健室」事業の一環として継続して取り組んでいる。

3 目標の達成度、次年度に向けての課題

「地域のニーズに応じた看護活動」を通じて、主に急性期病院に所属する認定看護師などのスペシャリストが地域の小規模施設と接点を持ち、異なる環境を知ることができたのは良かった。今後も継続していく。また逆に、介護施設の方々に急性期病院の現状を知っていただき、上手に医療機関を利活用していただく知識を伝える機会があってもよい。

能登半島地震を受け、減災・BCP充実の必要性は高まっている一方、被災者への継続支援も考えていく必要がある。

看護職を目指す子どもたちへの働きかけについては、「14歳の挑戦」で看護職の体験を選んでくれるよう、その前段階の中学校1～2年生にターゲットを絞っていく。

◎砺波・小矢部支部

支部長 金兵 留美

1 活動目標

看護職が砺波医療圏の現状を理解し、地域住民が自ら健康づくりに取り組むことを支援する。

2 活動内容

1) 地域のニーズに応じた看護活動

オーラルフレイルと心不全を予防し、毎日を健やかに過ごすことを目的に、高齢者サロン等で実施した。リーフレットや心臓セルフチェック表を用いて心不全とオーラルフレイルについて説明を行うことで、繰り返し確認できるように工夫した。また、健康〇×クイズ形式とすることで、住民参加型の活動とすることができた

2) 支部研修会

(1) 講演「最近の看護の動向」 講師：富山県看護協会 会長 稲村 睦子氏

(2) 講演「オーラルフレイルの予防 ～咀嚼と嚥下の仕組み～」

講師：富山県歯科医師会 公衆衛生担当理事 越田 喜規氏

2040年を見据え、タスクシフト/シェアの有効性への理解を深める機会となった。噛むことワースト1の富山県においてオーラルフレイルの取り組みが進められていることを知り、口腔内の健康や実践指導について理解を深めることができた。

3) 「まちの保健室」事業

イオンモールとなみで7月に「熱中症にならないために」、10月に「フレイル予防について」、11月に「知って！予防する！ヒートショック」と、季節に合わせたテーマで実施した。視覚に訴えるポスター掲示、血圧測定に合わせた健康相談を実施することで、合計123名の参加があった。

4) 「看護の日」及び看護週間における事業

小・中学校での実施が難しかったため、広く一般住民を対象にイオンモールとなみで「看護の出前講座」を実施した。親子連れの参加もあり、「看護の仕事」についてPRする機会となった。

5) フレイル対策に関すること

地域のニーズに応じた看護活動、支部研修、まちの保健室事業の各活動にフレイル予防対策を取り入れることで多くの地域の方々に情報を提供することが出来た。

3 目標の達成度、次年度に向けての課題

状況に合わせて計画を変更したが、目的は達成することができた。次年度に向けては、新学期が始まる前に、小・中学校に「看護の日」事業についてPRすることで年間計画に取り入れてもらえるよう配慮する必要がある。

令和 6 年度日本看護協会通常総会代議員報告

あさひ総合病院 山本 陽子

月 日 令和 6 年 6 月 6 日(木)
場 所 東京国際フォーラム

1. 報告事項

- 1) 報告事項 1 令和 5 年度事業報告

- 2) 報告事項 2 令和 5 年度決算報告及び監査報告

- 3) 報告事項 3 令和 6 年度重点政策・重点事業並びに事業計画

- 4) 報告事項 4 令和 6 年度資金収支予算及び収支予算

2. その他

資 料

令和6年度優良看護職員表彰者名簿	93
------------------	----

[報告事項1 令和5年度事業報告資料]

令和5年度 研修会等実施状況報告	94
令和5年度 認定看護管理者教育課程 教育運営委員会	106
令和5年度 令和6年能登半島地震における災害支援ナース派遣報告	107
令和5年度 感染管理認定看護師派遣事業報告	108
令和5年度 富山県ナースセンター事業報告	109
令和5年度 富山県訪問看護総合支援センター事業報告	124
令和5年度 訪問看護ステーションひよどり事業報告	133
令和5年度 訪問看護ステーションひよどり富山事業報告	136
令和5年度 ひよどり富山居宅介護支援事業所事業報告	141
令和5年度 神明・五福地域包括支援センター事業報告	144
令和5年度 その他の受託事業報告	147
令和6年度 富山県行政への要望事項	149
令和5年度 行政機関および関連団体等の委員等就任状況	152
令和5年度 他団体等への推薦	154
令和5年度 後援等の報告	155

[各種報告2 令和5年度職能委員会報告資料]

保健師・助産師交流会報告	保健師職能委員会	157
保健師交流会報告	保健師職能委員会	159
「いのちの教室」実践報告	助産師職能委員会	160
「いのちの教室」運営状況把握	助産師職能委員会	161
地域包括ケアシステムの推進に向けた看看連携の取り組み2報告	看護師職能Ⅰ委員会	162
在宅ケア事例検討会報告	看護師職能Ⅱ委員会	164

[各種報告3 令和5年度委員会報告資料]

看護職が働き続けられる職場環境に関するアンケート調査結果	社会経済福祉委員会	167
------------------------------	-----------	-----

[各種報告4 令和5年度支部報告資料]

令和5年度 支部(5事業)報告	地区支部	170
令和5年度 支部長会報告	地区支部	179

[各種名簿等]

令和5年度 富山県看護協会施設別・職種別会員数	180
令和5年度 受章(彰)者名簿	182
令和5年度 富山県看護協会役員及び委員名簿	183
令和5年度 富山県看護協会支部役員名簿	186
令和6年度 日本看護協会代議員及び予備代議員名簿	187

[参考資料]

会員数と入会率	188
都道府県看護協会一覧表	190
都道府県ナースセンター一覧表	191
公益社団法人富山県看護協会定款	192
公益社団法人富山県看護協会組織図	204
公益社団法人富山県看護協会職員名簿	205

令和6年度 優良看護職員表彰者名簿

◎富山県部門功労表彰者 (5人)

五十音順

朝野裕美	元医療法人社団和敬会 谷野呉山病院
安念恵子	元富山市役所
原田洋美	特定医療法人財団五省会 西能病院
松島淳子	医療法人社団親和会 チューリップ訪問看護ステーション
米山美智代	学校法人浦山学園 富山福祉短期大学

◎富山県看護協会会長表彰者 (10人)

五十音順

岩田三津子	氷見市こども家庭センター
大田優子	富山市まちなか総合ケアセンター
大庭純子	高岡市民病院
小倉里美	市立砺波総合病院
渋谷美保子	富山県済生会高岡病院
白井志津世	富山赤十字病院
瀬山尚子	富山県済生会富山病院
丸池小百合	国立大学法人富山大学附属病院
吉澤環	南砺市民病院
利田智恵	富山県高岡厚生センター氷見支所

令和5年度 研修会等実施状況報告

◎参加状況一覧表

区分	富山県委託補助事業	zoom活用	研修会名	開催日	期間	定員	応募者数	受講者数 (うち 非会員)	受講率 (%)	受講者の内訳				
										保	助	看	准	その他
「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育	※委託		看護職員資質向上実務研修	6月22日(木)7月13日(木) 7月27日(木)8月4日(金) 各日 PM	0.5 ×4	30	18	9 (6)	30%	0	1	6	2	0
			保健師交流会 多様な場で働く保健師活動～効果的な保健指導について～	11月25日(土) PM	0.5	50	25	24 (1)	48%	24	0	0	0	0
	※補助		保健師・助産師交流会「地域における子育て支援」を考える	8月28日(月) PM	0.5	40	33	35 (6)	88%	15	16	4	0	0
	※補助		プレコンセプションケア～女性の健康支援～	7月24日(月) PM	0.5	40	23	22 (1)	55%	1	14	7	0	0
	※補助	一部講師のみzoom	周産期に合併しやすい内分泌疾患の基礎知識・糖代謝異常妊婦の看護について～長期的な母子の健康維持を目指して～	11月10日(金) PM	0.5	40	16	15 (1)	38%	0	8	7	0	0
	※補助		ベリネイタル・ロス (周産期の死別)	11月4日(土) PM	0.5	30	28	26 (0)	87%	0	25	1	0	0
			虐待とネグレクトを予防する	12月14日(木)	1	70	40	35 (0)	50%	2	3	29	1	0
			准看護師ステップアップ研修	9月2日(土) PM	0.5	20	4	7 (6)	35%	0	0	0	7	0
			介護・福祉・在宅領域の研修 訪問看護における特定行為の実践を学ぶ	11月15日(水) PM	0.5	50	19	17 (2)	34%	0	0	17	0	0
	※委託		訪問看護従事者等研修会	11月1日(水)	1	30	20	19 (12)	63%	0	0	18	1	0
	※補助		看護職員定着支援事業研修会	8月10日(木) PM	0.5	50	33	32 (3)	64%	0	1	31	0	0
	※委託		看護職のワーク・ライフ・バランス推進事業報告会	12月13日(水) PM	0.5	50	54	50 (12)	100%	0	2	39	2	7
	※委託		看護職員再就業支援研修	6月6日(火) AM 7月4日(火) AM 8月1日(火) AM 9月9日(土) AM	2h ×4	15	9	5 (3)	33%	0	0	5	0	0
	※委託		訪問看護キャリア支援セミナー	1 8月5日(土) AM 2 11月18日(土) AM	0.5	20	16	17 (-)	85%	1	0	16	0	0
	ラターと連動した継続教育		2会場を繋ぐ	新人看護職員研修Ⅰ 働き始めたあなたに！	A 6月1日(木) B 6月2日(金) C 6月5日(月)	1	100	132	128 (5)	128%	0	4	123	1
※補助			新人看護職員研修Ⅱ 医療者に求められるコミュニケーション	A 10月11日(水) AM B 10月11日(水) PM C 10月18日(水) AM D 10月18日(水) PM	0.5	70	78	76 (0)	109%	0	3	73	0	0
※補助			中堅看護師に役立つコミュニケーション！	7月19日(水)	1	70	50	49 (1)	70%	1	2	46	0	0
※補助			看護倫理Ⅰ 看護専門職として基本的な姿勢を学ぶ	9月8日(金)	1	70	61	56 (5)	80%	0	1	52	3	0
※補助		受講生のみzoom	看護倫理Ⅱ 職場の倫理風土を育てる	10月20日(金)	1	70	27	27 (1)	39%	0	0	27	0	0
※補助			看護倫理Ⅲ 自身の役割を認識し、倫理的課題を解決するアプローチの方法を理解する	R6.2月14日(水) PM	0.5	40	24	22 (0)	55%	0	1	21	0	0
※補助			看護研究Ⅰ (楽しく学ぶ初めての看護研究)	A 5月9日(火) B 5月16日(火) C 9月12日(火)	1	70	70	67 (1)	96%	0	5	62	0	0
※補助			看護研究Ⅱ (進めよう看護研究)	A 7月11日(火) 7月12日(水) B 7月25日(火) 7月27日(木) C R6.2月1日(木) 2月5日(月)	2	50	51	50 (2)	100%	2	3	45	0	0
※補助		講師のみzoom	医療安全対策Ⅰ 基本的安全対策	A 7月14日(金) B 8月18日(金)	1	50	50	49 (6)	98%	0	1	48	0	0
※補助			医療安全対策Ⅱ コミュニケーション技法	A 9月20日(水) B 10月4日(水)	1	40	30	26 (4)	65%	0	0	26	0	0
			感染対策Ⅰ 基礎編A	9月5日(火)	1	70	75	70 (13)	100%	1	1	64	4	0
			感染対策Ⅰ 基礎編B	9月14日(木)	1	70	54	51 (16)	73%	0	0	44	3	4
			感染対策Ⅱ 実践編	9月28日(木)	1	80	60	55 (10)	69%	0	1	52	2	0
		受講生のみzoom	糖尿病の看護 基礎知識・自己管理への生活調整と支援	8月23日(水)	1	80	42	40 (1)	50%	0	1	39	0	0
		ハイブリッド形式	脳卒中患者の看護 急性期の重篤化回避から機能回復へ	10月3日(火)	1	50	31	30 (5)	60%	0	1	29	0	0
			がん看護 (基礎編) がん看護に関する基礎知識	10月25日(木)	1	80	43	41 (3)	51%	0	2	38	1	0
			がん看護 (応用編) 患者・家族の意思決定支援	11月9日(木)	1	80	45	45 (3)	56%	0	2	43	0	0
			AYA 世代がん患者の理解と支援	12月6日(水)	1	50	40	38 (0)	76%	0	4	34	0	0
			これからの摂食嚥下障害の理解とケア	9月13日(水)	1	80	78	72 (15)	90%	0	2	67	3	0
			現場に活かせる褥瘡ケアA	10月12日(水)	1	80	82	75 (13)	94%	0	1	70	4	0
			現場に活かせる褥瘡ケアB	10月24日(火)	1	80	71	66 (33)	83%	0	1	58	6	1
			高齢者に多い呼吸器循環器疾患のケアA	11月7日(火)	1	80	64	62 (7)	78%	0	0	62	0	0
			高齢者に多い呼吸器循環器疾患のケアB	11月22日(水)	1	80	34	31 (14)	39%	0	0	27	4	0
		一部講師のみzoom	優しさを伝える認知症ケア～対象を理解することでケアが変わる～	7月31日(月)	1	80	60	55 (7)	69%	1	1	53	0	0

区分	富山県委託補助事業	zoom活用	研修会名	開催日	期間	定員	応募者数	受講者数 (うち 非会員)	受講率 (%)	受講者の内訳					
										保	助	看	准	その他	
継続教育 ラダーと連動した	※補助		せん妄の理解とケア	10月23日(月)	1	80	67	65 (6)	81%	0	0	65	0	0	
	※補助	講師のみ zoom	心と命を守るゲートキーパー 医療従事者としてできる生きることへの支援	10月21日(土)	1	50	22	20 (0)	40%	1	0	19	0	0	
	※委託		精神科訪問看護師育成研修 精神疾患を抱える患者の在宅看護	8月26日(土)	1	50	29	25 (6)	50%	1	0	22	1	1	
			入院前から始める入退院支援	11月2日(木)	1	80	54	51 (1)	64%	1	0	50	0	0	
			事例から学ぶ地域における多職種連携	11月16日(木)	1	80	40	34 (6)	43%	0	0	34	0	0	
進捗するための力量形成に向けた継続教育を推進する	※委託	一部講師のみ zoom	医療安全の観点からのリスクマネジメント	6月13日(火) 7月20日(木) 8月10日(木)	3	50	52	38 (7)	76%	0	2	36	0	0	
	※補助		サーバントリーダーシップへ変化に適応するリーダーとは～	11月6日(月)	1	50	50	45 (5)	90%	0	2	43	0	0	
	※補助		コーチングのできるリーダー育成	10月5日(木) 10月6日(金)	2	50	43	41 (4)	82%	0	0	41	0	0	
			看護補助者の活用推進のための看護管理者研修	8月30日(水)	1	50	71	68 (11)	136%	0	3	65	0	0	
	※委託		看護師職能1交流会 地域包括ケアシステムの推進に向けた看護連携の取り組み2	12月15日(金) PM	0.5	50	37	37 (0)	74%	0	2	35	0	0	
専門能力開発を支援する教育体制	※委託	講師・受講生 zoom	【1回目】訪問看護ステーション管理者育成研修会	7月8日(土) AM	0.5	50	54	52 (19)	104%	1	0	50	1	0	
	※委託		【2回目】訪問看護ステーション管理者育成研修会	R6.1月27日(土) PM	0.5	50	34	27 (7)	54%	0	0	27	0	0	
			医療安全管理者・推進者のためのセーフティマネジメント交流会 知っておきたい！目施設で強化したい医療安全管理対策	8月29日(火) PM	0.5	30	27	24 (1)	80%	0	0	24	0	0	
	※委託		新人看護職員研修責任者・教育担当者研修	5月20日(土) 6月29日(木) 6月30日(金) 9月29日(金)	4	70	42	37 (3)	53%	0	1	36	0	0	
	※委託		新人看護職員実地指導者研修	5月26日(金) 5月27日(土) 6月12日(月) 2月19日(月)	4	80	80	73 (7)	91%	0	0	73	0	0	
資格認定教育			ジェンダー（LGBT）への理解	11月8日(水)	1	50	39	39 (1)	78%	0	6	32	1	0	
	※補助		看護研究Ⅲ（質的研究を学ぼう！）	7月21日(金)	1	50	44	31 (0)	62%	2	0	29	0	0	
	※補助		看護研究Ⅳ（迷わない研究サポート）	8月28日(月)	1	50	48	47 (1)	94%	2	1	44	0	0	
	※補助		医療安全対策Ⅲ 医療安全管理者・推進者に求められる役割と活動～情報収集・対策立案・実践・評価まで～	11月13日(月)	1	50	29	28 (6)	56%	0	1	26	0	1	
			<セカンドレベル公開講座> ヘルスケアサービスにおける多職種連携	6月24日(土)	1	25	11	11 (0)	44%	0	0	11	0	0	
			<セカンドレベル公開講座>人材を育てるマネジメント	7月7日(金)	1	25	19	18 (3)	72%	0	0	18	0	0	
			<セカンドレベル公開講座>経営資源と管理の実際	7月11日(火)	1	25	14	13 (2)	52%	0	1	12	0	0	
			<認定看護管理者教育課程セカンドレベル看護管理実践報告会>	8月9日(水) AM	0.5	50	41	41 (0)	82%	0	3	38	0	0	
			<ファーストレベル公開講座>経営資源と管理の基礎知識	9月2日(土)	1	30	8	7 (0)	23%	0	0	7	0	0	
			<ファーストレベル公開講座>組織マネジメント概論	9月5日(火)	1	30	20	18 (2)	60%	0	0	18	0	0	
連携した研修会と			<ファーストレベル公開講座>人材育成の基礎知識	9月15日(金)	1	30	31	31 (1)	103%	0	0	31	0	0	
	※委託	講師のみ zoom	<ファーストレベル公開講座> ヘルスケアサービスにおける看護の役割	9月23日(土・祝)	1	30	8	7 (0)	23%	0	1	6	0	0	
	※委託		<富山県保健師助産師看護師等実習指導者講習会指導案発表会>	12月12日(火)	1	40	4	4 (0)	10%	0	0	4	0	0	
	※委託		<「訪問看護eラーニング」を活用した訪問看護養成講習会公開講座>認知症の看護	10月2日(月)	1	30	2	2 (1)	6%	0	0	2	0	0	
			認定看護師交流会	12月9日(土) AM	0.5	150	85	81 (0)	54%	1	1	79	0	0	
長期研修			摂食・嚥下障害看護認定看護師フォローアップ研修 事例報告会、特別講演	R6.3月9日(土)	1	80	42	42 (0)	53%	0	0	42	0	0	
			認知症高齢者の看護実践に必要な知識	10月30日(月火)	2	80	89	85 (14)	106%	1	2	82	0	0	
			小児在宅移行支援指導者育成研修	11月20日(月火)	2	20	5	5 (0)	25%	0	3	2	0	0	
			医療安全管理者養成研修 ※集合研修	10月19日(木)	1	40	21	21 (0)	53%	0	1	20	0	0	
			外来における在宅療養支援能力向上のための研修	R6.2月29日(木)	1	60	7	6 (1)	10%			6	0	0	
			災害支援ナース養成研修①(感染) ※集合研修	11月14日(火)	1		50	50	49 (0)	98%	1	2	46	0	0
			災害支援ナース養成研修②(災害) ※集合研修	R6.3月12日(火)	1										
その他			糖尿病重症化予防（フットケア）研修	7月6日(木) 7月7日(金) 7月8日(土)	3	30	22	22 (3)	73%	0	1	21	0	0	
			看護職員認知症対応力向上研修会	8月3日(木) 8月9日(木) 8月17日(木)	3	60	75	71 (20)	118%	1	1	68	1	0	
			認定看護管理者教育課程 ファーストレベル	9月1日(金)～ 10月3日(火)	21	50	57	53 (1)	106%	0	2	51	0	0	
			認定看護管理者教育課程 セカンドレベル	6月20日(火)～ 8月8日(火)	31	25	33	33 (0)	132%	0	3	30	0	0	
	※委託		富山県保健師助産師看護師等実習指導者講習会（一般）	10月27日(金)～ 12月13日(水)	180 h	40	36	36 (0)	90%	4	4	28	0	0	
	※委託		富山県保健師助産師看護師等実習指導者講習会（特定分野）	10月27日(金)～ 12月13日(水)	39 h	8	7	7 (0)	88%	2	0	5	0	0	
その他	ハイブリッド 形式		コロナ禍での看護を語る会	5月18日(木) PM	0.5	110	46	75 (4)	68%	9	3	63	0	0	
	zoom		教育現場と医療現場の人材交流実践報告会	R6.3月5日(火) PM	0.5	80	52	50 (0)	63%	2	1	37	0	10	
						R5年度	5,383	4,115	3,920 (485)	73%	87	175	3,576	55	27

一般研修

1 「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育

研修名	講師	ねらい	主な内容
看護職員 資質向上実務研修	慢性呼吸器疾患看護 認定看護師 高岡市民病院 奥田 公也 摂食・嚥下障害看護認定看護師 富山赤十字 訪問看護ステーション 中山 香菜	日常ケアに活かす看護実践 能力を高める（高齢社会、 多死時代に対応するた めに） 参加者間のネットワークを 拡げる機会とする	<ul style="list-style-type: none"> 肺炎について 呼吸介助について 摂食嚥下障害について 口腔ケアについて 演習：口腔ケアの実際 呼吸介助及び聴診
	感染管理認定看護師 富山大学附属病院 松浦 美里		<ul style="list-style-type: none"> アウトブレイクについて 疾患と感染対策（新型コロナウイルス、 ノロウイルス等の感染性胃腸炎、疥癬） 演習
	脳卒中リハビリテーション 看護 認定看護師 市立砺波総合病院 池守 実智代	<ul style="list-style-type: none"> ロコモティブシンドロームの概念及び現状 演習：転倒予防のリハビリテーション 	
	糖尿病看護認定看護師 黒部市民病院 開 弘美	<ul style="list-style-type: none"> 糖尿病看護の生活上の注意ポイント 糖尿病患者の教育・在宅指導ポイント 事例検討：フットケア 	
	クリティカルケア認定看護師 富山赤十字病院 浅生 かおり 富山県立中央病院 前坪 瑠美子 富山大学附属病院 宮崎 優 集中ケア認定看護師 黒部市民病院 八倉巻 考司	フィジカルアセスメントの 基礎知識を学び、日々の看 護実践に活かす	<ul style="list-style-type: none"> 呼吸器系・循環器系・消化器系・脳神経系フィ ジカルアセスメントの基礎知識 演習：シミュレーション人形を使用し呼吸器・ 心音聴取、意識レベルの確認、事例検 討
プレコンセプションケア ～女性の健康支援～	女性クリニックWe富山 医師 鮫島 梓	妊娠前の健康状態を改善 し、女性やカップル・子ど もたちの短期的かつ長期的 な健康増進に役立てるため のプレコンセプションケア について理解し、保健指導 の実際に活用できる	<ul style="list-style-type: none"> ウイメンズヘルスケア能力と助産師・看護師 の役割 プレコンセプションケアヘルスケアの定義・ 重要性 医療機関におけるプレコンセプションの実際
周産期に合併しやすい 内分泌疾患の基礎知識・ 糖代謝異常妊婦の 看護について ～長期的な母子の健康維持 を目指して～	鳥先生のみzoom 厚生連高岡病院 糖尿病・内分泌代謝内科 診療部長 鳥 孝佑 糖尿病看護認定看護師 高岡市民病院 寺澤 多英	周産期の内分泌疾患など、 母子の健康や合併症を悪化 させるリスクの高い妊娠に ついて専門的な知識を理解 する 妊娠前からの健康管理・出 産後の生活習慣病予防に向 けた指導を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> 周産期の内分泌疾患の基礎知識 妊娠前からの健康管理、出産後の生活習慣病 予防に向けた指導について 糖代謝異常を持つ女性の生涯を通じた支援に 向けて
ペリネイタル・ロス (周産期の死別)	聖路加国際大学 ペリネイタル・ロス研究会 静岡県立大学 看護学部長 太田 尚子	ペリネイタル・ロス（流産、 死産、新生児死亡など周産 期の子どもの喪失）を経験 した女性と家族への支援を 学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ペリネイタル・ロスとグリーフについて ペリネイタル・ロスのケア 演習：ロールプレイ

研修名	講師	ねらい	主な内容
虐待とネグレクトを 予防する	富山県立中央病院 小児科 部長 五十嵐 登 富山県厚生部高齢福祉課 小児看護専門看護師 富山県立中央病院 松井 弘美 老人看護専門看護師 市立砺波総合病院 長瀬 佐知子	子どもと高齢者を虐待から 守るための予防的視点と対 策を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> 子どもや高齢者を取り巻く社会の変化 気がかりな子どもや要保護高齢者のスクリーニング サポート体制

2 ラダーと連動した継続教育

研修名	講師	ねらい	主な内容
新人看護職員研修Ⅰ 働き始めたあなたに！	富山県看護協会 会長 稲村 睦子	看護を取り巻く状況を知り、 専門職業人としての自覚を高める	<ul style="list-style-type: none"> 日本看護協会について 富山県看護協会の概要と活動内容
	富山県ナースセンター センター長 境 信子		<ul style="list-style-type: none"> ナースセンターの役割
	富山赤十字病院 看護師長 石黒 優子		<ul style="list-style-type: none"> 医療事故等の事例から学ぶ 故意の事故や犯罪の防止 患者の診療情報管理 安全な薬剤の取り扱い
新人看護職員研修Ⅱ 医療者に求められる コミュニケーション	特定非営利活動法人 アサーティブジャパン 事務局長 専属講師 牛島 のり子	<p>社会人として求められるコミュニケーションスキルを理解する</p> <p>自己の現状のコミュニケーションスタイルを客観的に把握する</p> <p>すべての人間関係に必要なコミュニケーションスキルを身につける</p>	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションの基本を理解する 自己のコミュニケーションスタイルを知る コミュニケーション技法を学ぶ 演習
中堅看護師に役立つ コミュニケーション！	有限会社ビジネスブレン 代表取締役 一般財団法人 生涯学習開発財団 認定コーチ 永井 則子	患者のQOLに対話力を通して 貢献するための技法を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> 関係性構築の重要性 傾向と質問 論理的な説明のスキル 固定観念を取り払った聴き方 コンフリクト・マネジメントとは 事例研究
看護倫理Ⅰ 看護専門職として 基本的な姿勢を学ぶ	急性・重症患者看護 専門看護師 厚生連高岡病院 寺井 彩 がん看護専門看護師 富山県立中央病院 加藤 麻衣	<p>看護実践の場において、患者の人権や倫理的問題に関心を持つことができる</p> <p>日常の看護実践で遭遇する倫理的問題に気づき、その問題を顕在化できる</p>	<ul style="list-style-type: none"> 倫理とは 倫理的行動と4つの要素 看護専門職と倫理の関係 事例検討
zoom 看護倫理Ⅱ 職場の倫理風土を育てる	がん看護専門看護師 富山赤十字病院 村上 真由美 訪問看護ナースソフィア にいかわ 時山 麻美	看護職が専門職として身につけるべき倫理の基礎知識を基に、ケアの受け手や周囲の人々の意思決定を支えるプロセスを学び自施設の活動に活かす	<ul style="list-style-type: none"> 倫理原則 看護職の倫理綱領 意思決定を支えるプロセス Jonsenの4分割法 演習：事例検討シート 自施設で取り組みたいこと

研修名	講師	ねらい	主な内容
看護倫理Ⅲ 自身の役割を認識し、倫理的課題を解決するアプローチの方法を理解する	富山赤十字病院 看護師長 安栄 千鶴子	現場の倫理問題を抽出し、質の高いケアを提供する方法を学ぶ 倫理的問題に対してリーダーシップをとり、倫理的行動の実践モデルとして行動することができる	<ul style="list-style-type: none"> ・倫理的行動の実践モデルとは ・臨床での葛藤場面を基にグループワーク ・倫理的課題の顕在化と適切なリソースの活用や相談行動・コンサルテーションについて
看護研究Ⅰ (楽しく学ぶ初めての看護研究)	富山県立大学 看護学部看護学科 母性看護学 教授 松井 弘美	日頃の疑問を看護研究に繋げる方法を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・看護研究のテーマの見つけ方 ・研究デザイン ・レポート、論文の書き方
看護研究Ⅱ (進めよう看護研究)	A・B 富山大学 学術研究部医学系 基礎看護学講座 准教授 吉井 美穂 C 奈良学園大学 保健医療学部 学部長 精神・小児看護学領域 教授 上野 栄一	看護研究計画書の実際を学び、作成する	<ul style="list-style-type: none"> ・方法の選択 ・対象の絞り方 ・データの集め方 ・データの分析 ・研究計画書作成 ・アンケートの作成方法 ・演習
医療安全対策Ⅰ 基本的安全対策	講師のみzoom 愛媛大学医学部附属病院 医療安全管理部 副部長 戸田 由美子	医療安全対策の基本的概念と具体的対策に関する知識を学び、安全性を高める行動がとれる	<ul style="list-style-type: none"> ・医療安全対策の基本的概念 ・ヒューマンエラーの基礎知識 ・安全文化について ・リスクアセスメント ・医療安全教育のポイントについて ・インシデントレポートの事例検討 ・演習
医療安全対策Ⅱ コミュニケーション技法	あさひ総合病院 看護部長 TeamSTEPS Japan 認定トレーナー 山本 陽子 (ファシリテーター) A 南砺市民病院 医療安全管理者 横川 香 B 北陸中央病院 副看護部長 牧野 昌美	チームSTEPSを活用しエビデンスに基づいたチームトレーニングを学び、患者安全文化の醸成につなげる チームSTEPSを導入し、コミュニケーションの強化、組織としてのチーム力向上に繋げる	<ul style="list-style-type: none"> ・チームSTEPSの基本的知識 ・ツールを使った事例演習
感染対策Ⅰ 基礎編A	感染管理認定看護師 国立病院機構富山病院 小泉 順平 南砺市民病院 野原 里香 市立砺波総合病院 高松 広彰 富山赤十字病院 長枝 智子	感染対策の基礎知識を理解し、看護に役立てる	<ul style="list-style-type: none"> ・標準予防策 ・感染経路別予防策 ・職業感染予防策（麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎、針刺し切創咬症、新型コロナウイルス感染症、インフルエンザウイルス、結核） ・ケア別（処置別）感染対策
感染対策Ⅰ 基礎編B	感染管理認定看護師 砺波サンシャイン病院 吉田 輝美 富山県リハビリテーション病院・こども支援センター 吉岡 智子 厚生連滑川病院 宮坂 純香 厚生連高岡病院 窪田 恵子	標準予防策を理解し正しい感染対策（手指衛生、予防具、環境整備、職業感染予防）を実践することができる	<ul style="list-style-type: none"> ・標準予防策、感染経路別予防策 ・個人防護具着脱演習 ・環境整備について ・職業感染対策（血液曝露、流行性ウイルス感染症、結核、新型コロナウイルス対策等） ・医療処置における感染対策 末梢・中心静脈カテーテル（ポートの管理を含む）、尿道留置カテーテルの管理 ・看護ケアにおける感染対策 経管栄養、吸引、おむつ交換 ・病院の取り組みについて現状の報告

研修名	講師	ねらい	主な内容
感染対策Ⅱ 実践編	感染管理認定看護師 厚生連高岡病院 廣野 和子 富山大学附属病院 笹原 志央里 高岡市民病院 長谷川 裕 富山西総合病院 土田 真人	根拠に基づいた感染対策を 実践・指導できる	<ul style="list-style-type: none"> ・標準予防策 ・感染症別感染対策とアウトブレイク対応（インフルエンザ、ノロウイルス感染症、新型コロナウイルス感染症） ・結核、疥癬、流行性ウイルス疾患（麻疹、水痘、風疹、流行性耳下腺炎） ・侵襲的処置別感染対策（尿路感染防止対策、血流感染防止対策） ・感染症発症時の対応 ～事例を通して感染対策を考える～
zoom 糖尿病の看護 基礎知識・自己管理への 生活調整と支援	糖尿病看護認定看護師 富山赤十字病院 沢田 悦子 富山県立大学 濱野 初恵	生活習慣病である糖尿病の 正しい知識を知り、最新の 情報やケアを学ぶ 糖尿病患者の重症化予防の ための療養指導を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病の基礎知識 ・看護ケアの観察と注意点 ・糖尿病指導のコツ ・フットケア ・薬物療法 ・チームでの取り組み
ハイブリッド形式*1 脳卒中患者の看護 急性期の重篤化回避から 機能回復へ	脳卒中リハビリテーション看護 認定看護師 アルペンリハビリテーション病院 菅野 陽子 かみいち総合病院 新林 正子	急性期における重篤化回避 から脳卒中患者の機能回復 及び日常生活の支援につ いて学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・脳卒中とは ・脳卒中患者の重篤化回避のための看護 ・脳卒中患者の回復期の看護 ・脳卒中再発予防指導について
がん看護（基礎編） がん看護に関する基礎知識	がん性疼痛看護認定看護師 厚生連高岡病院 浦上 裕美	がん患者の苦痛症状を理解 し、適切なケアが実践でき る	<ul style="list-style-type: none"> ・がんの痛みの理解 ・痛みのアセスメント ・薬剤を使用した疼痛マネジメント ・副作用とケア ・痛みを緩和するケア
	緩和ケア認定看護師 富山赤十字病院 横山 雄子	がん患者や家族に寄り添え るサポートを学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・症状の理解とアセスメント ・症状コントロールの実際 ・患者、家族の思いに寄り添うケア ・エンゼルケア
がん看護（応用編） 患者・家族の意思決定支援	がん性疼痛看護認定看護師 高岡ふしき病院 佐伯 睦子 がん看護専門看護師 市立砺波総合病院 平 優子	がん患者、家族の心理と看 護師の役割を理解し、援助 の実際を知る 看取りについて理解を深め、 最期を迎えるための意思決 定支援や多職種連携におけ る看護職の役割を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・がん告知、終末期医療における意思決定のプロセスへの支援 ・治療経過中の患者家族の危機的状態に応じた精神的支援 ・今日の看取りと現状の課題 ・多職種連携 ・グリーフケア
AYA世代がん患者の 理解と支援	がん看護専門看護師 富山大学附属病院 樋口 麻衣子 乳がん看護認定看護師 富山県立中央病院 嶋倉 裕美	AYA世代の身体・心理・社 会的特徴を理解した上で、 治療中・治療後の患者・家 族の在り方を学ぶ AYA世代特有の両立支援 について学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・AYA世代の特徴とがんについて ・AYA世代がん患者・家族の理解と支援 ・サポーティブケア（心理・精神面の問題、意思決定・コミュニケーション、アピアランスケア） ・社会とのつながり ・AYA世代特有の両立支援
これからの 摂食嚥下障害の理解 とケア	摂食・嚥下障害看護認定看護師 富山赤十字病院 佐藤 都 富山大学附属病院 應矢 紀子	摂食嚥下のメカニズムとそ の障害を理解する 摂食嚥下機能評価と訓練の 実際を学び看護実践に活か す	<ul style="list-style-type: none"> ・摂食嚥下のメカニズム ・摂食嚥下の評価 ・摂食嚥下訓練の実際 ・誤嚥を防ぐ方法 ・チームでの取り組み
現場に活かせる 褥瘡ケアA	皮膚・排泄ケア認定看護師 富山大学附属病院 吉井 忍 高岡市民病院 東城 美智代	病院における褥瘡の予防と 悪化させないための最新の 知識・技術を取得する	<ul style="list-style-type: none"> ・褥瘡の基礎知識 ・褥瘡の予防と管理 リスクアセスメント、スキンケア、スキ ン ケア 体圧分散ケア、栄養管理 ・褥瘡の分類と治療 急性期と慢性期、DESIGN分類等 ・医療関連機器圧迫創傷予防 ・事例検討

研修名	講師	ねらい	主な内容
現場に活かせる褥瘡ケアB	皮膚・排泄ケア認定看護師 富山県立中央病院 志田 麻依子 富山赤十字病院 室林 紀子	褥瘡の基礎知識を理解し、予防対策・褥瘡ケアを実践できる	<ul style="list-style-type: none"> ・褥瘡の基礎知識 ・褥瘡予防に必要なスキンケア・スキンケアを理解する ・スキンケアトラブル対策 ・失禁の対策 ・医療機器関連圧迫創傷 ・褥瘡分類 DESIGN分類等 ・除圧ケア（体圧分散寝具、体位変換、ポジショニング、車いす、移乗） ・褥瘡と栄養について
高齢者に多い呼吸器循環器疾患のケアA	慢性呼吸器疾患看護認定看護師 おれんじ訪問看護ステーション 前川 典子 慢性心不全看護認定看護師 富山大学附属病院 庵 朋美	高齢者に多い疾患の病態を理解し、実践に即したケアのポイントを学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・慢性呼吸器疾患・慢性心不全の病態 ・実践に即した看護ケアのポイント ・チームでの取り組み ・在宅でのセルフケアポイント
高齢者に多い呼吸器循環器疾患のケアB	慢性呼吸器疾患看護認定看護師 おれんじ訪問看護ステーション 前川 典子 慢性心不全看護認定看護師 富山大学附属病院 庵 朋美	高齢者に多い疾患の病態を理解し、実践に即したケアのポイントを学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎知識 ・慢性呼吸器疾患・慢性心不全の病態の理解とケアのポイント ・チームでの取り組み ・在宅でのセルフケアポイント
優しさを伝える認知症ケア ～対象を理解することでケアが変わる～	認知症看護認定看護師 光ヶ丘病院 林 浩靖 認知症患者・家族	認知症ケアの「人として守られる尊厳」について学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の本人の声を知る ・認知症とともに生きる体験を知る ・認知症ケアのあり方と自分のこと考える ・認知症患者、患者家族の声
せん妄の理解とケア	精神看護専門看護師 福井県立病院 こころの医療センター 公認心理士 山口 達也	せん妄について理解し、予防や対応について学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・せん妄を引き起こす要因 ・せん妄の症状と治療 ・せん妄の症状・評価と対応 ・チームでの取り組み ・演習
心と命を守るゲートキーパー 医療従事者としてできる生きることへの支援	講師のみzoom 岩手医科大学 神経精神科学講座 教授 大塚 耕太郎	潜在的な自殺リスク者に高い頻度で接する医療従事者を、メンタル面での異変に「気づき」「聴き」専門機関に「つなぐ」ことのできるゲートキーパーに養成する	<ul style="list-style-type: none"> ・かけがえのない命を守る ・自殺の予防と対策 ・災害現場の心のケア ・ゲートキーパーの役割 ・基本的面接法
精神科訪問看護師育成研修 精神疾患を抱える患者の在宅看護	精神科認定看護師 訪問看護ステーション 和来やす 尾崎 景子	精神障害者地域サポート強化：精神疾患をかかえる患者の地域生活を支えるため、基本的知識及び技術の取得を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・精神疾患を持ちながら生活するということ ・精神科訪問看護とは ・GAF尺度と診療報酬 ・疾患の理解 ・患者情報の捉え方とアセスメント ・コミュニケーションとかかわりのポイント ・連携・社会資源 ・家族支援 ・事例演習
入院前から始める入退院支援	富山県済生会富山病院 医療福祉支援センター 看護師長 堀田 裕子	入院前から始める入退院支援・退院調整の基礎知識を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・入退院支援に必要な基礎知識 ・介護保険制度 ・訪問看護の基礎知識 ・事例で考える退院支援 ・演習
事例から学ぶ地域における多職種連携	富山市まちなか総合ケアセンター まちなか診療所 管理者・医師 三浦 太郎 訪問看護認定看護師 光風会訪問看護ステーション 管理者 小原 留美	生活を見据えた退院支援の実践を事例から学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・入退院支援の現状 ・多職種連携における看護師の役割 ・事例検討 ・在宅医療の現状 ・訪問事例から学ぶ

3 看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育

研修名	講師	ねらい	主な内容
医療安全の観点からの リスクマネジメント	パラマウントベッド株式会社 顧問 転倒転落研究会 (RoomT2) 主幹 杉山 良子	医療安全の実務力向上をめ ざす	<ul style="list-style-type: none"> ・医療安全文化の醸成 ・医療安全管理に必要な基本的知識 ・転倒転落防止対策と事例分析法の実際
	講師のみzoom 東京都病院薬剤師会 会長 虎の門病院 薬剤部薬事専門役 林 昌洋		【安全な与薬業務を行うための管理】 <ul style="list-style-type: none"> ・薬剤の安全管理に必要な知識 ・カリウム製剤の基礎知識
	医療法人社団直和会 社会医療法人社団正志会 本部 看護部業務担当部長 佐々木 久美子		【医療安全に関する法・制度】 <ul style="list-style-type: none"> ・医療安全に関する法令や制度の知識 ・医療事故調査制度に関する知識
	講師のみzoom 愛知県看護協会 常務理事 森田 恵美子		<ul style="list-style-type: none"> ・医療コンフリクト・マネジメント ・医療メディエーション・スキル
サーバント リーダーシップ ～変化に適応する リーダーとは～	聖隷クリストファー大学大学院 看護学研究科長 看護学部 学部長補佐 看護学研究科 看護管理学領域 看護学部 基礎看護学領域 教授 檜原 理恵	看護管理者に必要なサーバ ントリーダーシップを理解 することで、チームメンバ ーとの関係を構築し、チ ームで成果をあげる手法を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・サーバントリーダーシップとは ・支配型リーダーシップとの違い ・サーバントリーダーシップの活用分野 ・サーバントリーダーシップの浸透方法
コーチングのできる リーダー育成	有限会社AEメディカル 代表取締役 野津 浩嗣	スタッフを育成するための コーチングスキルを学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・コーチングとは ・スタッフ育成のためコーチングスキル ・コーチングスキルの実際 ・聞く、結果承認・事実承認、叱る、質問 ・総合ロールプレイ ・マネジメント特性診断MPA
看護補助者の活用推進の ための看護管理者研修	日本看護協会	看護管理者が看護補助者の 活用推進のために必要な知 識や考え方を理解し、安全 で効率的な業務実施体制整 備に活用することができる	<ul style="list-style-type: none"> ・看護補助者の活用推進の背景 ・看護補助者の位置づけ ・看護補助者との協働に関する基本的な考え方 ・業務実施体制の整備 ・看護職への教育体制の整備 ・看護補助者の労働環境の整備及び確保 ・看護補助者の育成・研修・評価
	(ファシリテーター) 病院看護管理者		<ul style="list-style-type: none"> ・看護補助者と協働のための体制整備に 関する課題に対する対策案の作成
医療安全管理者・推進者 のための セーフティマネジメント 交流会 知っておきたい！ 自施設で強化したい 医療安全管理対策	富山大学附属病院 副病院長 医療安全管理部 部長 富山大学 学術研究部医学系 医療安全学 教授 長島 久	交流会を通して、自施設が 取り組む医療安全管理の構 築と質向上を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・医療安全活動のコツ ・事例分析の考え方 ・「院内体制づくり」「後継者教育」等 ・自施設での問題・検討事項を含めて意見交換・ 交流会

4 専門能力開発を支援する教育体制の充実に向けた継続教育

研修名	講師	ねらい	主な内容
新人看護職員 研修責任者・ 教育担当者研修	済生会横浜市東部病院 院長補佐 熊谷 雅美	新人看護職員研修の卒後臨床研修制度について理解し、その実施に向けて部署としての取り組みを考えることができる	【新人看護職員研修ガイドラインの理解と活用方法】 ・新人看護職員をめぐる現状と課題 ・新人看護職員研修制度の概要 ・新人看護職員ガイドラインの内容と活用方法 ・新人看護職員研修の組織体制 ・研修責任者・教育担当者・実地指導者の役割 ・新人看護職員に関わる看護職員の職場適応メンタルサポート
	済生会横浜市東部病院 健康支援センター 健康支援室 副室長 小陽 美紀		【新人看護職員研修の企画と評価の実際】 ・基礎教育における看護実践能力の習得状況 ・指導方法や教育的かかわり方 ・新人看護職員教育計画立案と運営、評価の実際 ・グループワーク
新人看護職員 実地指導者研修	東京医療保健大学 医療保健学部 看護学科 機能看護学 教授 末永 由理	新人看護職員研修の実地指導者としての役割を理解し、新人看護職員に対して効果的な臨床実践指導及び教育的な関わりができるよう必要な知識・技術を習得する	【新人看護職員研修について】 ・新人看護職員ガイドライン ・実地指導者の役割 ・新人看護職員の特徴 ・新人看護職員への効果的な関わり 【指導方法・評価】 ・成人学習者の特徴と教育方法 ・指導計画の立案と実施・評価ポイント 【実地指導者の育成・支援】 ・実地指導者が経験しやすい指導上の問題や困難と解決方法 ・フィードバック<2024.2/19(月)>
	心理臨床オフィス・Psyche 金沢医科大学 精神神経科学 非常勤講師 臨床心理士 北本 福美		・新人看護職員の精神的支援 新人看護職員の心理的特徴・適応状況の把握、適応の支援、関係を築くコミュニケーション ・自身のストレスマネジメント ・情報交換、グループワーク
ジェンダー（LGBT）への 理解	富山大学附属病院 形成再建外科・美容外科 教授 診療科長 佐武 利彦 富山大学附属病院 神経精神科 診療准教授 古市 厚志 女性クリニックWe富山 医師 県議会議員 種部 恭子	医療従事者側の性的マイノリティに関する正しい理解 多様な性の人たちへの受診・入院することを想定したシステムづくりの在り方を学ぶ	・ジェンダー平等における病院での対応あり方を学ぶ ・LGBTへの個別性の看護・対応 ・北陸のGID（性同一性障害）ネットワークについて
看護研究Ⅲ （質的研究を学ぼう！）	金城大学 看護学部看護学科 成人看護学 教授 岩城 直子	質的研究の進め方を学ぶ	・質的研究のデザイン ・質的研究の進め方 ・演習
看護研究Ⅳ （迷わない研究サポート）	奈良学園大学 保健医療学部 学部長 精神・小児看護学領域 教授 上野 栄一	円滑な看護研究活動の支援 および査読方法が分かる	・査読の実際 ・研究遂行上に直面しやすい問題 ・具体的な助言方法
医療安全対策Ⅲ 医療安全管理者・推進者 に求められる役割と活動 ～情報収集・対策立案・ 実践・評価まで～	日本赤十字社 武蔵野赤十字病院 看護部 看護師長 黒川 美知代	医療安全管理（推進）者の役割を理解し、自施設内の医療事故防止に活かすための情報収集から対策立案・実践・評価までの実践能力を身につける	・医療安全管理（推進）者の役割について ・事故報告の情報収集と分析法について（自己分析法 POAM） ・現場へのフィードバックならびに再発、風化防止に向けた取り組み（組織的対応） ・医療安全実践活動の評価方法 ・医療安全のための研修・運営・評価について ・適時調査対策について ～日々のラウンドにどのように落とし込むか～

5 資格認定教育

研修名	講師	ねらい	主な内容
<セカンドレベル公開講座> ヘルスケアサービスに おける多職種連携	名古屋大学医学部附属病院 卒後臨床研修・キャリア形成 センター 看護キャリア支援室 教授 日本看護協会 副会長 秋山 智弥		・多職種によるチームケア提供の実際と課題
<セカンドレベル公開講座> 人材を育てる マネジメント	昭和大学江東豊洲病院 看護部長 小笠原 京子	看護管理者として基本的 業務を遂行するために必要な 知識・技術・態度を習得す る	・人材育成計画
<セカンドレベル公開講座> 経営資源と 管理の実際	株式会社 獨協メディカルサービス 参与 認定看護管理者 佐山 静江		・医業収支 ・経営指標の活用 ・費用対効果
<認定看護管理者教育課程 セカンドレベル看護管理 実践報告会>	2022年度認定看護管理者 教育課程セカンドレベル 修了者 若干名	看護管理実践報告をもとに 問題点の共有と課題の明確 化をはかり、より望ましい 看護管理のあり方を学ぶ	・実践報告
<ファーストレベル公開講座> 経営資源と管理の 基礎知識	聖路加国際大学 常任理事 法人事務局長 渡辺 明良		・診療・介護報酬制度の理解 ・経営指標の理解 ・看護活動の経済的効果
<ファーストレベル公開講座> 組織マネジメント概論	東京医療保健大学 東が丘看護学部看護学科 大学院看護学研究科 教授・博士(看護学) 中島 美津子		・組織マネジメントに関する基礎知識 ・看護管理の基礎知識
<ファーストレベル公開講座> 人材育成の基礎知識	医療法人協和会 理事長補佐 保健師・看護師・MBA 青木 菜穂子	看護専門職として必要な 管理に関する基本的知識・技 術・態度を習得する	・成人学習の原理 ・役割理論 ・動機づけの理論
<ファーストレベル公開講座> ヘルスケアサービスに おける看護の役割	講師のみzoom WHO西太平洋地域事務局 保健システム・サービス部 Nursing Officer 安西 恵梨子		・看看連携 ・地域医療における看護職の役割 ・保健医療福祉関連職種との理解 ・看護の社会的責務と業務基準
<富山県保健師助産師 看護師等実習指導者 講習会指導案発表会>	2023年度富山県保健師助産師 看護師等実習指導者講習会 受講生	看護師等学校養成所の実習 生受け入れにおける実習指 導者について、看護教育に 関する実習の意義及び実習 指導者としての役割を理解 し、効果的で充実した実習 指導を行うために必要な 知識と技術を習得する	・地域・在宅看護学、成人看護学、老年看護学、 小児看護学、母性看護学、精神看護学 各グ ループの実習指導案発表
認定看護師交流会	県内の認定看護師	認定看護師の活動を活かし 看護現場における看護ケア の広がりや質の向上を図る	・テーマ：地域包括ケアシステムにおける認定 看護師の役割について ・グループワーク：各分野の実践評価、計画立案、 連携分野情報交換 (担当：乳がん看護認定看護師)

6 日本看護協会と連携した研修

研修名	講師	ねらい	主な内容
災害 看護ナース 養成研修 (集合研修：災害)	国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究所 保健医療学専攻 災害医療分野 講師 内海 清乃	看護職として必要な災害医療と看護の基礎知識を習得する 災害時の看護職の役割と活動の実際を理解する 看護職として被災地や被災者に対して有効に機能できる技能を習得する 災害時に看護職として他者と協働でき、自律した活動ができる知識を習得する	講義 ・派遣決定から出発までの準備 ・支援者の心構え ・活動場所の違いによる活動の特性 ・CSCA 演習 ・グループワーク
災害 看護ナース 養成研修 (集合研修：感染)	感染管理認定看護師 清水 直美 急性・重症患者看護専門看護師 山本 憲督 市立砺波総合病院 副院長 集中治療・災害医療部部长 廣田 幸次郎 富山県厚生部医務課主任 宮崎 由美子	新型コロナなど新興感染症に関する基礎知識を習得する 新型コロナなど新興感染症患者に対応できる知識・技術を習得する 酸素療法、集中治療管理に関する基礎知識を習得する 新型コロナなど新興感染症患者の看護に関する基礎知識を習得する	講義 ・感染拡大・重症化予防 ・安楽な呼吸の保持 ・集中治療管理について ・多職種連携による医療提供 ・患者・家族へのケア・看取り ・富山県における災害・感染症に係る応援派遣時の看護支援活動 ・災害支援ナースとしての心構え 演習 ・グループワーク
【DVD研修】 小児在宅移行支援 指導者 育成研修	新生児集中ケア認定看護師 富山大学附属病院 鹿島 美友紀 田村 愛 厚生連高岡病院 川東 由加利	医療的ケア児を取り巻く現状とNICU / GCUから在宅等へ移行する児と家族の状況を理解することができる 所属施設の現状に応じた小児在宅移行支援の推進に必要な方策を考えることができる	・演習1：同行訪問実習における情報共有 ・医療的ケア児とその家族の支援に必要な基礎知識①② ・医療的ケア児とその家族を支援する多職種・多機関連携の実際 ・在宅移行支援に伴う意思決定支援(演習含む) ・事例演習 ・演習2：所属施設における在宅移行支援の再考① ・医療的ケア児とその家族への支援① ・実践報告：医療的ケア児とその家族への支援② ・演習2：所属施設における在宅移行支援の再考② ・演習3：所属施設における在宅移行支援の推進

研修名	研修目的/研修内容
認知症高齢者の 看護実践に 必要な知識	認知症高齢者における国の施策や医療の現状を理解することができる 入院中の認知症高齢者を適切にケアするための基本的な知識を理解することができる 認知症高齢者に関する医療の現状と国の取組み／認知症に関連する疾患と病態・治療／組織で取り組む認知症高齢者ケア／認知症高齢者の看護に必要なアセスメント／認知症高齢者の看護に必要なコミュニケーションと援助技術／認知症高齢者ケアにおける多職種・看看連携のあり方／多職種・看看連携による認知症高齢者ケアの進め方／認知症高齢者に適した療養環境と調整方法／認知症高齢者に特有な倫理的課題／認知症高齢者の意思決定支援 ※演習あり 【演習支援者】 認知看護認定看護師 富山城南温泉病院 盛田 大樹
医療安全管理者 養成研修 (集合研修)	集合演習により以下①～③に沿った実践的な学びを深める ①医療機関内において医療事故事例やヒヤリ・ハット事例の報告と共有を効果的にするための体制の整備 ②医療事故の発生予防や再発防止を効果的にする体制の確立 ③発生予防や再発防止を目的とするため医療事故やヒヤリ・ハットの報告者を非難しない組織文化の醸成 6章 安全文化の醸成 ・医療安全の基本と医療安全文化の醸成 ・遺族の声を再発防止につなぐー医療事故発生時の対応ー ・演習・グループディスカッション ①司会、記録、発表者を決める ②アイスブレイク 各自持参したインシデント内容をグループ内で共有し、分析する事例を1つ決定し発表する ③事例に対し要因や対策について分析し発表する ④システム的な思考や対策に対する考え方について解説し改めて要因分析と対策の立案をして発表する ⑤「ポジティブインシデントレポート」を解説し、改めて要因分析と対策の立案をして発表する 【講師】 富山大学附属病院 副病院長・医療安全管理責任者 医療安全管理部部长 特命教授 長島 久 【演習支援者】 富山県看護協会 医療安全委員 富山県済生会富山病院 広田 順子 富山市立富山市民病院 関堂 好子

7 その他

研修名	講師	ねらい	主な内容
糖尿病重症化予防 (フットケア) 研修	講師・ファシリテーター 富山市立富山市民病院 内分泌代謝内科部長 日本糖尿病学会専門医 家城 恭彦 FHA認定シューフィッター JPポドロジー富山校校長 奥野 真希 糖尿病看護認定看護師	糖尿病患者へのフットケアの意義を理解し、評価方法と実践の技術を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病患者へのフットケアの意義を理解する ・糖尿病患者の足病変の病態生理、治療を理解する。 ・糖尿病患者へのフットケアのための評価方法を学ぶ。 ・糖尿病患者へのフットケアの技術を学ぶ。 ・糖尿病患者の事例検討を通して、フットケアにおけるセルフケア支援を理解する。 ・予防的フットケアを実践するためのシステム構築について考えることができる。
看護職員認知症対応力 向上研修会	谷野呉山病院 診療部長 認知症疾患医療センター センター長 島崎正夫 富山県立大学 看護学部看護学科 老年看護学 准教授 伊藤裕佳 金沢医科大学 看護学部 在宅看護学 講師 蘭直美 ファシリテーター 認知症看護認定看護師	認知症の方の入院から退院までのプロセスに沿って、認知症の原因疾患の病態・特徴などの基本的知識を習得する 認知症の人を理解し、より実践的な対応力（アセスメント、看護技術、チーム対応、院内買いの連携等）を習得する 病棟等における認知層ケア体制（院内・地域）の構築及びイスタフ育成・教育等の知識と技法を習得する	<ul style="list-style-type: none"> ・意義と役割 ・認知症の病態論、施策・社会資源等 ・認知症の人の理解、実践対応力1 ・実践対応力2 ・演習：身体抑制への対応、BPSD対応、せん妄対応の事例検討 ・認知症ケア体制構築、スタッフ育成・教育

令和5年度 認定看護管理者教育課程 教育運営委員会

区 分	内 容
<p>[第1回] 令和5年 5月17日(水) 10:00～ 10:40</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 2023年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル受講者の選考について <ul style="list-style-type: none"> ・定員25名に対して応募者33名、受講要件と小論文評価にて全員受講決定。 ・応募は26施設、そのうち民間病院から7施設の応募があった。 2 2023年度認定看護管理者教育課程の運営について <ul style="list-style-type: none"> ・学習カードの評価表の修正と作成時のポイントの説明を追加する。 ・新型コロナウイルスは第5類となったが、引き続き感染予防に努める。 3 実施要項の追加について <ul style="list-style-type: none"> ・認定部の指示「認定看護管理者が在籍していない300床未満の医療機関及び介護施設、訪問看護ステーションに対し、認定看護管理者教育課程への受講促進事業を実施すること」により、実施要項の内容に「副看護部長相当の職位とは、保健医療福祉に関連した組織において看護管理を行う立場を指す」を追加した。
<p>[第2回] 令和5年 7月12日(水) 10:00～ 10:40</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 2022年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル受講者の選考について <ul style="list-style-type: none"> ・定員50名に対して応募者58名。 ・定員より1割以上多いため認定部に確認。応募者全員は要件を満たしており専任教員も複数のため問題がないことから全員の受講を決定。 ・応募は40施設からあり、民間施設からは昨年の2倍の応募があった。 2 ファーストレベル事前課題について <ul style="list-style-type: none"> ・今年度から、統合演習を効果的に受講できるように、事前課題を「私の考える部署のあるべき姿」に変更し、上司に確認後に提出とした。 3 学習カード、課題レポート記載について <ul style="list-style-type: none"> ・レポート・論文の書き方については、オリエンテーションで説明する。 ・具体的な内容を参考にできるよう文献紹介を追加する。 ・一般研修「研究Ⅰ」（3回開催）の内容にレポート・論文の書き方を入れた。
<p>[第3回] 令和5年 10月4日(水) 10:00～ 11:00</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 2022年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル受講者修了について <ul style="list-style-type: none"> ・受講者32名と前年度未修了者1名の33名の修了を認定。 ・今年度未修了となった1名は次年度未履修科目を履修し、評価を受ける。 2 セカンドレベル受講生研修アンケート結果について
<p>[第4回] 令和5年 11月22日(水) 10:00～ 10:15</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 2022年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル受講者修了について <ul style="list-style-type: none"> ・受講者57名が修了。 ・今年度4名の未修了者は、次年度未履修科目を履修し、評価を受ける。 2 ファーストレベル受講生研修アンケート結果について 3 ファーストレベル事前課題の評価について 4 2024年度認定看護管理者教育課程実施要項、公開講座等について事務局案が承認された

令和5年度 令和6年能登半島地震における災害支援ナース派遣報告

I 災害支援ナース派遣の主な経過

- ・ 1月1日（月） 発災
- ・ 1月2日（火） 協会内に「災害対策プロジェクトチーム」設置
被害状況等の情報収集、県行政や日本看護協会等と情報連携
- ・ 1月5日（金） 日本看護協会から災害支援ナース派遣情報の提供
県医師会からJMATの看護師派遣の依頼
- ・ 1月6日（土） 日本看護協会から、1月12日からの災害支援ナースの派遣要請以降病院看護管理者に派遣候補者リストの提出を依頼、派遣先の情報収集、装備品や交通手段の手配、賠償責任保険の入会手続き等を準備災害支援ナースとの通信手段の確保、派遣者へのオリエンテーションほか
- ・ 1月12日（金） 災害支援ナース1班出発
- ・ 1月16日（火） JMAT出発
- ・ 1月末 2月以降の派遣ナースを追加募集

II 派遣実績

1 日本看護協会派遣要請

- 1) 派遣期間：令和6年1月12日～2月26日
 - 2) 派遣数：1班あたり 災害支援ナース2～4名、3泊4日
計11班 延38名
 - 3) 派遣場所と活動内容：
 - ア) 第1班：1月12日～15日：七尾市矢田郷地区コミュニティセンター 避難所
亜急性期の避難所支援。道路陥没で支援物資が届かず、断水の中を支援
 - イ) 第2～11班：1月15日～2月26日：1.5次避難所（いしかわ総合スポーツセンター）
テント（240張）内での居住者支援。テントを世帯とみなしての支援、
2交代勤務
多職種連携活動
- ※活動内容は健康チェック、健康相談、慢性疾患・急病時の対応、感染予防対策、心のケアなど

2 JMAT協力

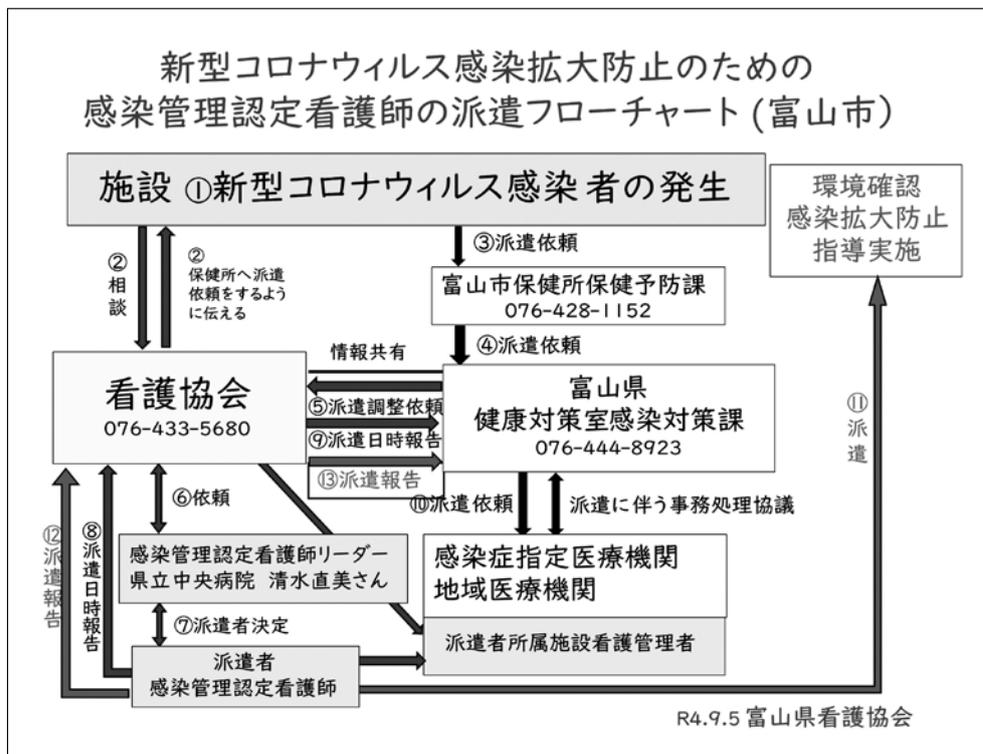
- 1) 派遣期間：令和6年1月16日～3月31日
- 2) 派遣数：チーム構成：医師1名、薬剤師1名、看護師2名、事務1～2名
計5～6名 3泊4日
1班あたり 災害支援ナース等派遣1～2名
計10班 延17名
- 3) 派遣場所と活動内容：

輪島、穴水、珠洲地域での病院、保健センター、市役所、避難所、診療所、老健施設等、様々な場所で活動。

活動内容は、健康チェック、健康相談、感染対策、診療の補助、褥瘡処置、体位変換、入浴介助など多岐。3月後半は、クリニックにおける診療介助など。

令和5年度 感染管理認定看護師派遣事業報告

1. 派遣フローチャート



2. 活動内容

感染拡大予防のための具体策の助言・指導

3. 活動実績

1) 期間 令和5年4月～令和6年3月

2) 活動実績

1) 施設派遣 フローチャート活用 (令和6年3月で終了)

2施設 延べ2名

3) 出前講座 (講師として紹介)

10施設 10名

4) 電話相談

4施設

5) その他

老人福祉施設における感染管理認定看護師の出前講座についての意見交換会
令和5年10月25日(水)

令和5年度 富山県ナースセンター事業報告

	事業	事業内容	実績
就労促進に関する事項	就労相談事業	①無料職業紹介所の運営	
		②eナースセンターの登録・管理	求人登録数 6,028人 求職登録数 2,454人 有効求人倍率 2.5倍 就職者数 199人
		③就業相談	相談件数(全体) 8,462件 相談件数(就職アドバイザー) 3,391件
		④移動就業相談 介護職場の就職説明会 (5/24、7/26、9/26、11/21、2/28)	相談件数 5件
		⑤病院等訪問(10～11月)	訪問先 11施設
		⑥就職ガイダンス 県内病院就職ガイダンス 令和5年12月26日(火) オーバード・ホール 中ホール 県内病院紹介動画(ホームページに掲載中)	参加者 78人 参加施設 43施設 掲載施設 50施設 (公的23病院、民間27病院)
	看護職員就業支援事業	①ハローワーク(7ヶ所)への就業支援 専門員の派遣(各月1回)	相談件数 180件
		②ナースセンターサテライト (新川・射水・砺波)の運営(各月1回)	相談件数 16件
		③ハローワーク(富山・高岡・魚津)との連携	新規登録 求人数 649人 新規登録 事業所数 265事業所 新規登録 求職者数 277人 連携事業対象 求人数 700人(22人) 連携事業対象 求職者数 58人(13人) 連携事業対象 就職者数 27人(0人) ※()はナースセンター実績
		④会議等 連絡調整会議(年1回) 令和5年12月18日(月) 医療機関へのあっせん強化(就職ガイダンス)	参加者 14人 連携先 わかものハローワーク
		⑤広報 就業相談ちらし作成と配布	発行枚数 1,500枚
	看護師等免許保持者届出事業	①届出情報の登録・管理 ②求職登録の促進 ③情報提供・周知活動	届出人数 288人 うち、eナースセンター登録希望人数 105人 うち、eナースセンター登録人数 54人
	潜在看護職員把握調査	登録看護職員就業希望条件等の調査 令和5年8月21日(月)	対象:eナースセンター登録者 207人
	看護職員再就業支援研修	①定期研修 (4回 6/6、7/4、8/1、9/9)	受講者(延人数) 40人
		②病院実習	受講者 0人
		③技術チェック研修	受講者 15人
		④eラーニングを活用した復職支援研修	受講者 44人
	看護職員・看護大学生Uターン 促進事業	富山の看護職員募集案内冊子の作成、配布、 ホームページ掲載	掲載施設 52病院 発行部数 400部
	看護師等養成機関共同PR事業	看護師等養成機関紹介ガイドブックの作成、 配布、ホームページ掲載	掲載看護師等学校・養成所 9校 発行部数 1,200部

	事業	事業内容	実績	
就労促進に関する事項	看護学生就労啓発事業	看護師等学校・養成所で出向講義	富山福祉短期大学（8/7） 80人 富山福祉短期大学（10/18） 66人 富山県立大学看護学部（12/25） 120人 富山市医師会看護専門学校（2/21） 41人 富山市立看護専門学校（2/26） 39人	
	広報活動	①TOYAMAナースセンターニュース（看護とやま）発行	年4回（4月、7月、10月、1月）	
		②新聞（タブロイド紙）広告	年5回（7/7、7/10、11/20、12/10、2/26）	
ナースセンター事業運営委員会	①ナースセンター事業運営委員会（年1回） 令和6年2月9日（金）	委員	15人	
	②事業実績報告の作成・配布	発行部数	250部	
訪問看護支援に関する事項	「訪問看護eラーニング」を活用した訪問看護師養成講習会	①「訪問看護eラーニング」を活用した訪問看護師養成講習会 令和5年6月27日（火）～12月5日（火）	受講者 内、修了者	18人 15人
		②修了者就業状況調査	対象者	1人
	訪問看護従事者等研修会	令和5年11月1日（水）	受講者	19人
	訪問看護ステーション管理者育成研修会	①令和5年7月8日（土） 9：00～12：00	①受講者	52人
②令和6年1月27日（土） 13：30～15：00 ※富山県訪問看護総合支援センター		②受講者	27人	
看護の心普及啓発事項	看護の日記念事業	①第33回「看護の日」看護フェスティバル 令和5年5月7日（日） 富山県看護研修センター	参加者 中学生 21人 保護者 16人	
		②日本看護協会PRバス運行 令和5年5月12日（金）	協力 黒部市立中央小学校 富山医療福祉専門学校	
		③ふれあい看護体験	参加者 協力病院 約1,800人 25病院	
	高校生の一日看護見学	令和5年7月3日（月）～7月14日（金）	参加者 協力病院 44校 581人 23病院	
	看護普及推進事業	看護体験学習	参加者 実施看護師等学校・養成所 740人 5校	
その他	富山県医療勤務環境改善支援センター病院サポート事業	①個別病院支援	1年日：富山県済生会富山病院、栗山病院 2年日：富山市立富山まちなか病院、黒部市民病院	
		②看護職のワーク・ライフ・バランス推進事業報告会 令和5年12月13日（水）	参加者 50人	
		③看護職のワーク・ライフ・バランス推進委員会（年1回） 令和5年5月31日（水）	委員 10人	
		④会議「医療労務管理支援事業打合せ会」への出席	出席 4回	
	看護職員定着支援事業	①看護職員等からの体験談 募集・表彰 募集期間 令和4年12月13日～令和5年1月27日 表彰式 令和5年5月7日（日）	応募数 表彰 最優秀賞1人、優秀賞2人、特別賞3人	107編
		②看護職員定着支援事業研修会 令和5年8月10日（木）	参加者	32人
	2023年度地域に必要な看護職確保事業	①新川（黒部）地区の看護師確保ワーキング（年2回） 令和5年6月6日（火）、令和6年3月19日（火）	委員	14人
②「とやまおしごと図鑑」への掲載（看護師のお仕事紹介）		（配布先 県内すべての小学5年生）		

I 就労促進に関する事項

1 就労相談事業

1) 無料職業紹介所の運営

許可年月日 昭和60年7月22日

許可期間 令和4年8月1日～令和9年7月31日

2) eナースセンターの登録・管理

(1) 求人・求職登録実績

月	求人数	求職者数	求人倍率	就職件数（延べ）（件）		
	（人）	（人）	（倍）	計	NC紹介	NC以外
4	519	198	2.6	11	3	8
5	493	198	2.5	7	6	1
6	491	208	2.4	12	4	8
7	466	207	2.3	11	3	8
8	495	213	2.3	13	6	7
9	483	214	2.3	10	3	7
10	497	205	2.4	16	7	9
11	486	205	2.4	17	2	15
12	475	192	2.5	6	2	4
1	535	200	2.7	42	38	4
2	542	209	2.6	21	11	10
3	546	205	2.7	33	23	10
延べ人数	6,028	2,454	2.5	199	108	91

求人数 : 「対象月の前月以前から繰越した求人票の募集人数」 + 「対象月に新規求人票を登録した求人票の募集人数」

求職者数 : 「対象月の前月以前から繰越した求職者数」 + 「対象月に新規求職票を登録した求職者数」 + 「対象月に求職票を有していないシステム応募した求職者数」

就職件数（延べ） : ナースセンターからの紹介、もしくはナースセンター以外（ハローワークからの紹介、自己による）のいずれかの就職による延べ件数

3) 就業相談

(1) 相談件数（全体）

	相談件数（件）	内訳	
		ナースセンター受付	ナースセンター発信
求職相談	3,385	1,360	2,025
求人相談	5,071	670	4,401
進路相談	6	5	1
計	8,462	2,035	6,427

(2) 相談件数（就職アドバイザー）

相談件数 （件）	受付区分別			相談方法別		
	新規	再来	その他	来所	電話	メール・郵送
3,391	329	1,741	1,321	187	1,795	1,409

4) 移動就業相談

介護職場の就職説明会（主催：富山市、富山労働局、ハローワーク富山）

回	日時・場所	相談件数（件）
1	令和5年5月24日（水） 14:00～15:30 サンフォルテ	1
2	令和5年7月26日（水） 14:00～15:30 サンフォルテ	0
3	令和5年9月26日（火） 14:00～15:30 サンフォルテ	2
4	令和5年11月21日（火） 14:00～15:30 サンフォルテ	0
5	令和6年2月28日（水） 14:00～15:30 サンフォルテ	2

5) 病院等訪問

- (1) 目的 富山県ナースセンター職員が、県内施設を訪問し、「看護の質の向上」「働き続けられる環境作り」に関する情報を看護管理者や事務担当者等と共有することで、看護職員の人材確保や定着支援を目指す。
- (2) 実施時期 令和5年10月～11月
- (3) 訪問先 11施設
公的病院1、診療所3、介護老人保健施設1、介護老人福祉施設（特養）2
老人福祉施設1、その他社会福祉施設1、訪問看護ステーション1、健診センター1

6) 就職ガイダンス

- (1) 目的 看護学生および看護師等免許を有する求職者に、医療機関担当者から直接説明を受ける場を提供し、就職促進を図るとともに、県内医療機関（訪問看護事業所含む）の人材確保を図る。また、来場者は、身近な先輩（若手看護師）から仕事のやりがいや職場の雰囲気について直接話を聞き、「入職後の自分」や仕事のイメージを描くとともに、医療機関への理解を深める機会とする。
- (2) 内容 ①県内病院就職ガイダンスの開催
②県内病院紹介動画をホームページに掲載
- (3) 実績 ①県内病院就職ガイダンス
開催日 令和5年12月26日（火）11:00～16:00
場所 オーバード・ホール 中ホール
参加状況 参加者78人、参加施設43施設
②県内病院紹介動画
サイト名 魅力発見！とやまの病院みてか〜れ
アドレス <https://www.toyama-kango.or.jp/movie2023>
掲載施設 50施設（公的23病院、民間27病院）

2 看護職員就業支援事業

- 1) 目的 保健師・助産師・看護師・准看護師の資格を持ち、再就業を希望する看護職員等に対し、情報提供や復職に対する不安や悩み等に対する相談・助言を行い、円滑な就労・定着を支援する。
- 2) 内容
 - (1) ハローワーク（7ヶ所）への就業支援専門員の派遣（各月1回）
就業支援専門員をハローワークに派遣し、潜在看護職等に対する就業相談を行う。
 - (2) ナースセンターサテライト（新川・射水・砺波）の運営（各月1回）
就職アドバイザーをナースセンターサテライトに派遣し、就業を希望する看護職および退職予定の看護職、潜在看護職等に対し、情報提供、相談等の支援を行う。また、病院等の開設者、管理者、看護師等確保推進者（人事担当者）に対し、看護師確保に関する情報提供、相談等の援助を行う。
 - (3) ハローワーク（富山・高岡・魚津）との連携
 - (4) 会議等
 - (5) 広報

3) 実績

(1) ハローワークへの就業支援専門員の派遣

派遣先	開催日	開催回数(回)	相談件数(件)
ハローワーク富山	第4木曜日	12	60
ハローワーク高岡	第3火曜日	12	38
ハローワーク魚津	第2水曜日	12	22
ハローワーク滑川	第3木曜日	12	15
ハローワーク氷見	第2木曜日	12	9
ハローワーク砺波	第3水曜日	12	26
ハローワーク小矢部	第2水曜日	12	10
計		84	180

(2) ナースセンターサテライトの運営

場所	開催日	開催回数(回)	相談件数(件)
新川ナースセンターサテライト	第1月曜日	12	7
射水ナースセンターサテライト	第1火曜日	12	3
砺波ナースセンターサテライト	第4木曜日	12	6
計		36	16

(3) ハローワーク(富山・高岡・魚津)との連携

連携実績

		ナースセンター	ハローワーク	合計
求人	新規求人数(人)	22	678	700
	新規求人件数(件)	13	364	377
求職	新規求職者数(人)	13	45	58
	就職件数(件)	0	27	27

(4) 会議等

①連絡調整会議(年1回)

開催日 令和5年12月18日(月) 14:00～15:00

場所 富山県看護研修センター 第2研修室

内容 令和5年度活動実績について

令和6年度事業計画(案)について

参加者 14人(就業支援専門員・就職アドバイザー、労働局・ハローワーク担当者、県医務課)

②医療機関へのあっせん強化(就職ガイダンス)

就職ガイダンスで「わかものハローワーク」のブースを設置

(5) 広報

就業相談ちらしの作成(1,500枚)と配布

3 看護師等免許保持者届出事業

1) 目的 「看護師等免許保持者届出制度」の届出情報を効果的に活用し、看護師等の潜在化を予防するとともに、復職支援を促進し看護師等の確保を図る。

2) 開始 2015年10月

3) 内容 (1) 届出情報の登録・管理
(2) 求職登録の促進
(3) 情報提供、周知活動

4) 実績

(1) 届出情報の登録・管理 (人)

届出人数	eナースセンター登録	
	希望する(内、登録人数)	希望しない
288	105 (54)	183

(2) 情報提供、周知活動

新聞広告 掲載日 令和6年2月26日(月)
掲載新聞 北日本新聞、富山新聞、読売新聞

4 潜在看護職員把握調査

- 1) 目的 eナースセンター登録の未就業看護職員の実態と就業希望条件等を把握する
- 2) 調査日 令和5年8月21日(月)
- 3) 調査対象 eナースセンター登録者207人

5 看護職員再就業支援研修

- 1) 目的 未就業または就業1年以内で看護技術に不安のある者に対して、最近の看護についての知識および技術を習得させ、看護力の向上と職場復帰の促進を図る。また、体験学習ができる場を提供し、自信をもって復職または看護業務にあたることができるよう支援する。

2) 研修内容

(1) 定期研修

開催日 4回 令和5年6月6日(火)、7月4日(火)、8月1日(火)、9月9日(土)
場所 富山県看護研修センター 第2研修室
対象 県内に居住する未就業または就業1年以内の看護職で、看護技術に不安のある方
内容 講義・演習

(2) 病院実習

開催日 受講者が希望する2日間
場所 受講者が希望する病院
対象 県内に居住する看護職で、現在看護業務に従事していない方
内容 病院実習

(3) 技術チェック研修

開催日 通年(予約制)
場所 富山県ナースセンター相談室
対象 県内に居住する未就業または就業1年以内の看護職で、看護技術に不安のある方
内容 DVD視聴、シミュレータ実習(採血)

(4) eラーニングを活用した復職支援研修

対象 県内に居住する看護職で未就業の方
県内に居住する看護職で看護業務に従事していない方
県内に居住する就業1年以内の看護職で、看護技術に不安のある方
内容 自宅等でパソコンやスマートフォンを使って、株式会社学研メディカルサポート「学研ナーシングサポート」及び「ビジュアルナーシングメソッド」を学習する
視聴期間 3ヶ月間

3) 実績

(1) 定期研修

回	開催日時	内容	受講者 (人)	
1	6月6日(火) 10:00～12:00	講義「看護職を取り巻く状況について」 講師 富山県厚生部医務課 課長補佐 平 和美 氏 講義「多様な働き方への支援 ナースセンターの役割(就業支援の実際)」 講師 富山県ナースセンター センター長 境 信子 氏	5	
2	7月4日(火) 10:00～12:00	講義・演習「医療現場における感染対策の基本」 講師 真生会富山病院 感染管理認定看護師 梅田 加洋子 氏	14	
3	8月1日(火) 10:00～12:00	講義・演習「看護技術研修(採血・注射)」 講師 高岡市民病院 感染管理認定看護師 高原 紀子 氏	15	
4	9月9日(土) 10:00～12:00	講義「子育てしながらの働き方について」 講師 岡本なおみ社会保険労務士オフィス 社会保険労務士 岡本 尚美 氏	6	
			計(延べ人数)	40
			内、就業者	13

(2) 病院実習

	受講者(人)	内、就業者(人)
病院実習	0	0

(3) 技術チェック研修

	受講者(人)	内、就業者(人)
技術チェック研修	15	11

(3) eラーニングを活用した復職支援研修

	受講者(人)	内、就業者(人)
eラーニングを活用した復職支援研修	44	20

6 看護職員・看護大学生Uターン促進事業

- 1) 目的 県外から転居してきた看護職員や県外の看護大学進学者等に対し、県内の就職情報等を提供し、県内医療機関への就業を促進する。
- 2) 内容 富山の看護職員募集案内冊子の作成、配布、ホームページに掲載
- 3) 実績 掲載施設 52病院
発行部数 400部
配布先 就職ガイダンス参加者、県内看護師等学校・養成所
県外看護師等学校・養成所、ハローワーク等

7 看護師等養成機関共同PR事業

- 1) 目的 県内看護師等学校・養成所の入学者を確保するため、看護職員養成課程の概要や各校の特徴等を紹介したガイドブックを作成し、県内の中学校、高等学校等に配布し、広く学生募集を行う。
- 2) 内容 看護師等養成機関紹介ガイドブックの作成、配布、ホームページに掲載
- 3) 実績 掲載看護師等学校・養成所 9校
発行部数 1,200部
配布先 高校生の一日本看護見学参加者および協力病院
県内中学校・高等学校、県外高等学校
市町村教育委員会、ハローワーク等

8 看護学生就労啓発事業

- 1) 目的 看護学生に、スキルアップしながら生涯にわたり働き続けることの必要性を啓発し、その支援を看護協会、ナースセンターが行っていることを周知することにより就労促進を図る。
- 2) 内容 看護学生に対し、看護協会・ナースセンターの役割等について講義を行う。
- 3) 実績

実施日	学校	受講者（人）
令和5年8月7日（月）	富山福祉短期大学 看護学科	80
令和5年10月18日（水）	富山福祉短期大学 看護学科	66
令和5年12月25日（月）	富山県立大学 看護学部	120
令和6年2月21日（水）	富山市医師会看護専門学校	41
令和6年2月26日（月）	富山市立看護専門学校	39

9 広報活動

1) TOYAMAナースセンターニュース（看護とやま）

号	内容	配布先・発行部数
No.147 （4月）	・報告 県内病院就職ガイダンス2023 ・案内 「看護の日」PRバス ・その他 求人情報の掲載	<配布先> 県内 ・医療機関施設 ・看護師等養成所 ・求人登録施設 ・未就業看護職 ・看護協会員 ・行政機関 等 県外 ・日本看護協会 ・都道府県看護協会 <発行部数> 年37,200部
No.148 （7月）	・報告 第33回「看護の日」看護フェスティバル 看護職員等からの体験談受賞者 「看護の日」PRバス ・その他 求人情報の掲載	
No.149 （10月）	・報告 看護職員定着支援事業研修会 高校生の一日常見学 ・その他 求人情報の掲載	
No.150 （1月）	・報告 看護職のワーク・ライフ・バランス推進事業報告会 看護学生と看護職のための就職ガイダンス ・その他 求人情報の掲載	

2) 新聞（タブロイド紙）広告・記事等

月日	掲載先	内容
7/7	北日本新聞タブロイド情報紙 「コノコトプラス」夏号（Vol.9）	案内 看護職員再就業支援研修 配布先 県内全ての小中学校
7/10	北日本新聞タブロイド情報紙 「Future」夏号（Vol.16）	案内 看護師のお仕事紹介 配布先 県内の中学3年生と高校生
11/20、12/10	北日本新聞	案内 就職ガイダンス
2/26	北日本新聞、富山新聞、読売新聞	案内 就業相談、とどけるん、研修

10 ナースセンター事業運営委員会

1) 富山県ナースセンター事業運営委員会

- (1) 開催日 令和6年2月9日（金）14:00～15:00
- (2) 場所 富山県看護研修センター 第1研修室
- (3) 委員 15人
- (4) 議事 令和5年度事業実績について
令和6年度事業計画（案）について

2) 事業実績報告の作成

- (1) 発行部数 250部
- (2) 配布先 県内病院、県内看護師等学校・養成所、ハローワーク等

II 訪問看護支援に関する事項

1-1 「訪問看護eラーニング」を活用した訪問看護師養成講習会

- 1) 目的 訪問看護事業の実施に必要な基本的知識と技術を修得し、質の高い訪問看護の提供ができる。
- 2) 開催期間 令和5年6月27日(火)～12月5日(火)
- 3) 対象者 訪問看護を実施している施設の看護職、これから訪問看護を始めようとする看護職
訪問看護に興味関心がある看護職
- 3) 受講者 18人(内、修了者15人)
- 4) プログラム

(1) 集合研修(開催場所:富山県看護研修センター)

月日	内容・講師
6月27日(火)	開講式 講義 「富山県の訪問看護の現状」 講師 富山県厚生部高齢福祉課 主査 平瀬 綾 氏 講義 「訪問看護の魅力について」 講師 もみじ訪問看護ステーション 訪問看護認定看護師 上野 三佳 氏
7月25日(火)	講義・演習「フィジカルアセスメント」 講師 富山県立中央病院 救急看護認定看護師 大屋 江里子 氏 富山県立中央病院 救急看護認定看護師 坂井 祐樹 氏
8月22日(火)	講義・演習「スキンケア」 講師 市立砺波総合病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 森田 初美 氏 講義・演習「摂食嚥下障害患者の看護と栄養管理」 講師 市立砺波総合病院 摂食嚥下障害看護認定看護師 安田 賢治 氏
10月2日(月)	講義 「認知症の看護」 講師 富山県立大学 看護部看護学科 教授 河野 由美子 氏
12月5日(火)	講義 「地域密着小規模多機能ケア」 講師 このゆびとーまれ 副理事長 西村 和美 氏 閉講式、ワールドカフェ

(2) eラーニング(開催場所:自宅等)

期間 令和5年6月27日(火)～9月30日(土)

内容 日本訪問看護財団「訪問看護eラーニング～訪問看護の基礎講座～」

(3) 実習(開催場所:病院、訪問看護ステーション、地域包括支援センター)

期間 令和5年10月3日(火)～11月10日(金)

内容 病院実習1日、訪問看護ステーション実習3日、地域包括支援センター実習1日

1-2 訪問看護師育成講習会修了者の就業状況確認

- 1) 目的 訪問看護師養成講習会修了者で、修了時未就業の者の状況を把握し、就業を促進する
- 2) 対象 1人(令和4年度受講修了者21人のうち、修了時未就業だった者)
- 3) 結果 2023年1月より訪問看護ステーションに非常勤職員として就業(自己就業)

2 訪問看護従事者等研修会

- 1) 目的 訪問看護に従事する看護職及び訪問看護に関心のある看護職員が、より高度な知識（フィジカルアセスメント）を習得し、質の高い看護を提供する。
- 2) 開催日 令和5年11月1日(水) 9:00～16:00
- 3) 会場 富山県看護研修センター
- 4) 対象者 訪問看護に従事している、あるいは今後従事しようとする看護職
- 5) 受講者 19人
- 6) プログラム

時間	内容
9:00～16:00	講義 「訪問看護をめぐる動向」 講師 富山県厚生部高齢福祉課 主査 平瀬 綾 氏 講義・演習「フィジカルアセスメント」 講師 富山赤十字病院 クリティカルケア認定看護師 浅生 かおり 氏 富山大学附属病院 クリティカルケア認定看護師 宮崎 優 氏 厚生連高岡病院 集中ケア認定看護師 松木 健宏 氏 厚生連高岡病院 集中ケア認定看護師 三輪 哲也 氏

3 訪問看護ステーション管理者育成研修会

- 1) 目的 訪問看護ステーション管理者としての役割を学び考える。
- 2) 開催日 令和5年7月8日(土) 9:00～12:00
- 3) 会場 富山県看護研修センター
- 4) 対象者 訪問看護ステーション管理者及び準ずる看護職
- 5) 受講者 52人
- 6) プログラム

時間	内容
9:00～12:00	講義 「組織内コミュニケーションの重要性を理解し、 職員が辞めない組織づくりについて学びを考える」 講師 株式会社パーソナル・ナース 代表 横山 郁子 氏

Ⅲ 看護の心普及啓発に関する事項

1 看護の日記念事業

1) 第33回「看護の日」看護フェスティバル

- (1) 目的 看護職を魅力的な職業として若年層に周知し、職業選択・進路選択の機会とする。「看護職志願者・その家族」に看護の魅力を発信し、人材確保・定着に結びつける。
- (2) 開催日 令和5年5月7日(日) 13:00～15:00
- (3) 場所 富山県看護研修センター
- (4) 参加者 県内中学生21名、保護者16名
- (5) プログラム

時間	内容
13:00	式典 開会あいさつ 体験談表彰式、体験談朗読
13:20	看護体験 看護体験コーナー、展示コーナー、看護学校紹介、白衣試着体験
15:00	閉会

2) 日本看護協会PRバス運行

- (1) 目的 若年層に向けて看護の仕事や魅力をアピールするため「看護の日・看護週間」を中心に「看護の日」ロゴマークなどをデザインしたラッピングバスを運行し、さらにバスの巡行にあわせて各地域で学生を対象としたイベント（看護の出前授業など）を開催して「看護の日」事業をPRする。
- (2) 開催日 令和5年5月12日(金)
- (3) 協力 富山医療福祉専門学校
黒部市立中央小学校2年生85人
助産師職能委員3人
- (4) 取材 富山テレビ、チューリップテレビ
北日本新聞、読売新聞、富山新聞、北陸中日新聞
- (5) プログラム

時間	内容	場所
10:00	PRバス出発式	富山県看護協会
12:00	バスの展示、写真撮影、グッズ配布	富山医療福祉専門学校
13:25	出前授業「いのちの教室」 バスの展示、写真撮影、グッズ配布	黒部市立中央小学校
15:00	バス巡行	黒部市内
16:00	終了	

3) ふれあい看護体験

- (1) 目的 知識と技術を持つプロフェッショナルとしての看護師像を、若年層や看護職志望者・家族、県民、看護職に伝えることを通して、看護のイメージアップを図り、人材確保・定着に結び付ける。また、「看護の日」事業の一環として、施設見学や簡単な看護体験、交流等を実施し、看護の心を伝える。
- (2) 実施期間 5月12日の看護の日にあわせて、5～6月に実施
- (3) 内容 各施設で工夫をこらし、施設見学、看護体験、健康相談、看護相談、介護相談等を企画・運営する。
ポスター・チラシの掲示による広報活動を行う。
- (4) 参加者 約1,800人
- (5) 協力病院 25病院

4) 広報

- (1) 掲載日 令和5年5月12日
- (2) 内容 北日本新聞「産前から産後まで、幸せな体験を支えます。」
富山新聞「看護職員等からの体験談」受賞作品

2 高校生の一日看護見学

- 1) 目的 高校生が看護業務と看護に対する理解を深め、看護職への進路選択の参考に資することを目的とする。
- 2) 実施期間 令和5年7月3日(月)～7月14日(金)
- 3) 対象 県内の高等学校に在学する生徒
- 4) 内容 院内見学、看護業務見学、「看護の道」について説明、座談会、個別進路相談
- 5) 参加者 高校生581人(男子41人、女子540人)
- 6) 協力病院 23病院

回	月日	病院名
1 回目	7月3日(月)	富山県立中央病院 富山県立中央病院 富山県立中央病院 金沢医科大学氷見市民病院 富山県リハビリテーション病院・こども支援センター
	7月4日(火)	富山労災病院 あさひ総合病院 独立行政法人国立病院機構富山病院 富山県済生会高岡病院 市立砺波総合病院 南砺市民病院
	7月5日(水)	国立大学法人富山大学附属病院
	7月6日(木)	厚生連滑川病院 厚生連高岡病院 射水市民病院
	7月7日(金)	黒部市民病院 富山市立富山まちなか病院 富山赤十字病院 富山県済生会富山病院 富山市立富山市民病院 かみいち総合病院 高岡市民病院 高岡ふしき病院 公立南砺中央病院
2 回目	7月10日(月)	富山県立中央病院 富山赤十字病院 富山県済生会富山病院
	7月11日(火)	富山労災病院 富山市立富山まちなか病院 高岡市民病院 富山県リハビリテーション病院・こども支援センター 富山県済生会高岡病院 公立学校共済組合北陸中央病院 市立砺波総合病院
	7月12日(水)	国立大学法人富山大学附属病院 金沢医科大学氷見市民病院
	7月13日(木)	あさひ総合病院 厚生連滑川病院 厚生連高岡病院 射水市民病院 公立南砺中央病院
	7月14日(金)	黒部市民病院 富山市立富山市民病院 かみいち総合病院 高岡ふしき病院 南砺市民病院

3 看護普及推進事業

- 1) 目的 小、中、高校生や学校教員等へ看護の普及啓発を行い、看護について理解や関心を高め、看護職員の確保を図る。
- 2) 実施期間 令和5年7月～9月
- 3) 対象 県内小学生、中学生、高校生、保護者、学校教員、地域住民等
- 4) 内容 看護師等学校・養成所における講義及び看護体験学習
- 5) 実施状況

学校	開催日	参加者	主な内容
国立大学法人 富山大学	8/2	高校生57人 高校生20人	講義「本学の4年生大学の特徴」 模擬授業「妊娠とは」「母体の変化と看護」
公立大学法人 富山県立大学	7/30	高校生延べ363人	模擬講義「認知症を考える」
	8/17	保護者等延べ119人	演習「一次救命処置 他」
	8/8	高校生20人 教員1人	模擬講義「看護に必要な観察力」 演習「看護技術の可視化体験」
富山福祉短期大学	9/16	幼児・小学生、保護者 延べ120人	白衣でポーズ（写真撮影） 宝探し～臓器を探そう～（シールラリー）
富山医療福祉 専門学校	8/10	中学生10人 保護者3人	講義「ヘルスアセスメント」 演習「新生児の特徴と観察・看護」
富山県 高岡看護専門学校	8/22	小学生17人 保護者10人	「看護の仕事（魅力）」について 正しい手洗い法体験

IV その他

1 医療勤務環境改善支援センター病院サポート事業

1) 目的

看護職員が健康で安心して働き続けることが可能となるよう、マネジメントシステムを用い就業環境の改善を図る。また、医療勤務環境改善支援センターと連携して参加施設を訪問し、看護管理者・院長・経営担当者等と面談し、ワーク・ライフ・バランス推進を施設全体で取り組むよう勧めるとともにその施設の強みや課題を客観的に話し合う機会とする。

2) 目標

- (1) ワーク・ライフ・バランス推進への取組みの一層の推進を図る。
- (2) 看護職員のワーク・ライフ・バランスの実現に取り組む医療施設を増加し、労働環境の改善の普及推進を図る。

3) 参加施設

- 1年目 富山県済生会富山病院、栗山病院
- 2年目 富山市立富山まちなか病院、黒部市民病院

4) 実施状況

(1) 個別病院支援

- ①インデックス調査 令和5年6～7月
- ②施設訪問
富山市立富山まちなか病院 令和5年10月4日(水)
黒部市民病院 令和5年10月20日(金)
富山県済生会富山病院 令和5年10月24日(水)
栗山病院 令和5年10月27日(金)

(2) 看護職のワーク・ライフ・バランス推進事業報告会

開催日 令和5年12月13日(水) 13:00～16:00

場所 富山県看護研修センター 第3研修室

参加者 50人(20施設)

プログラム

時間	内容	講師
13:00～16:00	報告 富山市立富山まちなか病院 黒部市民病院 講演「妊娠から育児期の両立支援を学ぶ」	岡本なおみ社会保険労務士オフィス 社会保険労務士 岡本 尚美 氏

(3) 看護職のワーク・ライフ・バランス推進委員会

開催日 令和5年5月31日(水) 15:00～16:00

場所 富山県看護研修センター 第1研修室

内容 事業説明等

(4) 会議「医療労務管理支援事業打合せ会」への出席

開催日 令和5年5月25日(木)、7月26日(水)、10月17日(火)、令和6年2月13日(火)

出席者 富山労働局、富山県、富山県医師会、富山県医療勤務環境改善支援センター、富山県看護協会

内容 各機関・団体の取組み報告等

2 看護職員定着支援事業

1) 看護職員等からの体験談

- (1) 目的 看護の魅力、看護の心を広く県民に伝えるとともに、看護職を目指す方々の希望へと繋げる。

(2) 実施状況

- ①作品募集
募集期間 令和4年12月13日～令和5年1月27日
募集内容 看護を通して得られた忘れられない体験談やエピソード
募集資格 富山県内の看護職員および看護学生
応募数 107編

- ②受賞者 最優秀賞1名 野村真澄
優秀賞2名 軍記真紀、鈴木万里
特別賞3名 高桑麻緒、成瀬千尋、吉野紗永
- ③表彰式 令和5年5月7日(日) 第33回「看護の日」看護フェスティバルで表彰
- ④広報 受賞作品を富山新聞、広報誌「看護とやま」、ホームページに掲載

2) 看護職員定着支援事業研修会

- (1) 目的 心理的安全性について学び、より働きやすい職場環境づくりを考える機会とする。
- (2) 開催日 令和5年8月10日(木) 13:30～16:00
- (3) 場所 富山県看護研修センター 第3研修室
- (4) 参加者 32人(21施設)
- (5) プログラム

時間	内容	講師
13:30～16:00	・心理的安全領域とワークエンゲージメントについて学ぶ ・演習「もしも魔法の杖があったなら・・・」 「チームの鎖」	国立保健医療科学院 国際協力研究部 上席主任研究官 種田 憲一郎 氏

3 2023年度地域に必要な看護職確保事業

- 1) 課題 新川(黒部)地区中核病院の看護職不足
- 2) 目標 地域で必要な看護職を確保することができる。
W・L・Bの充実を図り離職が減少する。
- 3) 内容
 - (1) 関係者の情報収集
黒部市民病院でW・L・Bインデックス調査を実施し原因を探る(問題点の抽出、改善)
 - (2) 勤務環境、W・L・B改善への支援
インデックス調査結果に基づき、支援員によるアドバイス
 - (3) 啓発活動
小・中・高校生に働きかけ、看護職の志願者を増やす(地区支部・病院)
県東部出身の看護学生に黒部市民病院をピンポイントで紹介する(奨学金やメリット等)
 - (4) 就業支援
退職した看護職の方に新川地区の仕事を紹介、プラチナナースの就労支援
 - (5) ワーキングの開催
委員 黒部市民病院、県東部看護学校関係者、黒部市、ハローワーク魚津、県医務課
新川厚生センター、富山県看護協会
 - (6) ナースセンター事業運営委員会の開催

4) 実施状況

- (1) 第1回新川(黒部)地区の看護師確保ワーキング
 - 開催日 令和5年6月6日(火) 15:00～16:00
 - 場所 黒部市民病院 会議室
 - 議事 2022年度地域に必要な看護職確保事業実施報告
2023年度PRバス企画に関連した出前授業・イベント等実施報告
協議事項 黒部市民病院における看護職確保の現状と課題
- (2) 第2回新川(黒部)地区の看護師確保ワーキング
 - 開催日 令和6年3月19日(火) 15:00～16:00
 - 場所 黒部市民病院 会議室
 - 議事 2023年度地域に必要な看護職確保事業実施状況報告
意見交換

令和5年度 富山県訪問看護総合支援センター事業報告

富山県訪問看護総合支援センター運営事業（富山県委託事業）

富山県訪問看護総合支援センターは、県内訪問看護ステーションの人材確保、質の向上、経営の安定化・機能強化を行い、訪問看護提供体制の推進を図る。

1 訪問看護支援強化事業

(1) 事業目的

訪問看護に関する相談や啓発等の実施、運営支援アドバイザーの派遣、小児医療対応力向上技術研修会の開催等を行うことにより、在宅療養環境の充実を図る。

(2) 訪問看護相談窓口（コールセンター）の開設

県民や関係機関からの相談や、訪問看護ステーションの運営や開設に関する相談に応じている。

相談数及び相談方法

相談数 延634件（月平均52.8件）（対前年比0.73倍）

相談方法 電話相談599件（94.5%）、メール12件（1.9%）、来訪等23件（3.6%）

相談者及び相談内容

相談者	延件数	割合(%)	相談内容
訪問看護ステーション	506	79.8	診療報酬、介護報酬、新型コロナウイルス感染症5類移行後の対応、訪問看護指示書等に関する事
病院・診療所	23	3.6	訪問看護ステーションの紹介 訪問看護制度・利用料に関する事
新規開設予定者	22	3.5	開設準備等に関する事
ケアマネジャー	10	1.6	医療保険の訪問看護、サービス内容に関する事
利用者・家族等	4	0.6	訪問看護ステーションの紹介 サービス内容、利用料に関する事
施設	1	0.2	訪問看護のサービス内容に関する事
その他	68	10.7	事業・研修会の問い合わせや依頼等
合計	634	100.0	

(3) 訪問看護の普及・啓発

ア 啓発・相談会

院内に訪問看護ステーションを所有していない6カ所の公的病院で計11回開催。訪問看護ステーションの管理者や訪問看護総合支援センターの職員（各回2名）が対応。

開催病院	開催数（回）	相談者数（人）
富山県立中央病院	3	24
富山市立富山市民病院	2	3
富山大学附属病院	2	14
高岡市民病院	2	7
射水市民病院	1	11
黒部市民病院	1	3
合計	11	62

イ 出前講座

3回（県介護支援専門員協会、富山県立大学等）

ウ 県民への啓発

ア) イベントでの啓発

	内容
サンフォルテフェスティバル	いのちと暮らしをささえる「訪問看護」展示

イ) 相談窓口の案内 (新聞掲載)

	掲載欄	掲載日
北日本新聞	情報かわら版	毎週木曜日
富山新聞	社会面のお知らせ欄	土・日・祝日を除く毎日

エ その他

ア) 「看護とやま」(4月、7月、10月、1月)を活用した啓発

イ) ホームページへの訪問看護指示書様式等の掲載

(4) 訪問看護の機能強化

訪問看護ステーションの安定した運営基盤の構築、小児医療への対応力の向上、訪問看護ステーション連絡協議会への支援等を行う

ア 訪問看護運営支援アドバイザー派遣

事業内容 アドバイザーによる事業所運営全般に関する助言指導

講師 訪問看護ステーションはーと (東京都) 訪問看護認定看護師 富岡 里江 氏

開催日 令和5年10月26日(木)

方法 オンライン指導

実施施設 4か所 訪問看護ステーションやべの里、訪問看護ステーションひよどり富山
小矢部市医師会訪問看護ステーション、厚生連滑川訪問看護ステーション

イ 小児医療対応力向上技術研修会

目的 医療的ケア児等の在宅医療を推進するため、訪問看護師の知識の習得、技術向上のため、NICU等の小児医療機関において実習を含めた研修を実施する。

開催日及び受講者

1日目 令和5年10月13日 受講者16人

2日目 令和5年10月19日 受講者15人

3日目 令和5年10月20日または26日 受講者4人×2日=8人

プログラム

区分	研修内容		講師
集合研修	1日目	I 基礎知識	講義① 医療的ケア児等の支援に係る制度 富山県厚生部障害福祉課 地域生活支援係 係長 山田 亮太郎 氏 富山県医療的ケア児等支援センター 副センター長 大野 芳江 氏
			講義② 医療的ケア児と家族のためにできること 富山大学医学部小児科学教室周産母子センター 講師 田村 賢太郎 氏
			講義③ 障害児相談支援について 社会福祉法人くるみ 相談支援専門員 松田 瞳 氏
			講義④ 小児の訪問看護 訪問看護ステーションまアシスト 管理者 高尾 久子 氏
	2日目	II 対応力向上	講義⑤ 医療的ケアを必要とする子どもと家族の看護 富山大学医学部小児科学教室周産母子センター 病院助教 猪又 智実 氏
演習 医療的ケアの実際 (呼吸、栄養、ストマ管理、蘇生、リハビリ) 富山大学医学部小児科学教室周産母子センター 病院助教 猪又 智実 氏 新生児集中ケア認定看護師 田村 愛 氏 小児在宅移行支援指導者 /NICU副看護師長 土田 悦子 氏 GCU副看護師長 吉野 綾子 氏 感染管理認定看護師 松浦 美里 氏 皮膚・排泄ケア特定認定看護師 吉井 忍 氏 公認心理師 小暮 奏 氏 作業療法士 永原 詩乃 氏			
3日目	実習・意見交換	NICU・GCU・小児科病棟 退院調整・家族支援・地域との連携 意見交換：医療的ケア児の支援と課題 医療福祉サポートセンター 看護師 池田 志をり 氏 MSW 小塚 麻友子 氏 NICU・GCU看護師等	

- ウ 専門性の高い看護師による地域支援（新規事業）
 - 目的 専門性の高い看護師と訪問看護師との連携による質の高い在宅療養支援の促進を図る。
 - ア) 県内公的病院に所属する専門性の高い看護師の一覧表の作成と訪問看護事業所への周知
 - イ) 診療報酬「在宅患者訪問看護・指導料3」に関する調査の実施
 - ウ) 事業報告会にて医療機関の取組み報告

エ 事業報告会

開催日 令和6年3月16日(土)
 開催場所 オンライン開催（アーカイブ動画配信）
 参加人数 63人
 報告内容 報告

「専門性の高い看護師による地域支援について、病院看護師の訪問看護事業所での出向研修事業、新卒訪問看護師の教育・育成、次年度事業計画等」
 グループディスカッション
 「訪問看護師の確保と質の向上を図るための、自施設の役割を考える」

オ 富山県訪問看護ステーション連絡協議会への支援

- ア) 事務局としての支援
- イ) 訪問看護ステーション実績調査・報告（データ集計、分析含む）
- ウ) 総会（書面）、役員会（5回）、研修会（2回）

カ 関係者研修会への支援

富山県ホームヘルパー協議会研修会へ講師を派遣し、訪問介護と訪問看護の連携の強化を図る。

地区	日時	場所	参加者（人）	講師
富山 東部	10月6日（金） 18:00～20:00	自治労とやま会館	8	在宅福祉総合センター きずな訪問看護ステーション 管理者 西野 友香里 氏
富山 西部	9月16日（土） 13:00～15:00	富山市八尾 コミュニティセンター	21	訪問看護ステーションまめなけ 管理者 井崎 明子 氏
高岡	10月20日（金） 18:00～20:00	だいが清水館	21	高岡市医師会訪問看護ステーション 看護師 中村 美紀 氏
新川	10月7日（土） 10:00～12:00	魚津ありそドーム	13	魚津病院ふれあい訪問看護ステーション 管理者 辻 和栄 氏
砺波	10月21日（土） 10:00～12:00	砺波まなび交流館	15	ものがたり訪問看護ステーション 管理者 宮川 尚乃 氏

キ その他

訪問看護に関する情報分析、訪問看護総合支援センターホームページの更新等

2 訪問看護人材確保事業

(1) 事業目的

新卒・新任看護師が安心して訪問看護師として就労できるよう、県内訪問看護ステーション等でのインターンシップやセミナー等を開催し、訪問看護師の安定的な確保を目指す。

(2) 新卒訪問看護師育成試行事業（新規事業）

ア 看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）の到達を目指した教育・実践及び評価

実施場所 富山県済生会高岡病院・済生会高岡訪問看護ステーション

実施期間 令和5年4月～令和7年3月（2年間）

実施内容 新卒看護師（令和5年4月新規採用）を自施設が所有する訪問看護ステーションに配属し、教育・育成を行い、訪問看護師用ラダーを作成する。

イ 富山県新卒訪問看護師育成検討会

目的 新卒訪問看護師が訪問看護師として成長するための教育・育成体制の検討及び訪問看護ステーションにおける新卒看護師の採用に向けた準備・教育・育成に必要なガイドラインの作成等について、総合的に検討した。

開催日 第1回 令和5年7月4日(火) 第2回 令和6年2月8日(木)

開催場所 富山県看護研修センター

委員 11人

ウ 富山県新卒訪問看護師育成ガイドラインの作成

日本看護協会「看護職の生涯学習ガイドライン2023」に基づいた看護師のまなびサポー

トブックの看護実践能力及び厚生労働省の「新人看護職員研修ガイドライン（平成26年）」に基づき育成プログラムを作成した。詳細な内容については、3月から毎週ワーキング会議を開催している。

(3) 訪問看護インターンシップ事業

目的 訪問看護に関心のある看護学生が、訪問看護ステーションの職場を体験し、訪問看護の魅力の発見や関心を高めることにより訪問看護ステーションへの就業促進を目指す。

実施期間 令和5年8月16日～8月25日

参加者 看護学生22人（富山大学、富山福祉短大、高岡看護専門学校、富山医療福祉専門学校、富山市医師会看護専門学校、いずみ高校）

体験事業所 訪問看護ステーション6ヶ所（朝日町、富山赤十字、光風会、厚生連高岡、ひよどり、南砺市）

(4) 訪問看護キャリア支援セミナーの開催

目的 新たに訪問看護に従事しようと考えている看護職員等を対象に、訪問看護の魅力や働き方を伝えるセミナーを開催し、訪問看護師の確保につなげる。

開催日 第1回 令和5年8月5日(土)

第2回 令和5年11月18日(土)

テーマ あなたのセカンドキャリア 応援します ～もっと知りたい訪問看護～

内容 体験談（各回3人）「訪問看護という選択 ～私が訪問看護を選んだ理由（わけ）～」

報告者 八箇 多恵 氏（訪問看護ステーション十色）

伊藤 達也 氏（ソフィアメディア訪問看護ステーション射水）

飯野 夕子 氏（朝日町在宅介護支援センター訪問看護ステーション）

鍋 宗和 氏（訪問看護ステーションラーレ）

石川 瑞希 氏（東岩瀬訪問看護ステーション）

毛利 裕子 氏（訪問看護ステーションなないろ）

本音deトーク（グループワーク）

参加者 35人（第1回 17人 第2回 18人）

3 訪問看護師人材育成事業

(1) 事業目的 訪問看護に関わる看護職を、初心者・従事者・管理者と3区分に分け、必要な知識などを学習し、訪問看護師や管理職としての自覚を促し、自ら研鑽する機会とする。

(2) 「訪問看護eラーニング」を活用した訪問看護師養成講習会 受講者17人（修了者15人）（再掲）

(3) 訪問看護従事者研修会 受講者19人（再掲）

(4) 訪問看護ステーション管理者育成研修会

目的 訪問看護ステーションの管理・運営、マネジメント力の向上や人材育成について学ぶ。

内容 2回

回数	開催日	内容	受講者(人)
1回	令和5年7月8日(土)	「職員が辞めない組織づくり」 株式会社パーソナル・エース代表取締役 横山 郁子 氏	52
2回	令和6年1月27日(土)	「人間関係のコミュニケーションについて」 訪問看護ステーション はーと 富岡 里江 氏	27

*場所はいずれも富山県看護研修センター

4 訪問看護ステーションサポート事業

(1) 事業目的 多様化する在宅医療ニーズに対応するため、教育的機能を有する「訪問看護サポートステーション」を医療圏毎に選定し、圏域内の訪問看護職員を対象とした実践的研修等や管理者等への相談対応や情報交換会等を開催することにより、訪問看護サービスの向上を目指す。

(2) 事業内容

ア サポートステーションの審査及び必要経費の助成

イ 連絡会議の開催、サポートステーションからの相談対応、実績の取りまとめ等

(3) 実績

ア サポートステーションの一覧及び活動実績

医療圏	サポートステーション	電話相談	同行訪問	ST訪問	研修	情報交換会
新川	朝日町在宅介護支援センター 訪問看護ステーション	1	0	0	4	3
富山	富山赤十字訪問看護ステーション	2	0	1	1 (合同)	3 (合同2)
	光風会訪問看護ステーション	5	1	0	1 (合同)	2 (合同2)
高岡	厚生連高岡訪問看護ステーション	4	0	0	2	2
砺波	南砺市訪問看護ステーション	2	0	0	4	3
	計	14	1	1	11	11

イ 連絡会議

2回（第1回令和5年6月28日(水)、第2回令和6年2月28日(水)）

5 訪問看護災害時等支援体制推進事業

- (1) 事業目的 新型コロナウイルス感染症拡大時や災害発災時に、訪問看護サービスを必要とする在宅療養者が継続して訪問看護を利用できるよう、訪問看護ステーション相互の連携を支援する。
- (2) 事業内容
- ア サポートステーションの圏域内で情報交換会の開催
 - BCP作成の支援や応援体制の整備
 - イ 災害時等のシミュレーション
 - ウ 感染症・災害時等のBCP作成状況の確認
 - エ サポートステーションとの情報共有
- (3) 実績
- ア サポートステーション連絡会議で情報交換を実施
 - イ 全ステーションに対し、BCP作成状況の調査を実施（R6年2月末で策定率97%）

6 訪問看護・医療機関相互研修事業

- (1) 事業目的 多様化する在宅医療ニーズに対応するため、医療機関と訪問看護ステーション双方の技術向上と連携強化を図る。
- (2) 病院看護師出向研修事業
- ア 事業内容 病院看護師が一定期間（3～6ヶ月程度）訪問看護ステーションに出向し、退院支援や訪問看護等に必要な知識や技術の習得を支援する。
- イ 実績

派遣病院 受入事業所	出向研修期間	派遣元の所属部署・職位（人数）
富山労災病院 済生会富山訪問看護ステーション	令和5年 9月1日～ 11月30日	看護部看護師長補佐（1人）

(3) 病院看護師の研修受入事業

- ア 事業内容 派遣等により病院看護師を一定期間（1～2ヶ月程度）訪問看護ステーションで受入れ、訪問看護の理解を深め、退院支援に必要な知識や技術研修を行うとともに、地域包括支援センターなど関係機関との役割も学ぶ。

イ 実績

派遣病院 受入事業所	研修期間	派遣元の所属部署・職位（人数）
富山市立富山市民病院 訪問看護ステーションジヨジョ	令和5年 8月21日～ 9月1日	緩和ケア内科 副看護師長（1人）
富山県立中央病院 訪問看護ステーションひよどり富山	令和5年 12月8日～ 12月28日	地域連携室 主幹（1人）

(4) 訪問看護師スキルアップ研修事業

ア 事業内容 県内の公的病院において、下記の内容の研修を行う。

- ① 医療機器装着患者等対応研修
最新医療機器や緩和ケア外来化学療法等の知識や技術を学ぶ。
- ② 訪問看護師と病院看護師等との連携会議（情報交換）
在宅移行や退院調整に必要な事項を意見交換する連携会議を開催する。

イ 実績（4圏域6病院）

圏域	開催日	場 所	参加者 (人)	内 容
新川	令和5年 11月11日(土)	黒部市民病院	4	・認定看護師等7名による講義・演習等 ・呼吸器循環器のフィジカルアセスメント等 ・意見交換／カンファレンス
富山	令和5年 11月8日(水)	富山県立中央病院	8	・認定看護師9名による講義・演習等 ・小児の医療的ケア、腹膜透析ケア等 ・意見交換／カンファレンス
	令和5年 10月23日(月)	富山県 済生会富山病院	2	・認定看護師等5名による講義・演習 ・HCU、救急センターでの実地研修 ・意見交換／カンファレンス
	令和5年 11月29日(水)	富山赤十字病院	3	・認定看護師6名による講義・演習等 ・呼吸管理、感染管理、褥瘡管理等 ・意見交換／カンファレンス
高岡	令和5年 9月11日(月)	厚生連高岡病院	8	・専門看護師・認定看護師等11名による講義・演習（リンパ浮腫のケアを含む） ・意見交換／カンファレンス
砺波	令和5年 11月21日(火)	市立砺波総合病院	4	・特定行為・認定看護師等10名による講義・演習 ・がん相談センター紹介、認知症看護等 ・意見交換／カンファレンス
		計	29	

7 訪問看護職員の確保・定着のための働き方改革推進事業（訪問看護トライアル雇用事業）

- (1) 事業目的 新たに訪問看護分野への就職を希望する者が、就業に際し、不安なく業務に従事することができるよう、実務経験を付与させながら、成長過程に応じた指導や助言を行い、現場での対応力・判断力を身に付けさせることにより、質の高い人材を育成・確保し、訪問看護ステーションの運営体制の強化や事業規模の拡大を図る。
- (2) 事業内容 訪問看護未経験の看護職有資格者を雇用し、訪問看護業務に従事させながら、訪問看護業務に必要な研修の受講機会を提供し、訪問看護業務に必要な知識及び技能を習得させるために必要な経費を助成する。
- (3) 実績 4事業所
 結りハビリ訪問看護ステーション
 訪問看護ステーションやべの里
 射水ライフ・サポート訪問看護ナースステーション
 訪問看護ステーションひよどり富山

8 訪問看護推進事業

- (1) 事業目的 医療機関の看護師が訪問看護の現場に赴き、在宅医療移行に向けてのケアの視点や退院支援、地域連携に関する知識を養うことなどを通し、地域医療の充実と質の高い在宅療養支援体制づくりを推進する。また、訪問看護師や医療機関に勤務する看護師が、共同で在宅療養患者の療養上の課題を明確にし、対応策を検討することにより、看護師の資質向上や相互理解、連携強化を図る。
- (2) 実績
 ア 在宅ケア事例検討会へのアドバイザー（専門看護師・認定看護師等）の派遣
 ア) 派遣アドバイザー（12人）

氏名	所属	認定看護師等
① 杉本 みどり 氏	富山労災病院	認知症看護認定看護師
② 開 弘美 氏	黒部市民病院	糖尿病看護認定看護師
③ 加藤 真理子 氏	富山赤十字訪問看護ステーション	在宅ケア認定看護師
④ 吉田 政人 氏	魚津神経サナトリウム	看護部長
⑤ 小原 留美 氏	光風会訪問看護ステーション	訪問看護認定看護師
⑥ 谷川 智子 氏	富山市八尾保健福祉センター	センター長 保健師
⑦ 上野 三佳 氏	もみじ訪問看護ステーション	訪問看護認定看護師
⑧ 出口 雅士 氏	駅南あずさ病院	看護部長
⑨ 村上 真由美 氏	富山赤十字病院	がん看護専門看護師
⑩ 江尻 理絵 氏	真生会訪問看護ステーションこころ	緩和ケア認定看護師
⑪ 前田 真裕美 氏	市立砺波総合病院	がん性疼痛看護認定看護師
⑫ 竹内 淑子 氏	小矢部市社会福祉課	課長補佐

イ) 在宅ケア事例検討会 (6回 参加総数214人)

地区	開催日	会場	アドバイザー	事例検討テーマ (事例提供ステーション)	参加者 (人)
新川	8月24日 (木)	黒部市民病院	① ②	インスリン治療を要する認知症高齢女性との関わり～独居でも自宅での生活を続けたい～ (入善訪問看護ステーション)	33
富山	9月5日 (火)	富山県立中央病院	③ ④	身体表現性障害により自殺企図がある女性への関わり (訪問看護ステーション呉羽)	31
	10月3日 (火)	富山県看護研修センター	⑤ ⑥	精神疾患を持つ利用者と家族との関係に焦点を当てた関わり方の検討 (さくらニューロ訪問看護ステーション)	31
高岡	8月30日 (水)	厚生連高岡病院	⑦ ⑧	母子密着による過剰適応から招く暴力 (訪問看護ステーションかけはし)	23
	10月18日 (水)	真生会富山病院	⑨ ⑩	癌末期の病状進行に伴う患者と家族への多職種による支援 (ソフィメデイ訪問看護ステーション射水)	48
砺波	9月14日 (木)	市立砺波総合病院	⑪ ⑫	70代独居男性の在宅看取りと多職種連携～ストマ・腎瘻・膀胱留置カテーテル管理の医療的処置がある事例～ (訪問看護ステーションあぼかど)	48
計					214

イ 医療機関看護師の訪問看護研修及び事例検討会への参加

研修場所及び期日			参加者数 (人)
訪問看護ステーション	在宅ケア事例検討会		
朝日町在宅介護支援センター 訪問看護ステーション 7/6(木)	黒部市民病院	8/24(木)	1
訪問看護ステーションひよどり富山 7/24(月)	真生会富山病院	10/18(水)	1
富山赤十字訪問看護ステーション 8/9(水)	富山県立中央病院	9/5(火)	1
高岡市医師会訪問看護ステーション 7/4(火)・5(水)	真生会富山病院	10/18(水)	2
	市立砺波総合病院	9/14(木)	
南砺市訪問看護ステーション 8/7(月)・8(火)	富山県看護研修センター	10/3(火)	3
	市立砺波総合病院	9/14(木)	
計			8

9 医療的ケア児等訪問看護体制整備事業

(1) 事業目的

人工呼吸器を装着している児（者）や日常生活を営むために医療を要する状態にある児（者）、また、重症心身障害児（者）（以下「医療的ケア児等」という。）とその家族が、身近な地域で必要な訪問看護を安心して受けることができるよう、訪問看護提供体制の整備を図る。

(2) 事業内容

ア 地域の訪問看護ステーションへの引継ぎを前提とした同行訪問の調整及び経費の助成

イ 市町村、障害福祉サービス事業所、保育所、学校等の関係機関との情報連携、相談・助言、啓発等

(3) 実績

ア 2か所の訪問看護ステーションによる訪問看護の実施

ア) 指導ステーション 1事業所

イ) 受講ステーション 3事業所

ウ) 対象となった児 3人

エ) 同行訪問回数 延39回（1回＝30分）

イ 訪問看護事業所、医療機関、市町村等からの相談対応

ア) 相談件数 27件

令和5年度 訪問看護ステーションひよどり事業報告

1 経緯

平成8年8月訪問看護事業開始。平成12年4月介護保険法施行により指定居宅介護支援事業所を開設。介護保険改定に伴い、平成19年4月より訪問看護事業と居宅介護支援事業を分離。平成26年3月31日で居宅介護支援事業を廃止。4月より訪問看護事業のみとなる。

2 職員体制（令和5年3月現在）

常勤換算 5.3名

勤務形態

管理者	1名
常勤看護師	4名
非常勤看護師	2名

3 訪問看護実績（別紙参照）

4 地域・他機関連携

- ・富山県訪問看護ステーション連絡協議会
- ・射水市在宅医療・介護連携推進協議会
- ・射水市在宅医療・介護連携推進協議会情報共有ツールワーキング部会参加
- ・射水市認知症初期集中支援チーム検討委員会
- ・在宅ケア事例検討会
- ・射水在宅医療カンファレンス
- ・在宅いみずネットワーク多職種連携協働研修会

5 研修会出席

【富山県看護協会主催】

- ・在宅ケア事例検討会

【富山県訪問看護ステーション連絡協議会主催】

- ・東海ブロック交流会

【その他】 一部を記載

- ・第28回高岡医療圏在宅・緩和医療懇話会（Web）
- ・第6回富山県創傷ネットワークセミナー（Web）
- ・第19回在宅医療推進フォーラム（Web）
- ・富山県在宅医療支援センター研修会（Web）
- ・訪問看護サミット2023（Web）
- ・第28回日本緩和医療学会学術大会（Web）
- ・認定看護師フォローアップセミナー（Web）
- ・令和5年度射水市高齢者虐待防止研修会
- ・認定看護師を対象としたフォローアップ研修（Web）
- ・第10回富山癌性疼痛治療研究会（Web）

6 訪問看護実習/インターシップの受け入れ

施設名/研修名	期間	人数
神戸常磐大学短期大学部	令和5年7月27日～7月28日	1名
2023年度セカンドレベル実習	令和5年7月18日～7月21日	4名
ケアマネジャー医療介護連携研修	令和5年11月15日	1名
富山県高岡看護専門学校	令和5年9月5日～10月13日	4名
富山福祉短期大学	令和5年6月19日～6月22日	2名
インターシップ事業	令和5年8月22日～8月23日	3名

令和5年度訪問看護活動実績

訪問看護ステーションひよどり

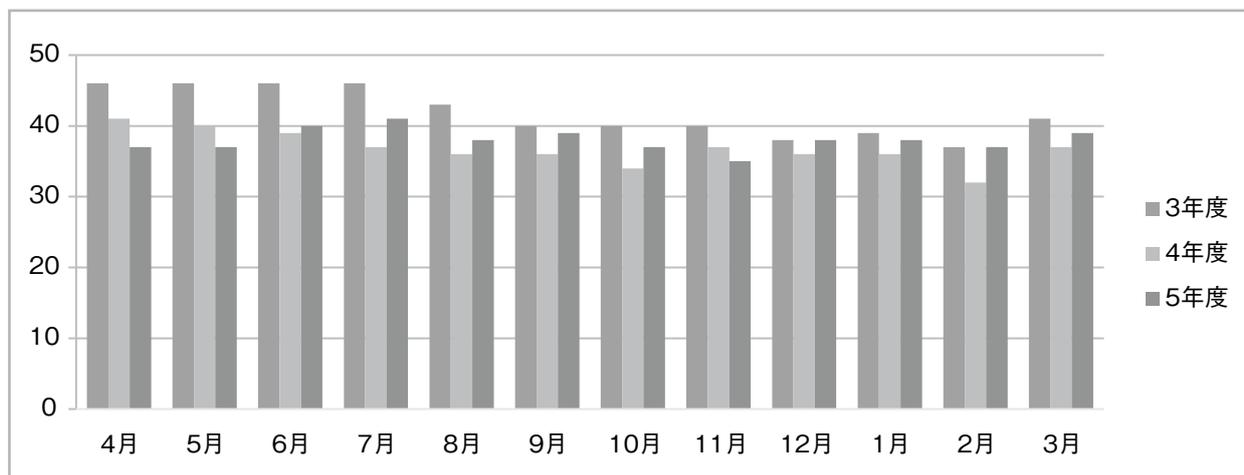
区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	平均
実働日数		20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	20	243	20.3
利用者状況	登録者数	37	37	40	41	38	39	37	35	38	38	37	37	454	37.8
	利用者数	37	37	40	41	38	39	37	35	38	38	37	37	454	37.8
	介護保険	24	24	25	27	26	24	25	23	26	24	24	25	297	24.8
	医療保険	13	13	15	14	12	15	13	12	12	14	13	13	159	13.3
	新利用者数	2	0	3	6	0	2	3	0	4	2	1	1	24	2.0
	終了者	1	0	0	5	3	2	5	2	0	2	2	1	23	1.9
訪問状況	訪問延回数	203	237	262	208	233	231	233	202	247	254	274	266	2,850	237.5
	医療保険訪問	93	108	153	101	105	105	99	88	117	113	155	140	1,377	114.8
	複数訪問	6	5	19	2	4	0	9	5	18	23	35	29	155	12.9
	平均訪問回数	10.2	11.9	13.1	10.4	11.7	11.5	11.6	10.1	12.4	12.7	13.7	13.3	142.6	11.9
終了内訳	死亡	0	0	0	1	0	1	1	1	0	1	1	0	6	0.5
	入院	0	1	0	2	2	1	3	0	0	1	1	1	12	1.0
	入所	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.2
	軽快	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0.1
	その他	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	3	0.3
依頼状況	居宅支援事業所	1	1	2	6	0	1	3	0	4	2	1	1	22	1.8
	地域包括支援センター	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0.1
	医療機関	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	4	0.3
	家族・本人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	保健・福祉関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
介護度	要支援	4	4	4	5	4	4	4	4	4	3	3	4	47	3.9
	要介護1	3	5	4	6	7	7	6	6	9	9	9	9	80	6.7
	要介護2	5	5	5	5	5	6	5	4	4	4	2	3	53	4.4
	要介護3	2	1	1	2	3	3	1	1	1	1	2	2	20	1.7
	要介護4	7	6	8	6	5	4	4	6	5	6	5	5	67	5.6
	要介護5	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36	3.0
	申請中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	医療保険利用	13	13	15	14	11	15	13	12	12	14	13	13	158	13.2
利用者年齢	平均年齢	74.1	74.4	75.2	75.9	76.3	75.7	76.5	77.2	77.6	72.7	75.3	77.4	908.3	75.7
	65歳未満	9	9	9	9	8	8	8	6	6	6	6	6	90	7.5
	65～69歳	1	1	0	0	0	1	0	1	1	2	2	2	11	0.9
	70～74歳	1	1	2	2	2	3	2	2	1	2	2	1	21	1.8
	75～79歳	6	5	7	5	4	4	3	4	5	4	5	6	58	4.8
	80～84歳	8	8	8	8	8	8	7	7	7	8	8	8	93	7.8
	85～89歳	6	6	8	11	10	10	10	9	10	8	6	7	101	8.4
	90歳以上	5	6	6	6	6	5	6	5	6	8	8	7	74	6.2
連携	退院前カンファレンス	2	0	1	2	0	3	2	0	1	3	1	1	16	1.3
	担当者会議	0	0	0	1	1	3	0	2	0	0	2	2	11	0.9
	地域包括ケア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	保健・福祉関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0

*実働日数には休日・祝日は含まれない

訪問看護ステーションひよどりの年度別推移

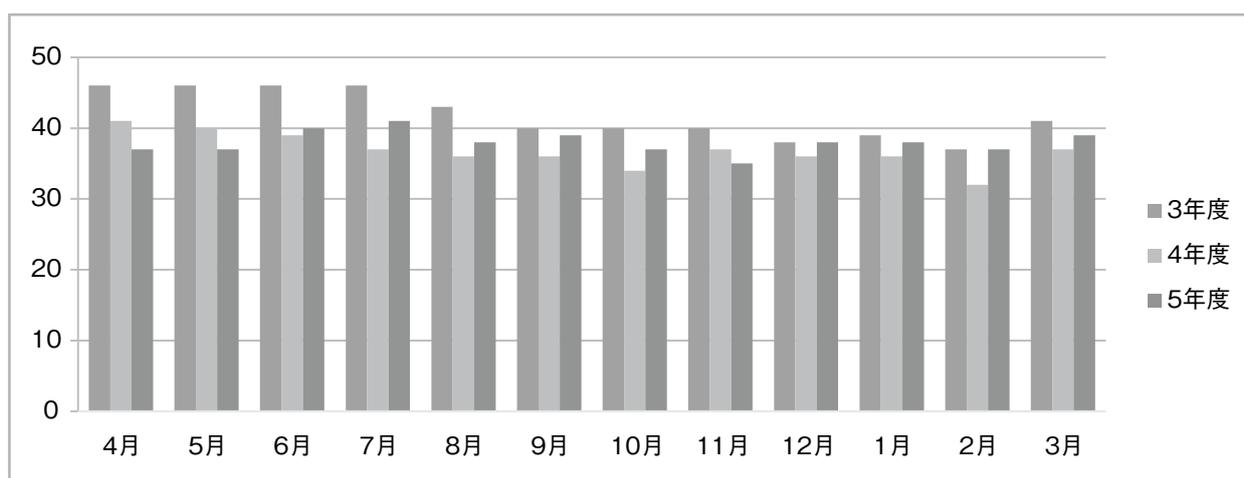
1 利用者の月別・年度別推移

年度\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
3	46	46	46	46	43	40	40	40	38	39	37	41	502
4	41	40	39	37	36	36	34	37	36	36	32	37	441
5	37	37	40	41	38	39	37	35	38	38	37	39	456



2 訪問回数の月別・年度別推移

年度\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
3	320	263	305	306	339	300	319	284	261	255	204	273	3,429
4	287	261	287	293	303	295	268	271	265	245	199	217	3,191
5	203	237	262	208	233	231	233	202	247	254	273	266	2,849



令和5年度 訪問看護ステーションひよどり富山事業報告

1 経緯

平成10年10月訪問看護事業開始し、令和5年度に25周年を迎えた。平成12年4月に介護保険法施行により指定居宅介護支援事業所開設。事業拡大に向け平成19年4月より訪問看護事業と居宅介護支援事業を分離。訪問看護事業は平成20年10月に訪問看護ステーションいそべと合併し中規模ステーションとして14年経過した。

2 職員体制（令和6年3月現在）

常勤換算 4.8名

勤務形態

管理者	1名
常勤看護師	2名
非常勤看護師	2名

3 訪問看護実績（別紙参照）

4 地域・他機関連携

- ・富山医療圏地域医療推進対策協議会がん・在宅医療部会出席（委員）
- ・富山県医療観察制度関連職種研修会出席
- ・出向研修事業受入れ（真生会富山病院）
- ・富山県立大学看護学部看護学実習運営協議会出席
- ・神明・五福地区医療介護連携推進会議参加
- ・富山市医師会看護専門学校（講師）
- ・富山市西エリア在宅医療・介護連携推進研修会参加

5 研修会出席

【富山県看護協会主催】

富山支部合同研修会

【富山県訪問看護ステーション連絡協議会主催】

訪問看護ステーション管理者育成研修

事例検討会

【その他】 一部を記載

- ・第28回日本在宅ケア学会学術集会参加（Web）
- ・訪問看護サミット2023（Web）
- ・日本訪問看護財団研修『今しか聞けない請求業務の基本』（Web）
- ・精神科訪問看護基本療養費の届出要件を満たす研修（Web）
- ・精神障害の在宅看護セミナー（Web）
- ・日本脳神経看護研究学会（石川県）
- ・認定看護師を対象としたキャリアアップ研修
- ・認定看護師を対象としたフォローアップ研修（Web）

6 訪問看護実習/インターシップの受け入れ

施設名／研修名	期 間	人 数
・富山市医師会看護専門学校	令和5年4月21日～7月7日	7名
・富山医療福祉専門学校	令和5年5月10日～7月12日	4名
・富山市立看護専門学校	令和5年8月28日～10月2日	6名
・神戸常盤大学短期大学部看護学科	令和5年7月13日～7月28日	2名
・富山県立大学看護学部	令和5年11月30日～12月7日	2名
・セカンドレベル	令和5年7月18日～7月21日	7名
・医療機関に勤務する看護師の訪問看護研修	令和5年7月24日	1名
・医療機関に勤務する看護師の訪問看護研修	令和5年12月8日～12月28日	1名
・令和5年度訪問看護師養成講習会	令和5年10月31日～11月9日	2名
計		32名

令和5年度訪問看護活動実績

訪問看護ステーションひよどり富山

区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	平均
実働日数		20	20	22	22	22	20	21	21	20	19	19	20	246	20.5
訪問状況	訪問延回数	198	193	218	198	208	170	192	204	194	201	183	183	2342	195.2
	介護保険	108	97	120	107	114	101	105	103	104	105	96	94	1254	104.5
	医療保険	90	96	98	91	94	69	87	101	90	96	87	89	1088	90.7
	複数名訪問	7	8	7	7	8	8	9	9	9	9	6	9	96	8.0
	平均訪問回数	9.9	9.7	9.9	9.0	9.5	8.5	9.1	9.7	9.7	10.6	9.6	9.2	114	9.5
利用者状況	登録者数	39	39	38	37	37	36	37	39	39	38	37	35	451	37.6
	利用者数	37	37	36	36	36	34	36	38	37	37	35	33	432	36.0
	介護保険	24	24	23	23	23	22	22	22	24	23	22	20	272	22.7
	医療保険	13	13	13	13	13	12	14	16	14	14	14	14	163	13.6
	新規利用者数	0	0	1	0	0	0	1	2	1	1	0	0	6	0.5
	終了者数	1	1	0	1	0	0	1	1	2	1	2	1	11	0.9
	入院中・保留中	2	2	2	2	3	2	1	2	1	3	2	2	24	2.0
終了内訳	死亡	0	1	0	0	0	0	0	1	2	1	1	0	6	0.5
	入院	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2	0.2
	入所（ショート）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	0.2
	軽快	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.2
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
依頼状況	居宅介護支援事業所	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2	0.2
	地域包括支援センター	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.1
	医療機関	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0.2
	家族・本人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	保健・福祉関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0.1
介護度	要支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要介護 1	7	7	7	7	7	7	7	7	8	8	7	7	86	7
	要介護 2	7	5	5	7	7	6	6	4	4	4	5	5	65	5
	要介護 3	0	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	27	2
	要介護 4	6	6	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	52	4
	要介護 5	3	3	4	3	3	3	3	4	4	4	4	4	42	4
	申請中/更新	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0
	医療保険利用	13	13	13	13	13	12	14	15	14	14	14	14	162	14
利用者年齢	平均年齢	77.4	77.4	77.6	77.6	77.6	77.6	77.6	76.9	77.0	77.0	76.9	76.9	928	75.2
	3歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3～14歳	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	7	1
	15～39歳	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	5	0
	40～64歳	5	5	5	5	5	5	5	6	5	5	6	6	63	5
	65～69歳	1	1	1	1	1	0	0	1	1	0	0	0	7	1
	70～74歳	4	4	4	4	4	4	4	5	4	4	4	4	49	4
	75～79歳	9	9	8	8	4	4	4	4	4	4	5	5	68	6
	80～84歳	8	8	8	8	11	11	11	10	10	10	9	9	113	9
	85～89歳	6	6	5	5	5	5	5	6	5	5	5	5	63	5
90歳以上	3	3	4	4	6	6	6	5	6	6	6	6	61	5	
連携	退院前カンファレンス	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	3	0.3
	担当者会議/緊急カンファ	0/0	2/0	0/0	1/0	0/0	1/0	0/0	1/0	3/0	1/0	0/0	2/0	11/0	0.9/0
	地域包括ケア会議	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	保健・福祉関係	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.2

*実働日数には休日・祝日は含まれない

令和5年度定期巡回随時対応型訪問介護看護（連携型）活動実績

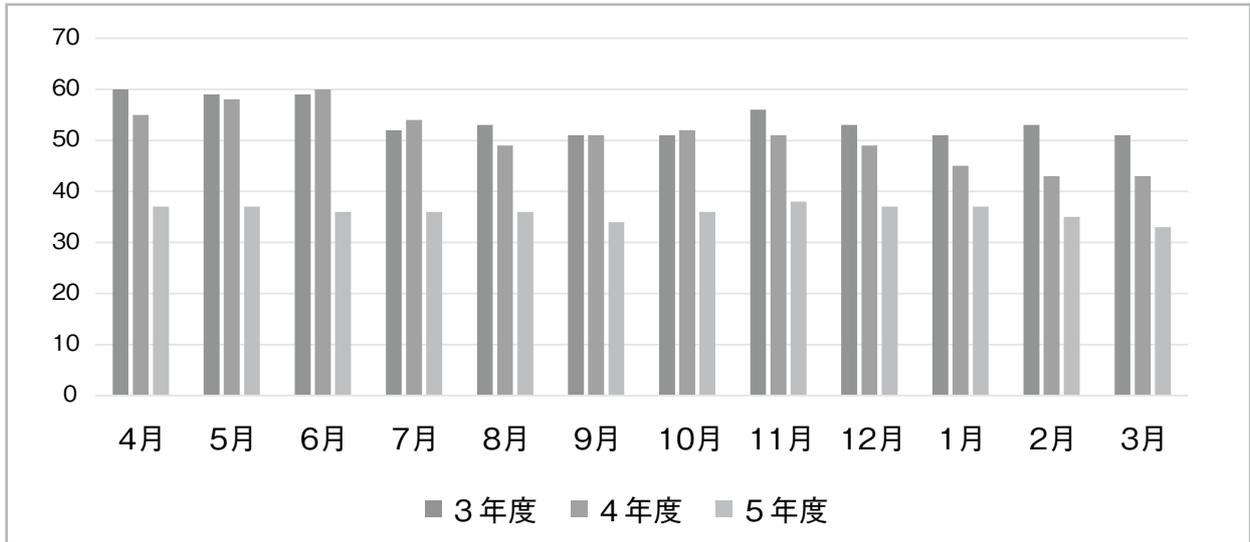
訪問看護ステーションひよどり富山

区分		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	平均
利用者状況	登録者数		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.0
	新規利用者数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	モニタリング実施数		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.0
	終了者数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
訪問状況	訪問看護契約者数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	訪問回数（介護保険）		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
終了内訳	死亡		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	入院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	入所（ショート）		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	軽快		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
依頼状況	居宅介護支援事業所		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	地域包括支援センター		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	医療機関		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	家族・本人		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	保健・福祉関係		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
介護度	要介護 1		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	要介護 2		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	要介護 3		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	要介護 4		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	要介護 5		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	申請中		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	医療保険訪問看護利用者		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.0
利用者年齢	平均年齢		72.0	72.0	72.0	72.0	72.0	72.0	72.0	72.0	72.0	72.0	72.0	72.0	864.0	72.0
	65歳未満		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	65～69歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	70～74歳		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.0
	75～79歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	80～84歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	85～89歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	90歳以上		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0

訪問看護ステーションひよどり富山の年度別推移

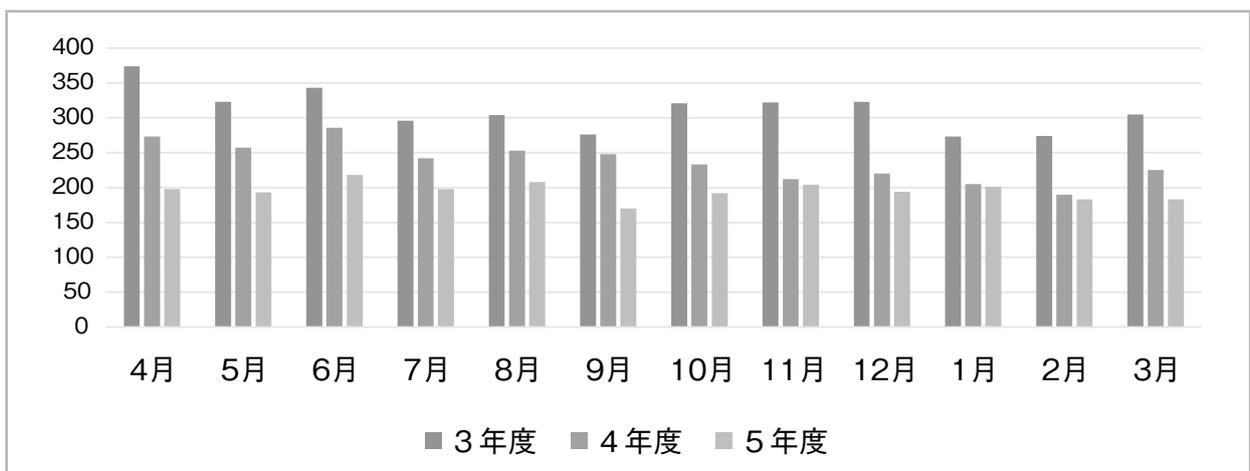
1 利用者数の月別・年度別推移

年度\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
3年度	60	59	59	52	53	51	51	56	53	51	53	51	598
4年度	55	58	60	54	49	51	52	51	49	45	43	43	610
5年度	37	37	36	36	36	34	36	38	37	37	35	33	432



2 訪問延回数の月別・年度別推移

年度\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
3年度	374	323	343	296	304	276	321	322	323	273	274	305	3,429
4年度	273	257	286	242	253	248	233	212	220	205	190	225	2,844
5年度	198	193	218	198	208	170	192	204	194	201	183	183	2,342



令和5年度 居宅介護支援事業活動実績

ひよどり富山居宅介護支援事業所

区分		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	
認定調査件数			2	0	1	1	3	3	2	3	3	1	3	3	25	2.1	
給付管理	要支援1		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
	要支援2		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
	要介護1		17	16	14	14	15	15	15	16	17	18	17	20	194	16.2	
	要介護2		13	15	14	14	15	11	12	10	9	11	10	16	150	12.5	
	要介護3		10	9	7	6	5	4	5	5	6	6	5	7	75	6.3	
	要介護4		3	3	5	4	4	4	4	4	4	4	5	6	5	51	4.3
	要介護5		4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48	4.0
	小計		47	47	44	42	43	38	40	39	40	44	42	52	518		
	加算	新規・2区分アップ		1	0	1	1	1	0	2	0	3	2	2	6	19	1.6
		入院時情報連携		0	2	1	0	4	2	1	1	0	1	2	2	16	1.3
退院・退所連携			0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	3	0.3	
通院			1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1	6	0.5	
小計			2	4	2	1	5	2	4	3	3	4	5	9	44	3.7	
支援内容	社会資源の調整	徘徊SOS	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0.1	
		減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.1	
		介護手当て	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0.3
		オムツ支給	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.1
		配食	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2	0.2
		ミドルステイ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
		地域ケア会議	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	住宅改修工事	申請	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0.2
		完了	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0.2
	福祉用具	例外給付申請	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
		購入 他	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0.2
	小計		2	2	0	1	1	1	0	2	1	1	0	3	14	1.2	
	医療・介護施設連携		1	7	2	3	1	2	5	2	1	4	3	10	41	3.4	
サービス担当者会議		8	9	3	5	5	3	4	8	9	4	8	11	77	6.4		

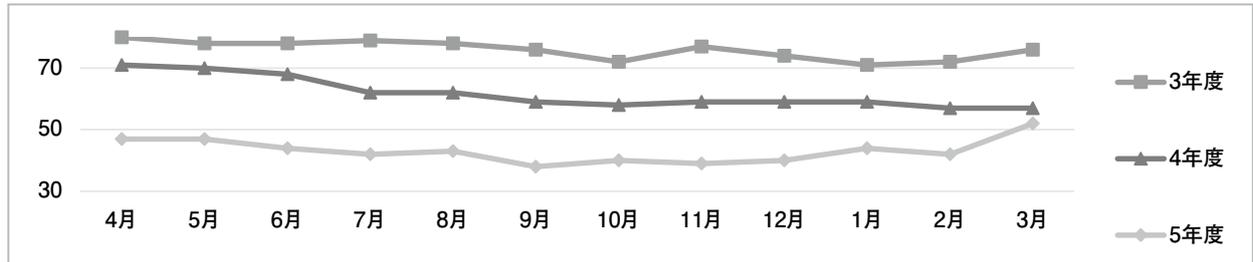
総合相談	時間内	TEL	116	173	127	119	116	145	239	173	185	226	237	194	2,050	170.8
		来所	17	13	20	21	9	9	6	6	15	6	14	16	152	12.7
		訪問	80	76	66	62	65	56	85	67	94	78	79	50	858	71.5
		合計	213	262	213	202	190	210	330	246	294	310	330	260	3,060	255.0
	時間外	TEL	0	3	0	1	0	0	0	3	2	0	1	3	13	1.1
		来所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.1
		訪問	4	3	1	1	1	1	1	2	1	1	0	1	17	1.4
		合計	4	6	1	2	1	1	1	5	3	1	1	5	31	2.6

研修会	1	0	1	1	1	1	1	1	4	5	4	3	3	25	2.1
-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	-----

ひよどり富山居宅介護事業所の年度別推移

1 ケアプラン作成件数の推移

年度\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
3年度	80	78	78	79	78	76	72	77	74	71	72	76	911
4年度	71	70	68	62	62	59	58	59	59	59	57	57	741
5年度	47	47	44	42	43	38	40	39	40	44	42	52	518



2 認定調査件数の推移

年度\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
3年度	1	1	2	5	2	1	4	3	2	1	2	2	26
4年度	0	2	6	2	2	0	1	4	1	6	4	4	32
5年度	2	0	1	1	3	3	2	3	3	1	3	3	25

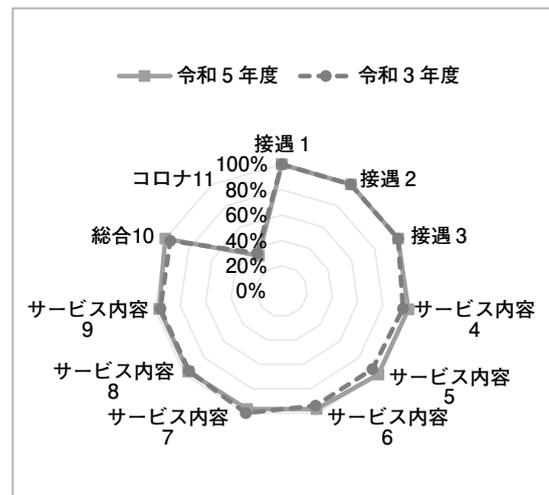
3 令和5年度 居宅介護支援利用者満足度調査結果

令和5年度対象者40名中 30名回答 回収率75%

令和3年度対象者76名中 59名回答 回収率78%

※「そう思う・まあそう思う」「あまりそう思わない・そう思わない」「無回答」の中から、令和3年度と令和5年度の「そう思う・まあそう思う」を抽出し、比較する。

			令和5年度	令和3年度
接 遇	1	ケアマネの言葉使いや態度は丁寧ですか	100%	100%
	2	ケアマネは、話しやすく良く話を聞いていますか	100%	100%
	3	ケアマネは、相談や要望に対して素早く対応をしていますか	100%	100%
サ ー ビ ス 内 容	4	ケアマネは、介護保険についてわかりやすく説明をしていますか	100%	95.8%
	5	ケアプランは、ご利用者・ご家族の要望や希望が反映されたものとなっていますか	100%	93.8%
	6	ケアマネは高齢者福祉サービス等についても丁寧にアドバイスをしていますか	96.7%	93.8%
	7	今、利用されているサービスに満足されていますか	96.7%	100%
	8	介護保険の利用により、ご利用者様の生活は改善しましたか	96.7%	95.8%
	9	介護保険の利用により、ご家族の介護負担は軽減できていますか	96.7%	95.8%
	総合	10	全般的にケアマネの対応に満足されていますか	100%
新	11	新型コロナウイルス感染対策で、介護保険サービスの利用に支障がありましたか	33.3%	35.6%



【調査の結果】

接遇・サービス内容・総合の項目で、「そう思う・まあそう思う」が96%を超えており、利用者、家族の満足度は高い。しかし、R5年5月 新型コロナウイルス感染症は、感染症法上5類に移行したものの利用者、家族の33.3%は、依然介護サービスの利用に支障を感じていた。

令和5年度 神明・五福地域包括支援センター事業報告

1 経緯

平成18年4月1日から富山市より業務委託を受け、事業を開始。平成24年度、平成29年度、R4年度に再委託を受け事業を継続している。

2 職員体制

管理者（主任介護支援専門員）1名 保健師1名 社会福祉士2名

3 事業内容

(1) 一般介護予防事業

- ①介護予防把握事業
- ②介護予防普及啓発事業
- ③地域介護予防推進事業
- ④介護予防訪問相談指導事業
- ⑤介護予防ふれあいサークル事業
- ⑥介護予防推進リーダー事業

(2) 介護予防・生活支援サービス事業

- ①介護予防ケアマネジメント事業
- ②介護予防教室事業

(3) 包括的支援事業

- ①総合相談事業
- ②権利擁護事業
- ③包括的・継続的マネジメント支援事業
- ④認知症総合支援事業
- ⑤生活支援体制整備事業
- ⑥在宅医療・介護連携推進事業

(4) 任意事業

- ①認知症高齢者見守り支援事業

(5) 指定介護予防支援事業

4 実習生受け入れ

施設名／研修名	期 間	人数（人）
富山いずみ高校	令和5年6月1日～6月2日	2
	令和5年9月11日～9月12日	2
	令和5年10月3日～10月5日	1
富山福祉短大 認定看護管理者教育課程セカンドレベル 訪問看護師養成講習	令和5年6月21日～6月22日	1
	令和5年7月18日～7月21日	4
	令和5年10月12日～11月9日	4

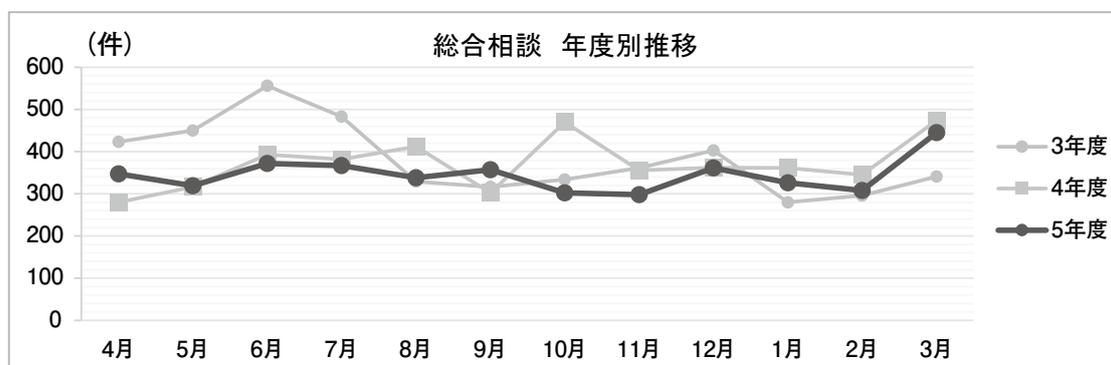
令和5年度 神明・五福地域包括支援センター事業活動実績

区分		月												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
総合 相談	TEL	184	190	230	211	176	166	172	171	225	196	185	188	2,294
	来所	22	24	22	16	14	15	19	22	12	26	20	40	252
	訪問	141	105	120	140	148	176	111	105	124	104	103	217	1,594
	合計	347	319	372	367	338	357	302	298	361	326	308	445	4,140
実態把握		15	30	13	12	42	10	15	9	13	19	31	72	281
事業対象者 介護予防教室		0	0	0	0	0	3	3	4	2	0	0	1	13
介護予防 地域説明会等		2	5	10	1	0	3	1	1	4	0	3	4	34
地域関係機関会議		2	2	0	1	1	1	1	2	2	0	2	3	17
地域ケア会議等		0	0	0	1	1	1	1	4	2	0	2	2	14
認知症地域説明会 家族介護教室等		0	0	1	4	1	0	1	2	1	1	0	0	11
予防給付、介護予防 ケアマネジメント費		117	132	128	115	124	136	142	150	147	145	136	141	1,613
認定調査		9	6	6	9	11	10	9	4	11	7	6	8	96
主な研修会		0	2	6	9	6	3	3	3	6	5	2	5	50

神明・五福地域包括支援センターの年度別推移

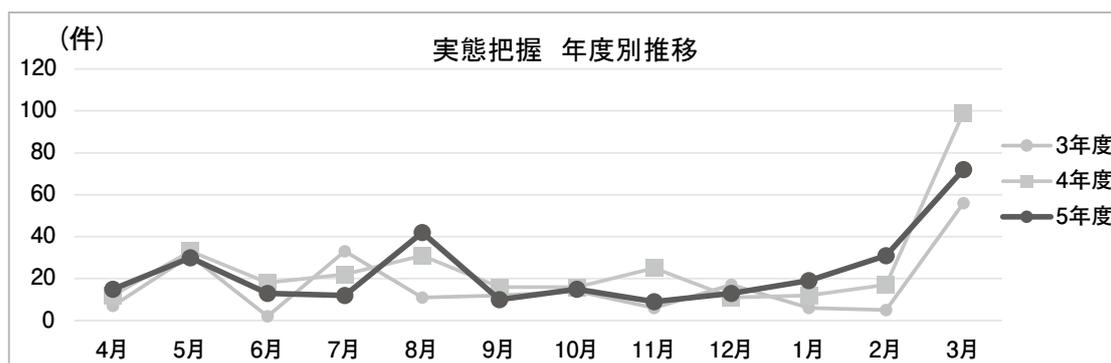
1 総合相談（電話・来所・訪問）

年度	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
3		423	450	556	483	329	316	334	361	403	280	296	341	4,572
4		280	316	393	382	412	302	470	356	362	361	345	474	4,453
5		347	319	372	367	338	357	302	298	361	326	308	445	4,140



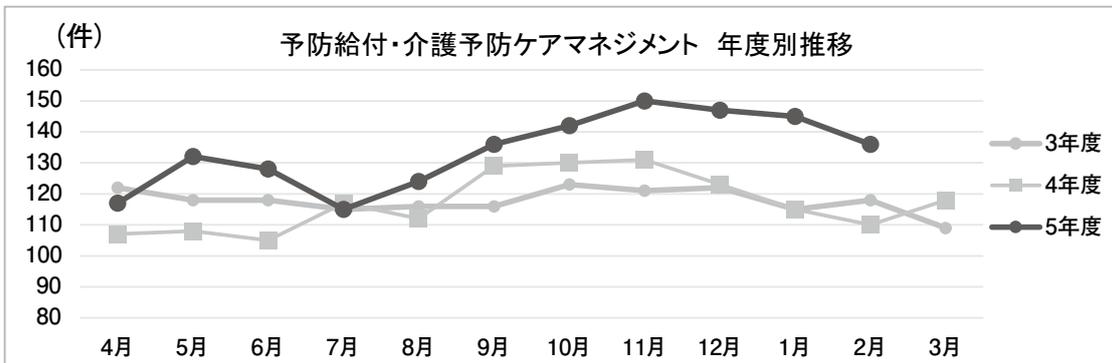
2 実態把握（事業対象者）

年度	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
3		7	31	2	33	11	12	14	6	17	6	5	56	200
4		12	33	18	22	31	16	16	25	11	12	17	99	312
5		15	30	13	12	42	10	15	9	13	19	31	72	281



3 予防給付介護予防ケアマネジメント費（件数）

年度	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
3		122	118	118	115	116	116	123	121	122	115	118	109	1,413
4		107	108	105	117	112	129	130	131	123	115	110	118	1,405
5		117	132	128	115	124	136	142	150	147	145	136	141	1,613



4 事業対象者介護予防教室

年度	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
3		0	0	0	0	0	0	4	4	4	0	0	1	13
4		0	0	0	0	0	2	4	3	3	0	0	1	13
5		0	0	0	0	0	3	3	4	2	0	0	1	13

5 地域ケア会議

年度	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
3		0	0	0	0	1	0	1	2	1	1	1	2	9
4		0	1	0	0	0	2	0	0	1	0	2	4	10
5		0	0	0	1	1	1	1	4	2	0	2	2	14

6 介護予防認知症地域説明会

年度	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
3		1	4	4	3	3	0	0	5	7	0	0	2	29
4		0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	3	1	10
5		0	0	1	4	1	0	1	2	1	1	0	0	11

7 認定調査

年度	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
3		6	8	8	5	7	4	3	8	8	4	6	9	76
4		6	7	6	9	2	4	6	9	3	6	5	4	67
5		9	6	6	9	11	10	9	4	11	7	6	8	96

8 主な研修会

年度	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
3		1	1	5	6	4	8	7	11	5	5	2	5	60
4		3	5	6	7	1	2	7	3	5	5	4	8	56
5		0	2	6	9	6	3	3	3	6	5	2	5	50

令和5年度 その他の受託事業報告

1 専門職による保健指導等支援事業（富山县委託事業）

(1) 目的

市町村の実情に応じて専門職を派遣し、保健指導の取組み支援を通じて、効果的・効率的な保健指導の実施及び直接的な技術向上支援を行うとともに、保健指導実施者の資質向上を図り、被保険者の健康寿命の延伸と医療費適正化を目指す。

(2) 内容

1) 糖尿病性腎症等の保健指導に同行等し、技術的支援の実施

(実績なし)

2) 特定健診・特定保健指導未受診者に対する個別勧奨（電話等）

派遣市町村／期日・時間数	派遣者
魚津市／令和6年1月～2月 6時間	看護師（各1名）
上市町／令和5年12月～6年2月 10時間	看護師（各1名）
立山町／令和5年12月 11.5時間	看護師（各1名）

3) 重症化予防対策における保健指導の実施

(実績なし)

4) 事例検討会及び保健指導実施後の評価会議等での助言指導等

派遣市町村／期日・時間数	派遣者
魚津市／令和6年2月29日 2時間	黒部市民病院 糖尿病看護認定看護師
高岡市／令和6年3月15日 2時間	高岡市民病院 糖尿病看護認定看護師
黒部市／令和6年3月22日 1時間	富山県立大学 糖尿病看護認定看護師

※各講師については、糖尿病看護認定看護師リーダーに派遣調整を依頼

5) その他国保被保険者に対する保健指導の実施

(実績なし)

2 令和5年度高齢者保健事業推進基盤整備事業：フレイル予防（富山県からの受託事業）

1 目的

富山県看護協会では、会員の質の向上及び公益的に県民の健康増進に寄与するため、県内各支部において地域の課題に応じた活動を行っている。今後、さらなる高齢者の増加が見込まれる中、健康で長生きするためには、心身ともに自己管理が必要であることから、県下全域においてフレイル予防への普及啓発を行い、県民の健康寿命の延伸を図る。（富山県後期高齢者医療広域連合の委託事業）

2 実施主体

富山県看護協会（支部活動）

3 実施内容

(1) 啓発普及（56回 延1,473人）

支部名	実績	内容
黒部・魚津支部	3回 54人	魚津市の「フレイル予防セミナー」（3回シリーズ）に協力し、①フレイル予防の概要と運動の理解、②筋量測定、③オーラルフレイル等の学習・体験を通じて、フレイル予防の啓発を行った。
富山東・北支部	2回 35人	富山駅前において、健康チェック、血圧測定、健康相談、体脂肪測定に加え、フットケア指導士による足のチェックや認知症予防を含むフレイル予防の啓発を行った。
富山西・南支部	2回 131人	八尾コミュニティセンターや富山駅前等で、フレイル予防自己チェック表を用いて啓発を行った。
上市支部	40回 809人	病院の外來待合室にブースを設けるほか、地域の公民館等で、地域住民を対象に、フレイル予防の啓発を行った。
高岡・射水・氷見支部	4回 331人	要望のあった支部内4か所の病院や施設において、地域住民を対象に、フレイル予防の啓発を行った。
砺波・小矢部支部	5回 113人	地域内の公民館やショッピングモールにおいて、地域住民や医療関係者を対象に、フレイル予防の啓発を行った。

(2) 研修会

支部名	内容
砺波・小矢部支部 67人出席	市立砺波総合病院において、医療関係者を対象にオーラルフレイルの予防と咀嚼と嚥下の仕組みに関する研修会を行った。

(3) 検討会での主な意見

- ・セミナー前後に測定した筋量測定の結果は、参加者にとって客観的なデータとして可視化できることから、運動継続の意欲向上につながり効果的であった。
- ・〇×クイズを取り入れた啓発は、参加者の興味関心が高まり効果的であった。
- ・歯科医師によるオーラルフレイル予防に関する講話は、具体的であり、好評であった。
- ・住民に身近な公民館等での出前講座は、住民の受入れもよく、要望が高かった。

(4) 情報の共有

下記支部長会において、各支部で実施している事業や検討内容の共有を行った。

- ① 9月5日 出席者 各支部の理事及び支部長 14名
- ② 12月11日 出席者 各支部の理事及び支部長 12名

令和6年度 富山県行政への要望事項

令和5年8月29日実施（対 厚生部長）

1 看護の質の向上について

(1) 質の高い在宅療養支援体制の整備

近年、在宅療養者の状態像は重度化・複雑化し、専門性の高い看護が求められている。訪問看護師が、病院に所属する認定看護師など専門性の高い看護師と同行して療養者宅等へ出向く機会も増えているが、その一方で、これらの取り組みに地域差が生じている。

このため、県において、在宅療養を支援する訪問看護師等と病院に所属する専門性の高い看護師との連携を促進する仕組みづくりや、好事例の蓄積、試行事業等を通じて、質の高い在宅療養支援体制を整備いただきたい。

併せて、在宅領域において実施頻度の高い特定行為をまとめた「在宅・慢性期領域パッケージ研修」を、県東部と西部の2か所で開催できるよう支援いただきたい。

(2) 富山県立大学における看護職リカレント教育の拠点整備

今年度から富山県立大学に大学院及び専攻科が開設されたが、保健師・助産師の教育については、専門職としての幅広い知識と高い判断力を備えた実践力が必要とされるため、現在の専攻科教育から大学院教育へ移行していただきたい。

さらに、専門看護師教育課程や認定看護管理者教育課程（サードレベル）、心不全看護領域の認定看護師教育課程の開設など、県内看護職のニーズに応じた看護職リカレント教育の拠点となるよう整備いただきたい。

(3) 特定行為研修修了者の活動の推進

厚生労働省の報告によれば、特定行為研修修了者の約3割が就業先において特定行為を実施していないと回答し、その理由として「修了者が活動できる体制がない」、「修了者自らが手順書を作成しなければならない」と回答している。

このため、研修修了者が就業先において、その任務や能力がしっかりと遂行できるよう、現状の把握、雇用主の理解促進、研修修了者の活用方策や仕組みづくり等について、県が主体となって検討する組織を設置していただきたい。

(4) 統括保健師の育成と配置

「地域保健対策の推進に関する基本的な指針」に示されている統括保健師が、その役割を十分に発揮できるよう、県及び市町村の課題を明らかにするとともに、その課題に応じた研修会を開催するなど、統括保健師の育成と資質の向上に努めていただきたい。さらに、富山県保健師人材育成ガイドライン（令和2年3月改訂）の活用実態を調査し、自治体保健師の質の向上にしっかり取り組んでいただきたい。

(5) 若手看護職員の人材育成の強化

新卒看護職員の離職は減少傾向にあるが、採用5～9年の若手看護職員の離職が増加している。しかし、この年代特有の悩みや、仕事の継続を困難にしている要因、転職によるキャリア形成の考え方、必要としている支援等の実態は明らかになっていない。

このため、県においてこれらの実態を把握いただくとともに、その実態に対応した支援を講じていただきたい。

2 看護職の働き方改革の推進について

(1) 富山県ナースセンターのデジタル化推進

2024年度からのマイナンバー制度を活用した看護職の人材活用システム稼働を視野に、県民に

広く県ナースセンターの存在や役割を知っていただくための啓発や、ホームページの抜本的な改善、また、利便性向上と利用者増を視野に、オンライン面談やeラーニングのさらなる充実、デジタル冊子やイベントカレンダーのデジタル化導入など、ナースセンターのデジタル化推進に必要な予算を確保いただきたい。

(2) 訪問看護のデジタル化と勤務環境改善への支援

訪問看護の現場において、ICT機器等の導入による業務の可視化や効率化は、訪問看護の業務改善や生産性の向上、関係者とのコミュニケーションの促進等に大きく寄与する。特に、多機能電子カルテ（レセプト電子申請との連動、帳票類の様式、シフトやスケジュールの作成、トーク機能等）や、クラウド型のグループウェア（勤怠管理、職員のスケジュール管理、アクションリストの作成、プロジェクト管理等）の導入により、成果を上げている事業所が全国的に増えている。

このため、本県において、訪問看護のデジタル化を推進するための支援事業を創設いただきたい。

また、訪問看護事業所の事務負担を軽減するため、事務職員の雇用経費を支援する制度について他県の状況を調査するとともに、補助制度を整備していただきたい。

(3) 看護補助者の確保・定着への支援

医療機関においては、看護チームの一員として、看護補助者の確保・育成は重要な課題となっている。しかし、「看護補助者」という職種の理解やその役割、また配置による効果等が広く社会に理解されていない現状にある。

このため、看護補助者の理解や配置による効果等の周知、また、看護補助者を対象とした学ぶ環境整備や研修への助成など、看護補助者の確保・定着に支援いただきたい。

(4) 子育て支援（学童保育、延長保育、病児保育等）の充実と仕事と子育ての両立支援

子育てをしている看護職が、子どもを安心して預けながら不安なく仕事ができる、仕事と子育てを両立できる環境づくり、特に、延長保育や病児保育に対応可能な施設や定員の拡大について、より一層市町村へ働きかけていただきたい。また、産後パパ育休や男性の育児休業の取得などについても、県から企業や県民にしっかり働きかけていただきたい。

加えて、病児保育や夜間保育の受入れが可能な病院併設保育施設の設置促進と、その運営経費への補助を行っていただきたい。

(5) ハラスメント対策

職員間だけではなく、患者や利用者からのハラスメントなど看護職が受ける様々なハラスメント、特に夜間単独で緊急対応する訪問看護師が、利用者やその家族から受けるハラスメントや、ハラスメントを誘因とした心身の不調や離職の実態は明らかとなっていない。

このため、県においてこれらの実態を明らかにしたうえで、必要な対策を講じていただきたい。

(6) 訪問看護事業所における感染対策物品への財政支援

訪問看護ステーション等への感染防止対策支援事業費補助を、継続的に行っていただきたい。

3 看護領域の開発・展開について

(1) 2040年を見据えた看護職の確保

現在、小学生、中・高校生の職業選択の一環として、看護の日・看護週間の前後に、公的病院等でのふれあい看護体験や高校生の一日看護見学、また、小・中学校への出前講座を実施している。中でも学校への出前講座については、人の確保や財源等に限りがあり、要望に応えることができていない状況にある。

このため、2040年を見据えた看護職確保の観点から、これらの活動を通年開催とし、必要な活動費を支援いただくとともに、訪問看護を含む看護職の魅力発信に関連する啓発事業については、県においても積極的に推進いただきたい。

また、2040年における生産年齢人口の減少を見据え、医療機関における看護のIT化の推進に一層ご支援いただきたい。

(2) 訪問看護事業所における若手看護職員の確保・育成

県内訪問看護事業所に勤務する20・30歳代の常勤看護職員は2割に満たず、事業所の安定と継続を図るうえで、また、今後の訪問看護の需要拡大に備えるためにも、若手看護職員の採用と育成は欠かせない。

このため、今年度、試行事業として開始した新卒看護師の教育・育成にかかる必要経費について、次年度以降、対象施設を拡大し、継続的に予算を確保いただきたい。

(3) 災害と感染症に対応できる看護職の養成・応援派遣・確保

感染症法及び医療法の改正により、自然災害、感染症支援に係る看護職の応援派遣体制の仕組みが新たに構築されることとなった。当協会では、本年9月以降、日本看護協会と厚生労働省の事業として、新たな災害支援ナース養成研修を開催する予定としている。このため、この「新たな災害支援ナース」の確保、登録、応援派遣にかかる経費を支援いただきたい。

併せて、社会福祉施設等の感染予防対策を推進するため、感染管理認定看護師等による出前講座等を県において事業化いただきたい。

(4) 看護小規模多機能型居宅介護の整備と人材育成

医療処置が必要な在宅療養者の継続支援のために、訪問看護・訪問介護・通所・宿泊・相談の機能を一体的に提供できる看護小規模多機能型居宅介護の事業所数は、全国的には増加しているが、県内における整備は進んでいない。医療と介護のニーズを併せ持つ利用者の在宅療養を支えるため、新たな設置に向けて市町村と協議いただき、第9期介護保険事業支援計画に盛り込んでいただきたい。

また、介護保険施設や中小病院に勤務する看護職員の学ぶ機会を確保するため、eラーニングシステム導入の仕組みづくりを検討・構築いただきたい。

(5) 医療的ケア児への支援充実のための看護職の確保

富山県医療的ケア児等支援センターに、医療面の相談や関係機関との連携強化、支援体制整備のため、常勤の保健師等（看護職）を配置していただきたい。

また、医療的ケア児が在宅生活を継続できるように、学校や保育園等の福祉施設で働く看護職に対して、実践的な指導や研修を受けることができる環境を整えていただきたい。

(6) 看護職の副院長への登用について

近年、公的病院等において、看護職の副院長登用が進んでいるが、本県では24公的病院中4施設が副院長として経営にも携わっている。看護職の副院長への登用は、看護職の地位向上のみならず、病院の経営・運営上多くのメリットがあるとされている。看護部長の副院長への登用がさらに進むよう、ご配慮いただきたい。

令和5年8月29日

公益社団法人 富山県看護協会
会 長 稲村 睦子

令和 5 年度 行政機関および関連団体等の委員等就任状況

依頼元	団体会議名	役員・委員等	
富山県	富山県医療審議会・地域医療構想部会	委員	
	富山県医療対策協議会	委員	
	富山県感染症対策連携協議会	構成員	
	富山県循環器病対策推進協議会	委員	
	富山県防災会議	委員	
	富山県がん対策推進協議会・がん診療体制部会	委員	
	富山県がん対策推進県民会議	委員	
	富山県母乳育児推進連絡協議会 理事会	理事	
	富山県周産期保健医療協議会・富山県小児医療等協議会	委員	
	富山県社会福祉審議会・高齢者福祉専門分科会	委員	
	富山県あんしん在宅医療・訪問看護推進会議	委員	
	富山県障害者施策推進協議会 (富山県自立支援協議会・富山県障害者差別解消協議会)	委員	
	富山県医療費適正化計画検討委員会	委員	
	富山県透析患者等発生予防推進事業連絡協議会	委員	
	富山県地域リハビリテーション推進会議	委員	
	富山県国民健康保険運営協議会	委員	
	富山県アレルギー疾患医療連絡協議会	委員	
	富山県健康づくり県民会議 計画策定・評価実施部会	委員	
	富山県難病対策地域協議会	委員	
	富山マラソン2023 実行委員会	委員	
	富山マラソン2023 メディカル協議会	委員	
	富山県薬事審議会	委員	
	富山県精神医療審査会	委員	
	富山県水防協議会	委員	
	富山県献血推進協議会	委員	
	富山県骨髓バンク推進連絡協議会	委員	
	特別支援学校医療的ケア体制整備事業運営協議会	委員	
	富山県犯罪被害者等支援協議会	団体代表者	
	富山市	富山市地域包括支援センター運営協議会	委員
		富山市介護予防推進会議	委員
富山市自殺対策推進連絡会議		委員	
富山市社会福祉審議会「地域福祉専門分科会」		委員	
富山市保健所運営協議会		委員	
富山市民病院地域医療支援病院委員会		委員	
富山市病院事業のあり方検討協議会		委員	
富山市病院事業経営改善委員会		委員	
富山市要保護児童対策地域協議会代表者会議		代表者	
富山市防災会議		委員	
富山市生活支援体制整備推進会議		委員	
富山市地域密着型サービス等運営委員会		委員	
富山市障害者自立支援協議会		委員	
富山市障害者差別解消支援協議会		委員	
富山市認知症総合支援事業検討委員会		委員	

依頼元	団体会議名	役員・委員等
富山市	富山市国民保護協議会	委員
	富山市高齢者総合福祉プラン（高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画）策定懇話会	委員
関連団体等	社会福祉法人富山県社会福祉協議会 評議員会	評議員
	富山県高次脳機能障害支援センター相談支援体制連携調整会議	委員
	富山県福祉人材確保対策会議	委員
	富山県福祉カレッジ運営委員会・富山県福祉人材センター運営委員会	委員
	社会福祉法人富山県社会福祉総合センター 評議員会	評議員
	医療法人財団とやま医療健康センター 評議員会	評議員
	富山県民ボランティア総合支援センター 理事会	理事
	富山県民ボランティア総合支援センター運営委員会	委員
	富山県民ボランティア・NPO大会企画運営委員会	委員
	富山県民福祉推進会議	委員
	社会福祉法人恩賜財団済生会支部富山県済生会支部 理事会	理事
	富山県済生会富山病院地域医療支援病院運営委員会	委員
	富山赤十字病院地域医療支援病院委員会	委員
	厚生連高岡病院地域医療支援病院委員会	委員
	女性保護富山県民協議会 役員会	理事
	サンフォルテフェスティバル実行委員会	委員
	富山県ウイメンズフェスティバル健康・スポーツ交流大会運営委員会	委員
	富山県女性団体連絡協議会	加盟団体長
	富山県健康づくり財団 理事会	理事
	全国健康保険協会富山支部 評議員会	評議員
	富山県訪問看護ステーション連絡協議会	理事
	日本糖尿病協会富山県支部 理事会	役員
	北陸公衆衛生学会 評議員会	評議員
	富山県後期高齢者医療広域連合運営懇話会	副会長
	社会福祉法人セーナー苑 評議員会	評議員
	富山県糖尿病対策推進会議	幹事
	富山県医療勤務環境改善支援センター運営協議会	委員
	富山県医療推進協議会	副会長
	富山家庭裁判所委員会	委員
	公立大学法人富山県立大学経営審議会	委員
	公立大学法人富山県立大学研究協力会 理事会	理事
	学校法人未来高岡 富山県高岡看護専門学校 評議員会	評議員
	富山県高岡看護専門学校修学資金審査委員会	委員
国立大学法人富山大学附属病院運営協議会	委員	
富山大学大学院 総合医薬学研究科総合医薬学専攻看護科学プログラム特定行為研修管理委員会	委員	

令和5年度 他団体等への推薦

依頼元	委員名	令和5年度 推薦数 (人)
富山県	富山県新生児聴覚検査事業に係る協議会委員	1
	富山地域医療推進対策協議会 在宅医療部会委員	1
	富山県認知症ほっと電話相談員	1
富山市	富山市介護認定審査会委員	2
高岡市	高岡市子ども・子育て会議委員	1
	高岡市要保護児童対策地域協議会委員	1
関連団体等	公立大学法人富山県立大学研究協力会 リエゾンサポーターリーダー	1
	富山県介護支援専門員協会 外部理事	1

令和5年度 後援等の報告

内 容	団体名（主催及び依頼者）	開催場所	開催等予定日
福祉のお仕事フェア in TOYAMA	富山県社会福祉協議会	富山国際会議場	2023/6/24（土）
第6463回事務・販売・サービス〔含む医療・福祉〕部門QCサークル大会	QCサークル北陸支部 富山地区	高周波文化ホール	2023/7/13（木）
第2回富山県子どものアレレギー診療実践セミナー	大塚製薬(株)	Web開催（ZOOM）	2023/7/28（金）
摂食嚥下ケア研修会 10thクール	北陸の摂食嚥下ケアを支える会	基礎編（動画配信）	2023/9/1（金） ～9/30（土）
		実践編 （富山西総合病院）	2023/10/29（日）
2023年度富山大学附属病院 総合がんセンター 市民公開講座	富山大学附属病院	富山県民会館ホール	2023/9/3（日）
第51回富山県感染対策研究会	富山県感染対策研究会 O&M Halyard Japan合同会社	富山大学附属病院 杉谷キャンパス	2023/9/9（土）
第1回日本医療安全推進学会 設立記念大会	日本医療安全推進学会	東京大学 本郷キャンパス	2023/9/16（土） 9/17（日）
新川地域在宅医療支援センター 市民公開講座	新川地域在宅医療支援センター	黒部市国際文化センター コラーレ	2023/10/21（土）
第27回富山県理学療法学会	富山県理学療法士会	サンキュー ア・ミューホール	2023/11/19（日）
「知って、糖尿病！STOP 合併症」 講演会	富山県 富山県腎友会	サンシップとやま 1階 福祉ホール	2023/11/19（日）
2023年度富山大学附属病院 膵臓・胆道センター 市民公開講座	富山大学附属病院	富山県民会館ホール	2023/11/19（日）
		高岡生涯学習センター	2024/1/14（日）
講演とシンポジウム ～ 講演看護師 加納塩梅が行く ～	ボランティア団体 富山こども遊便局	サンシップとやま	2023/11/18（土）
		新湊交流会館	2023/11/19（日）
第15回富山赤十字病院 公開健康講座	富山赤十字病院	富山市芸術文化ホール 中ホール	2023/11/22（水）
富山大学附属病院×黒部市民病院 市民公開講座	富山大学附属病院 黒部市民病院	黒部市国際文化センター コラーレ	2023/12/2（土）
「知って、糖尿病！STOP 合併症」 講演会	富山県 富山県腎友会	高岡市ふれあい福祉センター	2023/12/10（日）

内 容	団体名（主催及び依頼者）	開催場所	開催等予定日
2023年度富山大学附属病院 緩和ケア 市民公開講座	富山大学附属病院	富山県民会館ホール	2023/12/17（日）
目的別入学説明会（Aコース）	放送大学富山学習センター	放送大学富山学習センター 講義室2	2024/1/10（水） 2024/2/3（土）等
保育の就活準備フェア	富山県社会福祉協議会 富山県民間保育連盟	富山国際会議場	2024/2/17（土）
第21回富山県作業療法学会	富山県作業療法士会	富山県民会館 3階	2024/2/25（日）
摂食嚥下と栄養のコラボセミナー & 試食会	(株)日本医療企画 (野村病院より依頼)	富山県民会館 401号室	2024/3/16（土）
第52回富山県感染対策研究会	富山県感染対策研究会 オオサキメディカル(株)	富山大学附属病院	2024/3/16（土）
第9回摂食嚥下ケア特別研修会	北陸の摂食嚥下ケアを支える会	富山県民会館 611号室	2024/3/23（土）
「透析が必要といわれたら ～腎代替療法勉強会～」講演会	富山県腎友会 テルモ(株)	富山県民共生センター サンフォルテ3階 研修室303	2024/3/24（日）
第10回日本医療安全学会学術総会	日本医療安全学会	東京大学 本郷キャンパス 伊藤国際学術研究センター 福武ホール	2024/4/13（土） 4/14（日）
2024年中部地区肝臓学会 市民公開講座	日本肝臓学会	富山県民会館 701号室	2024/7/28（日）
日本エンドオブライフケア学会 第7回学術集会	日本エンドオブライフケア学会	金沢歌劇座	2024/10/13（日） 10/14（月・祝）

令和5年度 保健師・助産師交流会報告

保健師職能委員会

- 1 ねらい 心身の不調や育児不安を抱えた母親を適切な支援につなげ、安心して地域で子育てができるよう、地域の支援提供体制の理解と課題解決に向けた対応について検討するとともに、関係者間の顔の見える関係づくりを図る。
- 2 日時 令和5年8月28日（月）14：00～16：30
- 3 場所 富山県看護研修センター
- 4 内容 報告「母子のための地域包括ケア推進に関するアンケート調査について」
報告者 助産師職能委員 當波 かおり 氏
情報提供「妊娠期から出産後における母子支援体制について」
情報提供者 富山県厚生部こども家庭室子育て支援課
副主幹 板鼻 広美 氏
報告「富山市まちなか総合ケアセンター産後ケア応援室の取り組みについて」
報告者 富山市まちなか総合ケアセンター産後ケア応援室
主幹 大田 優子 氏
意見交換「母子支援の課題と今後の対応について」

5 参加者 35名

(1) 職種 保健師：13名、助産師：20名、看護師：2名

(2) 経験年数

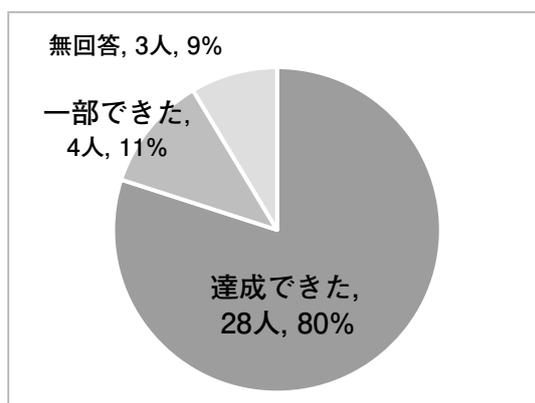
0～4年	5～9年	10～14年	15～19年	20～24年	25～29年	30年以上
6	5	3	10	4	1	6

6 概要

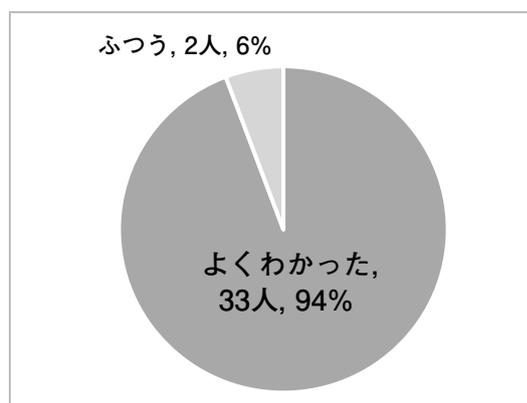
- ・富山市まちなか総合ケアセンターの産後ケア応援室は2017年に開設され、切れ目ない子育て支援を強化することで、すべての妊産婦等が安心して妊娠・出産・子育てを行い、子どもが健やかに育つ環境を整備されている。利用者のアンケート結果より、産後ケア応援室を利用することで、「休養が取れた」「不安が解消し育児の自信がついた」等、妊産婦等不安の軽減に寄与している状況について報告いただいた。
- ・意見交換では、アンケート調査結果をもとに、「入院中、支援困難ケースへの支援で工夫していることや病院と地域との連携方法」「産婦が不安に感じることの多い項目（乳房ケアや赤ちゃんの泣きの対処法、休息方法等）に対し、病院と地域で確実に保健指導をする方法」について活発な話し合いを行った。

7 研修会に対する評価（アンケート回収（回収率100%）34名より）

研修目的の達成度



講義・演習について



受講した感想（複数回答）

項目		項目	
① 知識が整理できた	24	② 自己のニーズが満たされた	7
③ アイデアが得られた	16	④ 思考が明確になった	10
⑤ 実践に活かしてみたい	14	⑥ 問題解決の糸口が得られた	11
⑦ リフレッシュになった	6	⑧ 充実感が得られた	12
⑨ かえって混乱した	0	⑩ 求めたものが得られなかった	0

8 まとめ

グループワークでは、各々の職場での取り組みや課題について共有し、その改善方法について協議することができた。交流会をとおし、お互いの機関の役割と専門性を理解し、顔の見える関係づくりを構築するための有意義な機会となった。

令和5年度 保健師交流会報告

保健師職能委員会

- 1 ねらい 様々な職場で働く保健師の役割や活動内容及びコロナ前とは異なる健康課題やそれに対応するための保健指導の工夫等を共有し、効果的な保健指導について検討する
- 2 日時 令和5年11月25日(土) 13:30～16:00
- 3 場所 富山県看護研修センター
- 4 内容 シンポジウム「多様な場で働く保健師活動～効果的な保健指導について～」
座長・コーディネーター 元 富山福祉短期大学 特任教授 炭谷 靖子 氏
シンポジスト 行政：富山県心の健康センター 保健師 石崎 桃菜 氏
魚津市地域包括支援センター 主査 窪田 麻由子 氏
富山県運転免許センター 適性相談係長 橋爪 円華 氏
学校：富山市立西部中学校 養護教諭 野崎 香菜子 氏
健診施設：厚生連高岡健康管理センター看護師長 坪野 由美 氏
保険者：全国健康保険協会 富山支部 専門職 手塚 昌子 氏
グループワーク「効果的な保健指導について」

- 5 参加者 25名
(1) 職種 保健師：25名
(2) 経験年数

0～4年	5～9年	10～14年	15～19年	20～24年	25～29年	30年以上
11	0	1	1	1	5	6

- 6 概要
様々な職場で働く6人のシンポジストから、保健師の役割や活動内容及びコロナ前とは異なる健康課題や保健指導を行う上で心掛けていることなど報告いただいた。また、報告をもとに、自身の体験も踏まえ効果的な保健指導について活発な意見交換が行われた。

- 7 研修会に対する評価（アンケート回収14名より）
アンケート結果（複数回答）

項目		項目	
① 知識が整理できた	4	② 自己のニーズが満たされた	1
③ アイデアが得られた	8	④ 思考が明確になった	2
⑤ 実践に活かしてみたい	8	⑥ 問題解決の糸口が得られた	1
⑦ リフレッシュになった	6	⑧ 充実感が得られた	5
⑨ かえって混乱した	0	⑩ 求めたものが得られなかった	0

- 8 まとめ
様々な職場でいきいきと働く保健師の活動を知ることができ、保健師の仕事は繋がっていること、連携して取り組むことの重要性を再確認できた。また、保健指導を行う上で対象者の将来像を踏まえた目的を明確にしておくことの大切さや、保健指導の難しさとやりがいを改めて実感した。座長の炭谷先生が仰られた「アハ体験」（突然の理解やひらめき）を参加者それぞれが体験できたと思われる。

令和5年度「いのちの教室」実践報告

助産師職能委員会

中学校2校、小学校8校から、「いのちの教室」の出前講座の要請があった。令和5年度は施設長に活動依頼の公文書を提示することで、就業助産師が地域活動への参加を示すこととした。また、実施後の報告書の提出によって、必要物品を所有する施設を知ることができた。助産師が教育現場の担当者との打ち合わせ内容からは、教育現場が求めるメッセージ性の理解につながった。

令和5年度「いのちの教室」実施状況（令和5年3月～令和6年2月）

実施年月	実施校	対象者	依頼を受けた窓口	助産師数 (協力病院)
R5.7.14	高岡市立 五位中学校	2年生63名	養護教諭	2名 (高岡市民病院)
R5.11.30	南部小学校	4年生22名 教員 4名	滑川市教育委員会 教育総務課	2名 (厚生連滑川病院)
R5.12.7	滑川市立 東部小学校	4年生55名 教員 4名	滑川市教育委員会 教育総務課	1名 (厚生連滑川病院)
R5.12.8	高岡市立 福岡中学校	2年生94名	養護教諭	2名 (富山県済生会高岡病院)
R5.12.14	滑川市立 田中小学校	3年生39名 教員 4名	滑川市教育委員会 教育総務課	1名 (厚生連滑川病院)
R6.1.17	滑川市立 西部小学校	4年生35名 教員 5名	滑川市教育委員会 教育総務課	1名 (厚生連滑川病院)
R6.1.30	滑川市立 北加積小学校	4年生30名 教員 3名	滑川市教育委員会 教育総務課	1名 (厚生連滑川病院)
R6.2.1	滑川市立 東加積小学校	2年生11名 教員 2名	滑川市教育委員会 教育総務課	1名 (厚生連滑川病院)
R6.2.3	富山市立 老田小学校	5年生19名 保護者19名	担任教員	2名 (富山赤十字病院)
R6.2.13	滑川市立 寺家小学校	2年生41名 4年生38名 教員 4名	滑川市教育委員会 教育総務課	1名 (厚生連滑川病院)

令和5年度「いのちの教室」運営状況把握

助産師職能委員会

助産師職能委員会では、いのちの大切さや生きる価値を子どもたちに伝えることを目的に「いのちの教室」を開始し、16年程経過した。改めて依頼から実施までの流れをフロー図（図1）にまとめた。

令和5年度からは毎年6月に、講師を担う助産師名簿を更新する予定とした。出前講座の派遣先が決まれば、富山県看護協会から派遣先の所属施設長宛てに依頼文が発行される。

「いのちの教室」終了後は、所定の様式を用いて活動報告書の作成を依頼した。物品の借用先や教材、授業の反応などの情報を助産師職能委員で共有した。胎児人形のセットは、高岡市は高岡市厚生センター、滑川市は滑川市教育委員会、富山市は富山県看護協会が所有している。新生児人形や妊婦ジャケットなどを所有する施設を知ることができた。学校と助産師の打ち合わせでは、講義のねらいや要望を確認していた。対象者は小学校2年生、4年生、中学生、保護者だった。クラスによっては、がんのセミナーや、受精、胎児の成長などのレディネスが加味して、子どもたちの思考の深化に繋がっていた。

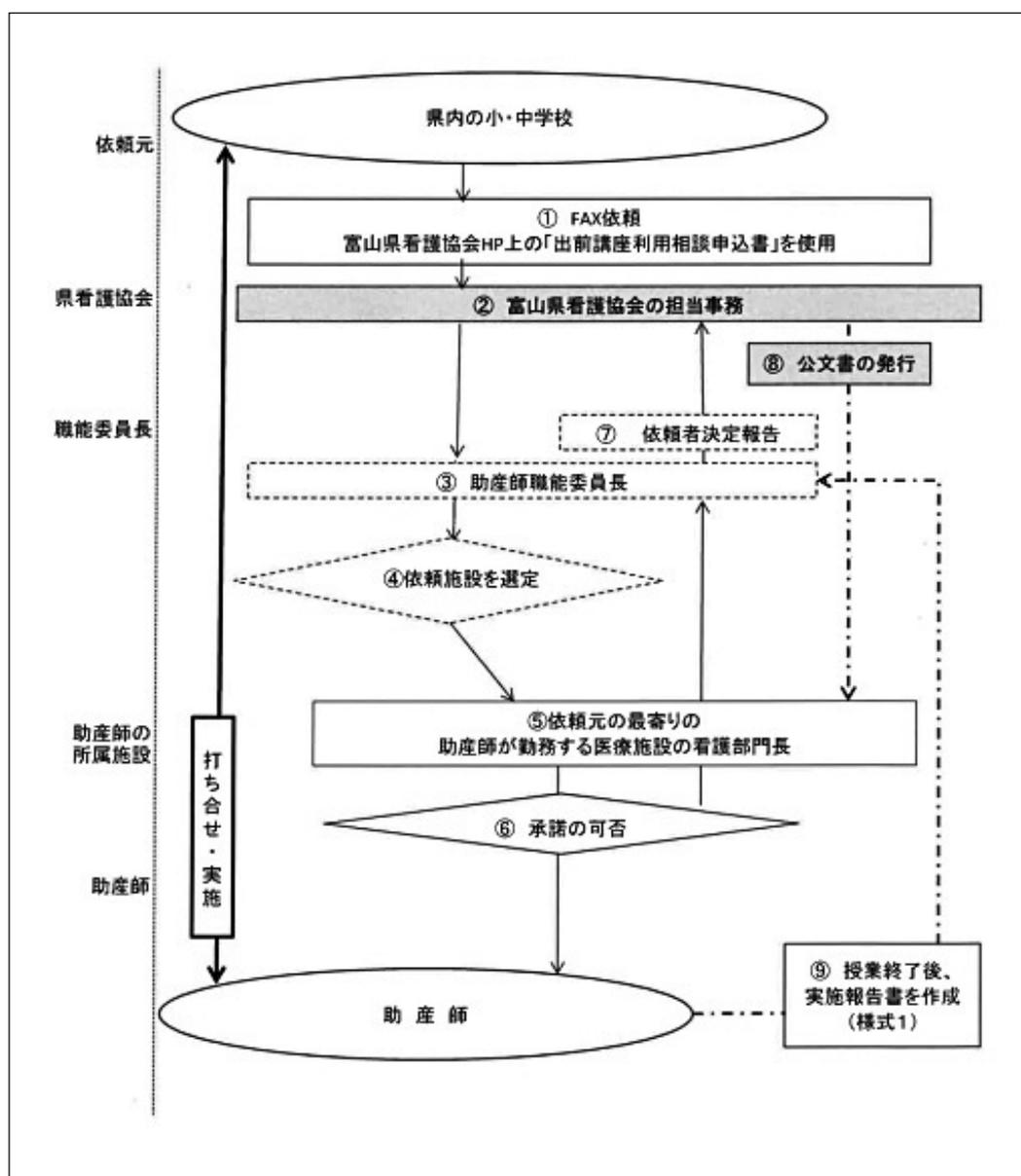


図1 「いのちの教室」実施フロー図

地域包括ケアシステムの推進に向けた看看連携の取り組み 2 報告

看護師職能 I 委員会

1 ねらい

- 1) 令和4年度の活動で明らかになった外来看護の課題に対し、各施設で実践した活動を共有する
- 2) 外来で実践する在宅療養支援が地域で活動する看護職の活動にどのように活かされているかを知る機会とする

2 日時 令和5年12月15日(金) 13:30～16:00

3 会場 富山県看護研修センター及び各施設 (Web研修)

4 内容

- 1) 自施設外来看護の課題に対する取り組み報告
- 2) 講演 「地域における療養支援のために外来看護師が果たす役割について」
講師 赤十字訪問看護ステーション 管理者 加藤 真理子 氏
- 3) グループディスカッション及び発表

5 参加者 県内15施設3訪問看護事業所の計44名

- 1) 職種 助産師2名 看護師40名 (不明2名)
- 2) 経験年数 (不明8名)

5年未満	5～9年	10～14年	15～19年	20～24年	25～29年	30年以上
0	0	1	1	10	10	14

6 報告・講演・グループワーク内容

- 1) 自施設外来看護の課題に対する取り組み報告

令和4年度に行った看護師職能I研修では、「外来看護に求められるものは何か」「自施設における外来看護の課題」を明らかにした。これらについて1年間各々が取り組んだ内容を、8施設から報告してもらった。

県内公的病院8施設の外来看護師から報告

報告施設	取り組み課題 報告テーマ
富山県立中央病院	当院の外来の現状と在宅療養支援スクリーニングシートの活用状況について
富山赤十字病院	外来・患者支援センターにおける在宅療養支援の強化 ～スクリーニングシートの見直し～
富山県済生会高岡病院	外来継続看護体制の見直し・整備を通して外来看護を高める
市立砺波総合病院	内科外来における心不全患者の再入院予防への取り組み ～外来看護師の意識・行動変容～
厚生連高岡病院	退院後も継続治療できる取り組み
国立大学法人 富山大学附属病院	地域における療養支援のために外来看護師が果たす役割
富山市立富山市民病院	地域における療養支援のために外来看護師が果たす役割 ～外来看護における課題に対する取り組み～
南砺市民病院	外来看護の在宅支援工場に向けた取り組み ～訪問看護ステーションでの同行訪問を実施して～

2) 講演

「地域における療養支援のために外来看護師が果たす役割について」

講師 赤十字訪問看護ステーション 管理者 加藤 真理子 氏

医療を取り巻く社会の背景を踏まえ、外来看護における「つなぐ」という切れ目ない支援の重要性を、意思決定が必要な場面などを交えて説明された。生活の視点で地域と施設をつなぐことが出来るのは看護師だけであり、活動の場所に関わらず、同じ看護師同志がもっとつながっていくことはできると述べられた。

3) グループディスカッション及び発表

テーマ：「地域における療養支援のために外来看護師が果たす役割について」

18施設計44名を2～4施設毎6グループに分け、自施設の外来看護の役割機能に関する課題について意見交換した。

各グループから、通院患者の情報を院内外で共有することの難しさやそれを克服するためのスクリーニングシート導入の必要性を実感している旨の意見が多く聞かれた。また、外来看護師には生活の視点を常に持つことや高いアセスメント能力が必要であること、患者と向き合い状況を的確に判断するために、業務改善やタスクシフトが必要であることなどが意見として挙げられた。

講師からは、各病院の外来で様々な取り組みを行い看看連携に取り組んでいることに対してねぎらいの言葉と、訪問看護側は、病院との連携がしやすくなってきているのを実感している、と感想を述べられた。これからも地域をつなぐために情報共有し連携していきたい、との講評を得た。

7 まとめ

報告を行った各施設では、昨年度の研修で明らかになった外来看護の現状と課題を各施設に持ち帰り、現状分析を行ったうえで施設の役割や地域の特殊性を踏まえた活動を実践した。どの施設も1年間取り組んだ成果が見られ、研修では互いの成果を共有できた。富山県における外来看護の質向上につながる内容であった。

また今回の研修内容は、令和5年度日本看護協会が発信した「外来における在宅療養支援能力向上のための研修」内容と合致しており、両研修の受講によって、地域連携には外来看護が重要な役割を果たすことを各人が実感できたと考える。

今後も看護師職能I委員会では、在宅療養支援能力向上のための取組みを続け、富山県における外来看護の質向上、切れ目ない看看連携の実現を目指して活動していきたい。

在宅ケア事例検討会報告 (在宅ケアアドバイザー派遣事業)

看護師職能Ⅱ委員会

1. はじめに

訪問看護師や医療機関の看護職が在宅医療患者・家族の現状やニーズに応じた、質の高いケアが提供できるように支援する研修目標で、今年も4地区6箇所で開催したアンケート内容を報告する。

2. 参加状況の推移

(令和・平成)年度	5	4	3	2	1	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21
開催回数(回)	6	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	10	10	10
参加延べ数(人)	162	260	207	255	281	283	280	221	231	277	219	221	270	223	228

3. アンケート結果回答者数162人(回収率75.3%)

参加者の所属 訪問看護 52.0% 医療機関 44.0% 他 4.0%
事例検討 非常に満足した 35.0% 満足した63.0% 満足できなかった2%
講評 参考になる97.0% どちらともいえない2% 参考ならない1%
参加者職種 看護師:92% 保健師:4% 助産師:1% 理学療法士:1% 作業療法士:1%
介護専門員1%

4. 事例検討会に参加してどうだったか

- ・貴重で参考になる事例であり、実際の事例を知ることができ、自分の悩んでいたことの解決につながった。
- ・自分は新人の訪問看護師でまだ、臨床の場ではあまり終末期の患者さんとは関わることができていないが、今後たくさんのジレンマを抱える中で、今回の事例を共有してもらったことで看護力が高まった。
- ・訪問看護師の関わりなど知ることができ、どのように考え、関わっていけばいいか学ぶことができた。
- ・緩和患者さんのご家族との関わり方や、看護の視点やアセスメントの内容など知識が深まった。
- ・会場の方のご意見やアドバイザーの方の助言が、とても参考になった
- ・活発な意見や多方面の意見を頂き視野も広まり参考になった。
- ・精神科疾患の訪問看護実状がわかり本当に大変な中、工夫されてご対応されていて感心した。
- ・事例に対する関わりの糸口をもらえた。
- ・訪問看護に興味があったので難しい事例を聞く事が出来ていい学びになった。
- ・似たような症例で、他ステーションの状況を聞くことができ、ディスカッションが良かった。
- ・糖尿病・認知症看護認定看護師やいろんな立場の方の貴重な意見が聞け、在宅の現状と課題が分かり、今後の指導に活かすことができそう。
- ・独居、認知症高齢者を担当するケースが増え、共感できる部分がたくさんあった。大変さ、根気強さ、人を思いやる優しさを感じた。
- ・独居の認知症高齢者が住み慣れた自宅で生活できるように他職種や近所の方が支えていける事を学べた。
- ・現場に実体験が聞け、在宅での工夫や支援が聞けて良かった。
- ・地域の現状や多職種連携の大切さが理解できた。
- ・在宅ケアにおける訪問看護の役割など学べた。・在宅での関わりの実際を知ることができた。
- ・精神疾患をもつ利用者への関わり方について、受け入れが難しいと感じる現状があり、その中で今回の事例から参考になる場面や意見を得ることができた。
- ・精神訪問看護について顧みることができた『訴えを軽視すべきでない』と言うメッセージが響いた。
- ・精神疾患の利用者が少ないため重度な方との関わりの実際の理解につながった。

5. 事例検討会に参加して、今後の実践に活かすことができるか

- ・地域包括ケア病棟に所属しており、終末期の患者も多いから良い意見が聞けたため退院支援に役立てそう。
- ・同じような事例が考えられること、また終末期にどのような視点を持つべきか理解できたため、本人や家族が少しでも気持ちの変化があった時や、辛いと感じる時は早めに相談してほしいことを退院時に伝えることができると思った。
- ・様々なケースがある中それぞれに訪問看護師として、タイムリーな援助が必要でチームでの関わりの重要性も理解、再確認できた。
- ・ターミナルの方や家族との関わりが多い他施設からの意見に、共感できたから取り入れたい。
- ・精神科対応はしていないが精神疾患を伴っている方の対応に役立つと感じた。
- ・今の部署は訪問看護ではない為、訪問看護の部署になった際には思い出して知識を活かしたいと思う。
- ・精神科の人に関わることがあればヒントになると思った。
- ・病院での相談事にこの事例を元にアドバイスをしたい。
- ・いろんな側面から見る事、情報共有の大事さを改めて実感した。
- ・多職種とのカンファレンスを行い、患者が望む場所で治療を継続させてあげたい困難事例であったため今後地域で連携して活動していくことができる。
- ・今の所、精神科の患者さんへ訪問は行っていないが、経験していく機会があれば参考にしたいと思う。なるべく本人の思いに寄り添うこと、コミュニケーションのポイントを得られた。
- ・少しずつ、訪問看護スタッフに働きかけたい。
- ・入院患者でも同じようなケースがあり参考にしたい。
- ・精神科の方、医療につながってないと、支援につながらない。そこまでが大変。
- ・生活を考えることがヒントになった。
- ・目標を明確に！を常に意識する。
- ・地域ケア会議などの重要性。

6. アドバイザーからの講師やレクチャーは参考になったか

- ・的確な指摘とアドバイスだと思った。・専門的なアドバイスだと感じた。
- ・家族への対応の仕方など知ることができた。
- ・緩和ケアについて終末期にどのような視点を持つべきか理解できたため、必ずしも在宅の看取りが良いわけではなく、本人や家族が良かったと思える場所や方法が良いということがわかった。
- ・今回の事例のような場面は、訪問看護では、経験があることでありその時の対応について多角的にアドバイスをいただくことができ、今後のケアに活かしていきたいと思った。
- ・全人的に関わることや、在宅は本人と周囲の関わる方々も含めアセスメントする事を忘れずにいたいと思う。
- ・理論を学習することで、客観的にみて関われそうな気がする。
- ・精神科に詳しい内容や精神科について学ばれた方の意見がきけた。
- ・実践者とは少し離れた第三者から視点からのアドバイスがあって良かったと思う。
- ・経験豊かな意見でした。また人脈も大切にと感じた。
- ・訪問看護の実際を知ることができ、今後役立つ情報を得る事ができた。
- ・家族や関係者だけにとどまらず、認知症カフェや認知症サポーターなど地域活動等も柔軟に利用を知ることができた。
- ・糖尿病や認知症のケアのアイデアを得られ参考にしたい。
- ・関わりを誉めておられ、私自身も頑張ろうと思えた。・話の内容がわかりやすかった。
- ・精神疾患の患者についての看護の大切な部分、コミュニケーションについての説明があり、現場に結びつく部分があった。
- ・患者宅へ訪問できることがありがたいことがわかった。
- ・行政の関わりについて知ることができた。

7. 在宅ケアにおける課題

- ・タイムリーな情報交換、人員不足・マンパワー不足、訪問看護師が不足している。
- ・再入院になる前の情報が得にくいこと。
- ・連携について（地域との連携・多職種連携と家族支援・ケアマネジャーによって連携が異なる）
- ・患者の状態に応じた支援について、サービスの活用、費用負担に制限がある場合の支援。
- ・カンファレンスや家族間の話し合いなどがタイムリーにできず、状態変化に追いつかずもどかしさがある。
- ・がんの終末期の方で疼痛コントロールできていないまま退院されてきた事例の関わり。
- ・アセスメント、判断・決断能力。
- ・それぞれ関わり方が異なり試行錯誤する事が多いので、日々探りながら看護が必要と思う。独居や天涯孤独の方も増える中チームでカンファレンスや統一した関わりなどタイムリーに行う事が必要。
- ・支援者が不在で高齢者が在宅療養困難な事例の場合の関わり。
- ・各ステーションと交流の場や学習機会を増やす。
- ・病院看護師が在宅の視点で在宅療養支援する事が不十分、在宅介護の現場について医療側の理解。
- ・精神科患者さんの地域でのサポート体制が難しい。
- ・精神科の医療に繋がらないかたの対応。
- ・高齢者だけでなく新生児から精神疾患患者など様々な利用者に対しての在宅看護の在り方が困難。
- ・利用者のテリトリーに入っていくので難しい。
- ・キーパーソン不在の方やキーパーソンが遠方な方、家族と疎遠で独居の高齢者が多い。
- ・インスリン注射を受け入れる介護サービスが少ない。
- ・食事面のサービスや薬物療法のサポートが充分に行き届かない。
- ・多種多様な患者への対応や人材育成・継続看護。
- ・認定看護師や特定行為研修修了者の確保、病院に所属する看護師との連携。
- ・医師との良好な意思疎通方法。

8. おわりに

在宅ケア事例検討会は、富山県の在宅療養を支える上で必要な知識・情報交換に「役に立っている」「知識が深まった」「講評が参考になった」との前向きな意見が多かった。

今後ますます在宅療養が必要とされる中、病院・介護・福祉施設・在宅などの領域で働く看護職が、多様な面から意見交換することで、今後の看護に役立てられるような検討会としていきたい。またこの検討会で多種多様な疾患や症状を持って在宅で暮らしている方の事例を考えながら、病院・介護・福祉施設・在宅などの領域で働く看護職の質を上げていけたらと思う。

看護職が働き続けられる職場環境に関するアンケート調査結果

社会経済福祉委員会

1. 調査目的

経験年数15年未満の就業を継続している看護職員を対象に、退職を考えた時期や理由、就業を継続している理由等を明らかにすることで、今後の職場定着支援に活かす。

2. 調査方法

- 1) 対象者：富山県内公的病院24施設に正規雇用職員として勤務する通算経験年数15年未満の看護職員（通算年数に、産休・育休等の休暇を含む）3,202名
- 2) 調査期間：令和6年1月～令和6年2月
- 3) 自記式質問紙WEB版（Googleフォーム）によるアンケート調査

3. 倫理的配慮

本調査は無記名で実施し、勤務先や個人を特定することはしない。回答は統計的に処理し、この調査のみで使用する。回答は厳重に鍵のかかるところで10年間の保管の後、破棄する。本調査は富山県立大学「人を対象とする研究」倫理審査部会の承認を得た。

4. 調査結果

- 1) 看護職員のアンケート回答数1,658名(回収率51.8%)
- 2) 属性：対象者の経験年数別構成割合は1～2年目20.1%、3～4年目18.2%、5～9年目30.0%、10～14年目31.7%であり、各経験年数の回答が偏りなく得られた。また、退職を考えたことがある者は1,436人（86.6%）、退職を考えたことがない者は222人（13.4%）であった。経験年数別の退職を考えた者の比率の平均は88.0%であり、大差はなかった。
- 3) 退職を考えた時期：今までに最も強く退職を考えた時期は、各年代ともに1位は経験年数1年目（28.7%）、2位は3年目（13.2%）であった。
- 4) 退職を考えた理由及び退職を考えたことがあるが就業を継続している理由は、『キャリアデザイン』、『労働環境』、『ライフイベント』、『個人の理由』、『人間関係』、『その他』と大きく6項目に分類した。
 - (1) 退職を考えた理由（表1）

【業務量が多い】【時間外労働が多い】【給料が少ない】など、『労働環境』に起因する項目が、各年代の上位を占めた。また、『労働環境』の【役割が負担である（研究・委員会・学生指導）】は、経験年数が高いほど割合が多く、逆に『キャリアデザイン』の【能力に自信がない】は経験年数が高いほど割合が少なかった。『個人の理由』【自分の精神的健康に関する問題がある】は、上位ではないが、各年代にあった。

- (2) 退職を考えたことがあるが就業を継続している理由（表2）

【私的な人間関係に問題がない】【同僚との人間関係に問題がない】【多職種との人間関係に問題がない】など『人間関係』に起因する項目が、各年代の上位を占めた。また、『キャリアデザイン』の【看護実践にやりがいがある】、『労働環境』の【交通の便が妥当である】、『個人の理由』の【自分に精神的健康に関する問題がない】は各年代にあった。『キャリアデザイン』の【キャリアアップができる】は1～4年目にあり、【仕事の内容が自分の能力に合っている】が5～9、10～14年目にあった。

- (3) 退職を考えたことがある対象者の相談相手

各年代のすべてが上位1位から、家族、同僚、友人・先輩・上司の順番であった。

5. 考察

今回の調査結果から、経験年数15年未満の86.6%が退職を考えたことがあった。富山県の調査によると公的病院の経験年数5～9年目の退職者数その年度の全退職者数の25.7%を占め、近年増加している。そのため、この年代の職場定着支援が今後の就業継続に重要であり、この年代に注目して考察する。

経験年数5～9年目の退職を考えた理由の上位は、調査対象全世代と同様に業務量が多い、給料

が少ないなど労働環境に因るものが挙げられた。また、役割が負担であるは経験年数を重ねるごとに高くなっていた。組織が看護職個人の成長を承認した結果、与えた業務や役割が本人の負担になっている。しかし、就業継続の理由に、やりがい感や能力に合う仕事であるというキャリアとしての自負があがっている。これらのことから、この負担感を、周囲から期待されていると捉えることができるように支援していく事が重要である。キャリアデザインを描き、仕事に取り組むなかで身につけていく人間性や自身の生き方を、継続的なキャリアとして意識していく研修が必要である。また、業務負担の軽減及び効率化など勤務環境や処遇の改善が就業継続につながるため、チーム医療やタスクシフト/シェア、DXの活用などの情報提供や情報共有も有効であると考えられる。日々の仕事に追われ、心身の疲労から、やりがいを実感できない状況におちいることを危惧する。このため、業務整理や業務改善など業務の標準化を推進することが重要である。

さらに退職を考えた時期が全世代において、1年目であることから、採用早期からの就業継続支援が必要である。就業継続理由の上位が人間関係であり、相談相手1位の家族と同様に同僚や上司からの日ごろからのサポートが重要である。退職したい気持ちを乗り越えられる仲間や相談できる相手など、良好な人間関係が有効である。組織における相談体制の整備やコミュニケーション能力を高める技術の習得、心理的安全性の高い職場づくりや組織風土の醸成が必要である。

6. まとめ

- 1) 経験年数15年未満の看護職員86.6%が退職を考えたことがあり、退職を考えた理由は「労働環境への不満」、就業継続の理由は「人間関係に問題がない」だった。
- 2) 今までに最も強く退職を考えた時期は、各年代とも経験年数1年目であり、採用早期からキャリアを自覚する研修や能力に合わせた業務負担軽減等が必要である。
- 3) 退職を考えた理由は、『労働環境への不満』であり、タスクシフト/シェアやDXも含めた業務整理・業務改善に取り組み、時間外勤務の削減や処遇改善に取り組んでいく。
- 4) 就業継続の理由は、『人間関係に問題がない』であり、相談体制の確立や心理的安全性を高めるプロジェクトチームの結成など、各組織の制度設計を提案する。
- 5) 今後、委員会として、さらに分析を進めることで、詳細な退職や就業継続の理由を明らかにしたい。

表1. 退職を考えた理由

全体		1～2年		3～4年		5～9年		10～14年	
[労働環境] ⑥ 業務量が多い	85.5%	[労働環境] ⑥ 業務量が多い	80.6%	[労働環境] ⑥ 業務量が多い	82.0%	[労働環境] ⑥ 業務量が多い	88.3%	[労働環境] ⑥ 業務量が多い	87.6%
[労働環境] ⑤ 時間外労働が多い	75.1%	[キャリアデザイン] ③ 能力に自信がない	76.3%	[労働環境] ④ 給料が少ない	80.2%	[労働環境] ④ 給料が少ない	74.5%	[労働環境] ⑤ 時間外労働が多い	76.7%
[労働環境] ④ 給料が少ない	73.1%	[労働環境] ⑤ 時間外労働が多い	73.9%	[労働環境] ⑤ 時間外労働が多い	75.2%	[労働環境] ⑤ 時間外労働が多い	74.1%	[労働環境] ⑨ 役割が負担である (研究・委員会・学生指導)	76.7%
[労働環境] ⑦ 休暇が取りにくい	71.6%	[労働環境] ④ 給料が少ない	70.0%	[労働環境] ⑦ 休暇が取りにくい	68.3%	[労働環境] ⑦ 休暇が取りにくい	74.1%	[労働環境] ⑦ 休暇が取りにくい	75.9%
[労働環境] ⑨ 役割が負担である (研究・委員会・学生指導)	65.6%	[労働環境] ⑦ 休暇が取りにくい	62.8%	[キャリアデザイン] ③ 能力に自信がない	66.9%	[労働環境] ⑨ 役割が負担である (研究・委員会・学生指導)	72.9%	[労働環境] ④ 給料が少ない	69.2%
[労働環境] ⑩ 夜勤が負担である	61.8%	[労働環境] ⑩ 夜勤が負担である	54.5%	[労働環境] ⑨ 役割が負担である (研究・委員会・学生指導)	62.6%	[労働環境] ⑩ 夜勤が負担である	60.3%	[労働環境] ⑩ 夜勤が負担である	67.3%
[キャリアデザイン] ③ 能力に自信がない	61.3%	[個人の理由] ② 自分の精神的健康に関する問題がある	51.8%	[労働環境] ⑩ 夜勤が負担である	61.5%	[キャリアデザイン] ③ 能力に自信がない	59.6%	[キャリアデザイン] ③ 能力に自信がない	51.6%
[個人の理由] ② 自分の精神的健康に関する問題がある	50.6%	[人間関係] ②③ 上司との人間関係に関する問題がある	46.2%	[個人の理由] ② 自分の精神的健康に関する問題がある	54.7%	[個人の理由] ② 自分の精神的健康に関する問題がある	49.1%	[ライフイベント] ⑩ 出産・育児	51.4%
[人間関係] ②③ 上司との人間関係に関する問題がある	45.5%	[労働環境] ⑨ 役割が負担である (研究・委員会・学生指導)	35.6%	[人間関係] ②③ 上司との人間関係に関する問題がある	48.6%	[人間関係] ②③ 上司との人間関係に関する問題がある	48.8%	[労働環境] ⑧ 役割が負担である (役職)	49.3%
[労働環境] ⑧ 役割が負担である (役職)	41.2%	[個人の理由] ②⑩ 自分の身体的健康に関する問題がある	30.8%	[労働環境] ⑧ 役割が負担である (役職)	38.1%	[ライフイベント] ⑩ 出産・育児	43.5%	[個人の理由] ②⑩ 自分の精神的健康に関する問題がある	49.1%

表2. 退職を考えたことがあるが就業を継続している理由

全体		1～2年		3～4年		5～9年		10～14年	
[人間関係] ②⑦ 私的な人間関係に関する問題がない	43.8%	[人間関係] ②⑦ 私的な人間関係に関する問題がない	46.6%	[人間関係] ②⑦ 私的な人間関係に関する問題がない	42.4%	[人間関係] ②⑦ 私的な人間関係に関する問題がない	44.9%	[人間関係] ②⑦ 私的な人間関係に関する問題がない	45.7%
[人間関係] ②④ 同僚との人間関係に関する問題がない	42.7%	[人間関係] ②⑦ 私的な人間関係に関する問題がない	44.3%	[人間関係] ②⑦ 私的な人間関係に関する問題がない	38.5%	[人間関係] ②④ 同僚との人間関係に関する問題がない	43.9%	[人間関係] ②⑤ 他職種との人間関係に関する問題がない	41.9%
[人間関係] ②⑤ 他職種との人間関係に関する問題がない	40.3%	[キャリアデザイン] ② 看護実践にやりがいがある	43.5%	[人間関係] ②⑤ 他職種との人間関係に関する問題がない	35.3%	[人間関係] ②⑤ 他職種との人間関係に関する問題がない	40.7%	[人間関係] ②⑥ 患者との人間関係に関する問題がない	40.7%
[人間関係] ②⑥ 患者との人間関係に関する問題がない	38.0%	[人間関係] ②⑤ 他職種との人間関係に関する問題がない	42.3%	[キャリアデザイン] ② 看護実践にやりがいがある	33.5%	[人間関係] ②⑥ 患者との人間関係に関する問題がない	37.4%	[人間関係] ②④ 同僚との人間関係に関する問題がない	39.6%
[キャリアデザイン] ② 看護実践にやりがいがある	37.3%	[人間関係] ②⑥ 患者との人間関係に関する問題がない	40.3%	[労働環境] ④ 交通の便が妥当である	32.7%	[キャリアデザイン] ② 看護実践にやりがいがある	36.2%	[キャリアデザイン] ② 看護実践にやりがいがある	37.3%
[労働環境] ④ 交通の便が妥当である	33.7%	[キャリアデザイン] ① キャリアアップができる	34.0%	[人間関係] ②⑥ 患者との人間関係に関する問題がない	32.0%	[労働環境] ④ 交通の便が妥当である	32.7%	[労働環境] ④ 交通の便が妥当である	35.8%
[人間関係] ②③ 上司との人間関係に関する問題がない	30.3%	[労働環境] ④ 交通の便が妥当である	32.4%	[人間関係] ②③ 上司との人間関係に関する問題がない	29.1%	[人間関係] ②③ 上司との人間関係に関する問題がない	29.2%	[人間関係] ②③ 上司との人間関係に関する問題がない	34.4%
[キャリアデザイン] ③ 仕事の内容が自分の能力に合っている	26.6%	[人間関係] ②③ 上司との人間関係に関する問題がない	25.7%	[キャリアデザイン] ① キャリアアップができる	23.7%	[キャリアデザイン] ③ 仕事の内容が自分の能力に合っている	29.2%	[キャリアデザイン] ③ 仕事の内容が自分の能力に合っている	32.7%
[キャリアデザイン] ① キャリアアップができる	25.8%	[その他] ②⑧ 特に退職する理由がない	24.9%	[個人の理由] ②⑩ 自分に精神的健康に関する問題がない	22.7%	[キャリアデザイン] ① キャリアアップができる	25.7%	[ライフイベント] ⑩ 結婚に影響がない	24.7%
[その他] ②⑧ 特に退職する理由がない	22.8%	[労働環境] ⑦ 休暇が取りやすい	24.9%	[労働環境] ⑦ 休暇が取りやすい	22.3%	[個人の理由] ②⑩ 自分に精神的健康に関する問題がない	24.8%	[その他] ②⑧ 特に退職する理由がない	23.7%

令和5年度 支部（5事業）報告

1 地域のニーズに応じた看護活動

支部	開催日	開催場所	参加者 (名)	内 容
黒部・魚津	9/15(金) 9/22(金) 9/29(金) 13:30~14:30 3回で 1コース	魚津サンプラザ	各18	魚津市健康センターの企画である「フレイル予防セミナー」に後援として参加 内容：第1回「フレイル予防の概要と運動について（筋量測定）」 第2回「栄養と口腔の話」 第3回「ふり返り講義と楽しく運動（筋量測定）」 参加者にフレイル自己チェック表付ティッシュ、協会のクリアケース、健康に関するパンフレットを配布した。 (評価) 運動の結果が筋量として数値に現れることが、参加者の運動継続の意欲になる。フレイルに興味を持って参加していただけた。
富山東北	在宅医療 体験実習 7月~10月 報告会 11/24(金)	富山市まちなか 総合ケアセンター2階 まちなか診療所	16	目的：病院等に勤務する看護職員が、在宅医療体験を通して在宅療養の実際と医療・介護の専門職の役割について学び、入退院支援に役立てる。また、報告会にて参加者同士で意見交換を行い、学びを共有する。 内容：1. 在宅医療体験実習 2. 報告会（一部Web） (評価) 在宅医療体験は、コロナ禍で実施が出来ていなかったが、再開し参加者から高評価を得た。訪問に同行する事で在宅療養の実際を知り、医師、看護職の役割を理解する事で施設における自らの役割を再認識し、今後の看護活動に活かしたいと報告された。
	10/8(日) 10:00~14:00	富山駅前広場	61	ロコケン5th（五省会と合同事業） 内容：五省会と合同で健康チェック、健康相談を実施。 (評価) 五省会と合同で行ったロコケンに参加した。富山駅前だったため、家族連れも多く、健康チェックや健康相談を受ける方も多かった。今後も、合同事業として行っていきたい。
富山西南	10/14(土) 10:00~12:00	八尾コミュニティー センター	70	やつおふれあいフェスティバル 内容：会場で健康相談コーナーを設置した。血圧測定やサチュレーション測定をしながら住民からの質問（血圧、睡眠、運動方法、減塩食事など）に答えた。マスコットの「かんごちゃん」も参加した。 (評価) 健康相談コーナーを設けるとたくさんの方が訪問してくれ、相談にのることができたので、他の団体と共同で実施することは効果がある。
上 市	7/8(土) 13:30~15:00	つるぎふれあい館 研修室	100	上市町生き生き健康フェスティバル「母心と！笑顔の子育てまち育て」 内容：産後ケア事業の紹介、町子育て支援事業の紹介、「母心」トークショー (評価) 幼児から高齢者まで幅広く参加され、産後ケアや骨盤体操が紹介され、「母心」トークショーでは大いに盛り上がり好評であった。
	9/1(金) ~ 9/30(土)	厚生連滑川病院 かみいち総合病院 立山町健康福祉課	-	認知症啓蒙活動 目的：地域住民に認知症に関する情報を提供し、認知症への理解を深め、地域で認知症患者及び家族を支援できる。 内容：シンボルカラーオレンジで飾り付け、情報提供を行い、相談窓口を設置した。 (評価) 地域住民へ認知症に関する情報を提供し、期間中相談窓口で住民への支援を行った。
	10/2(月) ~ 10/31(火)	厚生連滑川病院 かみいち総合病院 立山町健康福祉課	-	ピンクリボン運動（乳がん啓蒙活動） 目的：地域住民へ乳がんに関する情報提供と、乳がん検診受診率向上を目指し啓蒙活動を行なう。 内容：厚生連滑川病院健康管理センターでの乳がん受診率を掲示し、乳がんモデルデモ機を設置し関心を持ってもらう。ピンクリボンで飾り付け、乳がんに関する情報提供を実施する。 (評価) 厚生連滑川病院での乳がん検診受診者の内、精密健診受診率が90.7%であった。今後も乳がん受診率向上を目指し活動していきたい。

支部	開催日	開催場所	参加者 (名)	内 容
上 市	11/1(水) ～ 11/30(木)	厚生連滑川病院 かみいち総合病院 立山町健康福祉課	-	糖尿病啓蒙活動 内容：病院の一角にスペースを確保し、掲示物やポスターを掲示しチラシを配布した。シンボルカラーのブルーで飾り付けブルーライトを装飾し、糖尿病に関する情報提供を実施した。 (評価) 院内をブルーライトで飾り付けての活動は興味をひき、外来通院者を対象とした食品サンプルを使用した指導は楽しく分かり易く大変好評であった。
高岡・射水・氷見	① 8/14(月) 19:00～20:00 ② 11/14(火) 15:00～16:00 ③ 11/28(火) 14:00～15:00 ④ 11/30(木) 14:00～15:00 ⑤ 12/19(火) 14:00～15:00 ⑥ 1/30(火) 16:30～17:30	① 太閤の杜 ディサービスセンター ② ケアホームみどり ③ リハ・ハウス来夢 ④ グループホーム 白寿園戸出 ⑤ ユートピア大滝 ⑥ シニアヴィラ あさひの里	55 5 1 9 1 1	訪問支援希望があった小規模介護施設へ認定看護師を派遣し、個々の不安や悩みの相談に応じた。 (評価) 施設ごとの個別の質問への対応には満足度が高かったが、施設長しか参加できない施設も多く施設内での正確な共有が課題。
砺波・小矢部	11/16(木) 11/30(木) 12/8(金) R5.1/22(月)	南砺市地域包括 ケアセンター 小矢部市東蟹谷公民館 砺波市高波東宮森公民館 南砺市井波ラフォーラ	23 17 17 21	テーマ「オーラルフレイルと心不全を予防し、毎日を健やかに過ごす。」 内容：リーフレットや心臓セルフチェック表を用いて、心不全とオーラルフレイルについて説明。心不全と寒くなる季節の生活については健康〇×クイズ形式とした。 (評価) 地域の体操教室に参加されている方々が対象であったため健康意識が高く話しやすかった。〇×クイズを取り入れ参加型とすることで和気あいあいとした教室となり、さらに参加者の関心が高くなった。心不全やオーラルフレイル予防、寒くなる季節の注意事項について啓発できたと考える。

2 支部研修会

支部	開催日	開催場所	参加者 (名)	内 容
黒部・魚津	11/18(土) 9:30~12:30	富山労災病院	52	<ul style="list-style-type: none"> ・講義「最近の看護の動向」 講師：富山県看護協会 会長 稲村 睦子 ・講義「高齢者虐待の早期発見・早期解決に向けて ～支援者として知っておきたいこと～」 講師：富山国際大学 教授 相山 馨 ・グループワーク <p>(評価) 当地区は高齢化が高く、各施設でも虐待を早期にキャッチし発信することの重要性を学ぶことができた。</p>
富山4支部 合同	9/9(土) 13:25~16:05	富山県看護研修センター	55	担当：富山東支部、富山北支部 <ul style="list-style-type: none"> ・講演「最近の看護の動向」 講師：富山県看護協会 会長 稲村 睦子 ・シンポジウム 「地域包括ケアにおける在宅医療と訪問看護師の役割と実際」 講師：くれよん在宅クリニック 院長 樋口 史篤 光風会訪問看護ステーション 管理者 小原 留美 在宅福祉総合センターきずな 訪問看護ステーション 管理者 西野 友香里 <p>Web配信で実施。アンケート結果から、病院看護師に求められている事、退院支援を行う上で必要な事、役割について理解できた等の意見が多かった。また、富山県の看護の動向について改めて知る機会となり良かったという意見もあった。</p> <p>(評価) 今回は、前年度に引き続き地域包括ケアについて研修会を実施した。富山県の看護の動向についての講演と、実際に訪問医療の現場で活躍している方々でシンポジウムを行った。シンポジウムを通して、病院勤務の看護職がスムーズな入退院支援を行うために何をすべきか考える事に繋がり、今後の看護活動に活かすことができる研修会となった。</p>
	10/8(日) 10:00~11:30	富山県看護研修センター WEB方式	63	担当：富山西支部、富山南支部 <ul style="list-style-type: none"> ・講演「障害児者のACPについて」(zoomによるオンライン開催) 講師：オレンジホームケアクリニック 理事長 紅谷 浩之 <p>(評価) アンケート結果からはテーマ・時間帯・曜日・内容についてはほぼ満足であった。自由記載として「患者とともに話し合える環境づくりをしていきたい。医療的ケア児は医療と福祉・教育が丸となって誰もが安心して受け入れられる地域づくりが必要であると思った」などがあった。</p>
上 市	10/28(土) 13:30~15:30	厚生連滑川病院	45	<ul style="list-style-type: none"> ・講演「最近の看護の動向」 講師：富山県看護協会 会長 稲村 睦子 <p>(評価) アンケート結果より「とても良い」「良い」の割合が75%であった。「資料があればより理解が深まった。」と意見があり、後日、資料の配布を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウム「看護職の専門性を発揮する地域におけるタスクシフト・タスクシェアへの取り組み」 座長：上市支部長 海原 真澄 シンポジスト 「看護師と看護補助者との協働に向けたタスクシフト/タスクシェアの試み」 厚生連滑川病院 副看護師長 小又 真由美 「多職種で行う産後ケア」 かみいち総合病院 看護師長 平井 志乃扶 「特定行為研修を受講して」 中新川訪問看護ステーション 訪問看護係長 山田 裕美子 <p>(評価) アンケート結果より「とても良い」「良い」の割合が87.5%であった。地域の中で様々な職種が集まり意見交換をできたのは良かった。タスクシフト/タスクシェアを考える良い機会であったと好評だった。アンケート調査をWebで解答してもらったが、回収率が35%であった。会場でアンケートに答えてもらうように改善が必要である。</p>
高岡・射水・氷見	10/14(土) 14:00~16:30	金沢医科大学 氷見市民病院 6階多目的ホールB (ハイブリッド研修)	43	<ul style="list-style-type: none"> ・Web講演「コロナ対応を乗り切って想う業務継続」 講師：東京都立病院機構 法人本部 危機管理統括部長 広尾病院減災対策支援センター部長 (兼務) 中島 康 <p>(評価) 継続を希望する声が多い。能登半島地震で支部エリアの被災もあり、令和8年度までの継続事業とする。</p>

支部	開催日	開催場所	参加者 (名)	内 容
砺波・小矢部	9/16(土) 9:00~11:00	市立砺波総合病院 3階講堂	67	<ul style="list-style-type: none"> ・講演「最近の看護の動向」 講師：富山県看護協会 会長 稲村 睦子 ・講演「オーラルフレイルの予防～咀嚼と嚥下の仕組み～」 講師：富山県歯科医師会 公衆衛生担当理事 越田 喜規 (評価) 2040年を見据え、タスクシフト/シェアの有効性への理解が深まった。 嚥むことワースト1の富山県においてオーラルフレイルの取り組みが進められていることを知り、口腔内の健康や実践指導について理解を深めることができた。即、実践につながる内容であった。

3 「まちの保健室」事業

支部	開催日	開催場所	参加者 (名)	内 容
黒部・魚津	9/15(金) 9/29(金) 13:30~15:00	魚津サンプラザ	相談11 測定30 相談13 測定33	地域ニーズに応じた看護活動の「フレイル予防セミナー」と同日に、同会場で2回開催した。 内容：①健康相談・介護相談・体脂肪測定 支部の3病院から、一般健康相談に対応できる看護師の参加協力あり。糖尿病・嚥下・認知症などの相談を受ける。 ②フレイル予防事業のPR 参加者にフレイル自己チェック表付ポケットティッシュ、協会のクリアケース、健康に関するパンフレットを配布 (評価) 会場の協力を得て、ケーブルテレビでの宣伝も行ったが、多くの地域住民に参加してもらうためには、平日の日中では厳しい印象。今後の課題。
富山東北	9/20(水) 11/30(木)	不二越病院 富山市立 富山まちなか病院	15 20	健康チェック、血圧測定、体脂肪測定、体組成測定と健康相談、足のチェックや相談会を行った。また、まちなか病院では他に糖尿病デーや人生会議いい看取りの日のイベントを行った。また、パンフレットやフレイル予防の自覚症状チェックができるティッシュの配布を行った。 (評価) 外来受診時の待ち時間を利用し行った。糖尿病デーのイベントや人生会議に関して説明を熱心に聞いたり、フレイル予防についても認知症やフットケアに関する相談が多く、関心が高いと感じた。
富山西南	R5.2/25(土) R5.2/26(日) 10:00~15:00	婦中ふれあい館	100 77	生涯学習フェスティバル(富山市西保健福祉センターの保健師と協働) 内容：地域住民を対象に、血圧測定、SpO ₂ 測定、血管年齢測定、健康相談を実施した。 (評価) 2日間にわたり、各年齢層が集まる場所で実施するには効果がある。今回物品の準備不足があり、帰っていかれる方もいた。測定道具、掲示物、配布物等を検討する必要あり。
上 市	11/4(土) 10:00~12:00	滑川市 ショッピングセンター エール	183	まちの保健室 目的：1. 地域に出向き地域住民が気軽に身近な看護相談や支援を受けることができる体制を整え、地域住民の健康意識の向上を目指すことで地域に貢献する。 2. 地域に向けて看護活動を行う事で、看護の仕事の理解と、看護に興味を持ってもらう。 内容：4市町村の事業に合わせて健康相談やフレイル予防教室等を実施する①健康チェック②健康相談③フレイル予防指導④アロマハンドマッサージ等 (評価) まちの保健室をショッピングセンターで行う事で、地域住民の皆様が気軽に健康相談や、健康に関して興味を持ってもらえた。フレイルに関しても一般市民には言葉のなじみが薄く、企画を通じ広く情報提供を行うことができた。マスコットの「かんごちゃん」が店内をまわる事で子供たちの興味を誘い「看護師」への意識付けが出来た。
	4/28(金) ~ 3/5(火)	放士ヶ瀬公民館 白萩西部公民館 江上公民館 中江上公民館 弓庄公民館 相ノ木公民館 森尻公民館 神田公民館 横越公民館 和合公民館 若杉公民館 南加積会館 カミール4階 上市町役場 稗田公民館 北島公民館 天神町三区公民館 大永田公民館 石仏公民館 竹鼻公民館等	626 / 39回	出前講座 内容：認定看護師が地域の公民館に出向き、健康寿命延伸に向けた出前講座を実施する。(認知症看護、脳卒中リハビリテーション看護、手術看護、摂食嚥下障害看護、感染管理、慢性呼吸器疾患看護、緩和ケア) (評価) 実際に参加した地域住民からは、「病院受診時に受ける一般的な指導ではなくわかりやすかった」「難しいことはできないが、いつでも出来ることを教えてもらったので続けていく」「一人でひきこもるのではなく、人と関わって元気になりたい」「病院から看護師が来てくれることで、顔見知りになり相談できる関係性になれる」「話を聴きに行きたいけど一人ではいけないし難しいが公民館ならいける」「専門職ががんばってくれて、地域とつながれば、町の健康寿命が伸びると思う」「ひきこもりがちな認知症を抱えた家族が、出前講座に参加してくれてうれしかった」等の意見が聞かれた。出前講座のアンケート結果より、理解度は、「理解が深まった(89.6%)、一部深まった(10.4%)」、満足度は「満足(80.5%)、一部満足(19.5%)」、活用度は、「今後活かせる(84.4%)、一部活かせる(15.6%)」という結果であり、理解度・満足度・活用度のいずれの項目においても肯定的率が高い結果であった。
高岡・射水・氷見	①10/7(土) 10:30~14:30 ②4月~2月 ③4月~2月 ④3/3(日) 10:00~14:00	①あしつきふれあいの郷 周辺 ②高岡市民病院(33回) ③射水市民病院(11回) ④第15回射水市 シルバー祭り	4組 76 165 86	①あしつき秋祭りへ健康相談ブース出展 ②糖尿病教室前後、パンフレット配布 ③骨粗鬆症教室後、パンフレット配布 ④血圧測定・握力測定・認知症チェック・嚥下チェックを行った。生活の中で感じている身近な疑問や相談に応じた。 (評価) 地域の方々とふれあい、健康への意識を高めることができた。

支部	開催日	開催場所	参加者 (名)	内 容
砺波・小矢部	7/15(土) 10:30~12:00	イオンモールとなみ	55	<p>テーマ：「熱中症にならないために」</p> <p>内容：ポスター掲示、パンフレット配布、熱中症予防キャンディの配布、健康相談、血圧測定</p> <p>(評価)</p> <p>例年より早い7月に実施したことで、これからが本格的な熱中症対策が必要ということもあり、よい時期のテーマであった。血圧測定や健康相談を再開したことで興味をひくことができた。</p>
	10/14(土) 10:30~12:00	イオンモールとなみ	35	<p>テーマ：「フレイル予防について」</p> <p>内容：ポスター掲示、パンフレット配布、健康相談、血圧測定、握力測定</p> <p>(評価)</p> <p>パンフレットにてフレイル予防の説明をする中で健康相談も受けた。握力測定に興味を示される方が多かった。血圧測定や握力測定など数値で可視化できるものは集客に効果あり。フレイルについてある程度知っている方が多く、今後も啓発活動の必要があると感じた。</p>
	11/11(土) 10:30~12:00	イオンモールとなみ	33	<p>テーマ：「知って！予防する！ヒートショック」</p> <p>内容：ポスター掲示、パンフレット配布、健康相談、血圧測定、握力測定</p> <p>(評価)</p> <p>寒くなる時期のヒートショック予防について説明し、チェックリストを用いて健康相談を行った。自己健康管理のための啓発活動につなげることができた。</p>

4 「看護の日」及び看護週間における事業

支部	開催日	開催場所	参加者 (名)	内 容
黒部・魚津	12/1(金) 9:20~11:15	入善小学校 6年生	46	看護職の魅力ややりがいを伝えることを目的に出前講座を企画した。魚津市・黒部市・入善町・朝日町の教育委員会等で事業説明を行い、各市町校長会で募集案内を行った。計27校に依頼し、1校の応募があった。 内容：①授業：看護師ってどんな仕事？ ②体験しよう：体の音を聴く、視力障害者の歩行介助、輸液の流量調節 ③意見交換 (評価) 小学生の感想から、看護師に興味を持つことができた企画であったと評価。もっと多くの学校で開催するには、教育委員会へのPR方法に工夫が必要である。
富山東北	7/19(水) 10:30~11:30 7/20(木) 10:30~11:15 11/10(金) 14:30~15:20 12/4(月) 9:55~10:45	草島小学校 6年生 岩瀬小学校 6年生 不二越工業高校 2年生 不二越工業高校 1年生	20 19 121 115	小学校訪問し、看護職の人材確保の啓蒙活動を行った。看護職の紹介と聴診器やパルスオキシメーターと手洗いチェッカーを用いて消毒剤の使用方法を説明した。高校では、看護職の他DMATや臨床工学技士、理学療法士の説明を加え講義後に車椅子、松葉杖、エアーストレッチャーやAEDの使用方法について説明し、高校生にも体験してもらった。 (評価) 聴診器、パルスオキシメーターを実際に使う事で興味を持って聞いてもらう事ができ質問も多かった。また、手洗いチェッカーを使用して自分の消毒について知る事にも関心が高かった。また、感想では「看護の仕事についてみたい」や「大変だけど挑戦してみたい」という感想があった。高校生は、今回は工業系の高校であったが、「医療方面にも進学できる事がわかり進学のひとつに考えたい」との感想があった。また、職種毎の質問も多くあり関心の高さが伺えた。今後も小中学生だけでなく、進路の起点にある高校生にも積極的に行っていきたい。
富山西南	9/11(月) 10:30~11:30	富山市立月岡小学校 6年生	43	「看護のしごと」について説明した。生徒を3Gに分けて聴診器の使用、サチュレーション測定、グリッターバッグを利用して手洗い前後を比較する。 (評価) 「看護のしごと」については関心を持ってくれた。実技は聴診器やパルスオキシメーターで測定し楽しみながら実施していた。アンケートでは「看護のしごとについてよくわかった」がほとんどであった。お礼の手紙を頂いた。訪問することは効果がある。
上 市	5/31(水) 6/12(月) 6/23(金) 9:30~11:45	南加積小学校 陽南小学校 相ノ木小学校	15 22 24	ふれあい看護体験出前講座 内容：かみいち総合病院紹介、看護師・助産師・保健師職業紹介、看護体験(点滴下体験・個人防護具・看護ユニフォーム着用体験、妊婦体験等) (評価) 学校へ出向いてふれあい体験を実施したことで、生徒は伸び伸びと体験を行うことができ、質疑応答も活発にあり看護の仕事について関心を持ってもらうきっかけになった。
	6/10(土) 13:30~14:40	厚生連滑川病院	25	ふれあい看護体験 対象：厚生連滑川病院職員の子供 内容：病院職員の子供を対象に看護の仕事に関心を持ってもらうように、看護体験を実施(「命の教室」講義、とろみ水ごっくん嚥下体験、病院探索・看護体験ポイントラリー、ユニフォーム試着・記念撮影等) (評価) アンケート結果より「とても楽しかった」「楽しかった」が100%であり親子共に満足が得られた。看護師に興味のある子供が90%いた。
	7/4(火) 13:30~15:00	かみいち総合病院	19	富山県立上市高等学校「看護」「介護」「リハビリテーション」研修会 対象：富山県立上市高等学校1学年 内容：講義(看護職になるには、看護師・助産師・保健師・介護福祉士・療法士)、看護・介護・リハビリ体験 (評価) アンケート結果より全体を通して満足であったが100%であり、点滴体験や血圧測定を行って看護師を目指してみたいという意見も聞かれた。
	7/3(月) ~ 7/7(金)	かみいち総合病院 厚生連滑川病院	5	保護者参加型14歳の挑戦 滑川中学校『社会に学ぶ14歳の挑戦』 早月中学校『社会に学ぶ14歳の挑戦』 内容：講義(看護師・保健師・助産師になるには)、看護体験、各病棟、各部門見学等 (評価) アンケート結果より全体を通して「満足であった」が100%であった。点滴やバイタル測定など貴重な体験ができたとの意見が聞かれた。また、新型コロナウイルスが5類移行後の事業であったが、誰一人欠席することなく5日間の活動が出来た。
	9/25(月) ~ 9/29(金)	厚生連滑川病院	5	

支部	開催日	開催場所	参加者 (名)	内 容
高岡・射水・ 氷見	7/18(火) 9:45～10:30	高岡第一高等学校	45	看護の仕事の紹介、看護の魅力、やりがい、看護師になるための方法などについてPPTを使って説明し、質問に応じた。 (評価) 高校生はある程度進路を決めたうえでの参加となるため、次年度は中学1～2年生を対象に考える。
	8/23(水) 10:00～11:40	新湊高等学校	19	
砺波・小矢部	2/3(土) 10:00～11:30	イオンモールとなみ	39	看護の出前講座 「看護の仕事～見て・聞いて・さわって 看護のお仕事を知ろう～」 内容：『看護の仕事とは』をポスター掲示。 体験ブースを設置①健康相談・血圧測定、酸素飽和度測定 ②赤ちゃん抱っこ・妊婦体験③手術に使う器機を触る (評価) ショッピングセンターで実施したことで、小さなお子さんにも参加頂き、親子で看護の仕事について体験する機会を持つことが出来た。

5 フレイル対策に関すること

支部	開催日	開催場所	参加者 (名)	内 容
黒部・魚津				地域のニーズに応じた看護活動に含む
富山東 富山北				「まちの保健室」事業に含む
富山西南 富山南	10/8(日) 10:00~14:00	富山駅前広場	61	地域のニーズに応じた看護活動や「まちの保健室」事業でフレイル予防についてパンフレットやフレイル自己チェック表付ティッシュを配布した。 (評価) 今回初めて、フレイル自己チェック表付ポケットティッシュを作った。簡単に配布でき受け取ってくれるので良かった。
	10/14(土) 10:00~12:00	八尾コミュニティーセンター	70	
上 市	7/6(木) 13:30~14:00	放士ヶ瀬公民館	10	認定看護師による出前講座 テーマ：知っておきたい！フレイル・サルコペニアとその予防 講師：摂食嚥下障害看護認定看護師2名、内科医師1名 (評価) 放士ヶ瀬公民館で開催される「語りの会」で講義と演習で展開した。住民からは「直接話が聞けて良かった」「資料を見ることで理解が深まる」など講座の狙いは達成できた。
	7/18(火) 13:30~14:30	白萩西部公民館	17	テーマ：認知症看護、知っておきたい！フレイル・サルコペニアとその予防 講師：摂食嚥下障害看護認定看護師2名、内科医師1名 (評価) 認知症看護、フレイル・サルコペニア講義を、参加型の講義を意識して行った。フレイル・サルコペニアの認知度は約半数であった。
	7/25(火) 13:30~14:30	江上公民館	11	テーマ：知っておきたい!! 誤嚥性肺炎とフレイル・サルコペニアの予防 講師：摂食嚥下障害看護認定看護師2名、内科医師1名 (評価) フレイル・サルコペニアについて日頃思っても説明をきちんと聞くことで、改めて再確認の場となった。地域住民に知ってもらう機会となった。
	8/8(火) 13:30~14:30	弓庄公民館	20	テーマ：知っておきたい!! 誤嚥性肺炎とフレイル・サルコペニアの予防 講師：摂食嚥下障害看護認定看護師2名、内科医師1名 (評価) 資料とスライドを用い講義と演習で展開し、参加者に質問を投げかけたり参加型の講義とした。
	10/19(木) 13:30~14:30	相ノ木公民館	60	テーマ：知っておきたい!! 誤嚥性肺炎とフレイル・サルコペニアの予防 講師：摂食嚥下障害看護認定看護師2名、内科医師1名 (評価) 住民60人に対して地域に出向き講義を行うことで、住民に対して身近な情報提供の場となった。
	11/18(土) 9:00~12:00	かみいち総合病院	20	かみいち総合病院病院祭でのフレイル予防啓蒙活動 内容：病院祭にてポスターやパンフレットを用いてフレイル予防啓蒙活動を行なった。 (評価) 地域住民へ広く情報提供が出来た。
	12/1(金) ~ 12/27(水)	厚生連滑川病院	-	フレイル予防啓蒙活動 内容：病院の一角にブースを設け、地域包括ケア病棟入院患者の作品や、フレイル予防に関するポスターの掲示やパンフレットを配布。 また、認知症看護認定看護師の相談日を設け活動した。 (評価) 認知症に関するパンフレットは好評で100部配布した。認知症相談にも外来受診の患者・家族からの相談もあり対応した。
高岡・射水・氷見				「まちの保健室」の事業に含む
砺波・小矢部	開催日時、場所、参加人数に関しては、地域のニーズに応じた看護活動、支部研修、「まちの保健室」の事業を参照			地域のニーズに応じた看護活動、支部研修、「まちの保健室」の事業のそれぞれにフレイル対策を盛り込んで活動を行った。①「オーラルフレイル」のクイズの実施、リーフレット配布②講演「オーラルフレイルの予防」③フレイルチェック、ポスター掲示等 (評価) 各活動にフレイル予防対策を取り入れることで、多くの地域の方々に情報を提供することが出来た。

令和5年度 支部長会報告

1 目的

地域共生社会において、従来から行っている看護協会の支部活動は今までの形にとらわれず、看々連携を深め行政や関係機関を巻き込んだ活動が求められる。令和2年度より新しい支部体制とし、施設の看護管理者に支部長を担っていただく仕組みにするとともに、支部間の連絡調整を図るため、県内6支部長等による支部長会を年2回開催している。

2 出席者

支部長、担当理事、協会長、専務理事、職員 計14名

3 開催日及び内容

第1回 令和5年9月5日(火)

- 1) 会長より日本看護協会の情報提供
- 2) 支部活動の進捗状況報告
- 3) 協議事項

- ・学校への出前講座については、前年度のうちにアプローチする必要性を共有した。
- ・出前講座の申込書は、企画や対象によって項目が異なるため、各支部独自のもの、あるいは出前講座の申込書を各部署で適宜修正・活用して良いこととする。
- ・認定看護師の地域活動について、市町村保健師にもPRし、各地区の健康講座等に保健師と共に参加するなど地域活動の充実を図ることについて協議。

第2回 令和5年12月11日(月)

- 1) 会長より日本看護協会の情報提供
- 2) 支部活動の進捗状況、次年度の活動計画報告
- 3) 協議事項

- ・支部活動における経費について、H29年度第4回支部活動強化委員会の決定事項を基に再確認する。
- ・マスコミへのイベント告知について情報共有した。今後も取材いただけるよう工夫していく。
- ・支部活動時のビブスの色は黄色とする。デザインや予算については今後検討する。
- ・支部活動のスケジュール管理やアンケート集計等について、グーグル等のクラウドサービスを利用した業務の効率化を検討する。

4 理事・支部長名簿

支部名	担当理事	支部長
黒部・魚津	藤井淳子（黒部市民病院）	山本陽子（あさひ総合病院）
富山東・北	重松理恵（富山市立富山市民病院）	高島和代（不二越病院）
富山西・南		永田智雅 （独立行政法人国立病院機構富山病院）
上市		海原真澄（厚生連滑川病院）
高岡・射水・氷見	稲見年美（高岡市民病院）	諸江由紀子 （独立行政法人地域医療機能推進機構高岡ふしき病院）
砺波・小矢部	小倉里美（市立砺波総合病院）	金兵留美 （南砺市地域包括支援センター）

令和6年度 富山県看護協会 施設別・職種別会員数

令和6年3月31日現在

施設名	保	助	看	准	合計	施設名	保	助	看	准	合計
あさひ総合病院			94	1	95	医療法人新川病院			3		3
射水市民病院	1		138		139	医療法人社団にしのみ 西野内科病院			1		1
金沢医科大学水見市民病院			179	4	183	医療法人仁敬会 入善セントラル病院			1		1
かみいち総合病院	4	2	128	1	135	医療法人社団尽誠会 野村病院			10		10
黒部市民病院	2	26	308		336	医療法人社団健心会 坂東病院			4		4
厚生連高岡病院	24	19	503		546	光ヶ丘病院			56	13	69
厚生連滑川病院	7	7	138	2	154	姫野病院			1		1
市立砺波総合病院	5	25	363		393	医療法人深川病院			7		7
高岡市民病院 看護科	7	9	307		323	医療法人社団良俊会 ふくの若葉病院			13		13
独立行政法人地域医療機能推進機構 高岡ふしき病院	6		68	1	75	医療法人財団恵仁会 藤木病院			4		4
富山県済生会高岡病院		19	220		239	不二越病院	7		61	2	70
富山県済生会富山病院	1		206		207	医療法人北聖病院			2		2
富山県立中央病院		75	706		781	政岡内科病院			8		8
富山県リハビリテーション病院・こども支援センター		1	155		156	医療法人社団秋桜 丸川病院			22	2	24
富山市立富山市民病院		21	464		485	南富山中川病院			3		3
富山市立富山まちなか病院	1	2	25		28	医療法人社団双星会 みなみの星病院			6		6
富山赤十字病院	7	41	390		438	特定医療法人社団三医会 三輪病院			15		15
国立大学法人富山大学附属病院		54	677		731	医療法人社団藤聖会 八尾総合病院		1	23		24
独立行政法人国立病院機構 富山病院			67		67	医療法人社団友愛病院会 友愛温泉病院			8		8
独立行政法人労働者健康安全機構 富山労災病院	1	4	177		182	医療法人社団友愛病院会 陽和温泉病院			6		6
公立南砺中央病院			68		68	特定医療法人財団博仁会 横田記念病院			19	4	23
南砺市民病院	3		124	4	131	医療法人社団秀林会 吉見病院			3		3
公立学校共済組合 北陸中央病院	1		123		124	医療法人社団博啓会 アイ・クリニック	1		1		2
独立行政法人国立病院機構 北陸病院			40		40	あい ART クリニック			1		1
医療法人社団寿山会 あおい病院			7		7	医療法人社団アルベン会 アルベン室谷クリニック			1		1
医療法人社団睦心会 あさなぎ病院			16		16	医療法人社団 市野瀬和田内科医院			1		1
医療法人社団アルベン会 アルベリハビリテーション病院			11		11	医療法人社団信和会 魚津神経サナトリウム			1		1
池田リハビリテーション病院			9	1	10	医療法人社団桜仁会 さくらニューロクリニック			3		3
いま泉病院			3		3	かんすいこうえんレディースクリニック		4			4
医療法人社団スバル うおぎさファミリー病院	1		6		7	くれよん在宅クリニック			1		1
医療法人社団七徳会 魚津病院			15		15	けやきひふ科			1		1
医療法人社団弘仁会 魚津緑ヶ丘病院			7	5	12	女性クリニックWe 富山			2		2
医療法人社団樫の木会 大島くろみ病院			4		4	しんたにこどもクリニック				1	1
医療法人社団東方会 おおやま病院			17	7	24	セーナー苑診療所			9		9
医療法人社団仁清会 グリーンヒルズ若草病院			1		1	瀬尾内科医院			1		1
医療法人社団友愛病院会 黒部温泉病院			9		9	高岡市急患医療センター			1		1
医療法人社団白雲会 呉陽病院			2		2	富山駅前おもむら内科内視鏡クリニック			1		1
特定医療法人財団五省会 西能病院	1	1	78	4	84	なかしま産婦人科		12	8	1	21
特定医療法人財団五省会 西能みなみ病院			27	2	29	長田整形外科クリニック			1		1
医療法人社団平成会 桜井病院			2		2	沼内科医院			4		4
医療法人社団重仁会 佐々木病院			3		3	医療法人社団萩野医院			3		3
医療法人社団整志会 沢田記念高岡整志会病院			71		71	医療法人ホスピアー			1		1
医療法人社団志貴野会 サンパリー高岡病院			12		12	医療法人社団恵成会 榊谷内科			1		1
医療法人社団志貴野会 サンパリー福岡病院			4		4	医療法人社団 吉本レディースクリニック		2	2		4
医療法人社団清幸会 島田病院			2		2	富山県厚生部医務課	2		1		3
常願寺病院			8		8	富山県 厚生部 厚生企画課	2				2
医療法人社団城南会 城南内科介護医療院			2		2	富山県厚生部健康対策室健康課			9		9
医療法人真生会 真生会富山病院	1		179	1	181	富山県厚生部高齢福祉課	3				3
医療法人高岡みなみハートセンター みなみの杜病院		1	17	1	19	富山県厚生部障害福祉課	1				1
医療法人社団和敬会 谷野呉山病院	1		49		50	富山県厚生部こども家庭室子育て支援課	2				2
チューリップ長江病院			14		14	富山県経営管理部人事課	1				1
医療法人社団寿恵会 つざわ津田病院			6		6	富山県心の健康センター	5				5
医療法人社団藤和会 砺波サンシャイン病院			2		2	富山県高岡厚生センター	16				16
医療法人社団三医会 となみ三輪病院			8	1	9	富山県高岡厚生センター 射水支所	6				6
富山医療生活協同組合 富山協立病院			67		67	富山県高岡厚生センター 氷見支所	7				7
医療法人社団城南会 富山城南病院			17		17	富山県高岡児童相談所	2				2
医療法人社団藤聖会 富山西総合病院			125	1	126	富山県中部厚生センター	10				10
医療法人社団親和会 富山西リハビリテーション病院			53	4	57	富山県砺波厚生センター	12				12
医療法人財団正友会 中村記念病院			5		5	富山県砺波厚生センター 小矢支所	4				4
流杉病院			25	2	27	富山県富山児童相談所	2				2

施設名	保	助	看	准	合計	施設名	保	助	看	准	合計
富山県新川厚生センター	12				12	中新川訪問看護ステーション			4		4
富山県新川厚生センター 魚津支所	5				5	滑川市医師会訪問看護ステーション			1		1
富山県立黒部学園	1				1	南砺市訪問看護ステーション			14		14
富山市保健所	17		2		19	訪問看護ステーションなでしこ			2		2
富山市大沢野保健福祉センター	5				5	東岩瀬訪問看護ステーション			1		1
富山市大山保健福祉センター	4				4	氷見訪問看護ステーション			7		7
富山市北保健福祉センター	11				11	訪問看護ステーションほのほの			3		3
富山市中央保健福祉センター	16				16	訪問看護ステーションままアシスト			6		6
富山市西保健福祉センター	9				9	ものがたり訪問看護ステーション			3		3
富山市南保健福祉センター	10				10	もみじ訪問看護ステーション			5		5
富山市八尾保健福祉センター	5				5	訪問看護ステーションゆりかご	2		4		6
富山市福祉保健部介護保険課	2				2	株式会社ラ・ファミユ 訪問看護ステーションわか木	1		3		4
富山市福祉保健部指導監査課	1				1	社会福祉法人 小杉福祉会 大江苑デイサービスセンター			1		1
富山市福祉保健部障害福祉課	2				2	富山型デイサービス くわの里			1		1
富山市福祉保健部長寿福祉課	9				9	特定非営利活動法人デイサービス このゆびとーまれ			2		2
富山市福祉保健部保険年金課	1				1	社会福祉法人砺波市社会福祉協議会 砺波市北部デイサービスセンター			1		1
富山市まちなか総合ケアセンター	4	2	5		11	社会福祉法人くるみ			1	1	2
富山市まちなか総合ケアセンター病児保育室			1		1	社会福祉法人マーシ園療護ホーム			1		1
富山市役所こども家庭部こども健康課	8				8	介護老人保健施設おおぞら			10	2	12
富山市役所こども家庭部こども保育課			3		3	介護老人保健施設さくら苑			1		1
富山市役所福祉保健部福祉政策課	2				2	介護老人保健施設 城端うらら			1		1
富山市役所保険年金課	2				2	老人保健施設シルバーケア今泉			1		1
高岡市福祉保健部	29	1			30	シルバーケア城南			3		3
射水市保健センター	23				23	介護老人保健施設シルバーケア羽根苑			1		1
魚津市健康センター	11				11	医療法人社団藤聖会 上市老人保健施設つぎの庭			2		2
魚津市役所 社会福祉課	5				5	グループホーム ひより			1		1
氷見市役所	13				13	ケアポート庄川			2		2
滑川市民健康センター	5				5	介護老人保健施設チューリップ苑			7		7
滑川市役所 医療保健課	5				5	入善老人保健施設こぶしの庭			5		5
砺波市健康センター	20				20	老人保健施設 白雲荘			1		1
小矢部市民生部健康福祉課	13		1		14	特定医療法人財団五省会 介護老人保健施設みどり苑			8	4	12
南砺市健康課保健センター	6	1			7	八尾老人保健施設風の庭			9	4	13
南砺市福光保健センター	1				1	介護老人保健施設ゆうゆうハウス			2		2
南砺市役所健康課	3				3	特別養護老人ホーム あさひ苑			1		1
南砺市役所こども課	3				3	社会福祉法人特別養護老人ホーム おあしす新川			1		1
南砺家庭地域医療センター			3		3	特別養護老人ホーム くれは苑			1		1
南砺市地域包括支援センター	4				4	特別養護老人ホーム 敬寿苑			3		3
南砺市上平診療所			1		1	特別養護老人ホーム 藤園苑			3		3
舟橋村役場生活環境課	3				3	特別養護老人ホーム やなせ苑			4		4
上市町役場福祉課	6		1		7	社会福祉法人梨雲福祉会特別養護老人ホーム 梨雲苑			10		10
立山町健康福祉課	12	1			13	介護施設 日和野			1		1
入善町保健センター	7				7	救護施設 八尾園			1		1
朝日町保健センター	1				1	養護老人ホーム志貴野長生寮			1		1
公益社団法人砺波医師会 砺波准看護学院		1	3		4	富山市立愛宕保育所			2		2
富山医療福祉専門学校		1	8		9	富山市立大久保認定こども園			1		1
学校法人富山国際学園富山短期大学	2		1		3	富山市立呉羽保育所			1		1
富山県高岡看護専門学校	3	3	17		23	富山市立福島保育所			1		1
公立大学法人富山県立大学看護学部看護学科	7	8	42		57	ふなはしこども園			1		1
富山県立富山いずみ高等学校 看護科		1	12		13	(福)あおぞらこども福祉会 堀川保育園			1		1
富山県立高志支援学校			1		1	社会福祉法人めぐみ福祉会 ひろたこども園			1		1
富山福祉短期大学			2		2	JFEミネラル株式会社 クロム&リサイクル事業部	1				1
富山市医師会看護専門学校		1	13		14	富山市医師会健康管理センター	3		5		8
富山市立看護専門学校	1	1	10		12	北陸予防医学協会高岡総合健診センター			1		1
国立大学法人富山大学医学部看護学科		1	1		2	富山県がん総合相談支援センター			1		1
株式会社Yメディカルサービス あさなご訪問看護ステーション			2		2	富山県国民健康保険団体連合会	1				3
朝日町在宅介護支援センター 訪問看護ステーション			3		3	富山県社会福祉協議会			1		1
訪問看護ステーションあはかど			5		5	富山県看護連盟			4		4
医療法人社団すまいる おれんじ訪問看護ステーション			6		6	公益社団法人富山県看護協会	2		10		12
下新川郡医師会 黒部訪問看護ステーション			1		1	訪問看護ステーションひよどり			6		6
ケアメディカルおやべ 訪問看護ステーション			1		1	訪問看護ステーションひよどり富山			5		5
光風会訪問看護ステーション			4		4	ひよどり富山居宅介護支援事業所			4		4
高志訪問看護ステーション			2		2	神明・五福地域包括支援センター	1				1
社会福祉法人富山城南会 しみずまち敬寿苑訪問看護ステーション	1		3		4						
合同会社 人間讃歌 訪問看護ステーション 十色			1		1						
訪問看護ステーションジョジョ			2		2						
訪問看護ナースソフィアにいかわ			2		2						
医療法人社団親和会 チューリップ訪問看護ステーション			1		1						
合計							514	402	7,958	87	8,961

令和5年度 受章(彰)者名簿

種 別	受章(彰)者	所 属 (受章(彰)時)
春の叙勲 瑞宝双光章	松 原 直 美	元 市立砺波総合病院
秋の叙勲 瑞宝単光章	中 川 美都子	元 富山県リハビリテーション病院・ こども支援センター
厚生労働大臣表彰	坪 内 奈津子	社会福祉法人梨雲福祉会 特別養護老人ホーム梨雲苑
	中 嶋 育 美	富山県看護協会
日本看護協会会長表彰	金 山 洋 子	特定医療法人財団五省会 介護老人保健施設みどり苑
	米 道 智 子	元 富山県看護協会
富山県知事部門功労表彰	北 川 洋 子	元 石川県立看護大学附属 看護キャリア支援センター
	境 信 子	富山県看護協会
	坂 本 奈緒子	中新川訪問看護ステーション
	谷 崎 志津子	元 富山市役所
	満 間 信 江	富山県看護協会
富山県看護協会会長表彰	秋 山 朝 子	厚生連高岡病院
	江 田 昌 江	魚津市役所
	重 松 理 恵	富山市立富山市民病院
	加 藤 浩 子	富山市役所
	河 村 瑞 穂	富山県新川厚生センター魚津支所
	佐 伯 久 恵	公立学校共済組合 北陸中央病院
	高 嶋 峰 子	富山医療生活協同組合 富山協立病院
	谷 村 一 美	公立南砺中央病院
	原 田 洋 美	特定医療法人財団五省会 西能病院
	藤 井 里 美	かみいち総合病院
藤 井 淳 子	黒部市民病院	

令和5年度 富山県看護協会 役員及び委員名簿

●役員（25名）

役職名	氏名	施設名
会長	稲村 睦子	公益社団法人富山県看護協会
副会長	岡本 里美	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター
副会長	中島 眞由美	学校法人富山国際学園富山短期大学
専務理事	吉田 智子	公益社団法人富山県看護協会
常任理事	満間 信江	公益社団法人富山県看護協会
保健師 職能理事	利田 智恵	富山県砺波厚生センター
助産師 職能理事	森 太貴子	富山赤十字病院
看護師 職能I理事	渋谷 美保子	富山県済生会高岡病院
看護師 職能II理事	原田 洋美	特定医療法人財団五省会 西能病院
監事	秋山 朝子	厚生連高岡病院
〃	丸池 小百合	国立大学法人富山大学附属病院
〃	河村 拓栄	河村公認会計士事務所
理事	稲見 年美	高岡市民病院
〃	小倉 里美	市立砺波総合病院
〃	重松 理恵	富山市立富山市民病院
〃	川岸 孝美	かみいち総合病院
〃	佐伯 久恵	公立学校共済組合 北陸中央病院
〃	炭田 恵	独立行政法人労働者健康安全機構富山労災病院
〃	瀬山 尚子	富山県済生会富山病院
〃	高長 雅美	富山県立中央病院
〃	藤井 淳子	黒部市民病院
〃	堀井 由紀	富山市南保健福祉センター
〃	向 千春	金沢医科大学氷見市民病院
〃	吉澤 環	南砺市民病院
〃	中田 千亜紀	不二越病院

●保健師職能委員（8名）

○副委員長

氏名	施設名
石川 真由美	滑川市民健康センター
金谷 真利佳	富山県高岡厚生センター
○河原 歩	富山市西保健福祉センター
窪田 麻由子	魚津市役所社会福祉課（魚津市地域包括支援センター）
島田 彩可	厚生連滑川病院（健康管理センター）
高野 あずさ	南砺市役所
堀 叶	富山県新川厚生センター
吉國 真澄	高岡市高齢介護課

●助産師職能委員（8名）

○副委員長

氏名	施設名
小川 成美	黒部市民病院
竹澤 玲美	高岡市民病院
竹田 英子	市立砺波総合病院
武田 ひとみ	富山市立富山市民病院
○當波 かおり	富山県立中央病院
鍋田 祐美子	なべた助産院
萩中 優子	富山赤十字病院
林 輝美	厚生連高岡病院

●看護師職能I委員（8名）

○副委員長

氏名	施設名
伊井 紀子	黒部市民病院
○大坪 幸代	国立大学法人富山大学附属病院
白井 志津世	富山赤十字病院
田中 晴美	市立砺波総合病院
藤澤 都絵	富山市立富山市民病院
宝田 佐己子	富山県済生会高岡病院
森 純子	厚生連高岡病院
谷 佳子	特定医療法人財団博仁会 横田記念病院

●看護師職能II委員（8名）

○副委員長

氏名	施設名
荒井 順子	医療法人社団弘仁会 魚津緑ヶ丘病院
内山 ますみ	医療法人深川病院
大澤 史織	社会福祉法人梨雲福祉会特別養護老人ホーム梨雲苑
加藤 直美	医療法人社団すまいるおれんじ訪問看護ステーション
高田 明子	医療法人社団寿山会 あおい病院
波川 満喜	特定医療法人財団五省会 西能みなみ病院
○森田 知佳子	南砺市訪問看護ステーション
宮木 貴英	介護老人保健施設おおぞら

●総務委員（8名） ◎委員長 ○副委員長

氏名	施設名
石田 めぐみ	射水市民病院
小川 紀代美	高岡市民病院
越坂 裕子	あさひ総合病院
○鳥田 晃希	特定医療法人財団五省会 西能病院
○寿盛 志津子	市立砺波総合病院
◎大門 香織	独立行政法人国立病院機構 北陸病院
藤名 裕美	上市町役場福祉課
水落 治江	富山市立富山市民病院

●教育委員（18名） ◎委員長 ○副委員長

氏名	施設名
大井 圭子	国立大学法人富山大学附属病院
大重 亜希子	かみいち総合病院
上庄 薫	金沢医科大学水見市民病院
酒井 香津美	富山赤十字病院
清水 好志美	富山市立富山市民病院
市山 加奈恵	市立砺波総合病院
○白又 小晴	富山県中部厚生センター
○高橋 夕美	独立行政法人労働者健康安全機構富山労災病院
田中 敦	富山県高岡看護専門学校
丹保 香寿栄	富山県立中央病院
◎豊本 香里	高岡市民病院
西 直子	富山市西保健福祉センター
○浜田 清美	黒部市民病院
松本 梨佳	あさひ総合病院
水野 泰子	厚生連高岡病院
宮崎 政代	富山市医師会看護専門学校
森河 尚江	南砺市民病院
森下 幸子	特定医療法人財団五省会 西能病院

●広報委員（10名） ◎委員長 ○副委員長

氏名	施設名
赤井 明代	厚生連滑川病院
伊勢呂 博恵	富山県済生会高岡病院
表寺 朱美	富山県済生会富山病院
柴田 陽子	国立大学法人富山大学附属病院
高木 晶子	不二越病院
○戸田 敬子	射水市民病院
◎松田 香織	富山赤十字病院
水上 静	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター
山岸 久枝	富山県立中央病院
山田 雅実	富山市保健所 地域健康課

●社会経済福祉委員（8名） ◎委員長 ○副委員長

氏名	施設名
井上 桂子	独立行政法人国立病院機構 富山病院
小倉 珠美	医療法人真生会 真生会富山病院
杉森 裕子	富山市立富山まちなか病院
中空 真由美	富山県立中央病院
○西田 雅人	独立行政法人地域医療機能推進機構高岡ふしき病院
水野 博美	かみいち総合病院
向山 忍	公立学校共済組合 北陸中央病院
◎山本 麻美	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター

●看護倫理委員（5名） ◎委員長 ○副委員長

氏名	施設名
石倉 恵美	厚生連高岡病院
◎石崎 薫恵	市立砺波総合病院
辻口 てるみ	富山赤十字病院
中西 美雪	富山県済生会高岡病院
福澤 智香子	黒部市民病院

●医療安全委員（6名） ◎委員長 ○副委員長

氏名	施設名
東野 順子	金沢医科大学水見市民病院
浦本 かおり	黒部市民病院
○関堂 好子	富山市立富山市民病院
高橋 美由紀	国立大学法人富山大学附属病院
◎広田 順子	富山県済生会富山病院
和田 薫	高岡市民病院

●災害看護委員（5名） ◎委員長 ○副委員長

氏名	施設名
飯澤 泉	高岡市民病院
○鈴木 浩美	黒部市民病院
◎能登 亜希	市立砺波総合病院
水口 直美	富山県立中央病院
山口 都	富山市立富山市民病院

●学会委員（8名） ◎委員長 ○副委員長

氏名	施設名
大江 美由紀	富山市立富山市民病院
川部 恵	富山県済生会富山病院
坂中 善恵	富山市立看護専門学校
田村 愛	国立大学法人富山大学附属病院
○寺井 彩	厚生連高岡病院
◎比企 雅衣子	富山県高岡看護専門学校
堀 泰雄	富山県立中央病院
山田 裕子	市立砺波総合病院

●選挙管理委員（5名） ◎委員長 ○副委員長

氏名	施設名
◎柏嶋 由香里	射水市民病院
河村 立子	公立南砺中央病院
宮田 美絵	富山県立中央病院
○村岡 裕子	国立大学法人富山大学附属病院
若松 裕子	富山市大沢野保健福祉センター

●推薦委員（10名） ◎委員長 ○副委員長

氏名	施設名
浦辻 効英	富山県砺波厚生センター
黒田 広美	市立砺波総合病院
作田 友乃	富山医療生活協同組合 富山協立病院
笹島 由紀子	氷見市市民部市民課
武田 幸	富山県立中央病院
中湊 磨貴子	独立行政法人労働者健康安全機構富山労災病院
○福井 亜希子	公立南砺中央病院
谷内口 圭子	金沢医科大学水見市民病院
◎山本 泰子	富山県済生会高岡病院
四月朔日 亜沙子	入善町元気わくわく健康課

認定看護管理者教育課程 教育運営委員（9名）

氏名	施設名
高長雅美	富山県立中央病院
丸池小百合	富山大学附属病院
稲見年美	高岡市民病院
藤井淳子	黒部市民病院
小倉里美	市立砺波総合病院
西谷美幸	富山大学
神保浩子	富山市立看護専門学校
平和美	富山県厚生部医務課
満間信江	富山県看護協会

富山県新卒訪問看護師育成検討会委員（11名）

氏名	施設名
河野由美子	公益大学法人富山県立大学看護学部
木林寿恵	富山県高岡看護専門学校
高長雅美	富山県立中央病院
渋谷美保子	富山県済生会高岡病院
村田伊紀子	富山県済生会高岡病院
加藤真理子	富山赤十字訪問看護ステーション
小原留美	光風会訪問看護ステーション
齊藤矢寿子	済生会高岡訪問看護ステーション
稲村睦子	富山県看護協会
中川美幸	富山県厚生部高齢福祉課
平和美	富山県厚生部医務課

新川（黒部）地区の看護師確保ワーキング（15名）

氏名	施設名
杉原雅子	富山医療福祉専門学校
折谷一	富山県立桜井高等学校
小倉信宏	黒部市役所
角園子	富山県新川厚生センター
山下さおり	魚津公共職業安定所
藤井淳子	黒部市民病院
渡邊和美	黒部市民病院
池田秀之	黒部市民病院
松原俊之	富山県厚生部医務課
平和美	富山県厚生部医務課
宮崎由美子	富山県厚生部医務課
向野勝美	富山県看護協会
吉田智子	富山県看護協会
境信子	富山県看護協会
秋本記江	富山県看護協会 新川ナースセンターサテライト

富山県ナースセンター事業運営委員会（15名）

氏名	施設名
加藤弘之	富山労働局職業安定部
鷺本洋一	富山県厚生部医務課
奥村勝俊	富山県市長会
村岡裕子	社会福祉法人富山県社会福祉協議会
長谷川徹	公益社団法人富山県医師会
川端雅彦	富山県済生会高岡病院
高長雅美	富山県立中央病院
重松理恵	富山市立富山市民病院
藤井淳子	黒部市民病院
稲見年美	高岡市民病院
小倉里美	市立砺波総合病院
加藤礼	真生会富山病院
加藤真理子	富山赤十字訪問看護ステーション
利田智恵	富山県砺波厚生センター
神保浩子	富山市立看護専門学校

看護職のワーク・ライフ・バランス推進委員会（10名）

氏名	施設名
北島友香	公立大学法人富山県立大学
北田良真	富山県医療勤務環境改善支援センター
川岸孝美	かみいち総合病院
渋谷美保子	富山県済生会高岡病院
佐伯久恵	公立学校共済組合北陸中央病院
柴田久美	かみいち総合病院
松原俊之	富山県厚生部医務課
稲村睦子	富山県看護協会
向野勝美	富山県看護協会
境信子	富山県看護協会 ナースセンター

富山県新卒訪問看護師育成検討会委員（11名）

氏名	施設名
河野由美子	公立大学法人富山県立大学
木林寿恵	富山県高岡看護専門学校
高長雅美	富山県立中央病院
渋谷美保子	富山県済生会高岡病院
村田伊紀子	富山県済生会高岡病院
加藤真理子	富山赤十字訪問看護ステーション
小原留美	光風会訪問看護ステーション
齊藤矢寿子	済生会高岡訪問看護ステーション
稲村睦子	公益社団法人富山看護協会
中川美幸	富山県厚生部高齢福祉課
平和美	富山県厚生部医務課

令和5年度 富山県看護協会支部役員名簿

支 部	担当理事	支 部 長	副支部長	会 計	役 員
黒部・魚津	④藤井 淳子 (黒部市民病院)	④山本 陽子 (あさひ総合病院)	④朝倉 由紀 (独立行政法人労働者健康 安全機構富山労災病院)	④伊藤 貴美 (魚津市健康センター)	④今井 知明 (黒部市民病院) ④矢木 恭江 (入善町保健センター) ④森崎 花織 (新川厚生センター魚津支所)
富山東北 富山北		④高島 和代 (不二越病院)	④籠井 瑞穂 (富山市立富山まちなか病院)	④石黒 ひろみ (富山県立中央病院)	④郷谷 さと美 (富山赤十字病院) ④場家 豊美 (富山県済生会富山病院) ④高澤 秀幸 (富山県リハビリテーション 病院・こども支援センター) ④宮本 理恵 (富山市福祉保健部 保険年金課)
富山西南 富山南	④重松 理恵 (富山市立富山市民病院)	④永田 智雅 (独立行政法人国立病院機構 富山病院)	④南 峰子 (特定医療法人財団五省会 西能みなみ病院)	④梅村 多恵子 (富山市まちなか 総合ケアセンター)	④山口 麻知 (医療法人社団藤聖会 富山西総合病院) ④上山 雅代 (国立大学法人 富山大学附属病院) ④松林 リカ (医療法人社団城南会 富山城南温泉病院) ④堀田 博子 (富山市保健所 保健予防課)
上 市		④海原 真澄 (厚生連滑川病院)	④沖山 正子 (かみいち総合病院)	④藤木 靖子 (立山町健康福祉課)	④廣瀬 真由美 (かみいち総合病院) ④砂田 みさえ (厚生連滑川病院)
高岡・射水・ 氷見	④稲見 年美 (高岡市民病院)	④諸江 由紀子 (独立行政法人地域医療機能 推進機構高岡ふしき病院)	④作道 はるみ (射水市保健センター) ④谷内口 圭子 (金沢医科大学氷見市民病院)	④中田 澄香 (厚生連高岡病院)	④大庭 純子 (高岡市民病院) ④森 留美 (氷見市訪問看護ステーション) ④竹田 玲奈 (医療法人真生会 真生会富山病院) ④加治 江利子 (射水市民病院) ④井上 まさ代 (医療法人高岡みなみハート センターみなみの杜病院) ④中川 萌楓 (富山県高岡厚生センター) ④有沢 円 (富山県済生会高岡病院) ④東 裕未 (高岡市福祉保健部)
砺波・小矢部	④小倉 里美 (市立砺波総合病院)	④金兵 留美 (南砺市地域包括 支援センター)	④今井 真由美 (市立砺波総合病院) ④平林 佳枝 (公立南砺中央病院)	④野村 博恵 (独立行政法人国立病院機構 北陸病院) ④土屋 孝子 (砺波地方介護保険組合)	④秋元 恵子 (公立学校共済組合 北陸中央病院) ④野原 良子 (南砺市民病院)

令和6年度日本看護協会
代議員及び予備代議員名簿

No.	代 議 員			予 備 代 議 員		
	職種	氏 名	勤 務 先	職種	氏 名	勤 務 先
1	助	岡 本 里 美	公益社団法人 富山県看護協会	保	中 島 眞由美	学校法人 富山国際学園富山短期大学
2	保	金 兵 留 美	南砺市役所	看	永 田 智 雅	独立行政法人国立病院機構 富山病院
3	看	渋谷 美保子	富山県済生会高岡病院	助	鍋 田 祐美子	なべた助産院
4	准看	中 田 千亜紀	不二越病院	看	藤 澤 都 絵	富山市立富山市民病院
5	看	原 田 洋 美	特定医療法人財団五省会 西能病院	准看	宮 木 貴 英	介護老人保健施設 おおぞら
6	看	満 間 信 江	公益社団法人 富山県看護協会	看	森 田 知佳子	南砺市訪問 看護ステーション
7	助	森 太貴子	富山赤十字病院	看	諸 江 由紀子	独立行政法人地域医療 機能推進機構 高岡ふしき病院
8	看	山 本 陽 子	あさひ総合病院	保	吉 國 真 澄	高岡市役所
9	保	利 田 智 恵	富山県高岡厚生センター	保	吉 田 智 子	公益社団法人 富山県看護協会

会員数と入会率

	合計				保健師				助産師			
	06.3.31 現在 会員数	05.3.31 現在 会員数(a)	04.3.31 現在 就業者数(b)	入会率 (a/b)	06.3.31 現在 会員数	05.3.31 現在 会員数(a)	04.3.31 現在 就業者数(b)	入会率 (a/b)	06.3.31 現在 会員数	05.3.31 現在 会員数(a)	04.3.31 現在 就業者数(b)	入会率 (a/b)
	人	人	人	%	人	人	人	%	人	人	人	%
北海道	42,375	43,251	85,100	51	1,131 (77)	1,176 (82)	3,288	36	1,314	1,313	1,571	84
青森	8,557	8,663	18,886	46	212 (12)	234 (11)	709	33	324	329	340	97
岩手	7,756	7,760	18,087	43	306 (8)	316 (9)	831	38	329	336	394	85
宮城	13,035	13,065	27,883	47	263 (9)	269 (11)	1,165	23	660	657	771	85
秋田	6,811	6,950	15,267	46	162 (11)	179 (12)	625	29	298	305	284	107
山形	7,960	7,976	15,850	50	337 (11)	350 (10)	720	49	372	367	360	102
福島	12,303	12,501	25,631	49	350 (34)	369 (34)	1,112	33	412	419	604	69
茨城	15,904	16,031	32,641	49	353 (16)	369 (19)	1,357	27	598	591	761	78
栃木	12,425	12,561	25,696	49	488 (15)	510 (14)	1,093	47	411	407	571	71
群馬	11,479	11,597	27,658	42	585 (40)	607 (40)	1,132	54	357	358	547	65
埼玉	24,919	25,437	69,532	37	395 (44)	413 (43)	2,311	18	960	953	1,615	59
千葉	28,034	28,583	62,016	46	391 (24)	401 (28)	2,461	16	916	924	1,603	58
東京都	42,982	45,206	145,776	31	390 (22)	406 (21)	4,821	8	2,095	2,157	4,184	52
神奈川県	36,503	37,707	87,768	43	648 (41)	702 (40)	2,862	25	1,254	1,317	2,494	53
新潟	16,060	16,275	30,281	54	814 (39)	829 (37)	1,246	67	600	616	742	83
山梨	5,949	5,999	11,316	53	492 (17)	509 (19)	646	79	185	192	255	75
長野	14,732	14,857	31,203	48	1,094 (59)	1,092 (65)	1,857	59	691	712	872	82
富山	8,961	8,982	17,150	52	514 (15)	508 (13)	721	70	402	407	430	95
石川	9,711	9,877	18,642	53	234 (10)	233 (9)	623	37	309	308	389	79
福井	6,499	6,623	12,845	52	220 (7)	217 (6)	528	41	217	220	258	85
岐阜	12,693	12,711	25,404	50	345 (10)	353 (10)	1,122	31	453	464	640	73
静岡県	22,704	22,724	44,510	51	510 (21)	516 (20)	1,891	27	892	894	1,085	82
愛知	40,465	40,566	83,420	49	566 (21)	590 (20)	3,066	19	1,638	1,637	2,334	70
三重	11,748	11,934	24,479	49	135 (6)	144 (9)	859	17	359	379	496	76
滋賀	9,211	9,270	17,478	53	326 (8)	340 (9)	723	47	324	314	536	59
京都	16,697	17,101	35,245	49	281 (29)	299 (30)	1,368	22	624	643	929	69
大阪	52,964	54,917	102,959	53	590 (21)	603 (25)	2,641	23	2,075	2,117	2,700	78
兵庫県	31,389	32,094	71,107	45	653 (24)	655 (21)	2,223	29	1,028	1,053	1,543	68
奈良	9,674	9,667	16,999	57	98 (2)	122 (2)	648	19	302	311	408	76
和歌山	6,118	6,178	14,962	41	136 (11)	144 (10)	535	27	213	213	253	84
鳥取	4,296	4,375	10,123	43	99 (2)	108 (2)	388	28	209	213	246	87
島根	5,828	5,927	12,642	47	252 (8)	271 (9)	573	47	284	291	334	87
岡山	17,664	17,598	30,014	59	727 (17)	729 (15)	1,159	63	435	423	560	76
広島	20,063	20,387	44,944	45	342 (13)	357 (17)	1,455	25	485	512	727	70
山口	10,112	10,250	25,059	41	461 (10)	477 (13)	783	61	324	321	411	78
徳島	4,810	4,815	13,488	36	143 (1)	128 (1)	476	27	247	247	273	90
香川	7,677	7,714	16,479	47	203 (4)	212 (5)	628	34	309	306	318	96
愛媛	10,146	10,296	22,575	46	352 (12)	355 (13)	763	47	235	236	289	82
高知	6,270	6,405	14,934	43	119 (2)	115 (1)	578	20	157	158	206	77
福岡	42,860	43,409	83,040	52	654 (27)	696 (27)	2,314	30	1,055	1,063	1,597	67
佐賀	5,462	5,598	16,564	34	185 (3)	187 (3)	552	34	109	115	245	47
長崎	9,790	9,913	26,023	38	161 (3)	166 (3)	824	20	203	212	471	45
熊本	15,640	15,745	34,868	45	491 (14)	472 (13)	1,103	43	386	393	508	77
大分	10,103	10,180	21,650	47	554 (10)	553 (10)	830	67	210	219	369	59
宮崎	8,801	8,935	21,505	42	225 (15)	228 (13)	746	31	263	263	353	75
鹿児島	12,241	12,446	32,398	38	460 (7)	461 (9)	1,026	45	389	391	614	64
沖縄	10,326	10,387	22,281	47	284 (29)	293 (26)	917	32	419	432	573	75
合計	748,707	761,443	1,664,378	46	18,731 (841)	19,263 (859)	60,299	32	26,331	26,708	38,063	70

- 注 (1) 就業者数は、『令和4年度 衛生行政報告例』により計上。
(2) 「入会率」は、令和5年3月31日現在の会員数で算出。
(3) 各都道府県の会員数は、住所変更に伴う他県への移動により、各都道府県の会費納入者数（令和4年度決算報告書）とは異なる。
(4) 「保健師」、「看護師」、「准看護師」欄の（ ）内は男子の再掲。

看護師				准看護師				
06.3.31 現在 会員数	05.3.31 現在 会員数(a)	04.3.31 現在 就業者数(b)	入会率 (a/b)	06.3.31 現在 会員数	05.3.31 現在 会員数(a)	04.3.31 現在 就業者数(b)	入会率 (a/b)	
人	人	人	%	人	人	人	%	
38,256 (3,596)	38,928 (3,617)	67,176	58	1,674 (99)	1,834 (108)	13,065	14	北海道
7,724 (693)	7,775 (673)	13,463	58	297 (21)	325 (23)	4,374	7	青森
7,003 (587)	6,967 (566)	14,383	48	118 (7)	141 (9)	2,479	6	岩手
11,819 (884)	11,816 (890)	21,304	55	293 (15)	323 (17)	4,643	7	宮城
6,279 (639)	6,383 (653)	11,767	54	72 (9)	83 (12)	2,591	3	秋田
7,125 (535)	7,127 (540)	12,391	58	126 (11)	132 (9)	2,379	6	山形
10,884 (984)	10,970 (996)	18,236	60	657 (59)	743 (64)	5,679	13	福島
14,103 (1,369)	14,143 (1,370)	24,148	59	850 (96)	928 (103)	6,375	15	茨城
10,971 (1,112)	11,059 (1,124)	18,646	59	555 (49)	585 (51)	5,386	11	栃木
10,031 (1,299)	10,066 (1,288)	19,868	51	506 (57)	566 (71)	6,111	9	群馬
23,070 (2,285)	23,521 (2,279)	54,603	43	494 (37)	550 (40)	11,003	5	埼玉
26,005 (2,317)	26,431 (2,341)	49,888	53	722 (58)	827 (61)	8,064	10	千葉
40,128 (3,020)	42,206 (3,157)	125,480	34	369 (38)	437 (43)	11,291	4	東京都
34,184 (3,108)	35,248 (3,213)	75,074	47	417 (33)	440 (32)	7,338	6	神奈川県
14,206 (1,469)	14,342 (1,466)	23,798	60	440 (34)	488 (36)	4,495	11	新潟
5,116 (616)	5,134 (617)	8,658	59	156 (9)	164 (8)	1,757	9	山梨
12,714 (1,437)	12,802 (1,436)	24,403	52	233 (27)	251 (28)	4,071	6	長野
7,958 (679)	7,975 (675)	13,404	59	87 (9)	92 (9)	2,595	4	富山
8,939 (674)	9,084 (672)	15,251	60	229 (23)	252 (24)	2,379	11	石川
5,911 (503)	6,003 (514)	9,555	63	151 (4)	183 (4)	2,504	7	福井
11,447 (1,154)	11,412 (1,134)	18,552	62	448 (33)	482 (33)	5,090	9	岐阜
20,729 (1,730)	20,697 (1,714)	35,953	58	573 (32)	617 (29)	5,581	11	静岡県
37,648 (3,175)	37,660 (3,155)	66,768	56	613 (25)	679 (30)	11,252	6	愛知
10,821 (967)	10,960 (975)	18,910	58	433 (25)	451 (22)	4,214	11	三重
8,414 (996)	8,449 (991)	14,857	57	147 (14)	167 (13)	1,362	12	滋賀
15,345 (1,455)	15,675 (1,467)	29,240	54	447 (36)	484 (39)	3,708	13	京都
49,004 (3,539)	50,776 (3,610)	85,730	59	1,295 (76)	1,421 (68)	11,888	12	大阪府
29,111 (2,288)	29,691 (2,316)	58,797	50	597 (23)	695 (25)	8,544	8	兵庫県
8,997 (842)	8,924 (810)	14,185	63	277 (11)	310 (10)	1,758	18	奈良
5,674 (775)	5,716 (770)	11,538	50	95 (12)	105 (14)	2,636	4	和歌山
3,946 (335)	4,008 (329)	7,742	52	42 (3)	46 (3)	1,747	3	鳥取
5,187 (459)	5,247 (452)	9,284	57	105 (11)	118 (11)	2,451	5	島根
15,961 (1,168)	15,851 (1,156)	24,654	64	541 (25)	595 (26)	3,641	16	岡山
18,457 (1,795)	18,656 (1,799)	33,314	56	779 (53)	862 (65)	9,448	9	広島
8,946 (737)	9,030 (734)	18,227	50	381 (34)	422 (36)	5,638	7	山口
4,362 (314)	4,385 (313)	9,548	46	58 (3)	55 (4)	3,191	2	徳島
6,969 (729)	6,985 (719)	11,997	58	196 (30)	211 (30)	3,536	6	香川
9,283 (1,047)	9,413 (1,014)	17,205	55	276 (25)	292 (25)	4,318	7	愛媛
5,754 (678)	5,872 (693)	11,393	52	240 (36)	260 (39)	2,757	9	高知
39,497 (3,497)	39,853 (3,515)	65,134	61	1,654 (164)	1,797 (180)	13,995	13	福岡
4,956 (705)	5,052 (709)	11,766	43	212 (30)	244 (38)	4,001	6	佐賀
9,152 (969)	9,243 (956)	18,798	49	274 (22)	292 (24)	5,930	5	長崎
13,674 (1,184)	13,683 (1,168)	24,586	56	1,089 (112)	1,197 (124)	8,671	14	熊本
8,770 (782)	8,803 (771)	15,700	56	569 (59)	605 (59)	4,751	13	大分
7,907 (1,058)	7,985 (1,061)	15,097	53	406 (46)	459 (54)	5,309	9	宮崎
10,957 (1,329)	11,106 (1,321)	23,522	47	435 (51)	488 (54)	7,236	7	鹿児島
9,334 (1,783)	9,342 (1,748)	17,694	53	289 (45)	320 (48)	3,097	10	沖縄
682,728 (63,296)	692,454 (63,487)	1,311,687	53	20,917 (1,731)	23,018 (1,855)	254,329	9	合計

都道府県看護協会一覧表

協会名	〒	住所	TEL	FAX
北海道看護協会	003-0027	札幌市白石区本通17丁目北3-24	011-863-6731	011-863-3204
青森県看護協会	030-0822	青森市中央3-20-30 県民福祉プラザ3階	017-723-2857	017-735-3836
岩手県看護協会	020-0117	盛岡市緑が丘2-4-55	019-662-8213	019-662-9550
宮城県看護協会	980-0871	仙台市青葉区八幡2-10-19	022-273-3923	022-276-4724
秋田県看護協会	010-0874	秋田市千秋久保田町6-6	018-834-0172	018-835-9522
山形県看護協会	990-2473	山形市松栄1-5-45 アルカディアソフトパーク山形内	023-685-8033	023-646-8868
福島県看護協会	963-8871	郡山市本町1-20-24	024-934-0512	024-991-5560
茨城県看護協会	310-0034	水戸市緑町3-5-35 茨城県保健衛生会館内	029-221-6900	029-226-0493
栃木県看護協会	320-8503	宇都宮市駒生町3337-1 とちぎ健康の森4階	028-625-6141	028-625-8988
群馬県看護協会	371-0007	前橋市上泉町1858-7 群馬県看護教育センター	027-269-5565	027-269-8601
埼玉県看護協会	331-0078	さいたま市西区西大宮3-3	048-624-3300	048-624-3331
千葉県看護協会	261-0002	千葉市美浜区新港249-4	043-245-1744	043-248-7246
東京都看護協会	160-0023	新宿区西新宿4-2-19	03-6300-0730	03-6300-0875
神奈川県看護協会	231-0037	横浜市中区富士見町3-1 神奈川県総合医療会館6階	045-263-2901	045-263-2905
新潟県看護協会	951-8133	新潟市中央区川岸町2-11	025-265-1225	025-266-1199
山梨県看護協会	400-0807	甲府市東光寺2-25-1	055-226-4288	055-222-5988
長野県看護協会	390-0802	松本市旭2-11-34	0263-35-0421	0263-34-0311
富山県看護協会	930-0885	富山市鶴島字川原1907-1	076-433-5680	076-433-6428
石川県看護協会	920-0931	金沢市兼六元町3-69	076-232-3573	076-232-3973
福井県看護協会	918-8206	福井市北四ツ居町601	0776-54-7103	0776-54-8474
岐阜県看護協会	500-8384	岐阜市藪田南5-14-53 岐阜県県民ふれあい会館1棟5階	058-277-1008	058-275-5300
静岡県看護協会	422-8067	静岡市駿河区南町14-25 エスパティオ3階	054-202-1750	054-202-1751
愛知県看護協会	466-0054	名古屋市昭和区円上町26-18	052-871-0711	052-871-0757
三重県看護協会	514-0062	津市観音寺町字東浦457-3 三重県看護研修会館	059-225-1010	059-226-5200
滋賀県看護協会	525-0032	草津市大路2-11-51	077-564-6468	077-562-8998
京都府看護協会	606-8111	京都市左京区高野泉町40-5	075-723-7195	075-723-7272
大阪府看護協会	540-0001	大阪市中央区城見2-2-22 マルイトOBPビル8階	06-6947-6900	06-6947-6901
兵庫県看護協会	650-0011	神戸市中央区下山手通5-6-24	078-341-0190	078-361-6652
奈良県看護協会	634-0813	橿原市四条町288-8 奈良県看護研修センター	0744-25-4014	0744-24-7703
和歌山県看護協会	642-0017	海南市南赤坂17番地	073-483-1005	073-483-1266
鳥取県看護協会	680-0901	鳥取市江津318-1	0857-29-8100	0857-29-8102
島根県看護協会	690-0049	松江市袖師町7-11	0852-25-0330	0852-25-3157
岡山県看護協会	700-0805	岡山市北区兵団4-31	086-226-3638	086-226-1157
広島県看護協会	730-0803	広島市中区広瀬北町9-2	082-293-3362	082-295-5361
山口県看護協会	747-0062	防府市大字上右田2686 山口県看護研修会館	0835-24-5790	0835-24-1230
徳島県看護協会	770-0003	徳島市北田宮1-329-18	088-631-5544	088-632-1084
香川県看護協会	769-0102	高松市国分寺町国分152-4	087-864-9070	087-864-9071
愛媛県看護協会	790-0843	松山市道後町2-11-14	089-923-1287	089-926-7825
高知県看護協会	780-8066	高知市朝倉己825-5	088-844-0678	088-844-0053
福岡県看護協会	812-0054	福岡市東区馬出4-10-1 ナースプラザ福岡	092-631-1141	092-631-1142
佐賀県看護協会	849-0201	佐賀市久保田町大字徳万1997-1 看護センター	0952-68-3299	0952-68-3603
長崎県看護協会	854-0072	諫早市永昌町23-6	0957-49-8050	0957-49-8056
熊本県看護協会	862-0901	熊本市東区東町3-10-39	096-369-3203	096-369-3204
大分県看護協会	870-0855	大分市豊饒2丁目7-1	097-574-7117	097-545-3751
宮崎県看護協会	889-2155	宮崎市学園木花台西2-4-6	0985-58-0622	0985-58-2939
鹿児島県看護協会	890-0064	鹿児島市鴨池新町21-5 鹿児島県看護研修会館	099-256-8081	099-256-8079
沖縄県看護協会	901-1105	島尻郡南風原町字新川272-17	098-888-3155	098-888-3126

都道府県ナースセンター一覧表

ナースセンター	〒	住所	TEL	FAX
北海道ナースセンター	003-0027	札幌市白石区本通17丁目北 3番24号 北海道看護協会内 1階	011-863-6794	011-866-2244
青森県ナースセンター	030-0822	青森市中央三丁目20-30 県民福祉プラザ 3階 青森県看護協会内	017-723-4580	017-735-3836
岩手県ナースセンター	020-0117	盛岡市緑ヶ丘 2-4-55 岩手県看護研修センター 1階 岩手県看護協会内	019-663-5206	019-663-5263
宮城県ナースセンター	981-0933	仙台市青葉区柏木 2丁目 3-23	022-272-8573	022-272-7801
秋田県ナースセンター	010-0001	秋田市中通 2丁目 3-8 秋田アトリオンビル 1階	018-832-8810	018-853-4376
山形県ナースセンター	990-2473	山形市松栄 1丁目 5-45 山形県看護協会内	023-646-8878	023-643-5727
福島県ナースセンター	963-8871	郡山市本町 1丁目20番24号 福島県看護会館 みらい 1階 福島県看護協会内	024-934-0500	024-991-6002
茨城県ナースセンター	310-0034	水戸市緑町 3-5-35 茨城県保健衛生会館 1階 茨城県看護協会内	029-221-7021	029-226-0493
栃木県ナースセンター	320-8503	宇都宮市駒生町3337-1 とちぎ健康の森 4階 栃木県看護協会内	028-625-3831	028-625-8988
群馬県ナースセンター	371-0007	前橋市上泉町1858-7 群馬県看護協会内	027-269-5202	027-269-8601
埼玉県ナースセンター	331-0078	さいたま市西区西大宮 3丁目 3番地 埼玉県看護協会内	048-620-7337	048-620-7322
千葉県ナースセンター	261-0002	千葉市美浜区新港249-10	043-247-6371	043-247-6620
東京都ナースプラザ (ナースバンク東京)	160-0023	新宿区西新宿 4-2-19 東京都看護協会会館 2階	03-5309-2065	03-5309-2066
神奈川県ナースセンター	231-0037	横浜市中区富士見町 3番 1 神奈川県総合医療会館 5階	045-263-2101	045-263-2104
新潟県ナースセンター	951-8133	新潟市中央区川岸町 2-11 新潟県看護研修センター 1階 新潟県看護協会内	025-233-6011	025-265-4188
富山県ナースセンター	930-0885	富山市鶴島字川原1907-1 富山県看護協会内	076-433-5251	076-433-5281
石川県ナースセンター	920-0931	金沢市兼六元町 3-69 石川県看護協会内	076-225-7771	076-225-7788
福井県ナースセンター	918-8206	福井市北四ツ居町601 福井県看護協会会館 1階	0776-52-1857	0776-52-1858
山梨県ナースセンター	400-0807	甲府市東光寺 2-25-1 山梨県看護協会内 1階	055-226-0110	055-222-5988
長野県ナースセンター	390-0802	松本市旭 2丁目11-34 長野県看護協会会館内	0263-35-0067	0263-34-0311
岐阜県ナースセンター	500-8384	岐阜市藪田南 5-14-53 岐阜県民ふれあい会館第1棟 5階 岐阜県看護協会内	058-277-1010	058-277-1011
静岡県ナースセンター	422-8067	静岡市駿河区南町14番25号 エスパティオ 3階	054-202-1761	054-202-1762
愛知県ナースセンター	466-0054	名古屋市昭和区円上町26-15 愛知県高辻センター 1階	052-871-0600	052-883-3686
三重県ナースセンター	514-0062	津市観音寺町字東浦457-10 三重県看護研修会館別館	059-222-0466	059-222-0465
滋賀県ナースセンター	525-0032	草津市大路 2丁目11-51 滋賀県看護研修センター 滋賀県看護協会内	077-564-9494	077-562-8998
京都府ナースセンター	604-0874	京都市中京区竹屋町通鳥丸東入清水町375 ハートピア京都地下 1階	075-222-0316	075-222-0528
大阪府ナースセンター	536-0014	大阪市城東区鳴野西 2-5-25 ナーシングアート大阪	06-6964-5511	06-6964-6666
兵庫県ナースセンター	650-0011	神戸市中央区下山手通 5-6-24 兵庫県看護協会会館 1階	078-341-0240	078-341-0340
奈良県ナースセンター	634-0813	橿原市四条町288-8 奈良県看護研修センター 1階	0744-25-4031	0744-24-7703
和歌山県ナースセンター	642-0017	海南市南赤坂17番地	073-483-0234	073-483-1266
鳥取県ナースセンター	680-0901	鳥取市江津318-1 看護研修センター 1階 鳥取県看護協会内	0857-25-1222	0857-25-1223
島根県ナースセンター	690-0049	松江市袖師町 7-11 看護研修センター 1階 島根県看護協会内	0852-27-8510	0852-25-3157
岡山県ナースセンター	700-0805	岡山市北区兵団 4番39 岡山県看護研修センター 3階	086-226-3639	086-226-0341
広島県ナースセンター	730-0803	広島市中区広瀬北町 9-2 広島県看護協会会館 1階	082-293-9786	082-295-6749
山口県ナースセンター	747-0062	防府市大字上右田2686 山口県看護研修会館本館 1階 山口県看護協会内	0835-24-5791	0835-28-9688
徳島県ナースセンター	770-0003	徳島市北田宮1丁目329-18 徳島県看護協会内	088-631-5544	088-632-1084
香川県ナースセンター	769-0102	高松市国分寺町国分152-4 香川県看護協会看護研修センター 2階	087-864-9075	087-864-9071
愛媛県ナースセンター	790-0843	松山市道後町 2丁目11-14 愛媛県看護協会内愛媛看護研修センター 1階	089-924-0848	089-996-8425
高知県ナースセンター	780-8066	高知市朝倉己825番地 5 高知県看護協会内	088-844-0758	088-844-0053
福岡県ナースセンター	812-0054	福岡市東区馬出 4-10-1 ナースプラザ福岡	092-631-1221	092-631-1223
佐賀県ナースセンター	849-0201	佐賀市久保田町大字徳万1997-1 佐賀県看護協会内	0952-51-3511	0952-68-3603
長崎県ナースセンター	854-0072	諫早市永昌町23-6 ながさき看護センター 1階 長崎県看護協会内	0957-49-8060	0957-49-8063
熊本県ナースセンター	862-0901	熊本市東区東町 3-10-39 看護研修センター 1階 熊本県看護協会内	096-365-7660	096-365-7640
大分県ナースセンター	870-0855	大分市豊饒 2丁目 7-1 看護研修会館 1階 大分県看護協会内	097-574-7136	097-574-7361
宮崎県ナースセンター	889-2155	宮崎市学園木花台西 2-4-6 宮崎県看護協会 1階	0985-58-4525	0985-58-2939
鹿児島県ナースセンター	890-0064	鹿児島市鴨池新町21-5 看護研修会館 1階 鹿児島県看護協会内	099-256-8025	099-256-8079
沖縄県ナースセンター	901-1105	高尻郡南風原町字新川272番地17 沖縄県看護研修センター 1階 沖縄県看護協会内	098-888-3127	098-888-3126

公益社団法人富山県看護協会定款

第1章 総 則

(名称)

第1条 本会は、公益社団法人富山県看護協会と称する。

(事務所)

第2条 本会は、主たる事務所を富山県富山市に置く。

(日看協への入会)

第3条 本会は、公益社団法人日本看護協会（以下「日看協」という。）の法人会員となるものとする。

第2章 目的及び事業

(目的)

第4条 本会は、日看協との連携のもと、保健師、助産師、看護師及び准看護師が教育と研鑽に根ざした専門性に基づき看護の質の向上を図るとともに、安心して働き続けられる環境づくりを推進し、あわせて県民のニーズに応える看護領域の開発・展開を図ることにより、県民の健康で豊かな生活の実現に寄与することを目的とする。

(事業)

第5条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 教育等看護の質の向上に関する事業
- (2) 富山県看護研究学会の開催等学術研究の振興に関する事業
- (3) 看護業務の開発、看護制度の改善等に関する事業
- (4) 看護職の労働環境等の改善及び福祉の向上による県民の健康及び福祉の増進に関する事業
- (5) 訪問看護の実施等地域の保健医療福祉の向上に関する事業
- (6) その他本会の目的を達成するために必要な事業

2 前項各号の事業は、富山県において行うものとする。

第3章 会 員

(法人の構成員)

第6条 本会の会員は、次の2種とする。

- (1) 正会員 富山県内に在住又は勤務する保健師、助産師、看護師及び准看護師で、本会の目的に賛同して入会したもの。
 - (2) 名誉会員 看護職であって、本会の事業に功労があった者又は学識経験者で理事会が推薦し、本人の承諾を得て総会において承認されたもの。
- 2 前項の会員のうち、正会員をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下「法人法」という。）上の社員とする。

(入会)

第7条 本会の正会員になろうとする者は、入会申込書を会長に提出し、理事会の承認を受けなければならない。

(会費)

第8条 本会の事業活動に経常的に生じる費用に充てるため、正会員になった時及び毎年、正会員は、総会において別に定める額を納入しなければならない。

(退会)

第9条 会員は、退会届を会長に提出することにより、任意にいつでも退会することができる。

(除名)

第10条 会員が次のいずれかに該当するに至ったときは、総会の決議によって当該会員を除名することができる。

- (1) この定款その他の規程に違反したとき。
 - (2) 本会の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき。
 - (3) その他除名すべき正当な事由があるとき。
- 2 前項の規定により会員を除名するときは、当該会員に、当該総会の日から1週間前までにその旨を通知し、かつ、総会において弁明する機会を与えなければならない。
- 3 除名は、除名した会員にその旨を通知しなければ、これをもって当該会員に対抗することができない。

(会員資格の喪失)

第11条 前2条の場合のほか、会員は、次のいずれかに該当するに至ったときは、その資格を喪失する。

- (1) 第8条の支払義務を1年以上履行しなかったとき。
- (2) 全正会員が同意したとき。

(3) 当該会員が死亡したとき。

第4章 総 会

(構成)

第12条 総会は、すべての正会員をもって構成する。

2 前項の総会をもって法人法上の社員総会とする。

(権限)

第13条 総会は、次の事項について決議する。

- (1) 会費の額
- (2) 会員の除名
- (3) 理事及び監事の選任又は解任
- (4) 日看協代議員及び予備代議員の選任
- (5) 理事及び監事の報酬等の額
- (6) 貸借対照表及び正味財産増減計算書並びにこれらの附属明細書の承認
- (7) 定款の変更
- (8) 解散及び残余財産の処分
- (9) その他総会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第14条 総会は、定時総会として毎年度6月に1回開催するほか、必要がある場合に開催する。

(招集)

第15条 総会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき会長が招集する。

- 2 総正会員の議決権の10分の1以上の議決権を有する正会員は、会長に対し、総会の目的である事項及び招集の理由を示して、総会の招集を請求することができる。
- 3 前項の請求があったときは、会長は、総会を招集しなければならない。
- 4 総会を招集するときは、総会の日時、場所及び総会の目的たる事項を開催の30日前までに正会員に文書をもって通知しなければならない。

(議長)

第16条 総会に議長団を置く。

- 2 議長団は3名以上とし、総会においてその都度正会員の中から選出する。
- 3 議長は議長団がこれを定める。

(議決権)

第17条 総会における議決権は、正会員1名につき1個とする。

(決議)

第18条 総会の決議は、総正会員の議決権の過半数を有する正会員が出席し、出席した当該会員の議決権の過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、総正会員の半数以上であって、総正会員の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行う。

- (1) 会員の除名
- (2) 監事の解任
- (3) 定款の変更
- (4) 解散
- (5) その他法令で定められた事項

3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第22条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

(議決権の代理行使)

第19条 正会員は、代理人によってその議決権を行使することができる。この場合においては、当該正会員又は代理人は、代理権を証明する書面を本会に提出しなければならない。

(書面による議決権の行使)

第20条 書面による議決権の行使は、議決権行使書面に必要な事項を記載し、総会の日時の直前の日時の業務時間の終了時までには当該記載をした議決権行使書面を本会に提出して行う。

2 前項の規定により書面によって行使した議決権の数は、出席した正会員の議決権の数に算入する。

(議事録)

第21条 総会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上は、前項の議事録に記名押印する。

第5章 役員

(役員の設定)

第22条 本会に、次の役員を置く。

- (1) 理事 20名以上25名以内
- (2) 監事 2名以上3名以内
- 2 理事のうち1名を会長、2名を副会長、1名を専務理事、1名を常任理事とする。ただし、理事には、保健師、助産師、看護師、准看護師から各1名以上を含むものとする。
- 3 監事のうち1名を会員外とする。
- 4 第2項の会長をもって法人法上の代表理事とし、副会長、専務理事及び常任理事を同法第91条第1項第2号の業務執行理事とする。

(役員を選任)

第23条 理事及び監事は、総会の決議によって選任する。

- 2 理事会は、会長、副会長、専務理事及び常任理事を選定及び解職する。
- 3 前項において、理事会は、総会の決議により選出された会長候補者及び副会長候補者から会長及び副会長を選定する方法によることができる。
- 4 第2項の場合において、理事会は、会長が推薦する専務理事候補者及び常任理事候補者から専務理事及び常任理事を選定することができる。

(役員の欠格事由)

第24条 次に掲げる者は本会の役員となることができない。

- (1) 法人法第65条第1項各号に掲げられた者
- (2) 法人法第65条第1項第3号に該当する罪刑又は第4号に該当する刑に処せられる可能性のある罪で起訴されている者
- (3) 公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律（以下「認定法」という。）第6条に該当する者
- (4) 認定法第6条第1号ロに該当する罪刑又はハに該当する刑に処せられる可能性のある罪で起訴されている者

(役員資格喪失)

第25条 前条に該当するに至った者は、当該時点で本会の役員資格を喪失する。

(理事等の構成)

第26条 本会の各理事について、当該理事及びその配偶者又は三親等内の親族（これに準ずるものとして当該理事と公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行令（以下「認定法施行令」という。）で定める特別の関係にある者を含む。）である理事の合計数が理事の総数の3分の1を超えないものであること。監事についても同様とする。

- 2 他の同一の団体（公益法人又はこれに準ずるものとして認定法施行令で定めるものを除く。）の理事又は使用人である者その他これに準ずる相互に密接な関係にあるものとして認定法施行令で定める者である理事の合計数が理

事の総数の3分の1を超えないものであること。監事についても、同様とする。

(理事等との特殊の関係)

第27条 本会の理事のうちには、理事のいずれか1人及びその親族その他特殊の関係がある者の合計数が、理事総数（現在数）の3分の1を超えて含まれることになってはならない。

2 本会の監事には、本会の理事（親族その他特殊の関係がある者を含む。）及び本会の使用人が含まれてはならない。また、各監事は、相互に親族その他特殊の関係があってはならない。

(理事の職務及び権限)

第28条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

2 会長は、法令及びこの定款で定めるところにより本会を代表し、その業務を執行する。

3 副会長は、会長を補佐する。

4 専務理事は、会長及び副会長を補佐し、業務を分担執行する。

5 常任理事は、業務を分担執行する。

6 副会長、専務理事及び常任理事の権限は、理事会が定める職務権限規程による。

7 会長及び業務執行理事は、3か月に1回以上自己の職務の執行状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

第29条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、本会の業務及び財産の状況を調査することができる。

3 監事は、理事が不正な行為をし、若しくは当該行為をするおそれがあると認めるとき、又は法令若しくはこの定款に違反する事実若しくは著しく不当な事実があると認めるときは、遅滞なく、その旨を理事会に報告する。

4 監事は、理事会に出席し、必要があると認めるときは、意見を述べる。

5 監事は、第3項に規定する場合において、必要があると認めるときは会長に対し、理事会の招集を請求することができる。

6 前項の規定による請求のあった日から5日以内に、その請求があった日から2週間以内の日を理事会の日とする理事会の招集の通知が発せられない場合は、その請求をした監事は、理事会を招集することができる。

7 監事は、理事が総会に提出しようとする議案、書類その他法令で定めるものを調査しなければならない。この場合において、法令若しくはこの定款に違反し、又は著しく不当な事項があると認めるときは、その調査の結果を総

会に報告する。

- 8 監事は、本会の目的の範囲外の行為その他法令若しくはこの定款に違反する行為をし、又はこれらの行為をするおそれがある場合において、当該行為によって本会に著しい損害が生ずるおそれがあるときは、当該理事に対し、当該行為をやめることを請求することができる。

(役員任期)

第30条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時までとする。ただし、再任を妨げない。

- 2 前項の規定にかかわらず、理事は、同一職に引き続き就任するときは選任後6年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時を超えて就任することができない。

- 3 監事の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の時までとする。ただし、再任を妨げない。

- 4 前項の規定にかかわらず、監事は、引き続き就任するときは選任後8年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時を超えて就任することはできない。

- 5 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。

- 6 理事又は監事は第22条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員解任)

第31条 理事及び監事は、総会の決議によって解任することができる。

(報酬等)

第32条 理事及び監事は、無報酬とする。ただし常勤の理事及び会員外の監事に対しては、総会において定める総額の範囲内で、報酬として支給することができる。

- 2 役員にはその職務を執行するために要する費用を弁償することができる。
- 3 前2項に関し必要な事項は、理事会の決議により別に定める役員の報酬及び費用に関する規程による。ただし、監事の報酬及び費用については、監事の協議による。

(損害賠償責任)

第33条 理事又は監事は、その任務を怠ったときは、本会に対し、これによって生じた損害を賠償する責任を負う。

- 2 前項の責任は、すべての正会員の同意がなければ免除することができない。
- 3 第2項の規定にかかわらず、理事又は監事が職務を行うにつき善意でかつ

重大な過失がない場合において、責任の原因となった事実の内容、当該理事又は監事の職務の執行の状況その他の事情を勘案して特に必要と認めるときは、法令の定める額を限度として理事会の決議によって免除することができる。

第6章 理事会

(構成)

第34条 本会に理事会を置く。

2 理事会は、すべての理事をもって構成する。

(権限)

第35条 理事会は、次の職務を行う。

- (1) 本会の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督
- (3) 会長、副会長、専務理事及び常任理事の選定及び解職

(招集)

第36条 理事会は、会長が招集し議長となる。

2 会長が欠けたとき又は会長に事故があるときは、理事会においてあらかじめ定めた理事が理事会を招集し議長となる。

(決議)

第37条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、理事が理事会の決議の目的である事項について提案をした場合において、当該提案につき議決に加わることができる理事の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなす。ただし、監事が異議を述べた場合は、この限りでない。

(議事録)

第38条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 出席した会長及び監事は、前項の議事録に記名押印する。

第7章 職能委員会

(職能委員会)

第39条 本会に次の職能委員会を置く。

- (1) 保健師職能委員会
 - (2) 助産師職能委員会
 - (3) 看護師職能委員会
- 2 職能委員会は、それぞれ職能上の問題を審議し、理事会に提案する。
 - 3 各職能委員会の委員長は、保健師、助産師、看護師の理事をもって充てる。
 - 4 各職能委員会の委員は、理事会において選任及び解任する。
 - 5 各職能委員会の構成及び運営に必要な事項は、理事会において別に定める。

第8章 委員会

(委員会)

第40条 この定款に定めるもののほか、本会の事業を推進するために必要があるときは、理事会の決議により、委員会を設置することができる。

- 2 委員会は、総会及び理事会の権限を侵すものではないものとする。
- 3 委員会の委員は、理事会において選任及び解任する。
- 4 委員会の任務、構成及び運営に関し必要な事項は、理事会において別に定める。

第9章 支部

(支部)

第41条 本会に支部を設置する。

- 2 支部の組織及び運営に関し必要な事項は、理事会において別に定める。

第10章 事務局

(事務局)

第42条 本会の事務を処理するため、事務局を設置する。

- 2 事務局には、事務局長及び所要の職員を置く。
- 3 事務局長は、理事会の決議を経て会長が任免する。
- 4 事務局の組織及び運営に関し必要な事項は、理事会において別に定める。

第11章 資産及び会計

(事業年度)

第43条 本会の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(事業計画及び収支予算)

第44条 本会の事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類（以下「予算等」という。）については、毎事業年度の開始の日の前日までに、会長が作成し、理事会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

2 予算等については、定時総会に報告するものとする。

3 予算等については、主たる事務所に、当該事業年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(事業報告及び決算)

第45条 本会の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、会長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を経て、定時総会に提出し、第1号及び第2号の書類についてはその内容を報告し、第3号から第6号までの書類については承認を受けなければならない。

(1) 事業報告

(2) 事業報告の附属明細書

(3) 貸借対照表

(4) 正味財産増減計算書

(5) 貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書

(6) 財産目録

2 前項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款、会員名簿を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(1) 監査報告

(2) 理事及び監事の名簿

(3) 理事及び監事の報酬等の支給の基準を記載した書類

(4) 運営組織及び事業活動の状況の概要及びこれらに関する数値のうち重要なものを記載した書類

(公益目的取得財産残額の算定)

第46条 会長は、認定法施行規則第48条の規定に基づき、毎事業年度、当該事業年度の末日における公益目的取得財産残額を算定し、前条第2項第4号の書類に記載するものとする。

(会計の規程等)

第47条 会計に関して必要な事項は、理事会において別に定める。

2 特別費用準備資金及び特定の資産の取得又は改良に充てるために保有する資産の取り扱いについては、理事会の決議により別に定める。

第12章 定款の変更及び解散

(定款の変更)

第48条 この定款は、総会の決議によって変更することができる。

(解散)

第49条 本会は、総会の決議その他法令で定められた事由により解散する。

(公益認定の取消し等に伴う贈与)

第50条 本会が公益認定の取消しの処分を受けた場合又は合併により法人が消滅する場合（その権利義務を承継する法人が公益法人であるときを除く。）には、総会の決議を経て、公益目的取得財産残額に相当する額の財産を、当該公益認定の取消しの日又は当該合併の日から1箇月以内に、認定法第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

(残余財産の帰属)

第51条 本会が清算をする場合において有する残余財産は、総会の決議を経て、認定法第5条17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

第13章 公告の方法

(公告の方法)

第52条 本会の公告は、主たる事務所の公衆の見やすい場所に掲示する方法により行う。

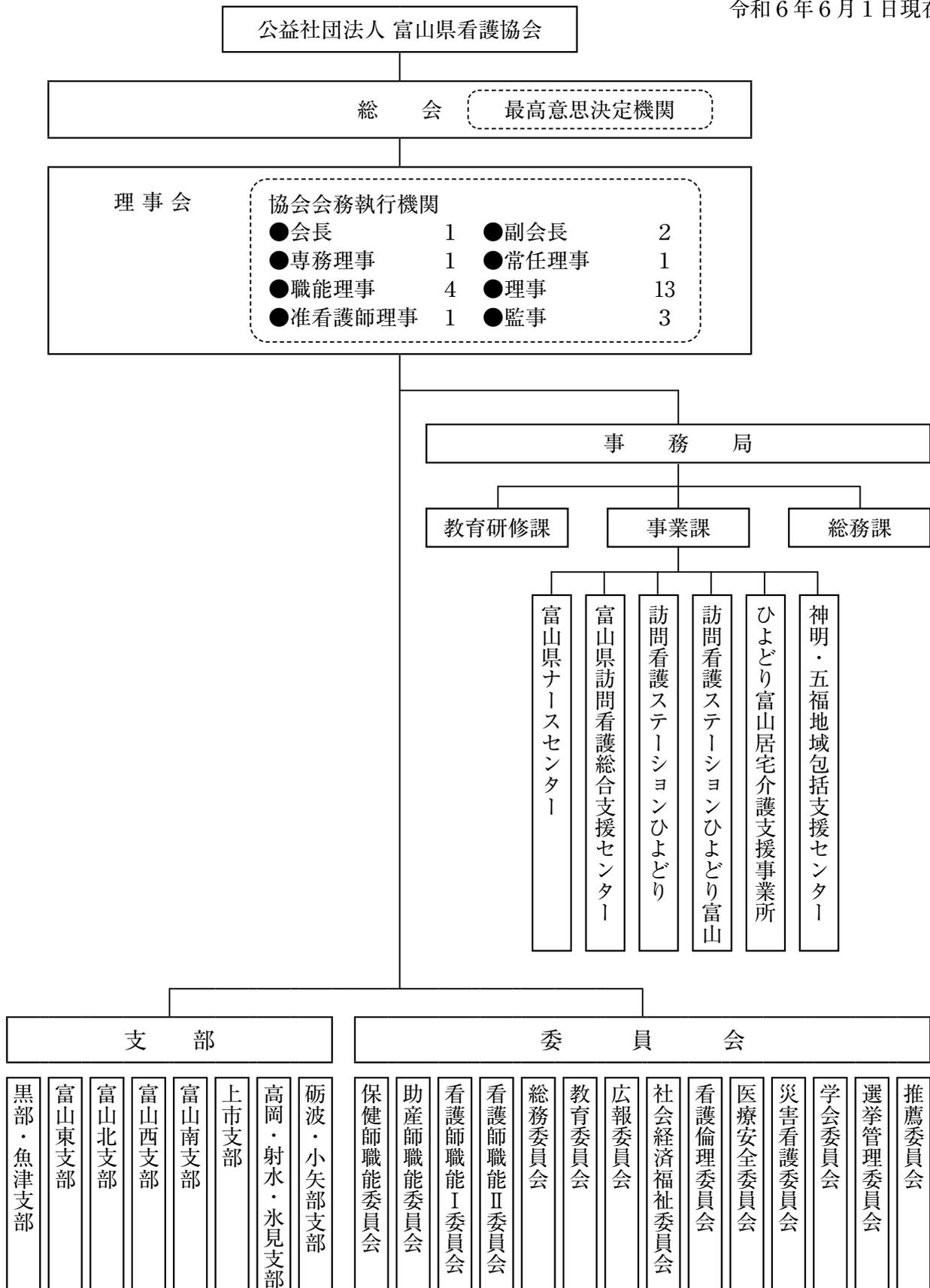
附 則

- 1 この定款は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める公益法人の設立の登記の日から施行する。
- 2 本会の最初の代表理事は三谷順子とする。

- 3 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める特例民法法人の解散の登記と、公益法人の設立の登記を行ったときは、第43条の規定にかかわらず、解散の登記の前日を事業年度の末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始日とする。

公益社団法人 富山県看護協会組織図

令和6年6月1日現在



公益社団法人 富山県看護協会職員名簿

(令和6年6月1日現在)

事務局

事務局長 大川 昌宏

総務課

主任 小杉 理恵
職員 田村 慎哉 石田 三緒子
非常勤職員 岡本 里美 古川 恵子

教育研修課

主任 村井 一仁
専任教員 佐伯 久恵
非常勤職員 藤井 淳子 河浦 恭子

事業課

富山県ナースセンター

センター長 境 信子
主任 黒田 麻衣子
非常勤職員 新村 千晶子 城生 裕子 田村 雅子
岩原 裕子 野末 法子 濱 祐美 濱井 郁美

富山県訪問看護総合支援センター

センター長 中嶋 育美
職員 加賀 美希
非常勤職員 清水 阿佐美 向野 勝美

訪問看護ステーションひよどり

管理者 森 陽子
主任 帯刀 あづさ 草島 文子 宮脇 真未
非常勤職員 干場 嘉代子

訪問看護ステーションひよどり富山

管理者 廣田 恭子
職員 宮田 美香子 上田 愛
非常勤職員 會田 和美

ひよどり富山居宅介護支援事業所

管理者 田原 千賀子
非常勤職員 藤永 晴美 中田 裕子 柚原 久美子

神明・五福地域包括支援センター

管理者 本田 理恵子
主任 佐々木 智子 宮本 恵理子
職員 松林 真奈
非常勤職員 梅 美子

日本看護協会歌

光 求めて

作詩 山本敏子
補作詩・作曲 小椋佳

大空のもと 光求めて
看護の心 胸深く
両手にかざす 愛のほむらは
静かに燃える 優しく燃える
今 この時 そして明日に

さざなみに揺れ 光求めて
看護の願い 胸熱く
つなぐその手に 通う血潮は
さやかにとける 優しくとける
ただ ひとすじ またひたむきに

そよ風に乗り 光求めて
看護の祈り 胸清く
枕べにたつ 花の香りは
ほのかに匂う 優しく匂う
今 この時 そして明日に

今 この時 そして明日に

1. おさ おさ ぞな らの も とれり ひ か
2. さそ おさ なか みに ゆの とり ひ ひ か
3. おさ おさ なか みに ゆの とり ひ ひ か

りり もとめ ててり かか んんご のの
りり もとめ ててり かか んんご のの

こねい こが ろい むむね ふか つく
こねい こが ろい むむね ふか つく

りよ う て に か ざ す ー あ い
つま なく ら そ の た す に つ ー は な

のう ほむら は ー ー ずかか に もえ
のう ほむら は ー ー しやかの かか に とけ
のう ほむら は ー ー しやかの かか に とけ

るる ー やさし くもえ るる ー いた
るる ー やさし くもえ るる ー いた

まだま こひの とすと き ー そま し て あ し た
まだま こひの とすと き ー そま し て あ し た

1.2.C 3.C C
に ー に ー い ま この と

F G7 (F/G) C
き ー そ し て あ し た に ー

かんごちゃん
「看護の日」キャラクター



公益社団法人 富山県看護協会

〒930-0885 富山市鶴島字川原 1907-1

TEL 076-433-5680 FAX 076-433-6428